徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第74集

末石遺跡　中庄東遺跡

―加茂第一地区堤防の事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―

《第２分冊》

２００８

徳　島　県　教　育　委　員　会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
国土交通省　四　国　地　方　整　備　局

徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第74集

末石遺跡　中庄東遺跡

―加茂第一地区堤防の事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―

《第２分冊》

２００８

徳　島　県　教　育　委　員　会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
国土交通省　四　国　地　方　整　備　局

本　文　目　次

【第２分冊】

〈Ⅳ地区　第１遺構面〉
Ⅳ－１・２区
掘立柱建物（SA）……3
柵列（SG）……15
土坑（SK）……15
焼土坑（SH）……44
土壙墓（ST）……44
集石遺構（SU）……48
溝（SD）……61
小穴（SP）……71
Ⅳ－３区
掘立柱建物（SA）……76
柵列（SG）……86
土坑（SK）……89
土壙墓（ST）……121
集石遺構（SU）……122
溝（SD）……136
不明遺構（SX）……138
小穴（SP）……140
Ⅳ－４区
掘立柱建物（SA）……148
土坑（SK）……150
土壙墓（ST）……154
不明遺構（SX）……161
小穴（SP）……162
〈Ⅳ地区　第１包含層出土遺物〉……162
〈Ⅴ地区　第２遺構面〉
Ⅴ－１・２区
掘立柱建物（SA）……172
柵列（SG）……177
土坑（SK）……180
土壙墓（ST）……182
集石遺構（SU）……190

溝（SD）……192
小穴（SP）……194
Ｖ－３・４区
掘立柱建物（SA）……197
土坑（SK）……199
土壙墓（ST）……203
溝（SD）……203
小穴（SP）……203
自然流路（SR）……205
〈Ｖ地区　第２包含層出土遺物〉……208
〈Ｖ地区　第１遺構面〉
Ｖ－１・２区
掘立柱建物（SA）……208
土坑（SK）……210
集石遺構（SU）……273
溝（SD）……273
不明遺構（SX）……284
小穴（SP）……287
Ｖ－３・４区
掘立柱建物（SA）……294
土坑（SK）……296
集石遺構（SU）……304
溝（SD）……306
小穴（SP）……309
Ｖ－５区
掘立柱建物（SA）……313
土坑（SK）……313
溝（SD）……313
不明遺構（SX）……315
小穴（SP）……316
〈Ｖ地区　第１包含層出土遺物〉……316

第Ｖ章　自然科学分析
中庄東遺跡出土遺物の胎土分析……321
中庄東遺跡出土銅鏡の自然科学分析……336
中庄東遺跡出土鉄製品生産関連遺物の分析調査……341

第Ⅵ章　まとめ……365

1．弥生時代～飛鳥時代の様相 ……365
2．奈良・平安時代の様相 ……367
3．中世前半期の様相 ……368
4．中世後半期の様相 ……371
5．近世の様相 ……376

報告書抄録 ……471

挿　図　目　次

【第２分冊】

第550図　Ⅳ－１・２区第１遺構面遺構配置図……１
第551図　Ⅳ地区 SA1001遺構実測図 ……３
第552図　Ⅳ地区 SA1002遺構実測図 ……４
第553図　Ⅳ地区 SA1003遺構実測図 ……４
第554図　Ⅳ地区 SA1004遺構実測図 ……５
第555図　Ⅳ地区 SA1005遺構実測図 ……６
第556図　Ⅳ地区 SA1006遺構実測図 ……７
第557図　Ⅳ地区 SA1007遺構実測図 ……８
第558図　Ⅳ地区 SA1007EP６遺物出土実測図（上位）……８
第559図　Ⅳ地区 SA1007EP６遺物出土実測図（下位）……８
第560図　Ⅳ地区 SA1007EP６遺物実測図 ……９
第561図　Ⅳ地区 SA1008遺構実測図 ……10
第562図　Ⅳ地区 SA1009遺構実測図 ……11
第563図　Ⅳ地区 SA1010遺構実測図 ……12
第564図　Ⅳ地区 SA1011遺構実測図 ……13
第565図　Ⅳ地区 SA1012遺構実測図 ……14
第566図　Ⅳ地区 SA1013遺構実測図 ……15
第567図　Ⅳ地区 SA1014遺構実測図 ……16
第568図　Ⅳ地区 SA1015遺構実測図 ……17
第569図　Ⅳ地区 SG1001遺構実測図 ……18
第570図　Ⅳ地区 SK1009遺構・遺物実測図 ……18
第571図　Ⅳ地区 SK1028遺構・遺物実測図 ……18
第572図　Ⅳ地区 SK1046遺構・遺物実測図 ……19
第573図　Ⅳ地区 SK1047遺構・遺物実測図 ……20
第574図　Ⅳ地区 SK1048遺物出土実測図・遺構実測図 ……21
第575図　Ⅳ地区 SK1048遺物実測図 ……22
第576図　Ⅳ地区 SK1052遺構・遺物実測図 ……23
第577図　Ⅳ地区 SK1053遺構・遺物実測図 ……23
第578図　Ⅳ地区 SK1055遺構・遺物実測図 ……24
第579図　Ⅳ地区 SK1059遺構・遺物実測図 ……24
第580図　Ⅳ地区 SK1069遺構・遺物実測図 ……25
第581図　Ⅳ地区 SK1071遺構・遺物実測図 ……25
第582図　Ⅳ地区 SK1079遺構・遺物実測図 ……26
第583図　Ⅳ地区 SK1087遺構実測図 ……27
第584図　Ⅳ地区 SK1087遺物実測図 ……28
第585図　Ⅳ地区 SK1096遺構・遺物実測図 ……29
第586図　Ⅳ地区 SK1097遺構・遺物実測図 ……29
第587図　Ⅳ地区 SK1098遺構・遺物実測図 ……30
第588図　Ⅳ地区 SK1099遺構・遺物実測図 ……31
第589図　Ⅳ地区 SK1118遺構・遺物実測図 ……33
第590図　Ⅳ地区 SK1122遺構実測図 ……33
第591図　Ⅳ地区 SK1126遺構・遺物実測図 ……33
第592図　Ⅳ地区 SK1128遺構実測図 ……33
第593図　Ⅳ地区 SK1133遺構・遺物実測図 ……34
第594図　Ⅳ地区 SK1135遺構・遺物実測図 ……35
第595図　Ⅳ地区 SK1154遺構・遺物実測図 ……35
第596図　Ⅳ地区 SK1155遺構・遺物実測図 ……37
第597図　Ⅳ地区 SK1160遺構・遺物実測図 ……37
第598図　Ⅳ地区 SK1161遺構・遺物実測図 ……38
第599図　Ⅳ地区 SK1164遺構・遺物実測図 ……38
第600図　Ⅳ地区 SK1175遺構・遺物実測図 ……40
第601図　Ⅳ地区 SK1176遺構実測図 ……40
第602図　Ⅳ地区 SK1177遺構・遺物実測図 ……41
第603図　Ⅳ地区 SK1188遺構実測図 ……41
第604図　Ⅳ地区 SK1208遺構・遺物実測図 ……42
第605図　Ⅳ地区 SK1222遺構・遺物実測図 ……42
第606図　Ⅳ地区 SK1224遺構・遺物実測図 ……43
第607図　Ⅳ地区 SK1226遺構実測図 ……45
第608図　Ⅳ地区 SK1235遺構・遺物実測図 ……45
第609図　Ⅳ地区 SK1240遺構実測図 ……46
第610図　Ⅳ地区 SH1001遺構・遺物実測図 ……46
第611図　Ⅳ地区 ST1008遺構・遺物実測図 ……47
第612図　Ⅳ地区 ST1009遺構・遺物実測図 ……47
第613図　Ⅳ地区 ST1033遺構・遺物実測図 ……49
第614図　Ⅳ地区 ST1068遺構・遺物実測図 ……49
第615図　Ⅳ地区 ST1112遺構・遺物実測図 ……49
第616図　Ⅳ地区 SU1001遺構・遺物実測図 ……50
第617図　Ⅳ地区 SU1002・SU1003遺構実測図 ……51
第618図　Ⅳ地区 SU1002遺物実測図 ……53
第619図　Ⅳ地区 SU1003遺物実測図 ……53
第620図　Ⅳ地区 SU1004遺構実測図 ……55
第621図　Ⅳ地区 SU1004遺物実測図（１） ……57
第622図　Ⅳ地区 SU1004遺物実測図（２） ……58
第623図　Ⅳ地区 SU1005遺構・遺物実測図 ……59
第624図　Ⅳ地区 SU1006遺構・遺物実測図 ……60
第625図　Ⅳ地区 SU1007遺構・遺物実測図（１） ……62
第626図　Ⅳ地区 SU1007遺物実測図（２） ……63
第627図　Ⅳ地区 SU1020遺構・遺物実測図 ……64
第628図　Ⅳ地区 SD1032遺構・遺物実測図 ……65
第629図　Ⅳ地区 SD1033遺構・遺物実測図 ……67
第630図　Ⅳ地区 SD1039遺構・遺物実測図 ……67
第631図　Ⅳ地区 SD1040遺構断面図 ……67
第632図　Ⅳ地区 SD1041遺構断面図 ……67
第633図　Ⅳ地区 SD1040遺物実測図 ……68
第634図　Ⅳ地区 SD1041遺物実測図（１） ……69
第635図　Ⅳ地区 SD1041遺物実測図（２） ……70
第636図　Ⅳ地区 SD1043遺構・遺物実測図 ……70
第637図　Ⅳ地区 SD1045遺構・遺物実測図 ……70
第638図　Ⅳ地区 SD1047遺構・遺物実測図 ……72
第639図　Ⅳ地区 SP1004遺物実測図 ……73
第640図　Ⅳ地区 SP1006遺物実測図 ……73
第641図　Ⅳ地区 SP1080遺物実測図 ……73
第642図　Ⅳ地区 SP1088遺物実測図 ……73
第643図　Ⅳ地区 SP1112遺物実測図 ……73
第644図　Ⅳ地区 SP1149遺構・遺物実測図 ……74
第645図　Ⅳ地区 SP1225遺物実測図 ……75
第646図　Ⅳ地区 SP1236遺物実測図 ……75
第647図　Ⅳ地区 SP1256遺物実測図 ……75
第648図　Ⅳ地区 SP1304遺物実測図 ……75
第649図　Ⅳ地区 SP1309遺物実測図 ……75
第650図　Ⅳ地区 SP1344遺物実測図 ……75
第651図　Ⅳ－３区第１遺構面遺構配置図……77
第652図　Ⅳ地区 SA1016遺構実測図 ……79

第653図　Ⅳ地区 SA1017遺構・遺物実測図 ……79
第654図　Ⅳ地区 SA1018遺構・遺物実測図 ……80
第655図　Ⅳ地区 SA1019遺構実測図 ……82
第656図　Ⅳ地区 SA1019EP 5 遺構・遺物実測図 ……82
第657図　Ⅳ地区 SA1020遺構実測図 ……83
第658図　Ⅳ地区 SA1021遺構実測図 ……83
第659図　Ⅳ地区 SA1022遺構・遺物実測図 ……84
第660図　Ⅳ地区 SA1023遺構実測図 ……85
第661図　Ⅳ地区 SA1023EP 6 遺構実測図 ……85
第662図　Ⅳ地区 SA1023EP 8 遺構・遺物実測図 ……85
第663図　Ⅳ地区 SA1024遺構・遺物実測図 ……87
第664図　Ⅳ地区 SA1025遺構実測図 ……88
第665図　Ⅳ地区 SA1026遺構実測図 ……88
第666図　Ⅳ地区 SG1002遺構実測図 ……89
第667図　Ⅳ地区 SG1003遺構実測図 ……89
第668図　Ⅳ地区 SK1244遺構・遺物実測図 ……90
第669図　Ⅳ地区 SK1246遺構・遺物実測図 ……90
第670図　Ⅳ地区 SK1248遺構・遺物実測図 ……92
第671図　Ⅳ地区 SK1268遺構実測図 ……92
第672図　Ⅳ地区 SK1277遺構・遺物実測図 ……93
第673図　Ⅳ地区 SK1280遺構・遺物実測図 ……93
第674図　Ⅳ地区 SK1281遺構・遺物実測図 ……94
第675図　Ⅳ地区 SK1292遺構・遺物実測図 ……94
第676図　Ⅳ地区 SK1294遺構・遺物実測図 ……96
第677図　Ⅳ地区 SK1296遺構・遺物実測図 ……96
第678図　Ⅳ地区 SK1297遺構実測図 ……97
第679図　Ⅳ地区 SK1298遺構実測図 ……97
第680図　Ⅳ地区 SK1298遺物実測図 ……98
第681図　Ⅳ地区 SK1299遺構・遺物実測図 ……99
第682図　Ⅳ地区 SK1301遺構・遺物実測図（1）……100
第683図　Ⅳ地区 SK1301遺物実測図（2）……101
第684図　Ⅳ地区 SK1301遺物実測図（3）……102
第685図　Ⅳ地区 SK1301遺物実測図（4）……103
第686図　Ⅳ地区 SK1301遺物実測図（5）……104
第687図　Ⅳ地区 SK1301遺物実測図（6）……105
第688図　Ⅳ地区 SK1301遺物実測図（7）……106
第689図　Ⅳ地区 SK1301遺物実測図（8）……107
第690図　Ⅳ地区 SK1304遺構・遺物実測図……109
第691図　Ⅳ地区 SK1313遺構・遺物実測図……110
第692図　Ⅳ地区 SK1317遺構・遺物実測図……110
第693図　Ⅳ地区 SK1318遺構・遺物実測図……111
第694図　Ⅳ地区 SK1320遺構実測図……113
第695図　Ⅳ地区 SK1325遺構・遺物実測図……113
第696図　Ⅳ地区 SK1326遺構・遺物実測図……114
第697図　Ⅳ地区 SK1329遺構・遺物実測図……114
第698図　Ⅳ地区 SK1332遺構・遺物実測図……115
第699図　Ⅳ地区 SK1346遺構・遺物実測図……115
第700図　Ⅳ地区 SK1359遺構・遺物実測図……115
第701図　Ⅳ地区 SK1360遺構・遺物実測図……117
第702図　Ⅳ地区 SK1371遺構・遺物実測図……118
第703図　Ⅳ地区 SK1373遺構・遺物実測図……118
第704図　Ⅳ地区 SK1376遺構・遺物実測図（1）……119
第705図　Ⅳ地区 SK1376遺物実測図（2）……120
第706図　Ⅳ地区 SK1378遺構・遺物実測図……121
第707図　Ⅳ地区 ST1123遺構・遺物実測図……122
第708図　Ⅳ地区 SU1008遺構・遺物実測図……123
第709図　Ⅳ地区 SU1009遺構実測図……124
第710図　Ⅳ地区 SU1010遺構実測図（1）……126
第711図　Ⅳ地区 SU1010遺物実測図（1）……126
第712図　Ⅳ地区 SU1010遺構実測図（2）……127
第713図　Ⅳ地区 SU1010遺物実測図（2）……127
第714図　Ⅳ地区 SU1010遺物実測図（3）……128
第715図　Ⅳ地区 SU1011遺構実測図……129
第716図　Ⅳ地区 SU1012遺構実測図……129
第717図　Ⅳ地区 SU1013遺構実測図……129
第718図　Ⅳ地区 SU1014遺構実測図……129
第719図　Ⅳ地区 SU1014遺物実測図……130
第720図　Ⅳ地区 SU1015遺構・遺物実測図（1）……131
第721図　Ⅳ地区 SU1015遺物実測図（2）……132
第722図　Ⅳ地区 SU1016遺構実測図……133
第723図　Ⅳ地区 SU1017遺構・遺物実測図……134
第724図　Ⅳ地区 SU1018遺構・遺物実測図……135
第725図　Ⅳ地区 SU1019遺構実測図……136
第726図　Ⅳ地区 SD1037遺構・遺物実測図……137
第727図　Ⅳ地区 SD1054遺構・遺物実測図……137
第728図　Ⅳ地区 SD1059遺構・遺物実測図……137
第729図　Ⅳ地区 SD1061遺構・遺物実測図……139
第730図　Ⅳ地区 SD1063遺構・遺物実測図……139
第731図　Ⅳ地区 SD1074遺構・遺物実測図……139
第732図　Ⅳ地区 SD1078遺構実測図……139
第733図　Ⅳ地区 SD1078遺物実測図……140
第734図　Ⅳ地区 SX1001遺構・遺物実測図……141
第735図　Ⅳ地区 SP1394遺構・遺物実測図……142
第736図　Ⅳ地区 SP1419遺物実測図……142
第737図　Ⅳ地区 SP1462遺物実測図……142
第738図　Ⅳ地区 SP1475遺物実測図……144
第739図　Ⅳ地区 SP1515遺物実測図……144
第740図　Ⅳ地区 SP1524遺物実測図……144
第741図　Ⅳ地区 SP1526遺物実測図……144
第742図　Ⅳ地区 SP1548遺物実測図……144
第743図　Ⅳ地区 SP1579遺物実測図……144
第744図　Ⅳ地区 SP1581遺物実測図……144
第745図　Ⅳ地区 SP1593遺物実測図……144
第746図　Ⅳ地区 SP1608遺物実測図……146
第747図　Ⅳ地区 SP1625遺物実測図……146
第748図　Ⅳ地区 SP1631遺物実測図……146
第749図　Ⅳ地区 SP1633遺物実測図……146
第750図　Ⅳ地区 SP1644遺物実測図……146
第751図　Ⅳ地区 SP1650遺物実測図……146
第752図　Ⅳ地区 SP1662遺物実測図……146
第753図　Ⅳ地区 SP1701遺物実測図……146
第754図　Ⅳ－4区第1遺構面遺構配置図 ……147
第755図　Ⅳ地区 SA1027遺構実測図……148
第756図　Ⅳ地区 SA1028遺構・遺物実測図……149
第757図　Ⅳ地区 SA1029遺構実測図……150
第758図　Ⅳ地区 SA1030遺構実測図……151
第759図　Ⅳ地区 SA1030EP 1 遺構・遺物実測図 ……151
第760図　Ⅳ地区 SA1030EP 5 遺構・遺物実測図 ……151
第761図　Ⅳ地区 SK1396遺構・遺物実測図……152
第762図　Ⅳ地区 SK1402遺構・遺物実測図……153
第763図　Ⅳ地区 SK1403遺構・遺物実測図……154
第764図　Ⅳ地区 SK1405遺構・遺物実測図……155

第765図　Ⅳ地区 SK1422遺構・遺物実測図……156
第766図　Ⅳ地区 ST1138遺構・遺物実測図……156
第767図　Ⅳ地区 ST1139遺構・遺物実測図……157
第768図　Ⅳ地区 ST1143遺構・遺物実測図……157
第769図　Ⅳ地区 SX1002遺構実測図……158
第770図　Ⅳ地区 SX1002遺物実測図（1）……159
第771図　Ⅳ地区 SX1002遺物実測図（2）……160
第772図　Ⅳ地区 SX1002遺物実測図（3）……161
第773図　Ⅳ地区 SP1759遺物実測図……163
第774図　Ⅳ地区 SP1764遺物実測図……163
第775図　Ⅳ地区 SP1765遺構・遺物実測図……163
第776図　Ⅳ地区 SP1779遺物実測図……163
第777図　Ⅳ地区 SP1785遺構・遺物実測図……163
第778図　Ⅳ地区第1包含層遺物実測図（1）……165
第779図　Ⅳ地区第1包含層遺物実測図（2）……166
第780図　Ⅳ地区第1包含層遺物実測図（3）……167
第781図　Ⅳ地区第1包含層遺物実測図（4）……168
第782図　Ⅳ地区第1包含層遺物実測図（5）……169
第783図　Ⅳ地区第1包含層遺物実測図（6）……170
第784図　Ⅳ地区第1包含層遺物実測図（7）……171
第785図　Ⅴ－1・2区第2遺構面遺構配置図……173
第786図　Ⅴ地区 SA2001遺構実測図……174
第787図　Ⅴ地区 SA2002遺構・遺物実測図……174
第788図　Ⅴ地区 SA2003遺構実測図……175
第789図　Ⅴ地区 SA2004遺構実測図……175
第790図　Ⅴ地区 SA2005遺構・遺物実測図……176
第791図　Ⅴ地区 SA2006遺構実測図……178
第792図　Ⅴ地区 SA2006EP1遺構・遺物実測図……178
第793図　Ⅴ地区 SA2007遺構実測図……178
第794図　Ⅴ地区 SA2008遺構実測図……179
第795図　Ⅴ地区 SA2009遺構実測図……179
第796図　Ⅴ地区 SA2010遺構実測図……180
第797図　Ⅴ地区 SG2001遺構実測図……181
第798図　Ⅴ地区 SG2002遺構実測図……181
第799図　Ⅴ地区 SG2003遺構実測図……181
第800図　Ⅴ地区 SK2030遺構・遺物実測図……183
第801図　Ⅴ地区 SK2046遺構・遺物実測図……183
第802図　Ⅴ地区 SK2050遺構・遺物実測図……184
第803図　Ⅴ地区 SK2070遺構・遺物実測図……184
第804図　Ⅴ地区 ST2016遺構・遺物実測図……185
第805図　Ⅴ地区 ST2060遺構・遺物実測図……185
第806図　Ⅴ地区 ST2066遺構・遺物実測図……185
第807図　Ⅴ地区 ST2081遺構・遺物実測図……186
第808図　Ⅴ地区 ST2097遺構・遺物実測図……187
第809図　Ⅴ地区 ST2111遺構・遺物実測図……187
第810図　Ⅴ地区 ST2117遺構・遺物実測図……188
第811図　Ⅴ地区 ST2137遺構・遺物実測図……188
第812図　Ⅴ地区 ST2166遺構・遺物実測図……188
第813図　Ⅴ地区 ST2167遺構・遺物実測図……189
第814図　Ⅴ地区 ST2185遺構・遺物実測図……189
第815図　Ⅴ地区 ST2189遺構・遺物実測図……191
第816図　Ⅴ地区 ST2197遺構・遺物実測図……191
第817図　Ⅴ地区 ST2210遺構・遺物実測図……192
第818図　Ⅴ地区 SU2001遺構実測図……193
第819図　Ⅴ地区 SU2002遺構・遺物実測図……193
第820図　Ⅴ地区 SU2003遺構実測図……193
第821図　Ⅴ地区 SU2004遺構実測図……193
第822図　Ⅴ地区 SU2005遺構実測図……194
第823図　Ⅴ地区 SU2006遺構実測図……194
第824図　Ⅴ地区 SU2007遺構実測図……194
第825図　Ⅴ地区 SD2002・SD2003遺構実測図……195
第826図　Ⅴ地区 SD2002遺物実測図……195
第827図　Ⅴ地区 SP2057遺物実測図……196
第828図　Ⅴ地区 SP2079遺物実測図……196
第829図　Ⅴ地区 SP2110遺物実測図……196
第830図　Ⅴ地区 SP2141遺物実測図……196
第831図　Ⅴ地区 SP2172遺物実測図……196
第832図　Ⅴ地区 SP2175遺物実測図……196
第833図　Ⅴ地区 SP2423遺構・遺物実測図……196
第834図　Ⅴ地区 SP2432遺物実測図……196
第835図　Ⅴ地区 SP2447遺物実測図……196
第836図　Ⅴ地区 SP2579遺物実測図……196
第837図　Ⅴ－3・4区第2遺構面遺構配置図……198
第838図　Ⅴ地区 SA2011遺構実測図……200
第839図　Ⅴ地区 SK2112遺構・遺物実測図……200
第840図　Ⅴ地区 SK2115遺構・遺物実測図……201
第841図　Ⅴ地区 SK2122遺構・遺物実測図……202
第842図　Ⅴ地区 SK2124遺構・遺物実測図……202
第843図　Ⅴ地区 SK2134遺構・遺物実測図……202
第844図　Ⅴ地区 SK2144遺構・遺物実測図……202
第845図　Ⅴ地区 SK2153遺構・遺物実測図……202
第846図　Ⅴ地区 ST2223遺構・遺物実測図……204
第847図　Ⅴ地区 ST2234遺構・遺物実測図……204
第848図　Ⅴ地区 ST2247遺構・遺物実測図……204
第849図　Ⅴ地区 SD2007遺構・遺物実測図……205
第850図　Ⅴ地区 SP2512遺物実測図……205
第851図　Ⅴ地区 SP2533遺物実測図……205
第852図　Ⅴ地区 SR2001遺構断面図……205
第853図　Ⅴ地区 SR2002遺構・遺物実測図……205
第854図　Ⅴ地区第2包含層遺物実測図（1）……206
第855図　Ⅴ地区第2包含層遺物実測図（2）……207
第856図　Ⅴ－1・2区第1遺構面遺構配置図……209
第857図　Ⅴ地区 SA1001遺構実測図……210
第858図　Ⅴ地区 SA1002遺構実測図……211
第859図　Ⅴ地区 SK1001遺構・遺物実測図……212
第860図　Ⅴ地区 SK1002遺構・遺物実測図……212
第861図　Ⅴ地区 SK1004遺構・遺物実測図……213
第862図　Ⅴ地区 SK1005遺構実測図……213
第863図　Ⅴ地区 SK1005遺物実測図……214
第864図　Ⅴ地区 SK1007遺構・遺物実測図……215
第865図　Ⅴ地区 SK1008遺構実測図……216
第866図　Ⅴ地区 SK1008遺物実測図……217
第867図　Ⅴ地区 SK1009遺構・遺物実測図……219
第868図　Ⅴ地区 SK1010遺構実測図……219
第869図　Ⅴ地区 SK1011遺構実測図……219
第870図　Ⅴ地区 SK1012遺構実測図……221
第871図　Ⅴ地区 SK1013遺構実測図……221
第872図　Ⅴ地区 SK1014遺構実測図……221
第873図　Ⅴ地区 SK1015遺構実測図……221
第874図　Ⅴ地区 SK1016遺構・遺物実測図……222
第875図　Ⅴ地区 SK1017遺構実測図……223
第876図　Ⅴ地区 SK1018遺構実測図……223

第877図　Ⅴ地区 SK1018遺物実測図……223
第878図　Ⅴ地区 SK1019遺構・遺物実測図……224
第879図　Ⅴ地区 SK1020遺構実測図……224
第880図　Ⅴ地区 SK1021遺構実測図……224
第881図　Ⅴ地区 SK1022遺構実測図……226
第882図　Ⅴ地区 SK1023遺構実測図……226
第883図　Ⅴ地区 SK1024遺構実測図……226
第884図　Ⅴ地区 SK1025遺構実測図……226
第885図　Ⅴ地区 SK1027遺構・遺物実測図……227
第886図　Ⅴ地区 SK1028遺構・遺物実測図……227
第887図　Ⅴ地区 SK1032遺構実測図……227
第888図　Ⅴ地区 SK1036遺構・遺物実測図……229
第889図　Ⅴ地区 SK1037遺構・遺物実測図……229
第890図　Ⅴ地区 SK1038遺構実測図……230
第891図　Ⅴ地区 SK1038遺物実測図……231
第892図　Ⅴ地区 SK1039遺構実測図……232
第893図　Ⅴ地区 SK1045遺構実測図……232
第894図　Ⅴ地区 SK1045遺物実測図……233
第895図　Ⅴ地区 SK1046遺構・遺物実測図……234
第896図　Ⅴ地区 SK1047遺構・遺物実測図……234
第897図　Ⅴ地区 SK1050遺構・遺物実測図……236
第898図　Ⅴ地区 SK1052遺構・遺物実測図……236
第899図　Ⅴ地区 SK1054遺構・遺物実測図……237
第900図　Ⅴ地区 SK1061遺構・遺物実測図……237
第901図　Ⅴ地区 SK1062遺構・遺物実測図……238
第902図　Ⅴ地区 SK1066遺構・遺物実測図……238
第903図　Ⅴ地区 SK1068遺構・遺物実測図……238
第904図　Ⅴ地区 SK1070遺構・遺物実測図……240
第905図　Ⅴ地区 SK1076遺構・遺物実測図……240
第906図　Ⅴ地区 SK1081遺構・遺物実測図……240
第907図　Ⅴ地区 SK1083遺構・遺物実測図……241
第908図　Ⅴ地区 SK1084遺構・遺物実測図……242
第909図　Ⅴ地区 SK1086遺構・遺物実測図……243
第910図　Ⅴ地区 SK1087遺構・遺物実測図……244
第911図　Ⅴ地区 SK1089遺構・遺物実測図……244
第912図　Ⅴ地区 SK1090遺構・遺物実測図……246
第913図　Ⅴ地区 SK1096遺構・遺物実測図……246
第914図　Ⅴ地区 SK1098遺構・遺物実測図……247
第915図　Ⅴ地区 SK1100遺構・遺物実測図……248
第916図　Ⅴ地区 SK1105遺構・遺物実測図……249
第917図　Ⅴ地区 SK1107遺構・遺物実測図……249
第918図　Ⅴ地区 SK1108遺構・遺物実測図……250
第919図　Ⅴ地区 SK1110遺構・遺物実測図（1）……251
第920図　Ⅴ地区 SK1110遺物実測図（2）……252
第921図　Ⅴ地区 SK1113遺構・遺物実測図……252
第922図　Ⅴ地区 SK1114遺構・遺物実測図……253
第923図　Ⅴ地区 SK1122遺構・遺物実測図……254
第924図　Ⅴ地区 SK1126遺構・遺物実測図……254
第925図　Ⅴ地区 SK1129遺構・遺物実測図……256
第926図　Ⅴ地区 SK1132遺構・遺物実測図……256
第927図　Ⅴ地区 SK1137遺構・遺物実測図……256
第928図　Ⅴ地区 SK1139遺構・遺物実測図……257
第929図　Ⅴ地区 SK1140遺構・遺物実測図……257
第930図　Ⅴ地区 SK1142遺構・遺物実測図……258
第931図　Ⅴ地区 SK1144遺構実測図……259
第932図　Ⅴ地区 SK1144遺物実測図……260
第933図　Ⅴ地区 SK1148遺構・遺物実測図……262
第934図　Ⅴ地区 SK1150遺構・遺物実測図……262
第935図　Ⅴ地区 SK1154遺構・遺物実測図……262
第936図　Ⅴ地区 SK1158遺構・遺物実測図……263
第937図　Ⅴ地区 SK1159遺構・遺物実測図……264
第938図　Ⅴ地区 SK1161遺構・遺物実測図……265
第939図　Ⅴ地区 SK1164遺構・遺物実測図……265
第940図　Ⅴ地区 SK1165遺構・遺物実測図……266
第941図　Ⅴ地区 SK1166遺構・遺物実測図……266
第942図　Ⅴ地区 SK1168遺構・遺物実測図……267
第943図　Ⅴ地区 SK1170遺構・遺物実測図……267
第944図　Ⅴ地区 SK1171遺構・遺物実測図……267
第945図　Ⅴ地区 SK1172遺構・遺物実測図……268
第946図　Ⅴ地区 SK1173遺構・遺物実測図……268
第947図　Ⅴ地区 SK1176遺構・遺物実測図……270
第948図　Ⅴ地区 SK1178遺構・遺物実測図……270
第949図　Ⅴ地区 SK1180遺構・遺物実測図……270
第950図　Ⅴ地区 SK1182遺構・遺物実測図……271
第951図　Ⅴ地区 SK1185遺構・遺物実測図……271
第952図　Ⅴ地区 SK1255遺構・遺物実測図……272
第953図　Ⅴ地区 SU1001遺構・遺物実測図……274
第954図　Ⅴ地区 SU1004遺構・遺物実測図……275
第955図　Ⅴ地区 SD1003遺構・遺物実測図……276
第956図　Ⅴ地区 SD1015遺構・遺物実測図……276
第957図　Ⅴ地区 SD1023遺構実測図……276
第958図　Ⅴ地区 SD1023遺物実測図……276
第959図　Ⅴ地区 SD1027遺構・遺物実測図……278
第960図　Ⅴ地区 SD1028遺構・遺物実測図……278
第961図　Ⅴ地区 SD1030遺構・遺物実測図……278
第962図　Ⅴ地区 SD1032遺構・遺物実測図……278
第963図　Ⅴ地区 SD1034遺構・遺物実測図……278
第964図　Ⅴ地区 SD1036遺構・遺物実測図（1）……279
第965図　Ⅴ地区 SD1036遺物実測図（2）……280
第966図　Ⅴ地区 SD1040遺構・遺物実測図……280
第967図　Ⅴ地区 SD1043遺構・遺物実測図……280
第968図　Ⅴ地区 SD1048遺構・遺物実測図……281
第969図　Ⅴ地区 SD1049遺構・遺物実測図……281
第970図　Ⅴ地区 SD1052遺構・遺物実測図……283
第971図　Ⅴ地区 SD1054遺構・遺物実測図……284
第972図　Ⅴ地区 SD1057遺構断面図……284
第973図　Ⅴ地区 SD1057遺物出土実測図……285
第974図　Ⅴ地区 SD1057遺物実測図……285
第975図　Ⅴ地区 SX1001遺構断面図……286
第976図　Ⅴ地区 SX1001遺物実測図……286
第977図　Ⅴ地区 SP1012遺物実測図……288
第978図　Ⅴ地区 SP1019遺物実測図……288
第979図　Ⅴ地区 SP1020遺構実測図……288
第980図　Ⅴ地区 SP1021遺構実測図……288
第981図　Ⅴ地区 SP1023遺構実測図……288
第982図　Ⅴ地区 SP1024遺構実測図……288
第983図　Ⅴ地区 SP1025遺構実測図……288
第984図　Ⅴ地区 SP1027遺構実測図……290
第985図　Ⅴ地区 SP1071遺物実測図……290
第986図　Ⅴ地区 SP1073遺物実測図……290
第987図　Ⅴ地区 SP1091遺物実測図……290
第988図　Ⅴ地区 SP1100遺物実測図……290

第989図　Ⅴ地区 SP1109遺物実測図……290
第990図　Ⅴ地区 SP1117遺物実測図……290
第991図　Ⅴ地区 SP1121遺物実測図……290
第992図　Ⅴ地区 SP1150遺構・遺物実測図……290
第993図　Ⅴ地区 SP1168遺構・遺物実測図……290
第994図　Ⅴ地区 SP1173遺物実測図……292
第995図　Ⅴ地区 SP1191遺物実測図……292
第996図　Ⅴ地区 SP1217遺物実測図……292
第997図　Ⅴ地区 SP1225遺物実測図……292
第998図　Ⅴ地区 SP1234遺物実測図……292
第999図　Ⅴ地区 SP1249遺物実測図……292
第1000図　Ⅴ地区 SP1260遺物実測図……292
第1001図　Ⅴ地区 SP1268遺構・遺物実測図……293
第1002図　Ⅴ地区 SP1271遺物実測図……293
第1003図　Ⅴ地区 SP1279遺物実測図……293
第1004図　Ⅴ地区 SP1285遺構実測図……293
第1005図　Ⅴ－３・４区第１遺構面遺構配置図……295
第1006図　Ⅴ地区 SA1003遺構・遺物実測図……296
第1007図　Ⅴ地区 SK1188遺構・遺物実測図……297
第1008図　Ⅴ地区 SK1189遺構実測図……298
第1009図　Ⅴ地区 SK1189遺物実測図……299
第1010図　Ⅴ地区 SK1195遺構・遺物実測図……300
第1011図　Ⅴ地区 SK1197遺構・遺物実測図……300
第1012図　Ⅴ地区 SK1199遺構・遺物実測図……301
第1013図　Ⅴ地区 SK1203遺構・遺物実測図……301
第1014図　Ⅴ地区 SK1204遺構・遺物実測図……302
第1015図　Ⅴ地区 SK1206遺構・遺物実測図……302
第1016図　Ⅴ地区 SK1209遺構・遺物実測図……303
第1017図　Ⅴ地区 SK1218遺構・遺物実測図……303
第1018図　Ⅴ地区 SK1227遺構・遺物実測図……304
第1019図　Ⅴ地区 SK1234遺構・遺物実測図……305
第1020図　Ⅴ地区 SK1241遺構・遺物実測図……305
第1021図　Ⅴ地区 SU1002遺構・遺物実測図……306
第1022図　Ⅴ地区 SU1003遺構・遺物実測図……307
第1023図　Ⅴ地区 SD1059遺構・遺物実測図……308
第1024図　Ⅴ地区 SD1060遺構・遺物実測図……308
第1025図　Ⅴ地区 SD1063遺構・遺物実測図……308
第1026図　Ⅴ地区 SD1070遺構・遺物実測図……308
第1027図　Ⅴ地区 SP1294遺物実測図……310
第1028図　Ⅴ地区 SP1300遺物実測図……310
第1029図　Ⅴ地区 SP1316遺物実測図……310
第1030図　Ⅴ地区 SP1320遺物実測図……310
第1031図　Ⅴ地区 SP1328遺物実測図……310
第1032図　Ⅴ地区 SP1330遺物実測図……310
第1033図　Ⅴ地区 SP1334遺物実測図……310
第1034図　Ⅴ地区 SP1335遺物実測図……310
第1035図　Ⅴ地区 SP1339遺構・遺物実測図……310
第1036図　Ⅴ地区 SP1357遺物実測図……310
第1037図　Ⅴ地区 SP1372遺物実測図……310
第1038図　Ⅴ－５区第１遺構面遺構配置図……312
第1039図　Ⅴ地区 SA1004遺構実測図……313
第1040図　Ⅴ地区 SK1245遺構・遺物実測図……314
第1041図　Ⅴ地区 SK1246遺構・遺物実測図……314
第1042図　Ⅴ地区 SX1002遺構・遺物実測図……315
第1043図　Ⅴ地区 SP1398遺物実測図……315
第1044図　Ⅴ地区第１包含層遺物実測図（１）……317
第1045図　Ⅴ地区第１包含層遺物実測図（２）……318
第1046図　Ⅴ地区第１包含層遺物実測図（３）……319
第1047図　Ⅴ地区第１包含層遺物実測図（４）……320
第1048図　鍛冶・鋳造関連遺物の比較（K-Ca 散布図）…322
第1049図　鍛冶・鋳造関連遺物と出土土器の比較（K-Ca 散布図）……322
第1050図　中庄東遺跡と他遺跡の鋳造・鍛冶関連遺物の比較（K-Ca 散布図）……322
第1051図　古代土器の胎土比較（K-Ca 散布図）……323
第1052図　土師質甕の胎土比較（K-Ca 散布図）……323
第1053図　瓦質・土師質擂鉢の胎土比較（K-Ca 散布図）…324
第1054図　土師質鍋の胎土比較（K-Ca 散布図）……324
第1055図　瓦質・土師質羽釜、茶釜の比較（K-Ca 散布図）…324
第1056図　土師質・瓦質・須恵質（杯・皿・椀）の比較（K-Ca 散布図）……324
第1057図　土師質・瓦質（杯・皿）の比較（K-Ca 散布図）…324
第1058図　遺構内共存関係土器の比較（K-Ca 散布図）…324
第1059図　試料測定位置図（測定位置１～５）および各測定位置における蛍光 X 線スペクトル…339
第1060図　試料測定位置図（測定位置１～５）および各測定位置における蛍光 X 線スペクトル…340
第1061図　出土鉄滓類の全鉄（T・Fe）量と造滓成分量との関係……354
第1062図　出土鉄滓の全鉄（T・Fe）量とチタニア（TiO２）量との関係……354
第1063図　鉄系鍛冶滓と鉱石系製錬滓の分類……354
第1064図　出土鉄滓類の全鉄量（T・Fe）と造滓成分量との関係図……364
第1065図　出土鉄滓類の全鉄量と二酸化チタン量の分布図……364
第1066図　出土鉄滓類のチタニア（TiO２）とマンガン（MnO）との関係図……364
第1067図　飛鳥時代の様相……366
第1068図　奈良・平安時代の様相……366
第1069図　中・近世の様相……370
第1070図　Ⅴ地区鍛冶関連遺構平面図……373

表　目　次

【第２分冊】

第３表　中庄東遺跡出土鍛冶・鋳造関連遺物の胎土分析一覧表……329
第４表　中庄東遺跡出土土器の胎土分析一覧表……330
第５表　測定条件……337
第６表　中庄東遺跡（加茂堤防）Ⅲ－１区 SA2001EP３花卉双蝶八花鏡（580）の元素分析結果……337
第７表　中庄東遺跡（県道出口太刀野線）６地区 SX1023出土鏡像（1863）の元素分析結果……338
第８表　調査試料明細と調査内容……347

第９表　調査試料の外観目視および着磁性……353
第10表　中庄東遺跡出土品（スラグ、椀形滓、炉壁）の化学分析結果……353
第11表　中庄東遺跡出土品(鉄製品)の化学分析結果…353
第12表　中庄東遺跡出土品の調査結果……363
第13表　県内の鋳造関連遺跡一覧……372
第14表　中庄東遺跡Ｖ－１区遺跡別羽口・スラグ測定一覧表……374
第15表　Ｖ地区出土羽口一覧……374

写　真　目　次

【第２分冊】

写真10　中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（１）…331
写真11　中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（２）…332
写真12　中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（３）…333
写真13　中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（４）…334
写真14　中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（５）…335
写真15　調査試料の外観写真（１）～（４）……348
写真16　調査試料の外観写真（５）～（８）……349
写真17　調査試料の外観写真（９）～(12)……350
写真18　調査試料の外観写真（13）～(16)……351
写真19　調査試料の外観写真（17）～(20)……352
写真20　中庄東遺跡出土品の顕微鏡組織（１）～（４）…355
写真21　中庄東遺跡出土品の顕微鏡組織（５）～（８）…356
写真22　中庄東遺跡出土品の顕微鏡組織（９）～(12)…357
写真23　中庄東遺跡出土品の顕微鏡組織（13）……358
写真24　NKJ７－３～11のSEM像とEDX微小部分析…359
写真25　NKJ７－13～19のSEM像とEDX微小部分析…360
写真26　NKJ７－26～44のSEM像とEDX微小部分析…361
写真27　NKJ７－45～49のSEM像とEDX微小部分析…362

図　版　目　次

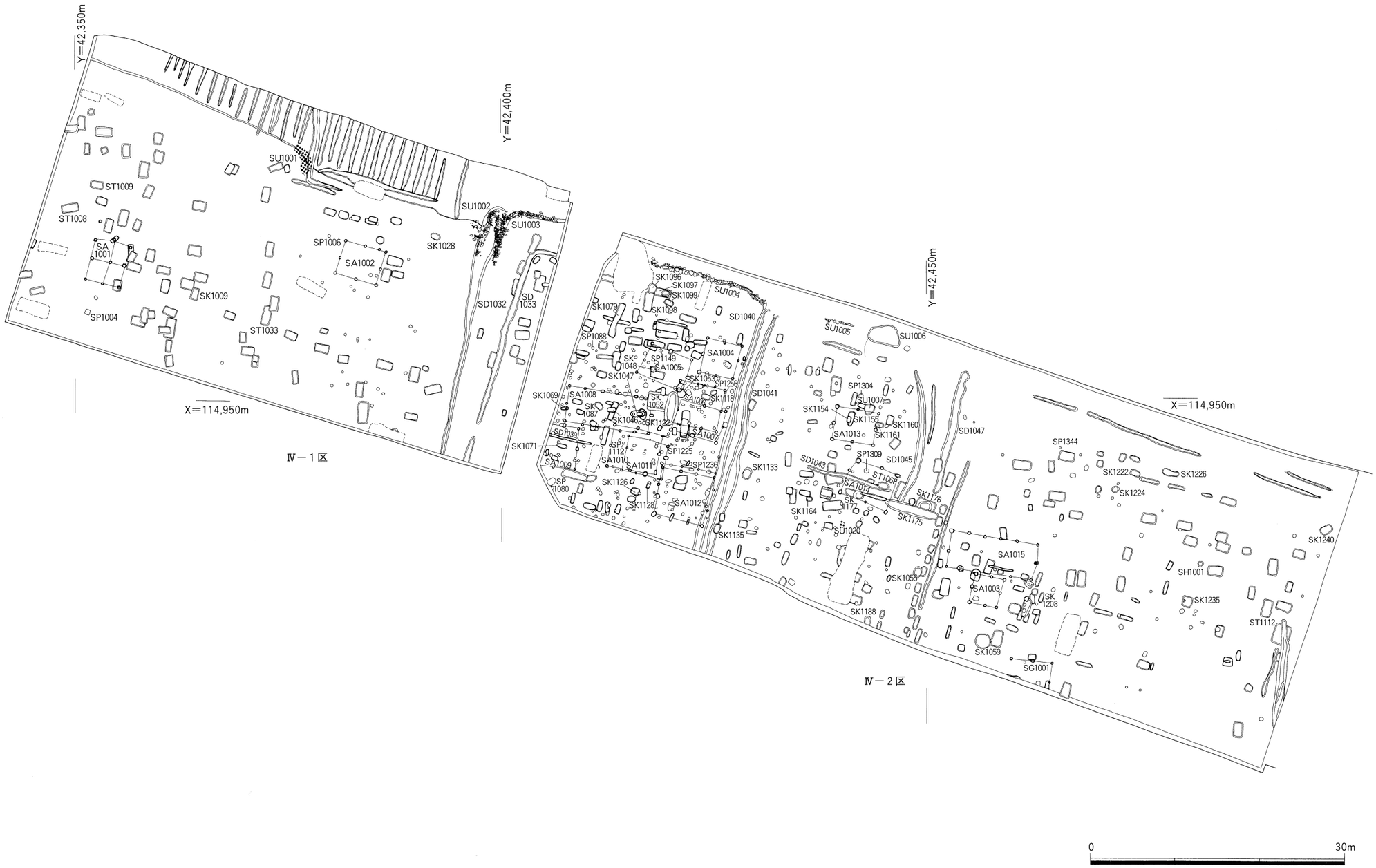
【第２分冊】

図版１　１　末石遺跡遠景（東から）
　　２　１区第１遺構面検出状況（東から）
図版２　１　１区SB1001完掘状況
　　２　１区SB1002完掘状況
図版３　１　１区SB1003遺物出土状況
　　２　１区SB1003竈付近遺物出土状況
　　３　１区SB1003須恵器杯出土状況
図版４　１　１区SB1004完掘状況
　　２　１区SB1004竈付近遺物出土状況
図版５　１　１区SB1005完掘状況
　　２　１区SK1005
　　３　１区SK1047遺物出土状況
　　４　２区ST1030木棺痕跡検出
　　５　２区ST1030土層
図版６　１　１区第１遺構面完掘状況
　　２　２区第１遺構面検出状況
図版７　１　２区第１遺構面完掘状況
　　２　２区第１遺構面完掘状況
　　３　１区土層堆積状況
　　４　２区土層堆積状況
図版８　SB1001・1003・1004出土遺物
図版９　１　SB1004出土遺物
　　２　SB1005出土遺物
　　３　SX1001出土遺物
　　４　SK1003出土遺物
　　５　SK1047出土遺物
　　６　SR1001出土遺物
　　７　SP1162出土遺物
図版10　１　中庄東遺跡遠景（東から）
　　２　中庄東遺跡遠景（東から）
図版11　１　中庄東遺跡遠景（南西から）
　　２　中庄東遺跡遠景（北西から）
図版12　１　Ｉ－１区第１遺構面完掘状況
　　２　Ｉ－１区SA1001EP１
　　３　Ｉ－１区SH1001
　　４　Ｉ－１区SX1001
　　５　Ｉ－１区SX1002
図版13　１　Ｉ－４区第１遺構面完掘状況
　　２　Ｉ－５区第１遺構面完掘状況
図版14　１　Ｉ－４区SK1142
　　２　Ｉ－４区SX1004
　　３　Ｉ－５区第１遺構面検出状況
　　４　Ｉ－５区SD1012・1013、溝群
　　５　Ｉ－６区第１遺構面検出状況
　　６　Ｉ－６区第１遺構面完掘状況
図版15　１　Ｉ－６区第１遺構面完掘状況
　　２　Ｉ－６区SA1016
　　３　Ｉ－６区SK1217
　　４　Ｉ－１区東壁土層
　　５　Ｉ－６区西端北壁土層
図版16　１　Ⅱ－４区第２遺構面完掘状況
　　２　Ⅱ－４区SB2001
　　３　Ⅱ－４区SB2001EH１検出状況
　　４　Ⅱ－４区SA2005
図版17　１　Ⅱ－１区第１遺構面完掘状況
　　２　Ⅱ－２区第１遺構面完掘状況
図版18　１　Ⅱ－３区第１遺構面完掘状況
　　２　Ⅱ－３区SA1011
　　３　Ⅱ－３区SA1015
　　４　Ⅱ－３区SA1008EP６
　　５　Ⅱ－３区SA1015EP５

図版19　1　Ⅱ－1区 SX1002
2　Ⅱ－3区 SK1147
3　Ⅱ－3区 SP1322
4　Ⅱ－4区第1遺構面完掘状況
5　Ⅱ－4区第1遺構面完掘状況
図版20　1　Ⅱ－4区 SK1180
2　Ⅱ－4区 SK1182
3　Ⅱ－4区 SK1163
4　Ⅱ－5区第1遺構面完掘状況
5　Ⅱ－6区 SD1024
図版21　1　Ⅱ－6区 SD1024土層堆積状況
2　Ⅱ－6区 SD1024土層堆積状況
図版22　1　Ⅱ－6区 SD1024遺物出土状況
2　Ⅱ－6区 SD1024完掘状況
図版23　1　Ⅱ－6・7区 SD1024完掘状況
2　Ⅱ－7区 SD1024完掘状況
図版24　1　Ⅲ－1区第2遺構面完掘状況（北西から）
2　Ⅲ－1区第2遺構面完掘状況（北から）
図版25　1　Ⅲ－1区 SA2001
2　Ⅲ－1区 SA2001EP 3 銅鏡（580）出土状況
3　Ⅲ－1区 SA2001EP 3 土層
4　Ⅲ－1区 SA2003
5　Ⅲ－1区 ST2014
図版26　1　Ⅲ－1区 SD2001・2002・2003
2　Ⅲ－1区 SD2001遺物出土状況
3　Ⅲ－1区 SD2001遺物出土状況
4　Ⅲ－2区 SA2005
5　Ⅲ－2区 SP2017遺物出土状況
図版27　1　Ⅲ－3区第2遺構面完掘状況（西から）
2　Ⅲ－3区第2遺構面完掘状況（北東から）
図版28　1　Ⅲ－3区 SK2095遺物出土状況（1枚目）
2　Ⅲ－3区 SK2095遺物出土状況（2枚目）
3　Ⅲ－3区 SA2009
4　Ⅲ－3区 SA2006
5　Ⅲ－3区 SA2007
図版29　1　Ⅲ－1区第1遺構面完掘状況
2　Ⅲ－2区第1遺構面溝群検出状況
3　Ⅲ－1区 SH1001炭化材検出状況
4　Ⅲ－1区 SH1001礫検出状況
図版30　1　Ⅲ－3区第1遺構面完掘状況（北から）
2　Ⅲ－3区第1遺構面完掘状況（北から）
図版31　1　Ⅲ－3区第1遺構面礫群検出状況
2　Ⅲ－3区 SK1075
3　Ⅲ－3区 SK1079～1082
4　Ⅲ－3区 SK1081
5　Ⅲ－3区 SK1082
図版32　1　Ⅲ－3区 SK1136
2　Ⅲ－3区 SH1003
3　Ⅲ－3区 SX1001・1002完掘状況
4　Ⅲ－3区 SX1003・1004
5　Ⅲ－3区 SD1125・1126・1131
6　Ⅲ－3区 SD1140
7　Ⅲ－3区 SP1294
8　Ⅲ－3区第1遺構面銅製品（963）出土
図版33　1　Ⅳ－1区第1遺構面検出状況（西から）
2　Ⅳ－1区第1遺構面完掘状況（西から）
図版34　1　Ⅳ－1区 SU1002・1003（北西から）
2　Ⅳ－1区 SU1002・1003（北から）
3　Ⅳ－1区第1遺構面南側溝群
図版35　1　Ⅳ－2区第1遺構面完掘状況（北から）
2　Ⅳ－2区第1遺構面完掘状況（北東から）
図版36　1　Ⅳ－2区 SA1007EP 6
2　Ⅳ－2区 SK1046
3　Ⅳ－2区 SK1048
4　Ⅳ－2区 SK1048
5　Ⅳ－2区 SK1087
6　Ⅳ－2区 SK1099
7　Ⅳ－2区 SK1222
8　Ⅳ－2区 SK1240
図版37　1　Ⅳ－2区 SU1004
2　Ⅳ－2区 SU1004
3　Ⅳ－2区 SU1004
4　Ⅳ－2区 SU1004
5　Ⅳ－2区 SU1004土層
6　Ⅳ－2区 SU1004北側銅製笄出土
7　Ⅳ－2区 SU1004北側石製品出土
8　Ⅳ－2区 SU1006
図版38　1　Ⅳ－3区第1遺構面完掘状況（北から）
2　Ⅳ－3区第1遺構面完掘状況（北東から）
3　Ⅳ－3区第1遺構面完掘状況（東から）
4　Ⅳ－3区 SK1244
5　Ⅳ－3区 SK1320
図版39　1　Ⅳ－3区 SK1301
2　Ⅳ－3区 SK1325
3　Ⅳ－3区 SK1325遺物出土
4　Ⅳ－3区 SK1360
5　Ⅳ－3区 SU1008
6　Ⅳ－3区 SU1014
7　Ⅳ－3区 SU1015
図版40　1　Ⅳ－3区 SD1078
2　Ⅳ－3区 SP1475
3　Ⅳ－4区第1遺構面完掘状況（北東から）
4　Ⅳ－4区 SA1027・1028
5　Ⅳ－4区 SK1405
図版41　1　Ⅳ－4区 SX1002遺物出土
2　Ⅳ－4区 SX1002完掘状況
3　Ⅳ－4区 SP1785軒丸瓦出土
図版42　1　Ⅳ－3区南壁土層
2　Ⅳ－3区東壁土層
3　Ⅳ－2区掘立柱建物柱列復元
図版43　1　Ⅴ－1区第2遺構面完掘状況（北東から）
2　Ⅴ－1区第2遺構面完掘状況（北から）
3　Ⅴ－1区 SA2003
4　Ⅴ－2区第2遺構面検出状況
図版44　1　Ⅴ－2区第2遺構面完掘状況（北東から）
2　Ⅴ－2区 SP2423
3　Ⅴ－3区 SK2115
4　Ⅴ－3区第2遺構面完掘
5　Ⅴ－4区第2遺構面完掘
図版45　1　Ⅴ－1区第1遺構面完掘状況（東から）
2　Ⅴ－1区第1遺構面完掘状況（北から）
3　Ⅴ－1区 SA1001付近鍛冶関連遺構検出状況

図版46　1　V－1区 SA1001付近完掘状況
2　V－1区 SK1005
3　V－1区 SK1008検出状況
4　V－1区 SK1008土層
5　V－1区 SK1008遺物出土
6　V－1区 SK1010土層
7　V－1区 SK1023土層
8　V－1区 SK1023遺物出土
図版47　1　V－1区 SK1011土層
2　V－2区第1遺構面完掘状況（北東から）
3　V－2区 SA1002
4　V－2区 SK1081
図版48　1　V－2区 SK1090
2　V－2区 SK1100
3　V－2区 SK1144
4　V－2区 SK1255
5　V－2区 SD1052
6　V－2区 SD1057
7　V－2区 SP1168
8　V－2区 SP1268
図版49　1　V－4区第1遺構面完掘（西から）
2　V－4区 SU1002
3　V－4区 SU1003
4　V－4区東側溝群
5　V－5区 SA1004
6　V－4区南壁
7　V－5区確認トレンチ
図版50　1　Ⅰ地区 SX1001出土遺物
2　Ⅰ地区 SK1142出土遺物
3　Ⅰ地区 ST1030出土遺物
4　Ⅰ地区 SD1012出土遺物
図版51　1　Ⅰ地区第1包含層・第1遺構面出土遺物
2　Ⅱ地区 SB2001出土遺物
3　Ⅱ地区 SK2019出土遺物
図版52　1　Ⅱ地区 SH2002出土遺物
2　Ⅱ地区第2包含層出土遺物
3　Ⅱ地区 SA1009EP 5 出土遺物
4　Ⅱ地区 SK1046出土遺物
5　Ⅱ地区 SK1047出土遺物
6　Ⅱ地区 SK1147出土遺物
図版53　1　Ⅱ地区 SX1001出土遺物
2　Ⅱ地区 SP1195出土遺物
3　Ⅱ地区 SK1163出土遺物
4　Ⅱ地区 SK1194出土遺物
5　Ⅱ地区 SK1211出土遺物
6　Ⅱ地区 SX1007出土遺物
7　Ⅱ地区 SK1225出土遺物
8　Ⅱ地区 SD1024上位出土遺物
図版54　1　Ⅱ地区 SD1024上位出土遺物
2　Ⅱ地区 SD1024中位出土遺物
図版55　Ⅱ地区 SD1024下位出土遺物
図版56　Ⅱ地区 SD1024下位出土遺物
図版57　1　Ⅱ地区 SD1024下位出土遺物
2　Ⅱ地区第1遺構面・第1包含層出土遺物
図版58　1　Ⅲ地区 SA2001EP 3 出土遺物
2　Ⅲ地区 ST2014出土遺物
3　Ⅲ地区 SD2001出土遺物
図版59　1　Ⅲ地区 SX2002出土遺物
2　Ⅲ地区 SP2017出土遺物
3　Ⅲ地区 SK2036出土遺物
4　Ⅲ地区 SK2093出土遺物
5　Ⅲ地区 SK2095出土遺物
図版60　1　Ⅲ地区 ST2157出土遺物
2　Ⅲ地区 ST2160出土遺物
3　Ⅲ地区 ST2209出土遺物
4　Ⅲ地区第2包含層出土遺物
図版61　1　Ⅲ地区第2包含層出土遺物
2　Ⅲ地区 SD1030出土遺物
3　Ⅲ地区 SD1055出土遺物
図版62　1　Ⅲ地区 SD1088出土遺物
2　Ⅲ地区 SA1005EP 5 出土遺物
3　Ⅲ地区 SA1007出土遺物
4　Ⅲ地区 SK1080出土遺物
5　Ⅲ地区 SK1082出土遺物
6　Ⅲ地区 SK1108出土遺物
7　Ⅲ地区 SK1136出土遺物
図版63　1　Ⅲ地区 SK1176出土遺物
2　Ⅲ地区 SD1122出土遺物
3　Ⅲ地区 SD1125出土遺物
4　Ⅲ地区 SD1137出土遺物
5　Ⅲ地区 SD1140出土遺物
図版64　1　Ⅲ地区 SX1004出土遺物
2　Ⅲ地区 SX1005出土遺物
3　Ⅲ地区 SX1006出土遺物
4　Ⅲ地区 SX1007出土遺物
5　Ⅲ地区 SP1105出土遺物
6　Ⅲ地区 SP1220出土遺物
7　Ⅲ地区 SP1247出土遺物
図版65　1　Ⅲ地区 SP1294出土遺物
2　Ⅲ地区 SR1001出土遺物
3　Ⅲ地区第1包含層出土遺物
図版66　1　Ⅳ地区 SA1007EP 6 出土遺物
2　Ⅳ地区 SK1046出土遺物
3　Ⅳ地区 SK1048出土遺物
図版67　1　Ⅳ地区 SK1087出土遺物
2　Ⅳ地区 SK1133出土遺物
3　Ⅳ地区 SK1154出土遺物
4　Ⅳ地区 SK1222出土遺物
5　Ⅳ地区 SK1224出土遺物
図版68　1　Ⅳ地区 SK1235出土遺物
2　Ⅳ地区 SU1002出土遺物
3　Ⅳ地区 SU1003出土遺物
4　Ⅳ地区 SU1004出土遺物
5　Ⅳ地区 SU1007出土遺物
図版69　1　Ⅳ地区 SU1005出土遺物
2　Ⅳ地区 SD1033出土遺物
3　Ⅳ地区 SD1040出土遺物
4　Ⅳ地区 SD1041出土遺物
5　Ⅳ地区 SD1043出土遺物
6　Ⅳ地区 SD1047出土遺物
7　Ⅳ地区 SP1309出土遺物
8　Ⅳ地区 SP1344出土遺物

図版70　1　Ⅳ地区 SP1149出土遺物
2　Ⅳ地区 SK1246出土遺物
3　Ⅳ地区 SK1277出土遺物
4　Ⅳ地区 SK1296出土遺物
5　Ⅳ地区 SK1298出土遺物
6　Ⅳ地区 SK1299出土遺物
図版71　Ⅳ地区 SK1301出土遺物（1）
図版72　Ⅳ地区 SK1301出土遺物（2）
図版73　1　Ⅳ地区 SK1317出土遺物
2　Ⅳ地区 SK1318出土遺物
3　Ⅳ地区 SK1325出土遺物
4　Ⅳ地区 SK1329出土遺物
5　Ⅳ地区 SK1332出土遺物
図版74　1　Ⅳ地区 SK1360出土遺物
2　Ⅳ地区 SK1373出土遺物
3　Ⅳ地区 SK1376出土遺物
図版75　1　Ⅳ地区 SU1010出土遺物
2　Ⅳ地区 SU1014出土遺物
3　Ⅳ地区 SU1015出土遺物
図版76　1　Ⅳ地区 SD1037出土遺物
2　Ⅳ地区 SD1078出土遺物
3　Ⅳ地区 SP1394出土遺物
4　Ⅳ地区 SP1462出土遺物
5　Ⅳ地区 SP1475出土遺物
6　Ⅳ地区 SP1548出土遺物
7　Ⅳ地区 SP1631出土遺物
図版77　1　Ⅳ地区 SA1030EP 1 出土遺物
2　Ⅳ地区 SK1422出土遺物
3　Ⅳ地区 SX1002出土遺物
図版78　1　Ⅳ地区 SX1002出土遺物
2　Ⅳ地区 SP1765出土遺物
3　Ⅳ地区 SP1785出土遺物
4　Ⅳ地区第 1 包含層出土遺物（1）
図版79　Ⅳ地区第 1 包含層出土遺物（2）
図版80　1　Ⅳ地区第 1 包含層出土遺物（3）
2　Ⅴ地区 SA2006EP 1 出土遺物
3　Ⅴ地区 SP2423出土遺物
4　Ⅴ地区 SP2432出土遺物
図版81　1　Ⅴ地区第 2 包含層出土遺物
2　Ⅴ地区 SK1005出土遺物
3　Ⅴ地区 SK1016出土遺物
4　Ⅴ地区 SK1028出土遺物
図版82　1　Ⅴ地区 SK1008出土遺物
2　Ⅴ地区 SK1036出土遺物
3　Ⅴ地区 SK1045出土遺物
4　Ⅴ地区 SK1062出土遺物
5　Ⅴ地区 SK1100出土遺物
図版83　1　Ⅴ地区 SK1084出土遺物
2　Ⅴ地区 SK1108出土遺物
3　Ⅴ地区 SK1110出土遺物
4　Ⅴ地区 SK1142出土遺物
図版84　1　Ⅴ地区 SK1144出土遺物
2　Ⅴ地区 SK1150出土遺物
3　Ⅴ地区 SK1255出土遺物
4　Ⅴ地区 SU1004出土遺物
図版85　1　Ⅴ地区 SD1023出土遺物
2　Ⅴ地区 SD1030出土遺物
3　Ⅴ地区 SD1036出土遺物
4　Ⅴ地区 SD1049出土遺物
5　Ⅴ地区 SD1057出土遺物
6　Ⅴ地区 SX1001出土遺物
図版86　1　Ⅴ地区 SP1168出土遺物
2　Ⅴ地区 SP1268出土遺物
3　Ⅴ地区 SK1189出土遺物
4　Ⅴ地区 SK1218出土遺物
5　Ⅴ地区 SD1070出土遺物
6　Ⅴ地区 SP1316出土遺物
7　Ⅴ地区 SP1339出土遺物
図版87　Ⅴ地区第 1 包含層出土遺物



第550図　Ⅳ－1・2区第1遺構面遺構配置図

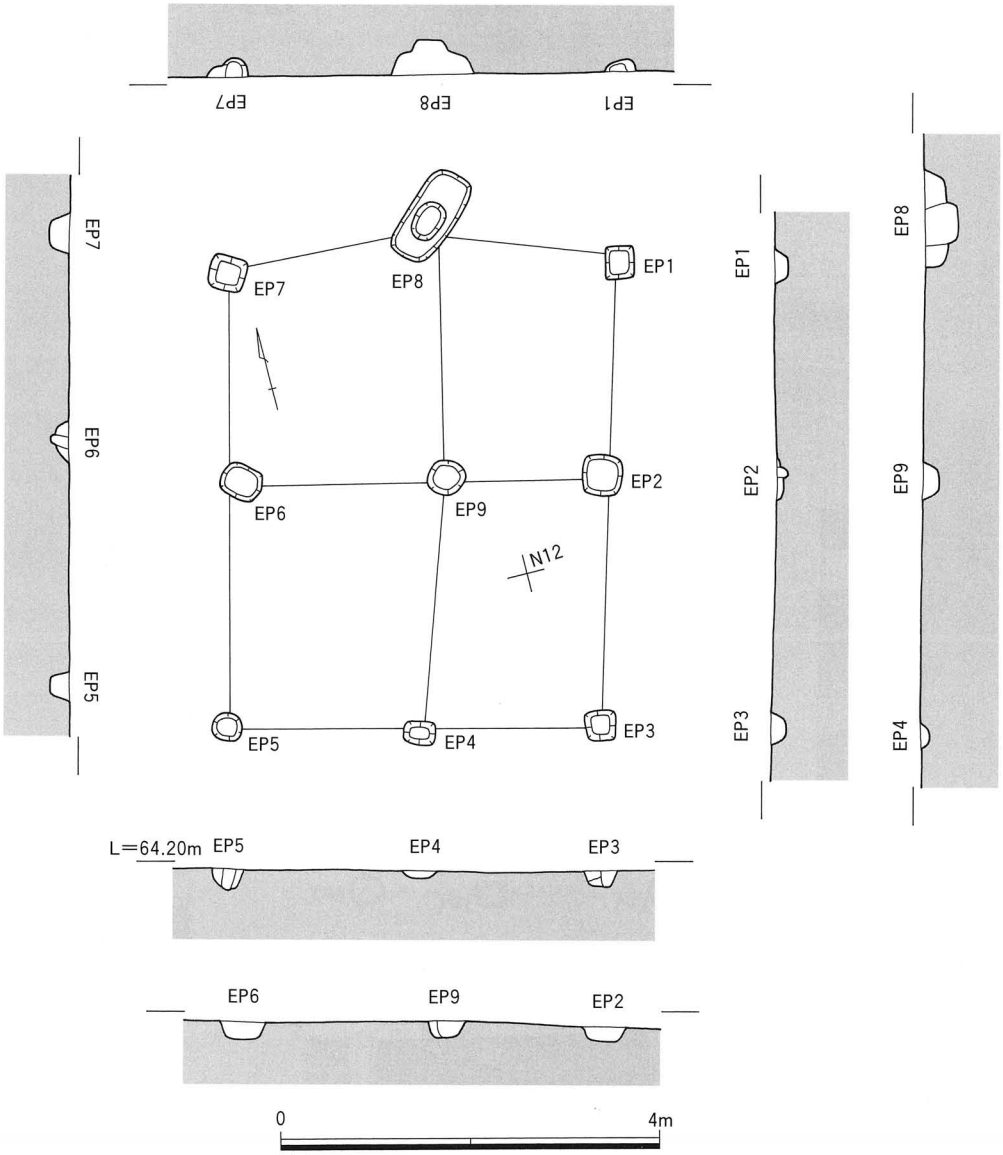
〈Ⅳ地区　第１遺構面〉

Ⅳ－１・２区（第550図）

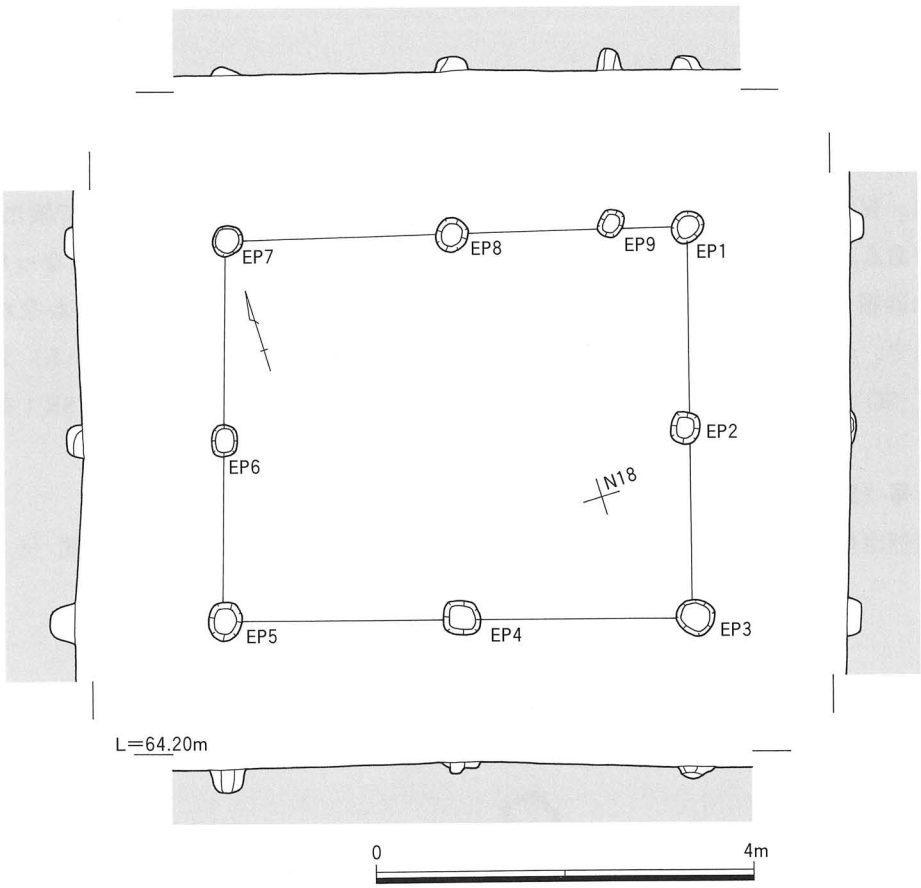
Ⅳ地区は、遺跡東部に位置する調査区で、吉野川の現河道まで150mの位置にある。全体的に北へ向けて傾斜する。Ⅳ－１～３区北端は北に向けて落ち込むが、これはⅢ－３区北東端で検出したSR1001の続き部分である。ただし、東に行くに従って落ち込み範囲が広がり肩部が不明瞭になったこと、遺構面全体に洪水砂層を被るようになったことからⅣ地区では自然流路（SR）として扱わなかった。遺構面は１面のみで、全調査区で中世が主体であるが、古代以前の遺構遺物も検出している。Ⅳ－１・２区ではSA15棟、SG１基、SK243基、SH１基、ST114基、SU８基、SD51条、SP372基、SR１条を検出。

掘立柱建物１号（Ⅳ地区　SA1001）（第551図）

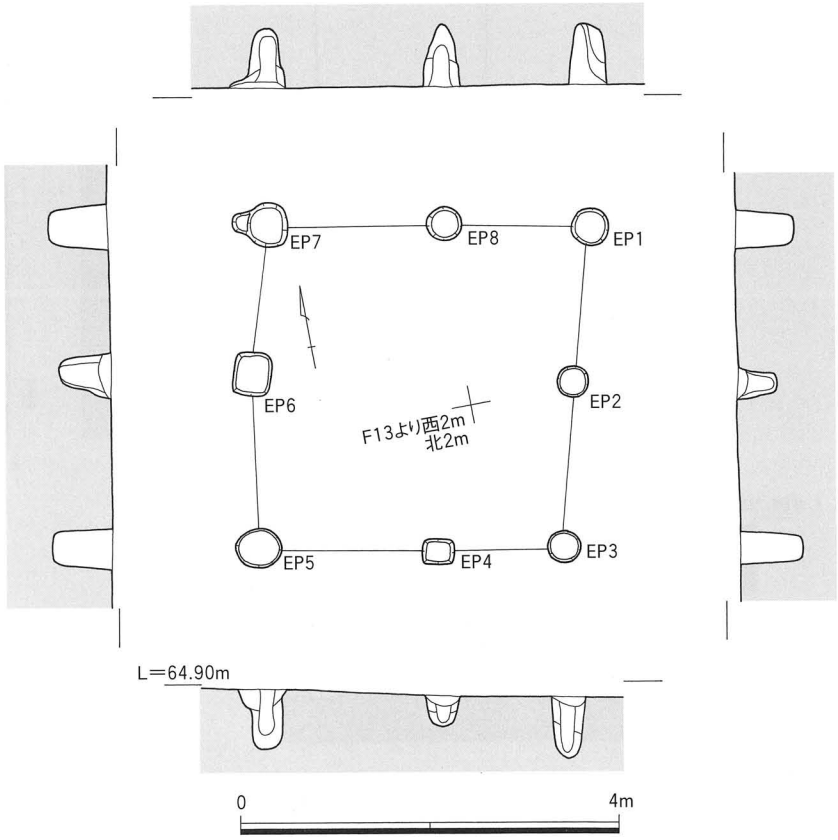
Ⅳ－１区西部南側、M・N11・12グリッドに位置する。東西２間（4.1m）南北２間（4.6m）床面積



第551図　Ⅳ地区SA1001遺構実測図



第552図　Ⅳ地区SA1002遺構実測図



第553図　Ⅳ地区SA1003遺構実測図

18.9㎡、９基の柱穴をもつ総柱建物で、建物主軸N13°Eを向く。柱穴の平面形は隅丸方形で、一辺32～100㎝深度８～36㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP２・３・５～７で柱痕とみられる土層が確認できる。出土遺物は皆無。

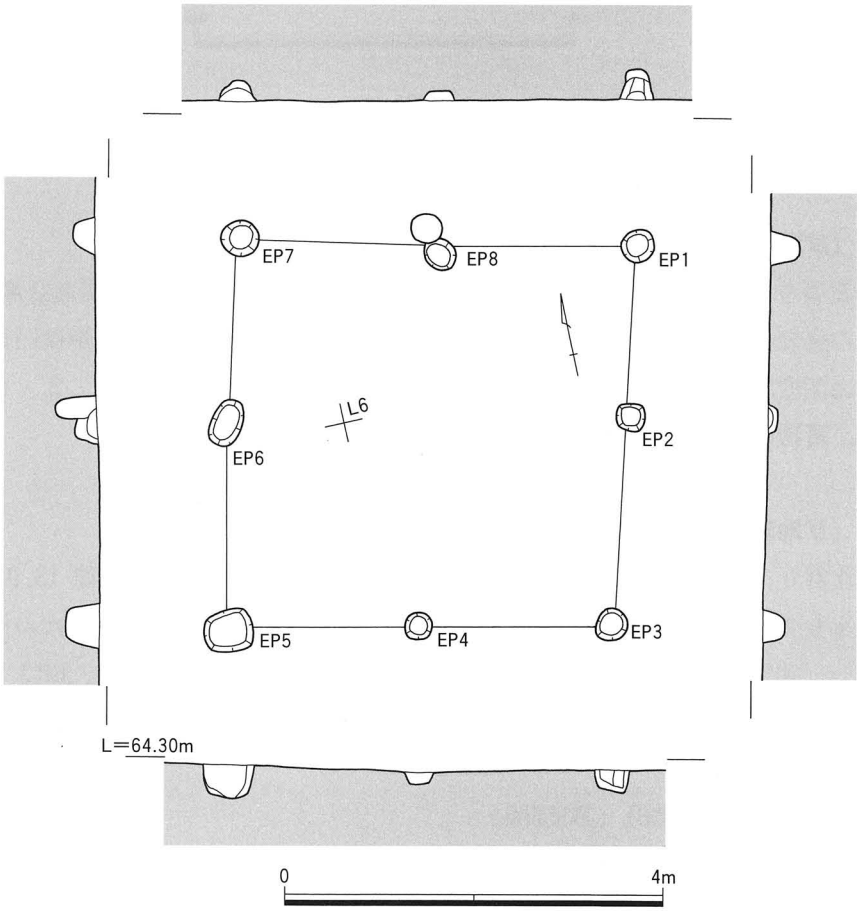
掘立柱建物２号（Ⅳ地区　SA1002）（第552図）

Ⅳ－１区中央部、M・N17・18グリッドに位置する。東西３間（4.8m）南北２間（4.0m）床面積19.2㎡、９基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N74°Wを向く。柱穴の平面形は円形または不整円形で、径30～42㎝深度５～24㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP３～５・９で柱痕とみられる土層を確認。遺物はEP６から、土師質土器片が出土。

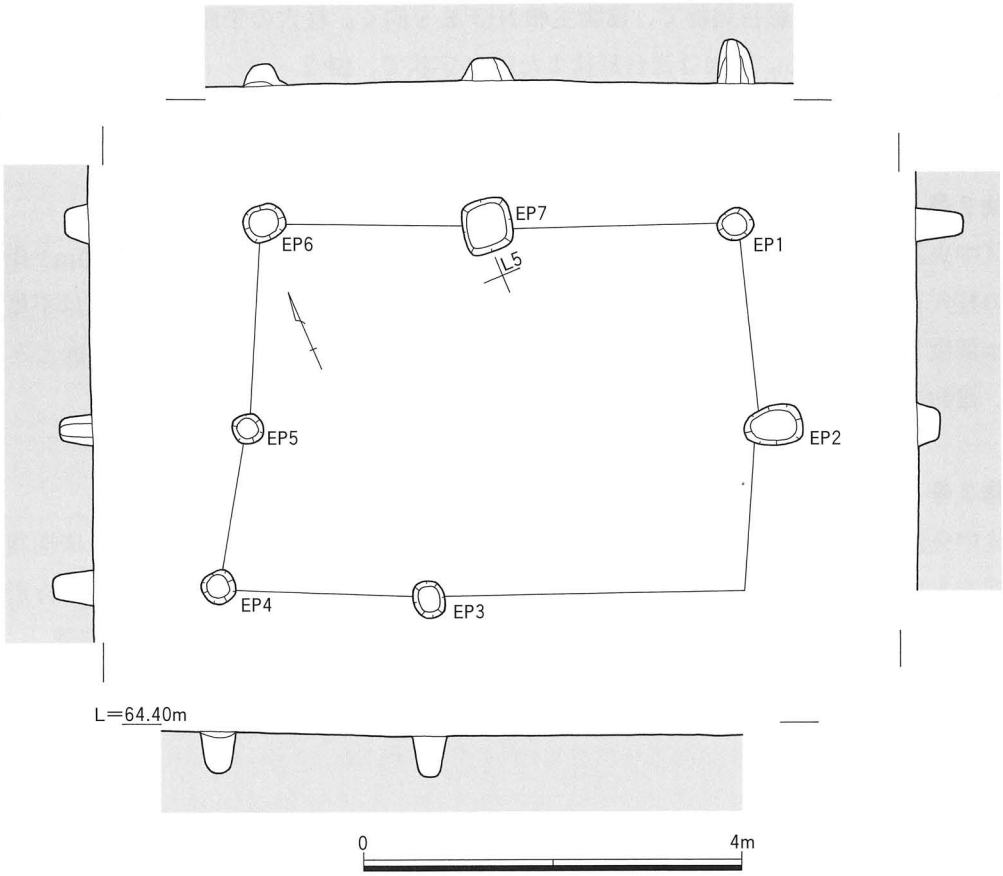
掘立柱建物３号（Ⅳ地区　SA1003）（第553図）

Ⅳ－２区中央部南側、F12グリッドに位置する。東西２間（3.4m）南北２間（3.4m）床面積11.7㎡、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N11°Eを向く。柱穴の平面形は円形または隅丸方形で、径34～60㎝深度33～66㎝を測る。断面はU字状で、すべての柱穴で柱痕とみられる土層を確認。

遺物はEP１・４・７・８から、土師質土器片・擂鉢・煮炊具、備前焼陶器片、鉄滓が出土。



第554図　Ⅳ地区SA1004遺構実測図



第555図　Ⅳ地区SA1005遺構実測図

掘立柱建物４号（Ⅳ地区　SA1004）（第554図）

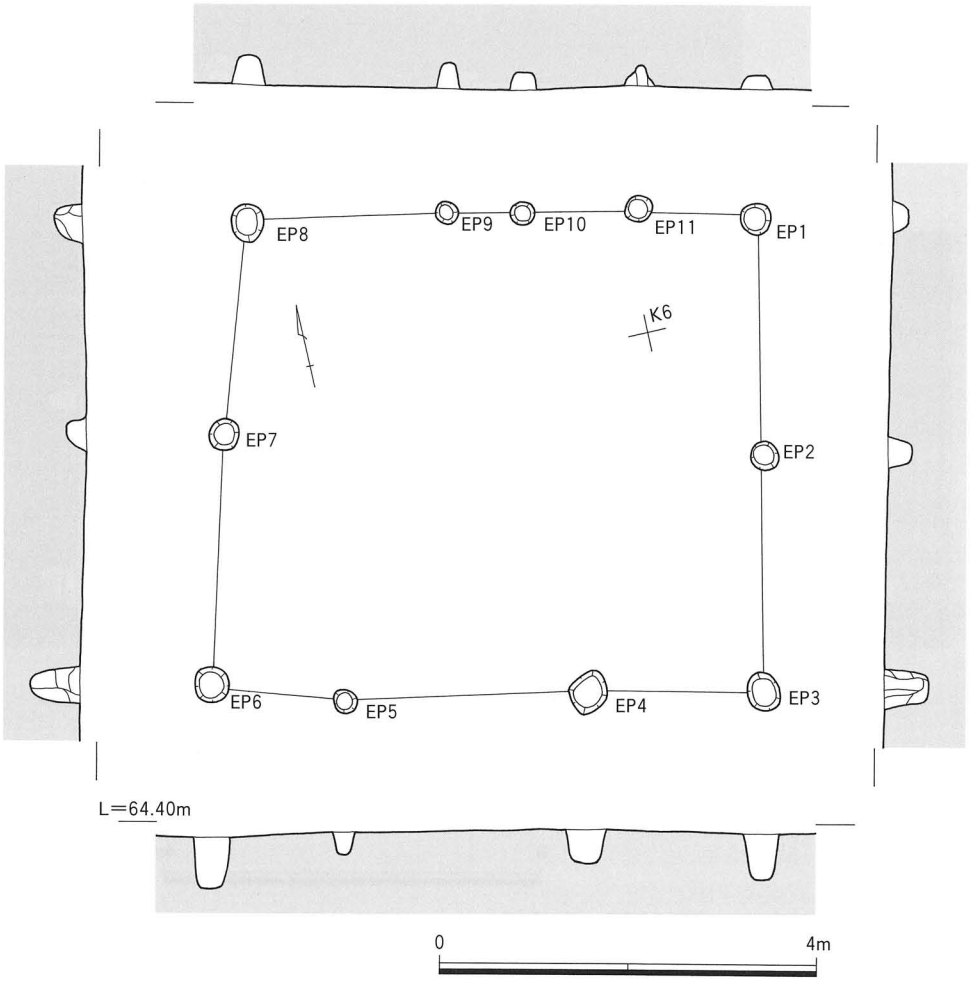
Ⅳ－２区西部北寄り、K・L５・６グリッドに位置する。東西２間（4.3m）南北２間（4.1m）床面積17.6㎡、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N77°Wを向く。柱穴の平面形は円形または不整円形で、径30～55㎝深度10～46㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・３・６で柱痕とみられる土層を確認。遺物はEP２から土師質土器片が出土。

掘立柱建物５号（Ⅳ地区　SA1005）（第555図）

Ⅳ－２区西部北寄り、K・L４・５グリッドに位置。東西２間（5.4m）南北２間（3.9m）床面積21.1㎡、７基の柱穴をもつ側柱建物。主軸はN68°Wを向く。南東隅の柱穴を欠く。柱穴の平面形は隅丸方形か不整円形で、一辺35～65㎝深度24～48㎝。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・５・７で柱痕とみられる土層を確認。遺物はEP１・３・６から須恵器片、土師質土器片・杯・擂鉢・煮炊具が出土。

掘立柱建物６号（Ⅳ地区　SA1006）（第556図）

Ⅳ－２区西部中央、J・K５・６グリッドに位置。東西４間（5.8m）南北２間（5.1m）床面積29.6㎡、11基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N78°Wを向く。柱穴の平面形は円形か不整円形で、径25～45㎝深度16～52㎝。断面はU字状で、EP３・６・11で柱痕とみられる土層を確認。出土遺物は皆無。



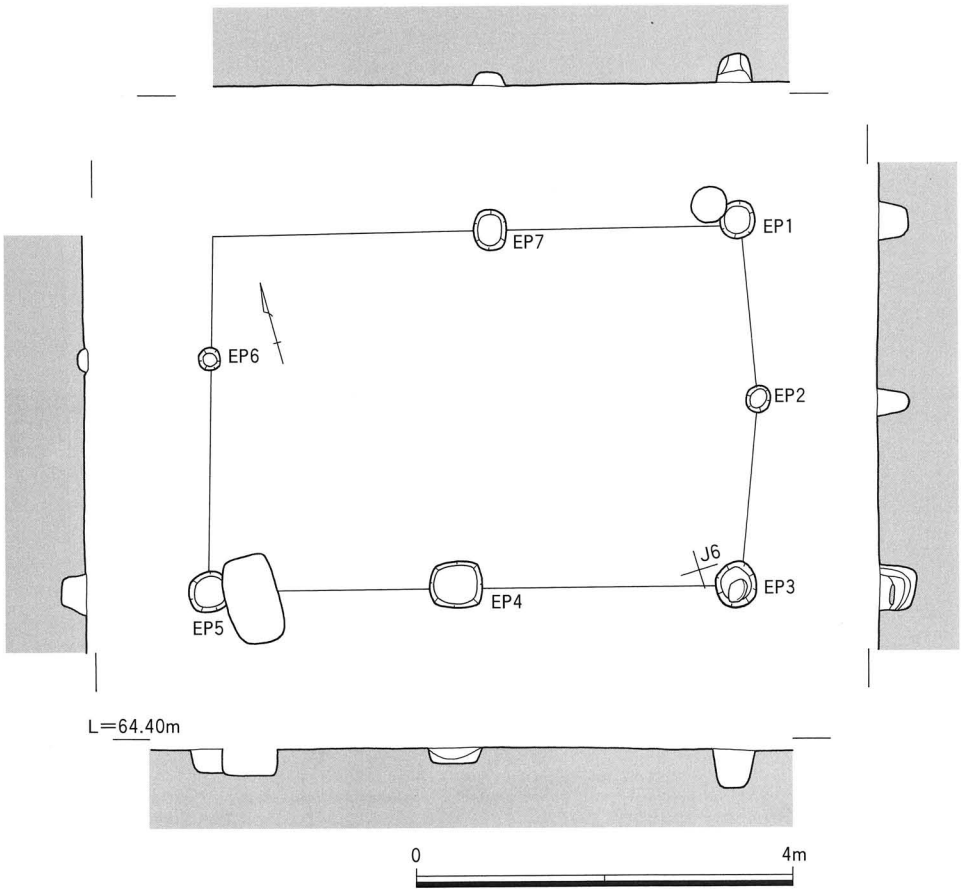
第556図　Ⅳ地区SA1006遺構実測図

掘立柱建物７号（Ⅳ地区　SA1007）（第557～560図）

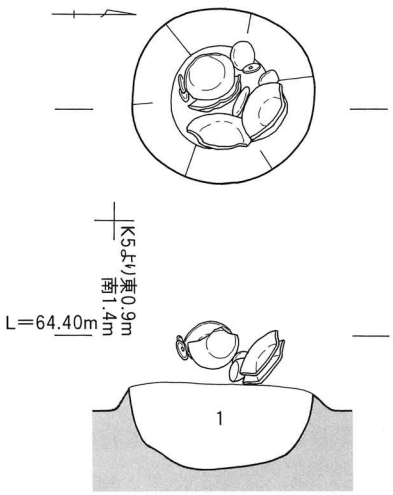
Ⅳ－２区西部南寄り、I～K５・６グリッドに位置する。東西２間（5.8m）南北２間（3.8m）床面積22.0m²、７基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主N73°Wを向く。北西隅の柱穴を欠く。柱穴の平面形は円形または隅丸方形で、径25～60cm深度12～34cm。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・３で柱痕とみられる土層が確認でき、EP３では根石を伴う。

遺物はEP６の検出面から土師質土器皿、銭貨、結晶片岩製円礫が出土。柱の抜き取り後に円礫５点と、銅銭10点、土師皿５点を埋納。皿は比較的上位に位置する。建物撤去に伴う祭祀遺構とみられる。

974～978は土師質土器皿。回転台成形で、底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩・絹雲母を含む。979～988は銅銭。979～981は開元通寶。唐銭で、621年初鋳。979は背月。981は肉薄で郭の整形が雑であることから、私鋳銭の可能性あり。982は乾元重寶。唐銭で、759年初鋳。983・984は元豊通寶の真書体。北宋銭で、1078年初鋳。985は元祐通寶の篆書体。北宋銭で、1086年初鋳。肉薄。986～988は永楽通寶。明朝銭で、1408年初鋳。989～993は結晶片岩製円礫。径４cm前後の扁平な円礫である。加工痕はみられない。遺構の年代は、出土遺物から16世紀頃と考えられる。

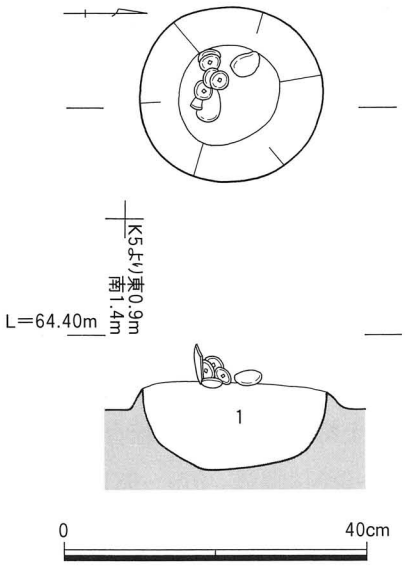


第557図　Ⅳ地区SA1007遺構実測図

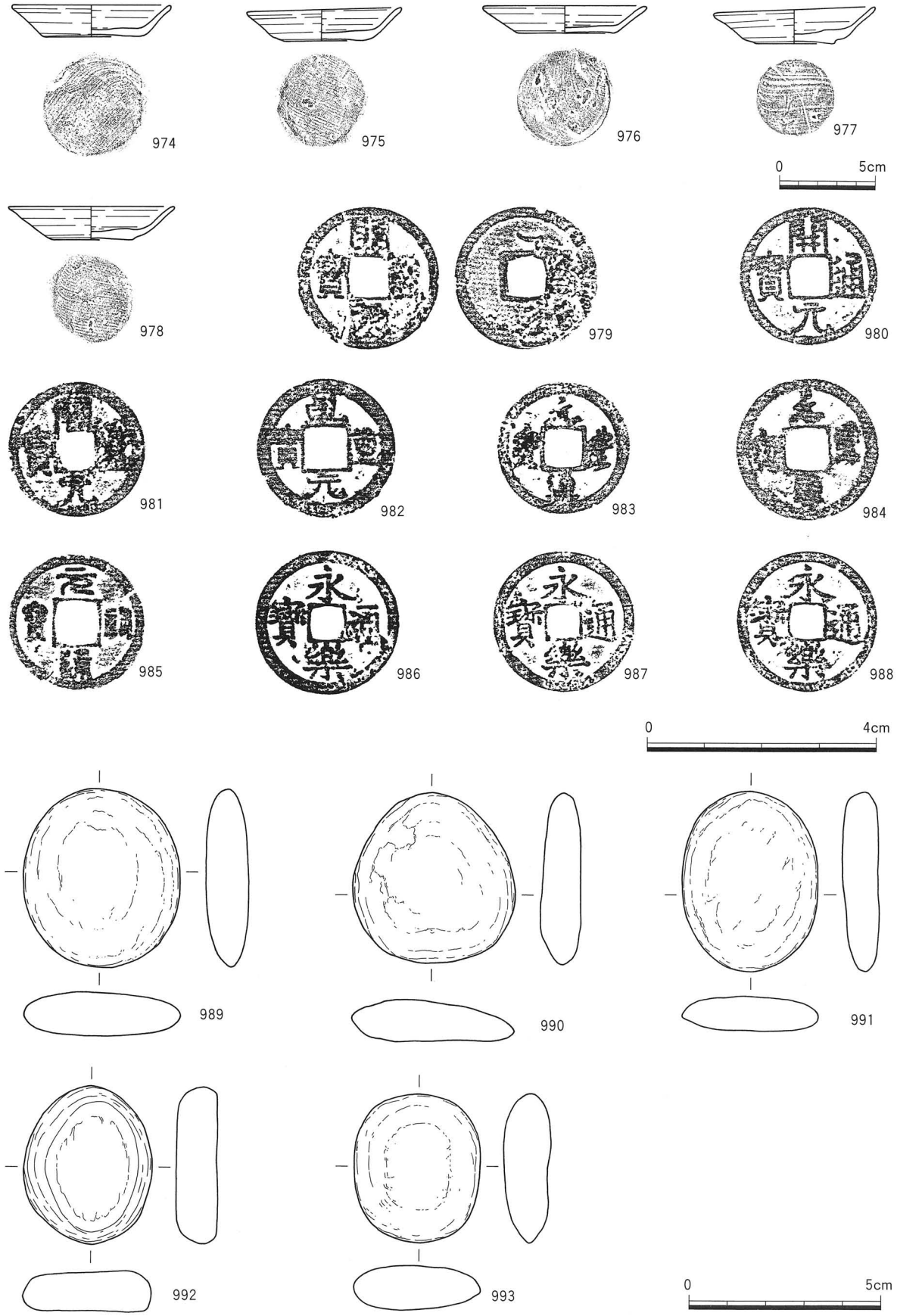


1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）

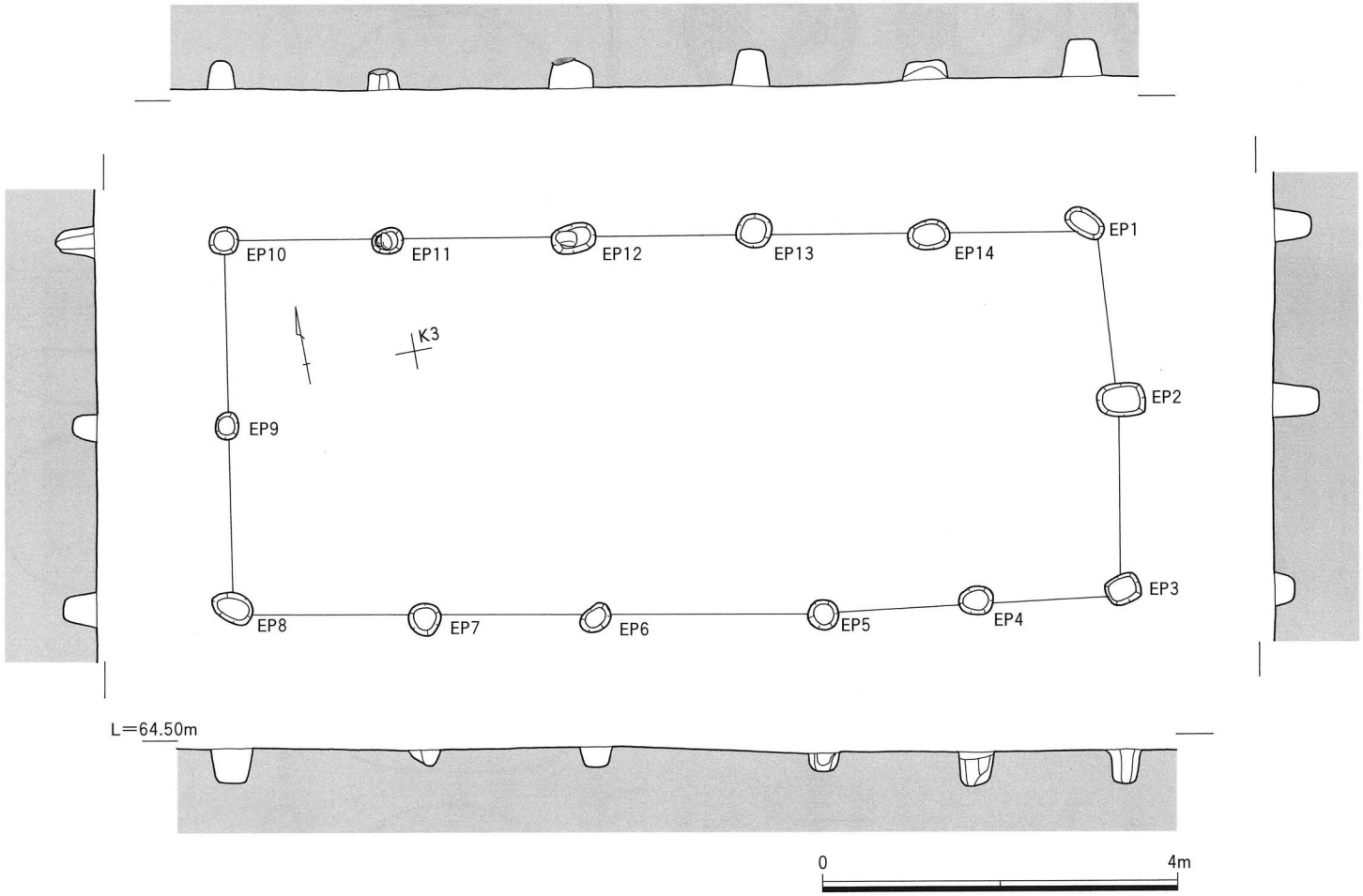
第558図　Ⅳ地区SA1007 EP6
遺物出土実測図（上位）



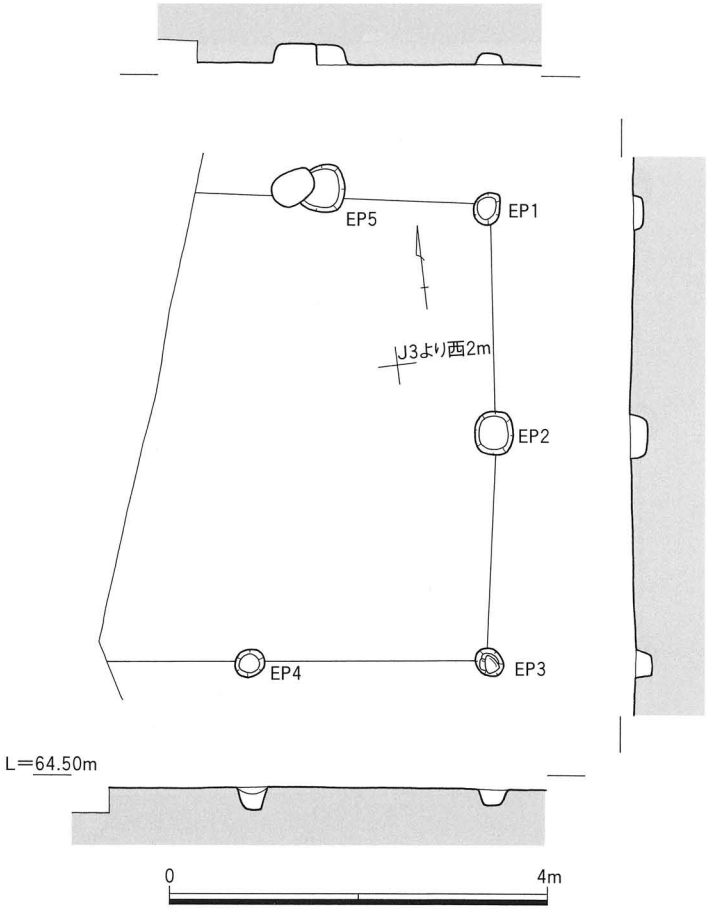
第559図　Ⅳ地区SA1007 EP6
遺物出土実測図（下位）



第560図　Ⅳ地区SA1007 EP6遺物実測図



第561図　Ⅳ地区SA1008遺構実測図



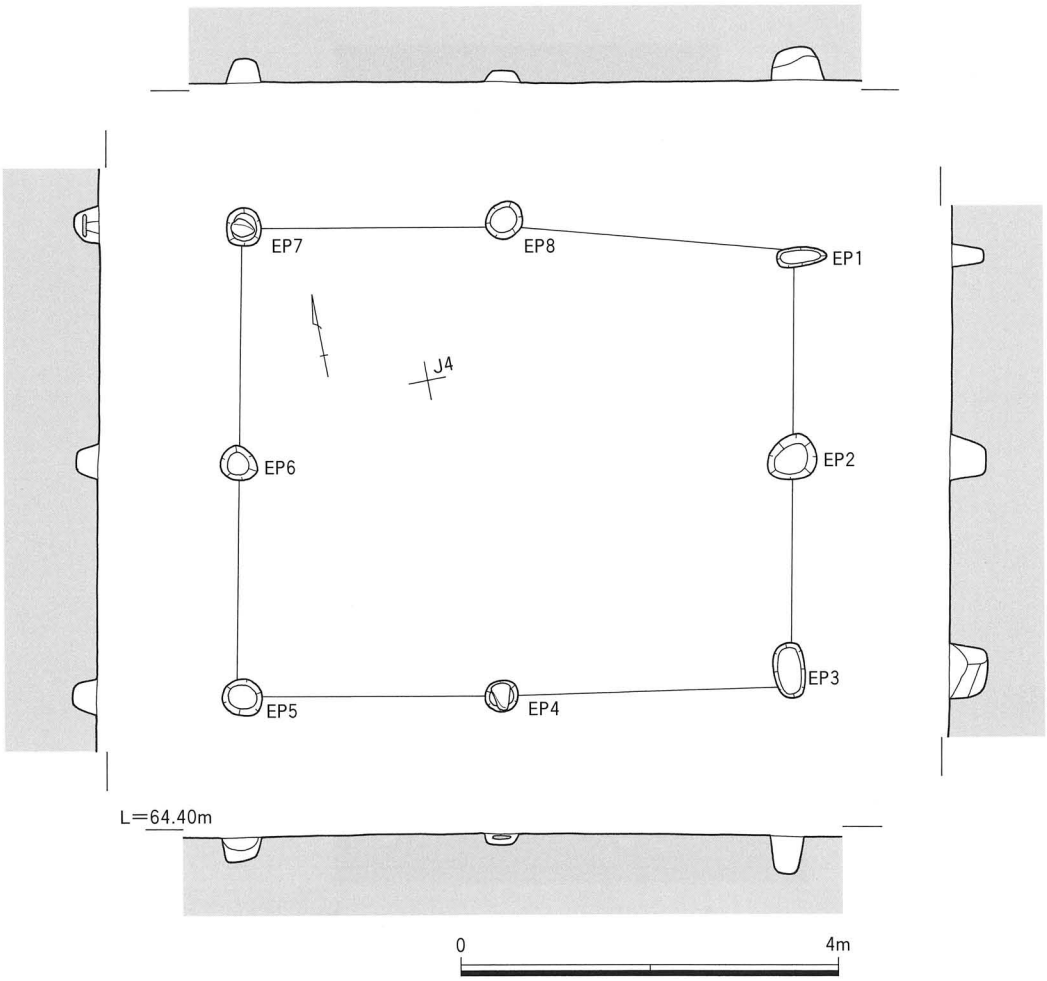
第562図　Ⅳ地区SA1009遺構実測図

掘立柱建物８号（Ⅳ地区　SA1008）（第561図）

Ⅳ－２区西端部南寄り、J・K２～４グリッドに位置する。東西５間（9.9m）南北２間（4.2m）床面積41.6㎡、14基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N80°Wを向く。柱穴の平面形は隅丸方形か楕円形で、一辺30～55㎝深度18～52㎝。断面は逆台形状またはU字状で、EP３～５・７・10・11で柱痕とみられる土層が確認でき、EP11・12で根石を伴う。遺物はEP12・14から、須恵器片、土師質土器片・皿（静止糸切り）、青磁碗（細蓮弁）が出土。概ね16世紀頃とみられる。

掘立柱建物９号（Ⅳ地区　SA1009）（第562図）

Ⅳ－２区西端部南端、I・J２グリッドに位置し、西は調査区外に延びる。東西推定２間以上（4.1m以上）南北２間（5.0m）床面積20.5㎡以上、５基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N13°Eを向く。柱穴の平面形は円形または不整円形で、径35～50㎝深度12～24㎝を測る。断面は逆台形状で、柱痕は確認できない。出土遺物は皆無。



第563図　Ⅳ地区SA1010遺構実測図

掘立柱建物10号（Ⅳ地区　SA1010）（第563図）

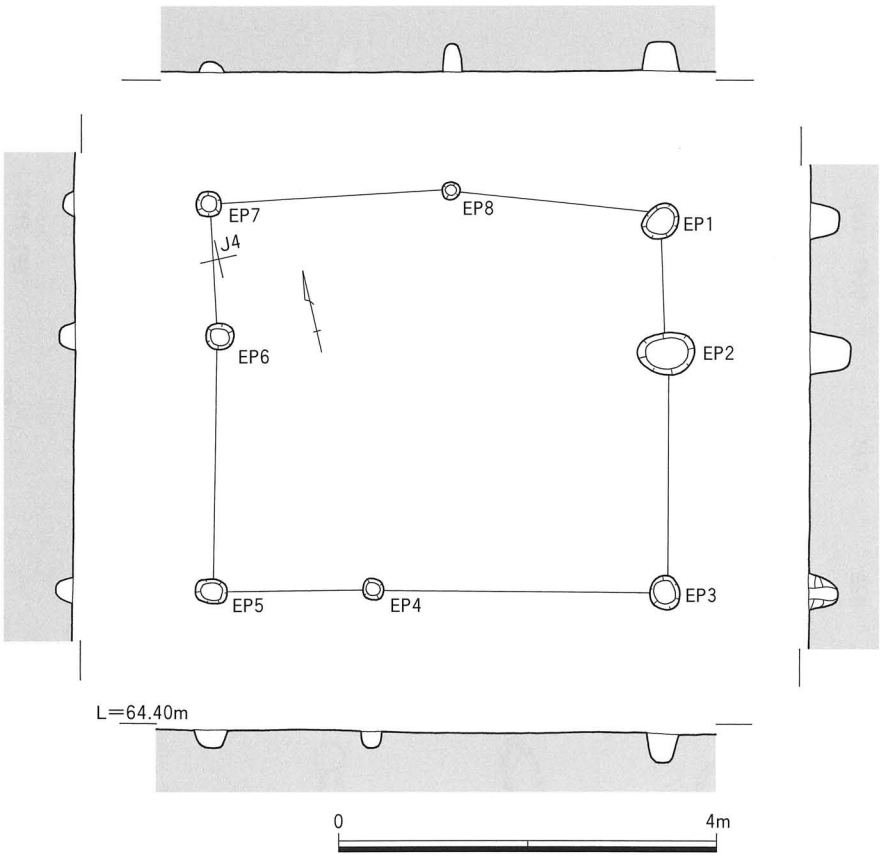
Ⅳ－２区西部南側、I・J３・４グリッドに位置する。東西２間（5.9m）南北２間（4.9m）床面積28.9㎡、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N79°Wを向く。柱穴の平面形は円形または楕円形で、径40～60㎝深度13～42㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP３・７で柱痕とみられる土層が確認でき、EP４・７では根石を伴う。遺物はEP５から、土師質土器煮炊具が出土。

掘立柱建物11号（Ⅳ地区　SA1011）（第564図）

Ⅳ－２区西部南側、I・J３・４グリッドに位置する。東西２間（4.8m）南北２間（4.2m）床面積20.2㎡、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N77°Wを向く。柱穴の平面形は不整円形または隅丸方形で、径20～65㎝深度13～44㎝を測る。断面はU字状で、EP３で柱痕とみられる土層を確認。

掘立柱建物12号（Ⅳ地区　SA1012）（第565図）

Ⅳ－２区西部南端、J～I４～６グリッドに位置する。東西３間（6.4m）南北３間（5.8m）床面積37.4



第564図　Ⅳ地区SA1011遺構実測図

㎡〈北庇部含めて東西４間（6.4m）41.0㎡〉、17基の柱穴をもつ北庇付きの側柱建物で、建物主軸N77°Wを向く。柱穴の平面形は円形または楕円形・隅丸方形で、径30～110㎝深度11～46㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・８・10・14・15で柱痕とみられる土層を確認。

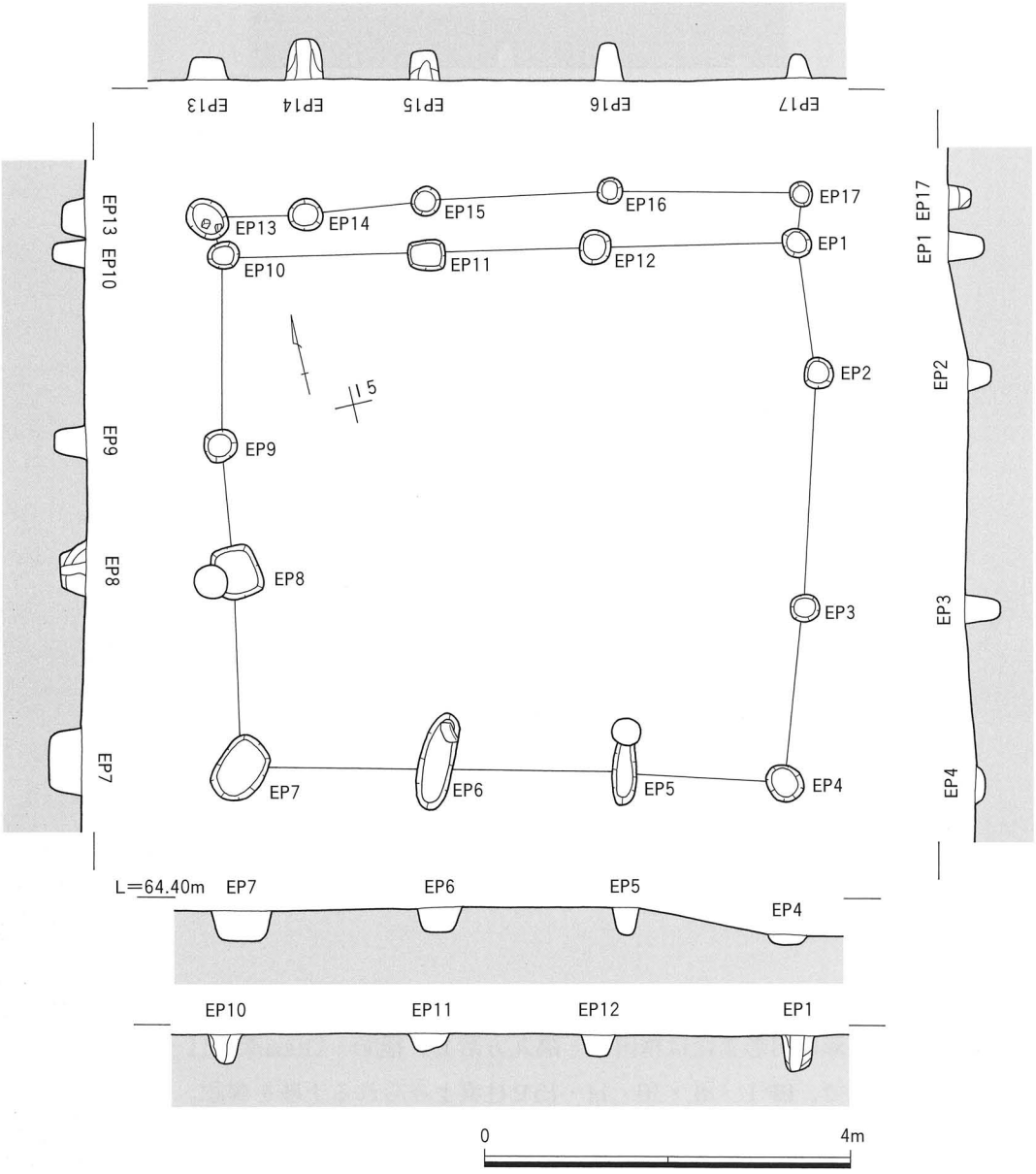
遺物はEP６・７・９・12・16から、須恵器片、土師質土器片・杯・皿（静止糸切り）・羽釜が出土。概ね16世紀頃とみられる。

掘立柱建物13号（Ⅳ地区　SA1013）（第566図）

Ⅳ－２区中央部北寄り、I・J８・９グリッドに位置する。東西２間（5.0m）南北２間（3.9m）床面積19.5㎡、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N80°Wを向く。柱穴の平面形は円形または隅丸方形で、径35～55㎝深度18～50㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・３～６・８で柱痕とみられる土層を確認し、EP１・２・４・５・７・８で根石を伴う。遺物はEP４から土師質土器片が出土。

掘立柱建物14号（Ⅳ地区　SA1014）（第567図）

Ⅳ－２区中央部、H・I８～10グリッドに位置する。東西２間（5.8m）南北２間（4.5m）床面積26.2㎡、７基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N68°Wを向く。柱穴の平面形は円形または不整円形で、

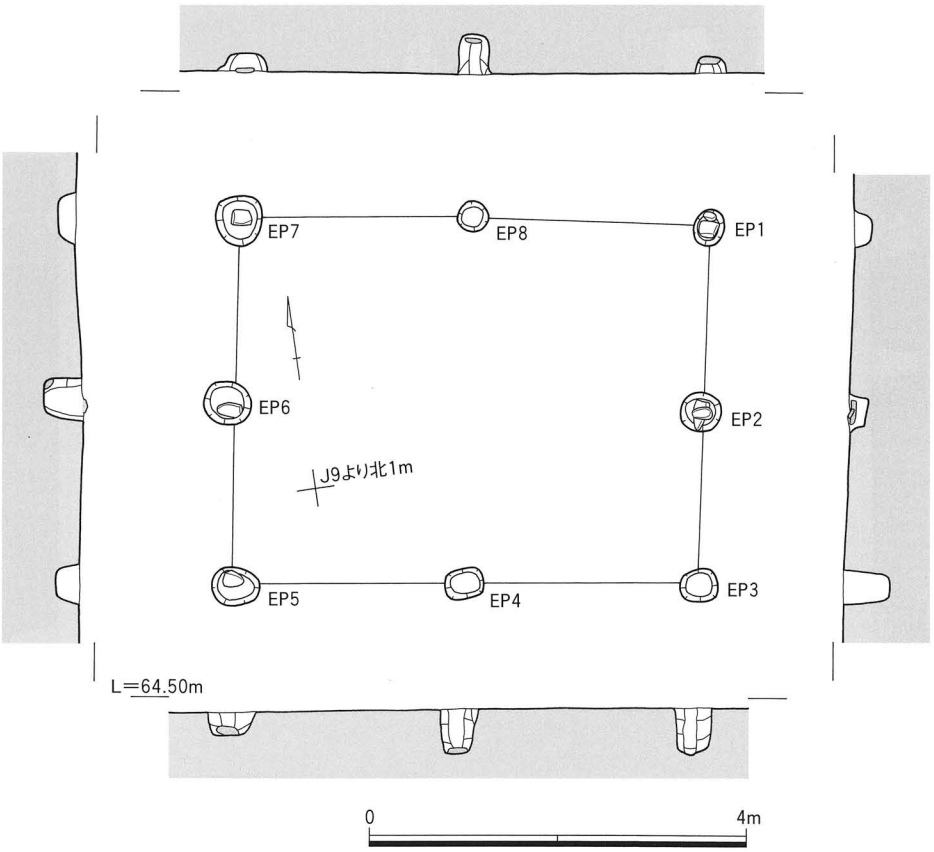


第565図　Ⅳ地区SA1012遺構実測図

径35～70㎝深度13～52㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP2・4・6・7で柱痕とみられる土層を確認。遺物はEP5から鉄滓が出土。

掘立柱建物15号（Ⅳ地区　SA1015）（第568図）

Ⅳ－2区中央部南寄り、F・G11～13グリッドに位置する。東西5間（10.4m）南北2間（4.3m）床面積45.1㎡、13基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N79°Wを向く。柱穴の平面形は円形または不整円形で、径30～50㎝深度20～46㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP7～11で柱痕とみられる土層を確認し、EP3・7で根石を伴う。出土遺物は皆無。



第566図　Ⅳ地区SA1013遺構実測図

柵列１号（Ⅳ地区　SG1001）（第569図）

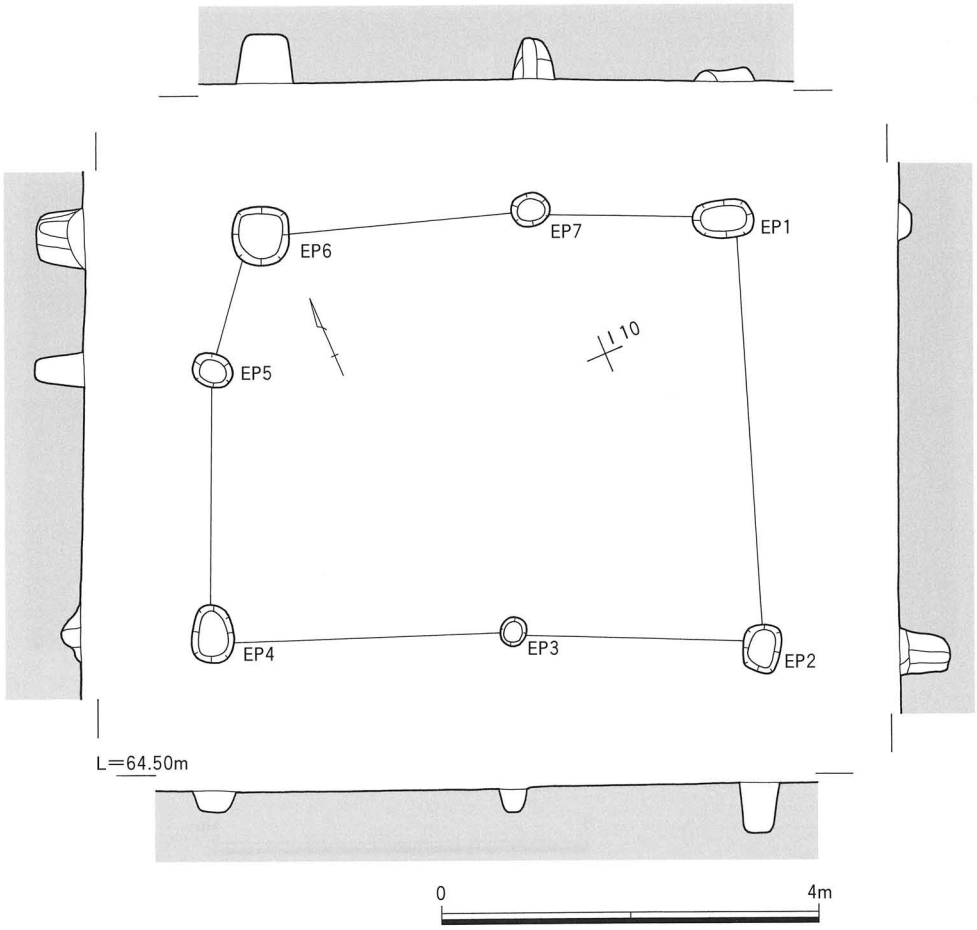
Ⅳ－２区東部南端、D13・14グリッドに位置する。東西２間（4.8m）南北１間（2.3m）４基の柱穴がＬ字形に列ぶ柵列で、主軸はN84°Wを向く。柱穴の平面形は円形または楕円形で、径22～49cm深度14～32cmを測る。断面は逆台形状またはＵ字状で、明確な柱痕はみられない。遺物はEP１から土師質土器片が出土。

土坑９号（Ⅳ地区　SK1009）（第570図）

Ⅳ－１区西側南側、M13グリッドに位置する、長軸145cm短軸90cm深度13cmを測る隅丸長方形の土坑。主軸はN14°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は２層に分層。出土遺物は１点のみで、994は須恵器杯の上半部。焼成やや不良で、胎土に結晶片岩を含む。概ね８～９世紀代とみられる。

土坑28号（Ⅳ地区　SK1028）（第571図）

Ⅳ－１区東部北側、N18グリッドに位置する、長軸117cm短軸80cm深度７cmを測る楕円形の土坑。主軸はN70°Wを向く。断面は浅い皿状で、埋土は１層。遺物は須恵器蓋、鉄釘が出土。995は須恵器蓋。天井部はほぼ水平で、中央部を欠く。概ね８～９世紀代とみられる。



第567図　Ⅳ地区SA1014遺構実測図

土坑46号（Ⅳ地区　SK1046）（第572図）

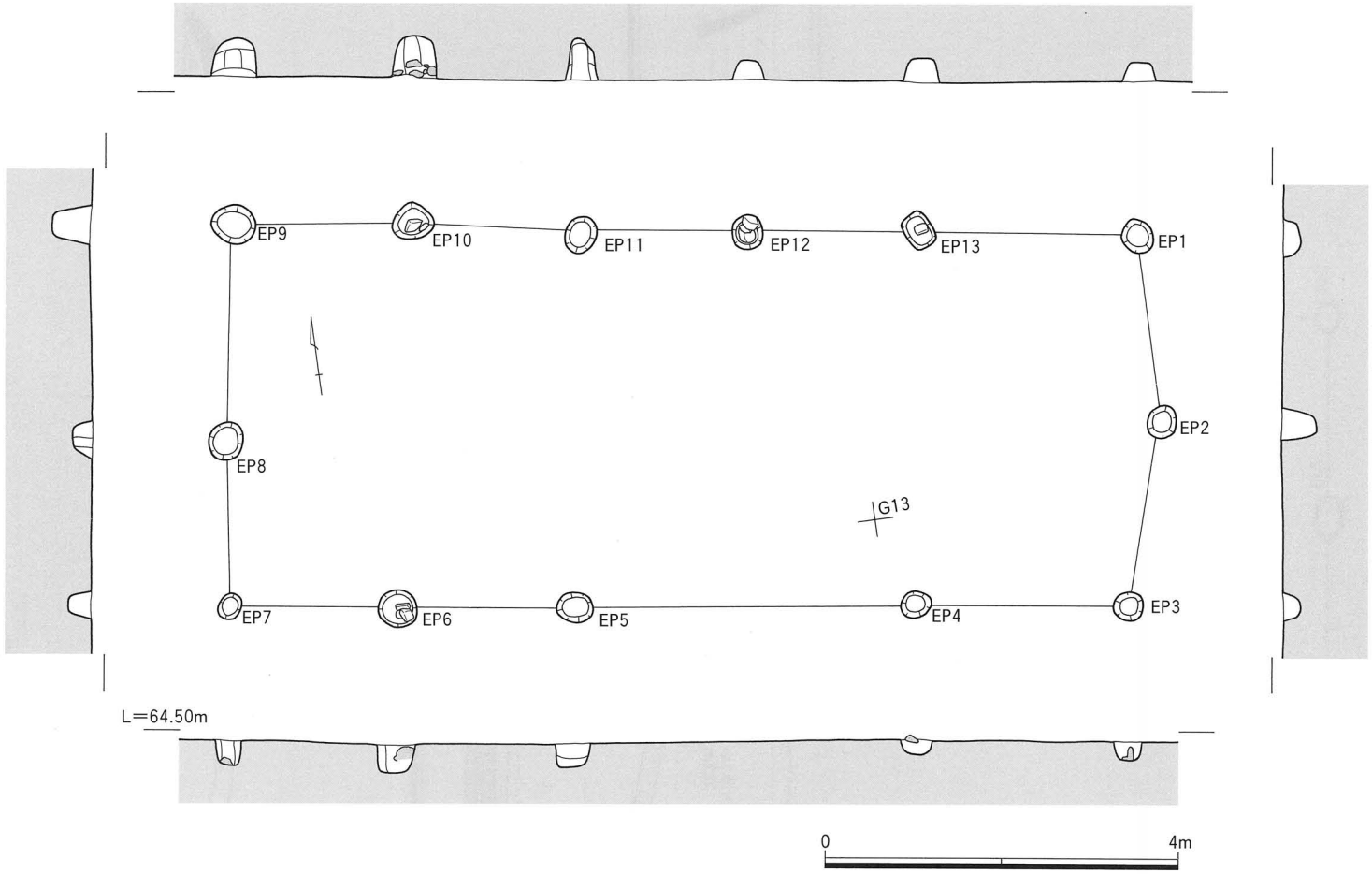
Ⅳ－２区西部南寄り、J13グリッドに位置する、長軸106cm短軸58cm深度24cmを測る不整な隅丸長方形の土坑。主軸はN90°WEを向く。断面は不整な方形で、埋土は１層。遺物は備前陶器甕、鉄滓が出土。996は備前焼の陶器甕。口縁は上下に拡張した玉縁。重根編年ⅣB期、15世紀代とみられる。

土坑47号（Ⅳ地区　SK1047）（第573図）

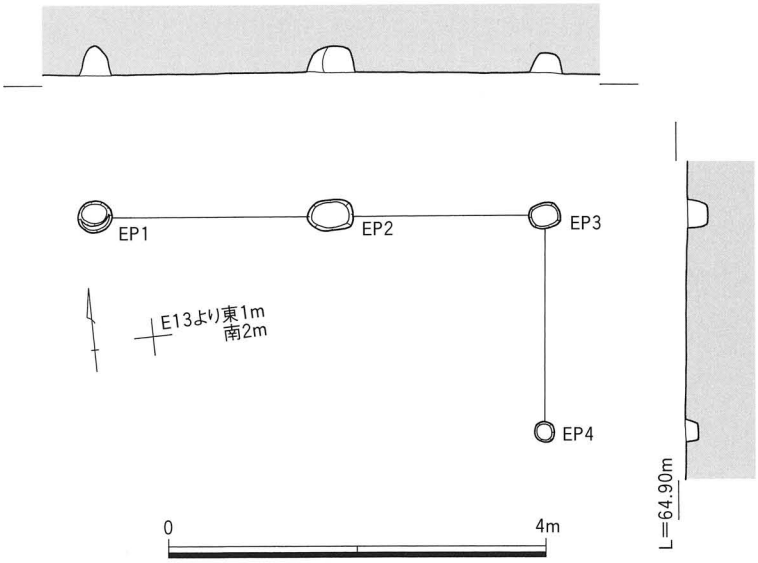
Ⅳ－２区西部南寄り、J４グリッドに位置する、長軸174cm短軸74cm深度48cmを測る楕円形土坑。主軸はN90°WEを向く。断面は不整な逆台形状で、底面の東西それぞれに不整円形の落ち込みを有する。埋土は４層に分層。遺物は土師質土器片・煮炊具（格子タタキほか）・羽釜、鉄製品片が出土。997は東予型の土師質土器羽釜。鍔部は低い凸帯状で、貼付痕は確認できない。概ね15～16世紀代とみられる。

土坑48号（Ⅳ地区　SK1048）（第574・575図）

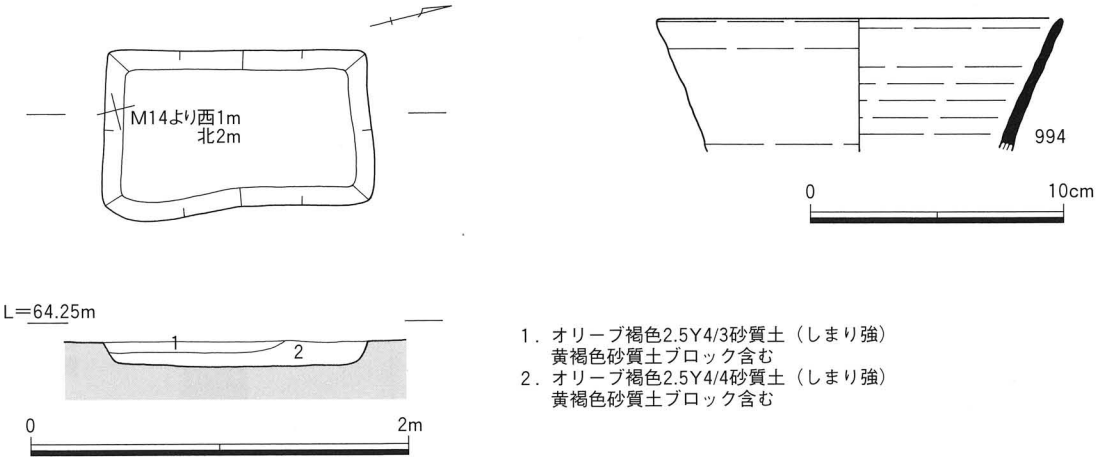
Ⅳ－２区西部北寄り、K４グリッドに位置する、長軸94cm短軸74cm深度52cmを測る円形土坑。西側に小穴を伴う。断面は逆台形状で、備前焼甕を埋置した埋甕遺構。下半部が遺存し、口縁～体部上位は内部に落ち込む。検出面で径約30cmの扁平な円礫が出土。埋土は９層に分層でき、第１・２層が西側ピッ



第568図　Ⅳ地区SA1015遺構実測図

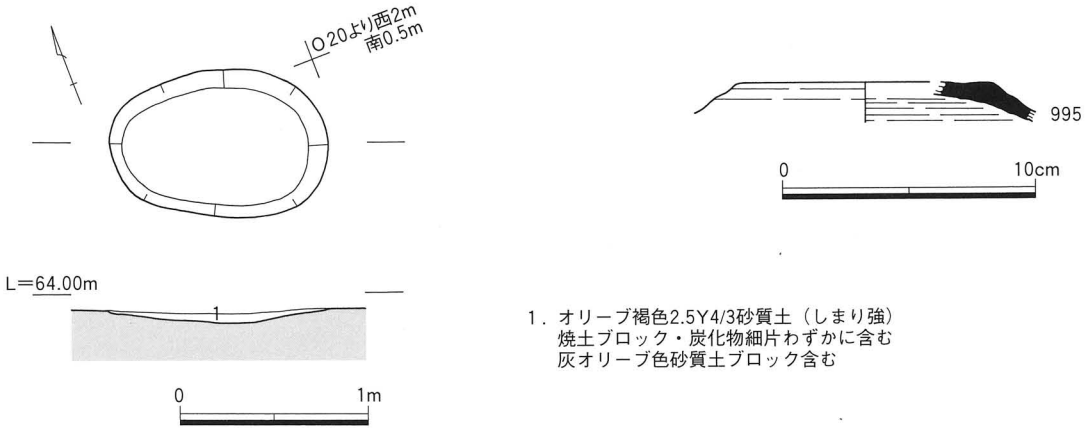


第569図　Ⅳ地区SG1001遺構実測図



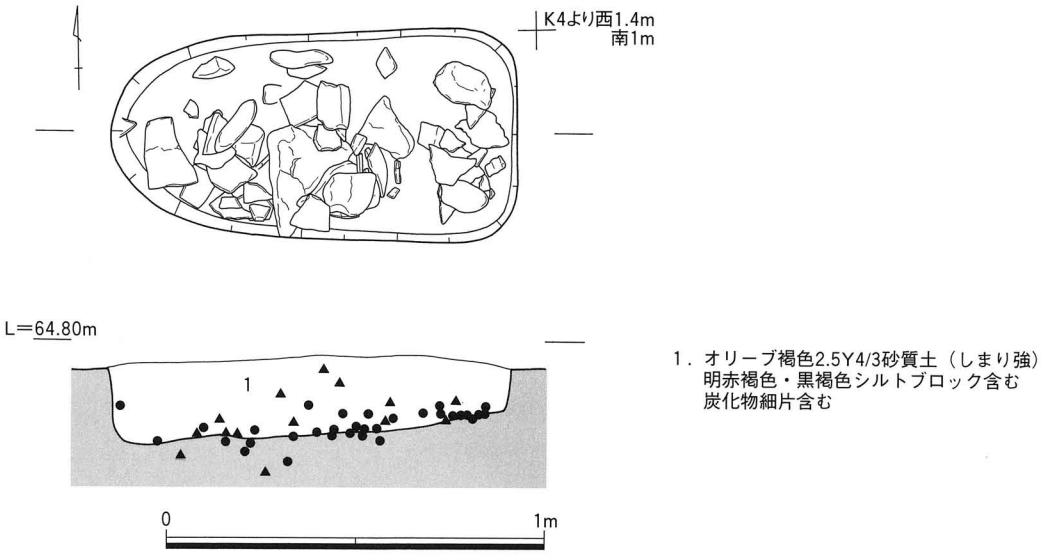
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　黄褐色砂質土ブロック含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）
　黄褐色砂質土ブロック含む

第570図　Ⅳ地区SK1009遺構・遺物実測図

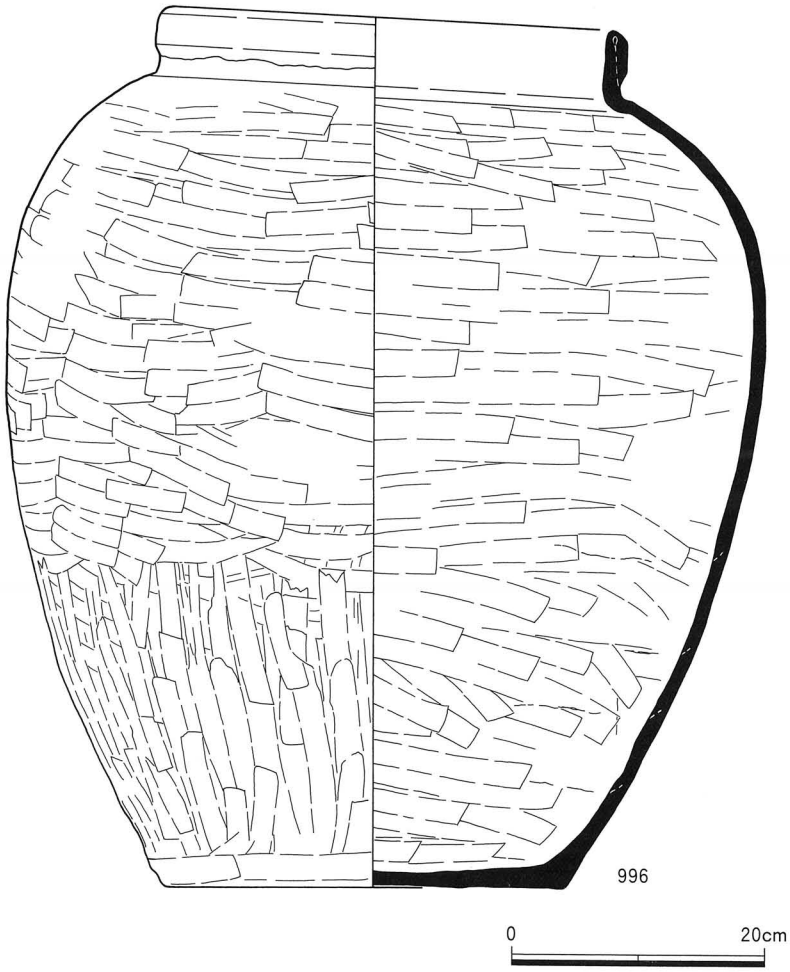


1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　焼土ブロック・炭化物細片わずかに含む
　灰オリーブ色砂質土ブロック含む

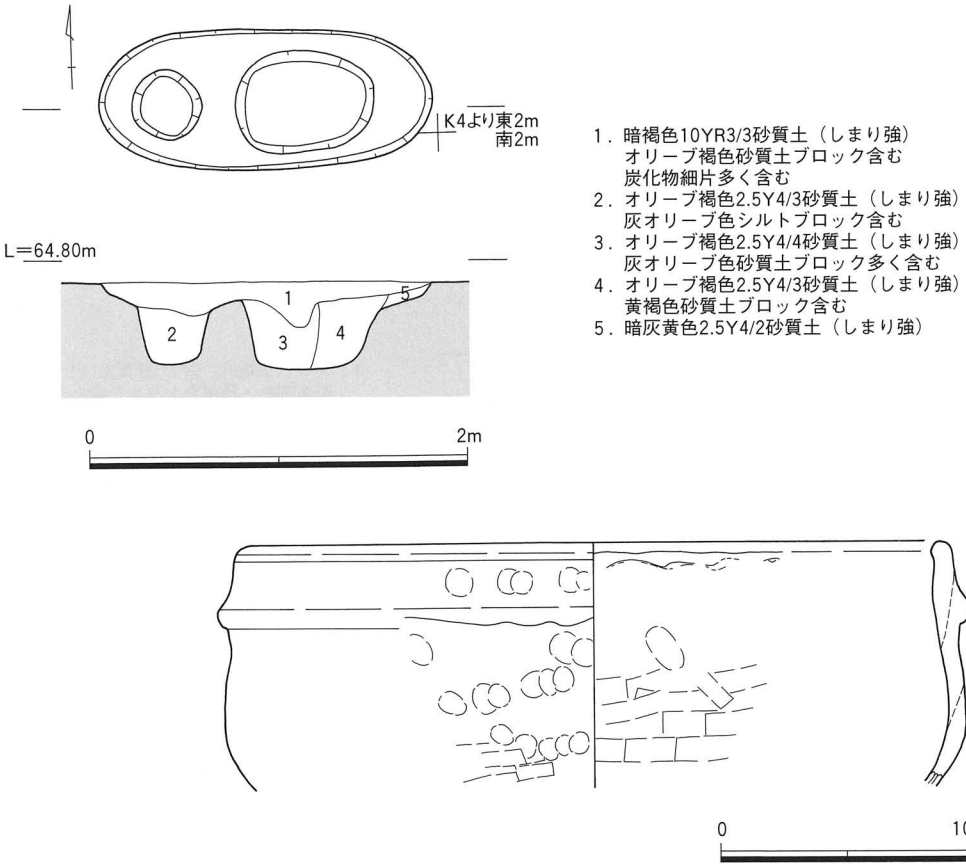
第571図　Ⅳ地区SK1028遺構・遺物実測図



1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
明赤褐色・黒褐色シルトブロック含む
炭化物細片含む



第572図　Ⅳ地区SK1046遺構・遺物実測図



第573図　Ⅳ地区SK1047遺構・遺物実測図

ト、第３～５層が甕内埋土、第６～９層が甕外側の埋土である。

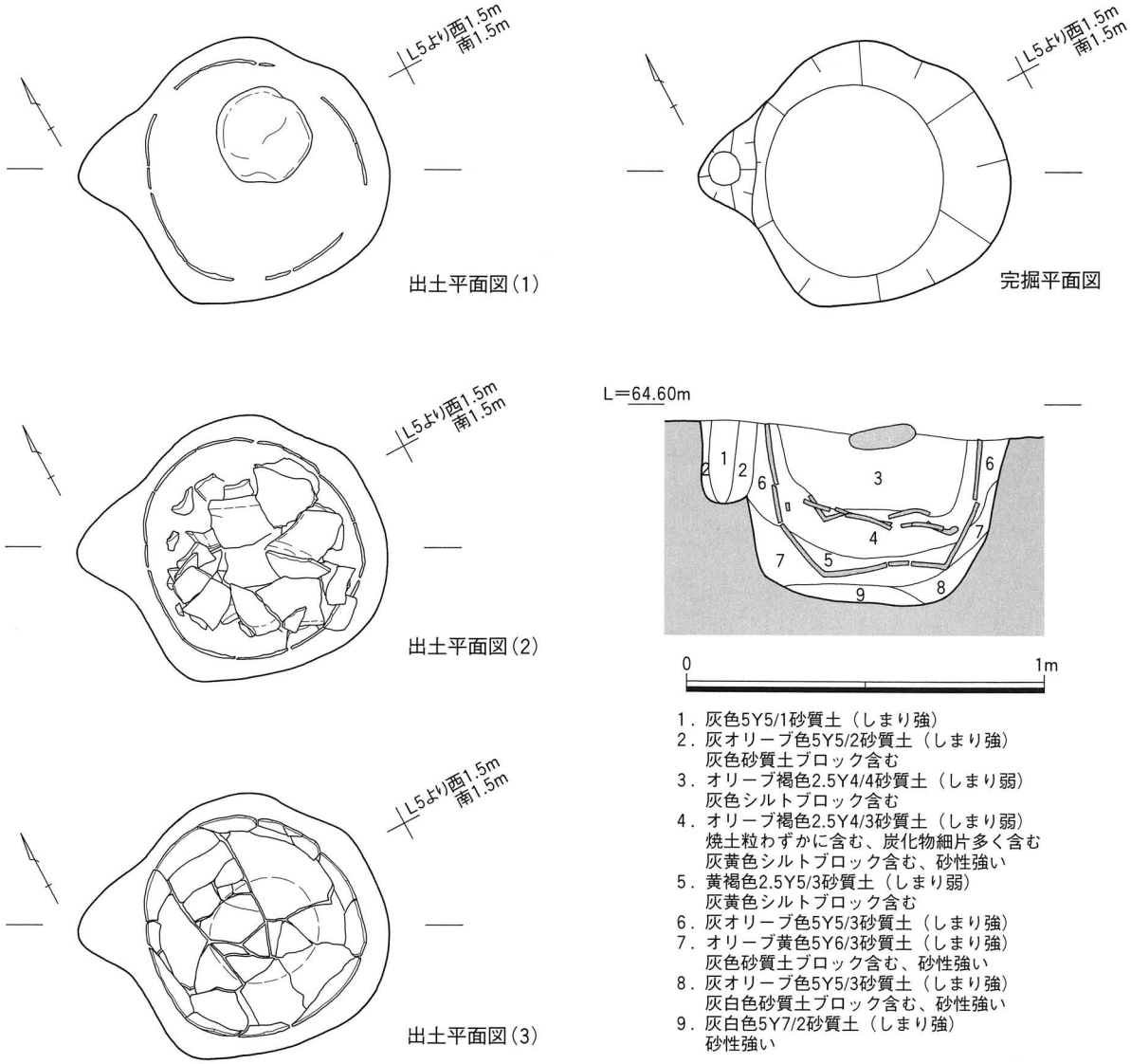
遺物は須恵器片、土師質土器片・杯・煮炊具(格子タタキほか)・羽釜、備前陶器甕、白磁碗、鉄釘、骨片が出土。998は白磁皿の下半部。高台は４ヶ所に抉りをもつ割高台。釉に貫入を伴う。森田分類白磁皿Ｄ群に相当し、15世紀前半頃と考えられる。999は備前焼の陶器甕。口縁は玉縁に作る。重根編年ⅣＡ期に相当し、14世紀後半頃の年代が与えられる。1000・1001は鉄釘。頭部をＬ字に屈曲させ、平頭に作る。遺構の年代は、出土遺物から概ね15世紀代と考えられる。

土坑52号（Ⅳ地区　SK1052）（第576図）

Ⅳ－２区西部中央、Ｊ・Ｋ４グリッドに位置し、東は遺構に切られる。長軸残存長222cm短軸220cm深度14cmを測る隅丸方形の土坑。主軸はN83°Wを向く。断面は皿状で、埋土は１層。遺物は土師質土器杯（回転糸切り）・羽釜、備前陶器擂鉢が出土。1002は土師質土器羽釜。鍔部は折り曲げ技法で作る。内面にヨコハケを施す。14世紀末～15世紀前半頃か。

土坑53号（Ⅳ地区　SK1053）（第577図）

Ⅳ－２区西部北寄り、Ｋ５グリッドに位置する、長軸42cm短軸36cm深度28cmを測る不整形の土坑。断面は逆台形状で、埋土は１層。出土遺物は１点のみで、1003は土師質土器擂鉢の口縁部。片口付近のため歪む。外面にユビオサエのち板ナデ、内面にヨコハケのち擂目を施す。15～16世紀代とみられる。



第574図　Ⅳ地区SK1048遺物出土実測図・遺構実測図

土坑55号（Ⅳ地区　SK1055）（第578図）

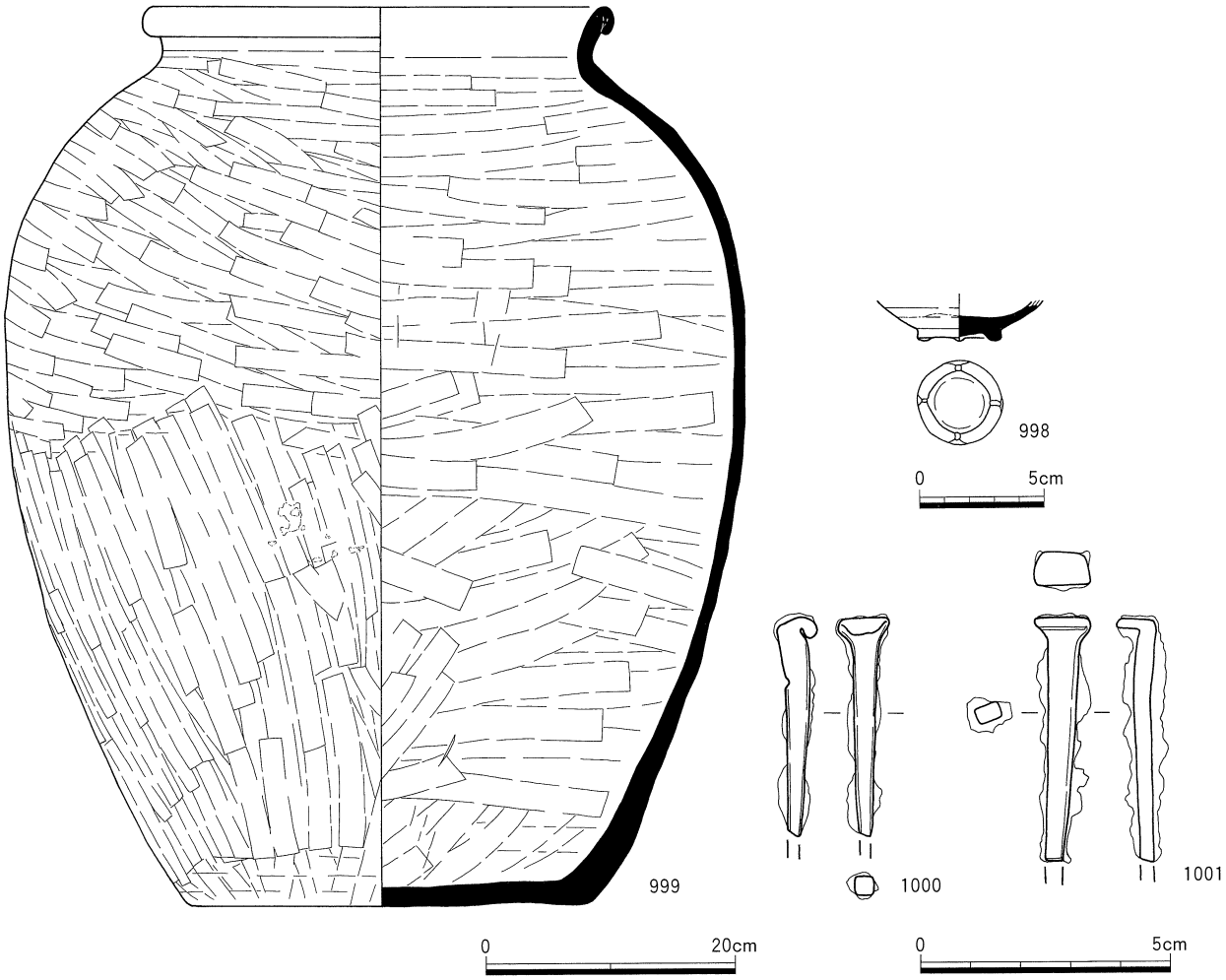
Ⅳ－２区中央部南側、F・G10グリッドに位置する、長軸130cm短軸106cm深度16cmを測る楕円形の土坑。主軸はN27°Eを向く。断面は皿状で、埋土は１層。遺物は土師質土器片・煮炊具、備前陶器片、鉄釘が出土。1004は鉄釘。頂部を叩いて平頭に作る。遺構の年代は、概ね中世後半期と考えられる。

土坑59号（Ⅳ地区　SK1059）（第579図）

Ⅳ－２区中央部南端、E12グリッドに位置する、長軸190cm短軸172cm深度28cmを測る円形の土坑。断面逆台形状で、埋土は２層。遺物は土師質土器片・羽釜、鉄製刀子・釘が出土。1005は鉄製の刀子。

土坑69号（Ⅳ地区　SK1069）（第580図）

Ⅳ－２区西端部南側、J２グリッドに位置する、長軸90cm短軸40cm深度34cmを測る不整な楕円形の土



第575図　Ⅳ地区SK1048遺物実測図

坑。主軸はN87°Eを向く。断面は逆台形状で、東側に上からの掘削によるピット状の掘り込みがあり、底面に30cm大の礫を根石状に据える。埋土は2層。大型柱穴の可能性あり。遺物は土師質土器片・甕が出土。1006は土師質土器甕の口縁部。端部を外反させ、小さな玉縁状に作る。産地・時期不明。

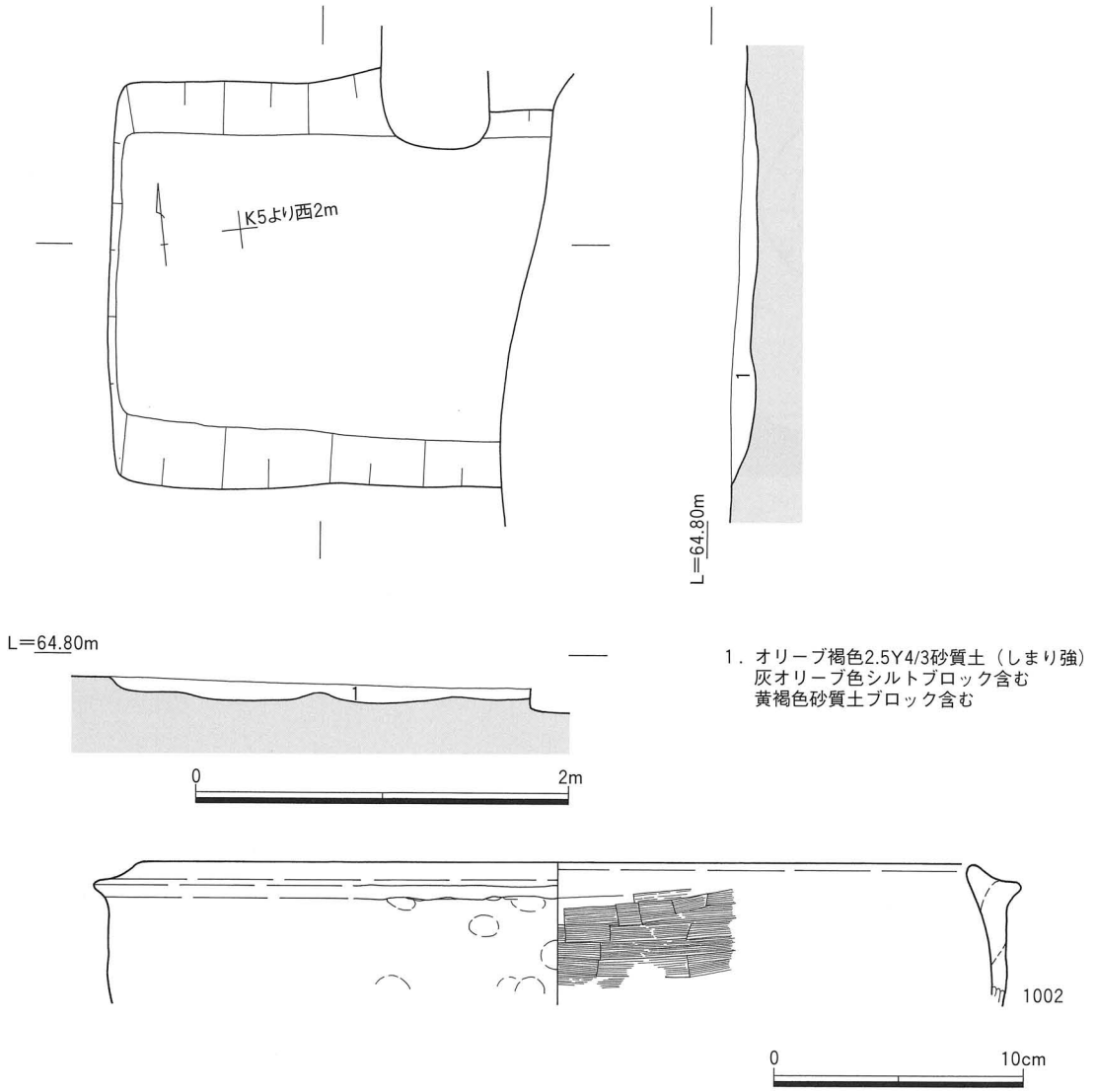
土坑71号（Ⅳ地区　SK1071）（第581図）

Ⅳ－2区西端部南側、I2グリッドに位置する、長軸125cm短軸50cm深度36cmを測る楕円形土坑。主軸はN67°Wを向く。断面逆台形状で、埋土は1層。遺物は須恵器片、土師質土器煮炊具・脚部、鉄釘・不明鉄製品が出土。1007は不明鉄製品。幅6㎜厚さ2㎜、断面長方形の鉄板をヘアピン状に曲げる。

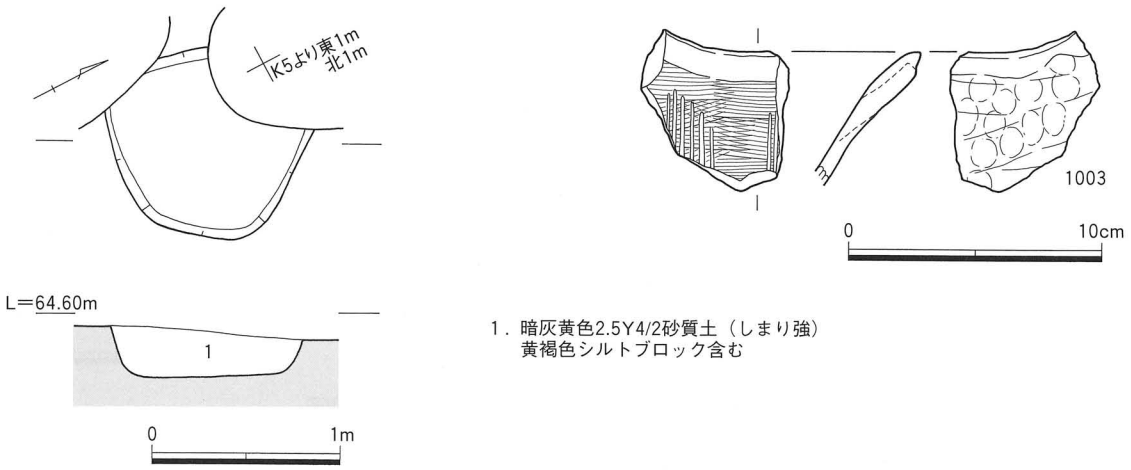
土坑79号（Ⅳ地区　SK1079）（第582図）

Ⅳ－2区西部北側、L・M3グリッドに位置する、長軸425cm短軸95cm深度34cmを測る隅丸長方形の土坑。主軸はN20°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は6層に分層。

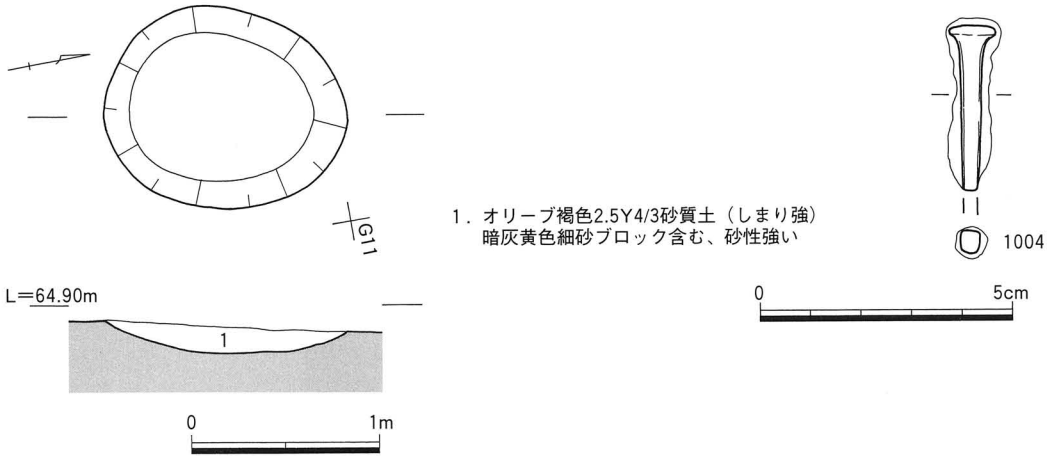
遺物は土師質土器杯（静止糸切り）・擂鉢・煮炊具、備前陶器片、鉄釘、鉄刀子、鉄製火打ち金が出土。1008は三角形状の鉄製品で、火打ち金とみられる。図の左下端が浅く抉れており、使用によるもの



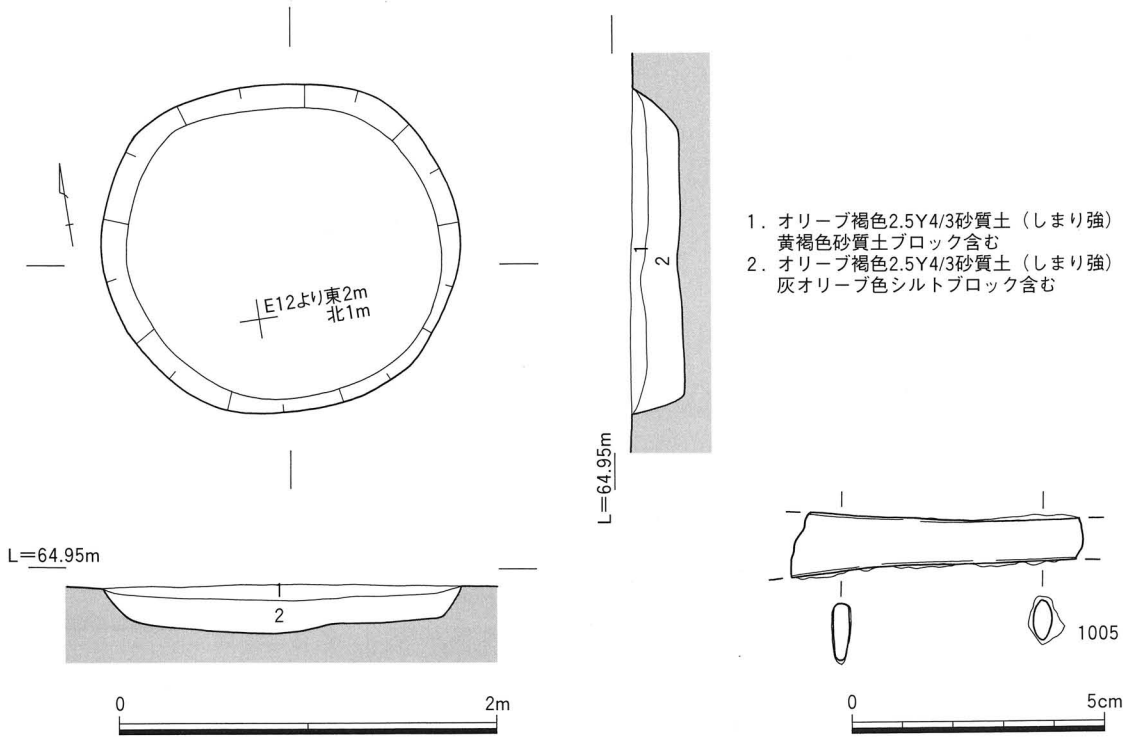
第576図　Ⅳ地区SK1052遺構・遺物実測図



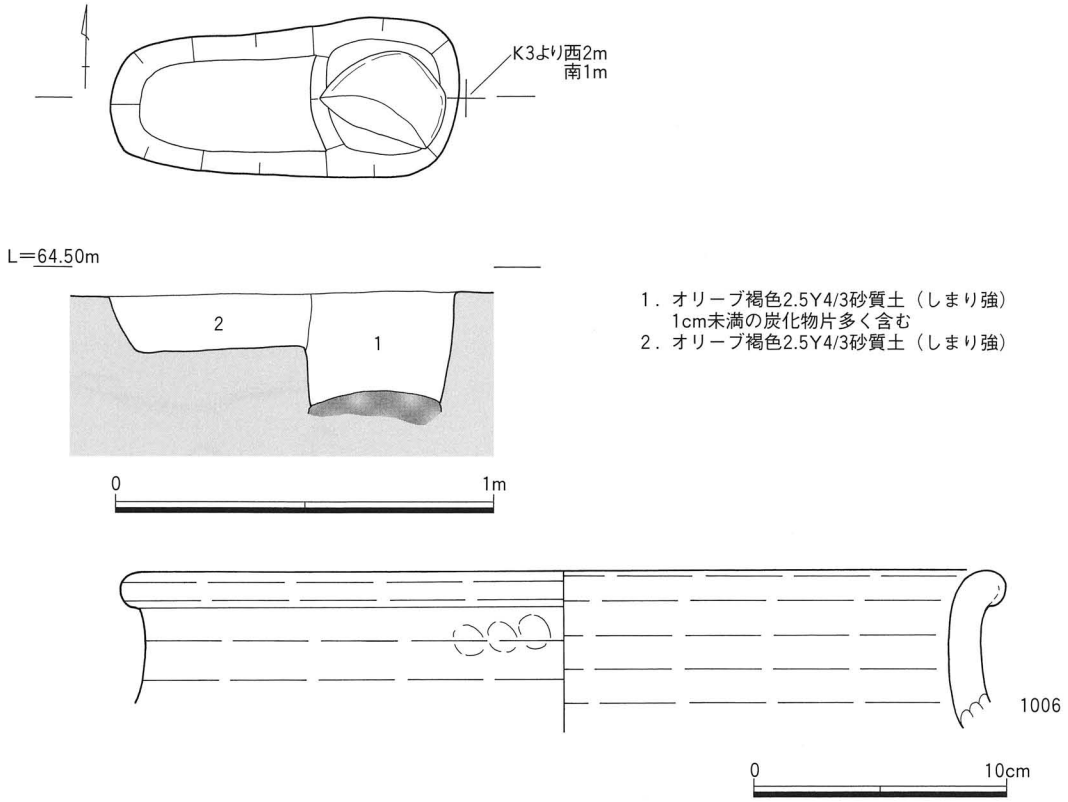
第577図　Ⅳ地区SK1053遺構・遺物実測図



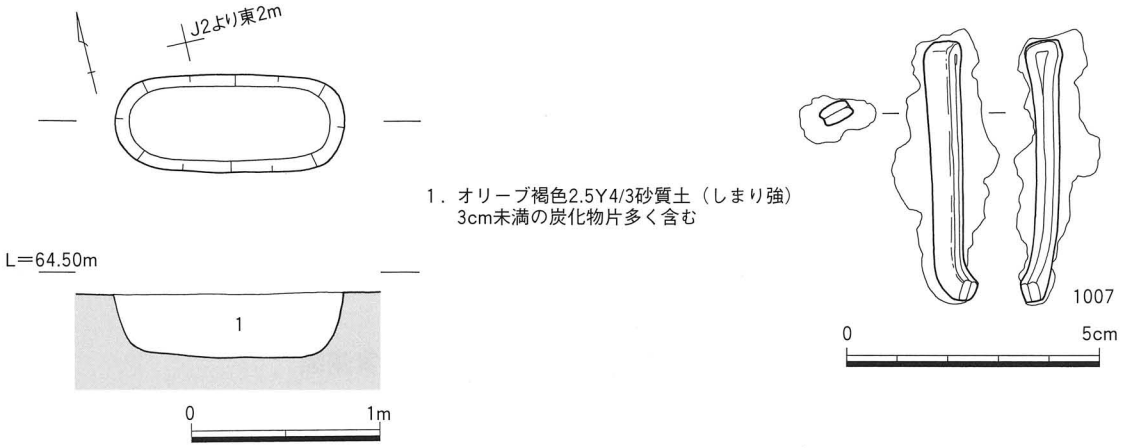
第578図　Ⅳ地区SK1055遺構・遺物実測図



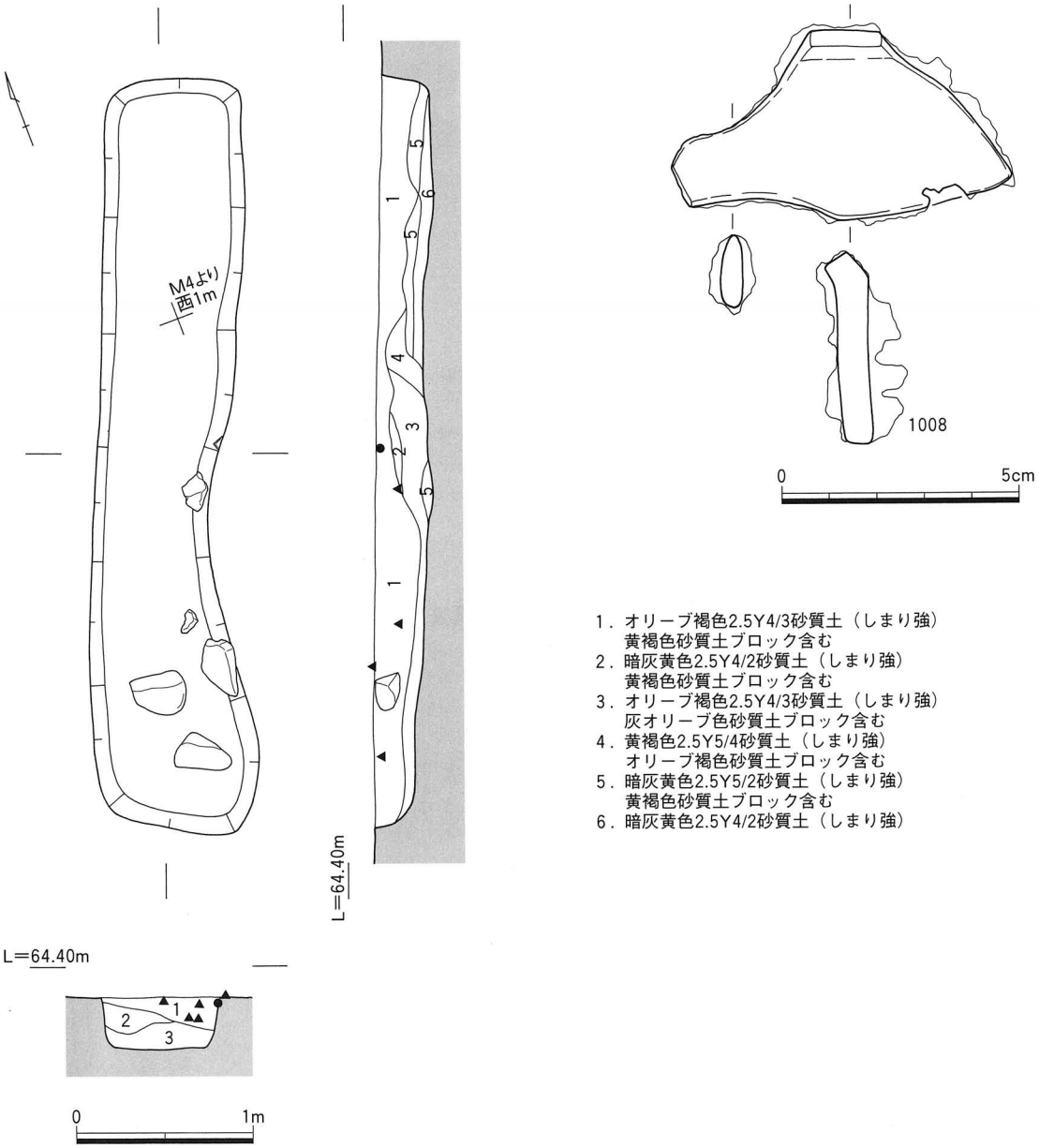
第579図　Ⅳ地区SK1059遺構・遺物実測図



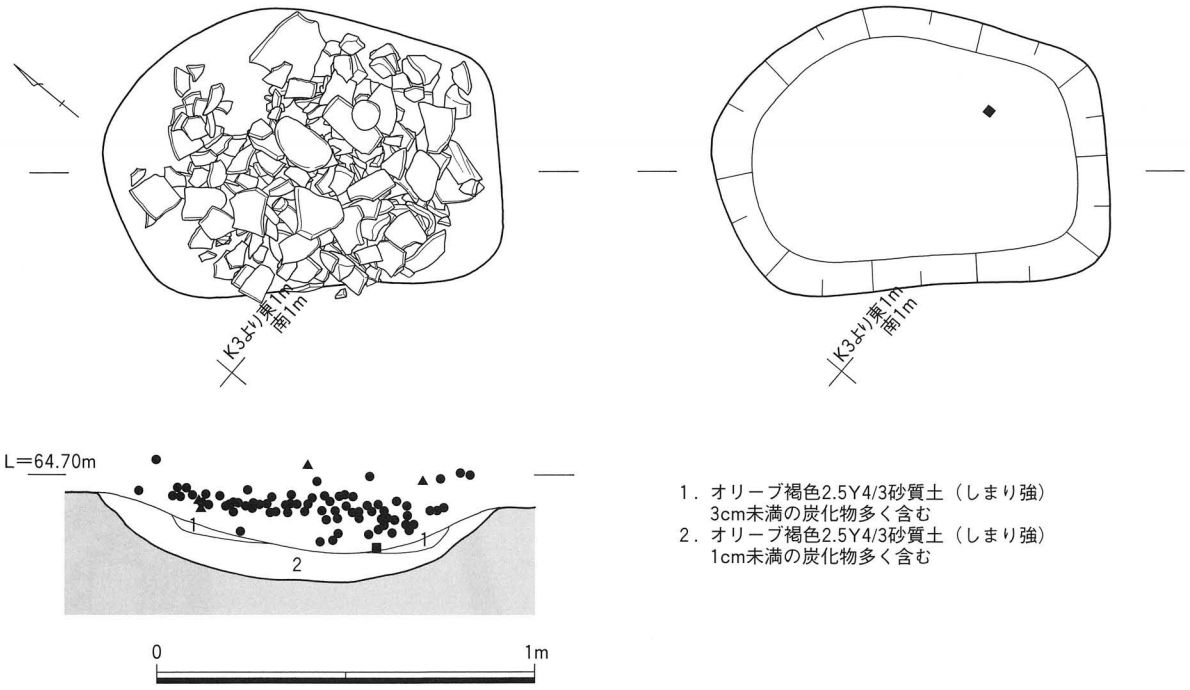
第580図　Ⅳ地区SK1069遺構・遺物実測図



第581図　Ⅳ地区SK1071遺構・遺物実測図



第582図　Ⅳ地区SK1079遺構・遺物実測図



第583図　Ⅳ地区SK1087遺構実測図

と考えられる。遺構の年代は、出土遺物から概ね16世紀代と考えられる。

土坑87号（Ⅳ地区　SK1087）（第583・584図）

Ⅳ－２区西部南寄り、J３グリッドに位置する、長軸105cm短軸80cm深度22cmを測る不整形土坑。主軸はN38°Wを向く。断面は皿状で、埋土は２層。検出面で備前焼甕が破砕された状態で出土。

遺物は土師質土器片・杯、備前陶器甕、銭貨、貝片が出土。1009は備前焼陶器甕で、ほぼ完形に復元できた。口縁は玉縁に作り、外面肩部に３条の沈線を水平方向に施す。重根編年ⅣA期に相当し、14世紀後半の年代が与えられる。1010は備前焼陶器甕の体部下位の一部。1011～1014は銅銭。1011は開元通寶。唐銭で、621年初鋳。薄手で彫り浅く、やや小ぶり。私鋳銭の可能性が高い。1012は淳化元寶の行書体。北宋銭で、990年初鋳。背と面左下に他銭の密着痕あり。1013は元符通寶の真書体。北宋銭で、1098年初鋳。1014は聖宋元寶の篆書体。北宋銭で、1101年初鋳。背に密着痕あり。

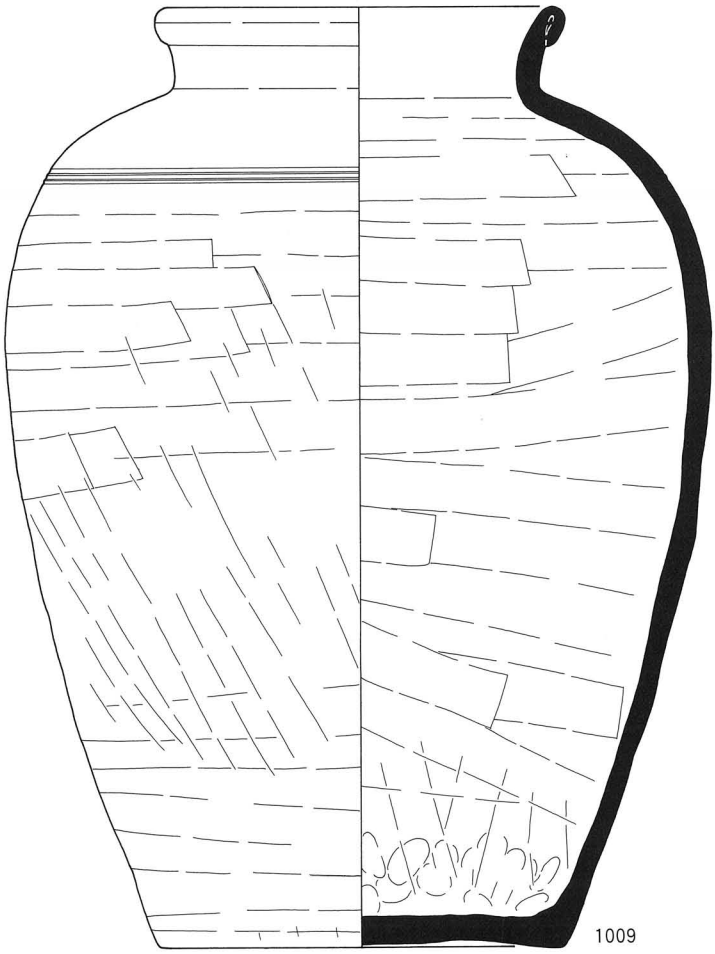
遺構の年代は、出土遺物から14世紀後半頃と考えられる。

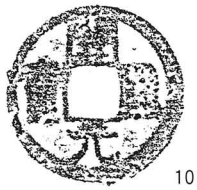
土坑96号（Ⅳ地区　SK1096）（第585図）

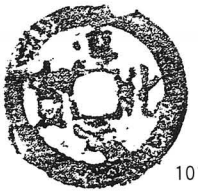
Ⅳ－２区西部北側、M４グリッドに位置する、長軸125cm短軸110cm深度25cmを測る不整円形土坑。断面は逆台形状で、埋土は２層。遺物は土師質土器片・擂鉢、陶器碗、青磁碗が出土。1015は瀬戸美濃系陶器碗の底部。内面に灰釉を施し、貫入を伴う。底部外面は回転糸切り痕を残し、のち高台削り出し。遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

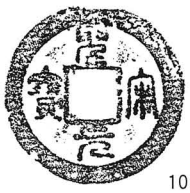
土坑97号（Ⅳ地区　SK1097）（第586図）

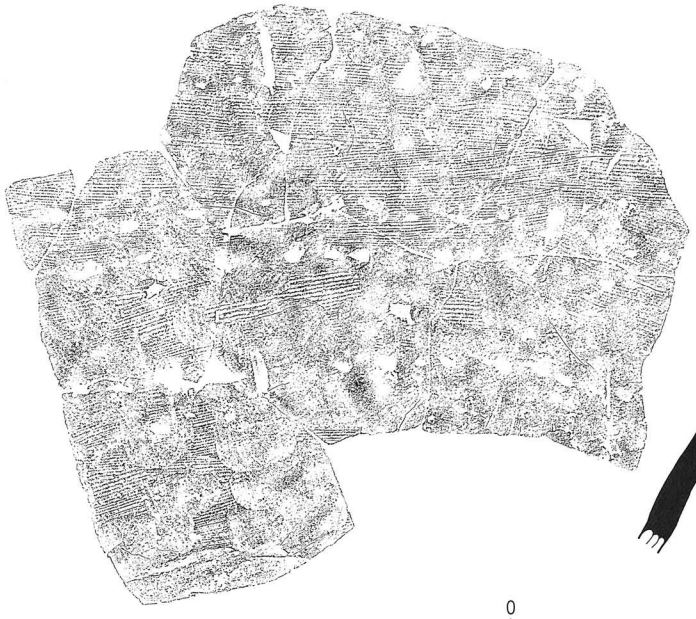
Ⅳ－２区西部北側、M４・５グリッドに位置する、長軸195cm短軸100cm深度15cmを測る不整な隅丸方



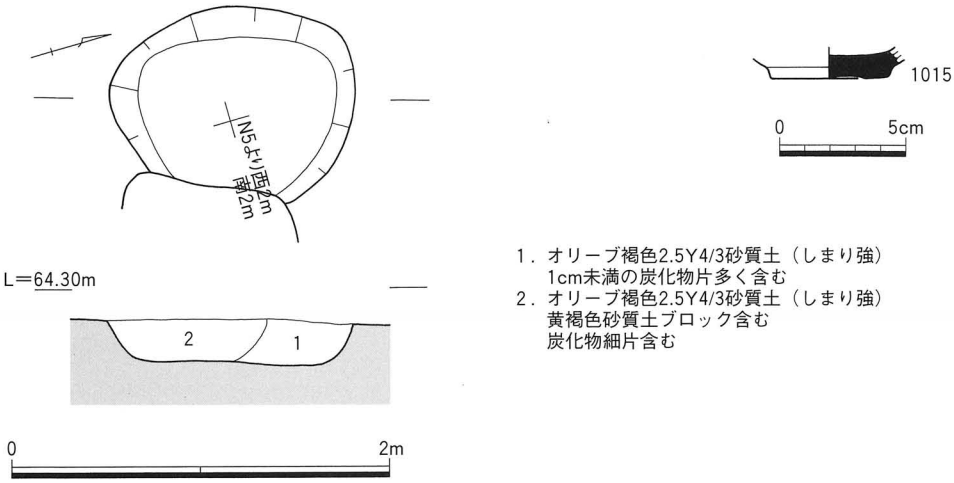






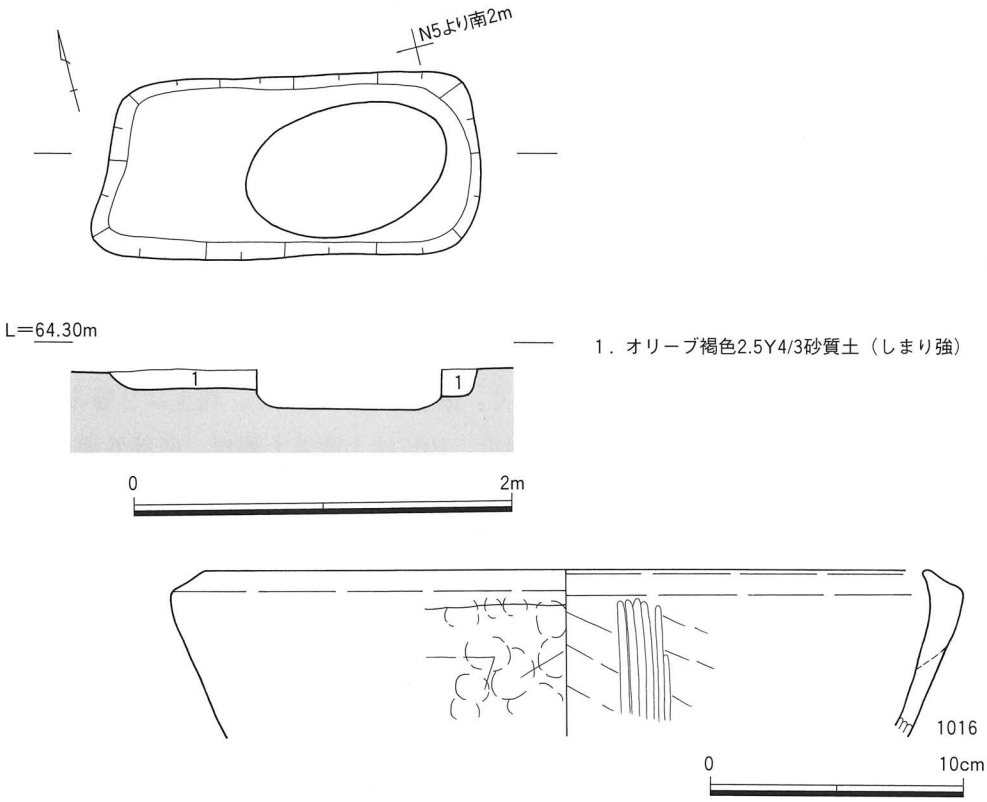


第584図　Ⅳ地区SK1087遺物実測図



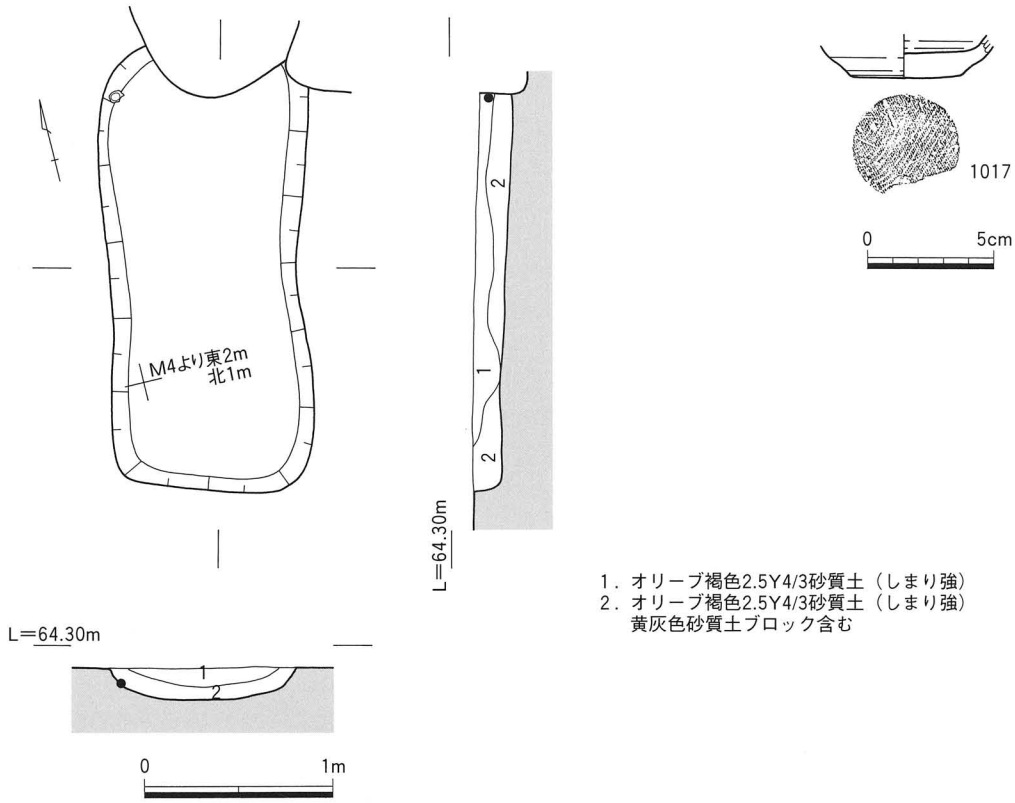
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
1cm未満の炭化物片多く含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
黄褐色砂質土ブロック含む
炭化物細片含む

第585図　Ⅳ地区SK1096遺構・遺物実測図



1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）

第586図　Ⅳ地区SK1097遺構・遺物実測図



第587図　Ⅳ地区SK1098遺構・遺物実測図

形の土坑。主軸はN73°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は1層。

遺物は土師質土器片・擂鉢・煮炊具が出土。1016は土師質土器擂鉢の上半部。口縁端部を内上方に拡張。内面に斜位の板ナデのち擂目を施す。胎土に頁岩を含む。概ね15～16世紀代と考えられる。

土坑98号（Ⅳ地区　SK1098）（第587図）

Ⅳ－2区西部北側、M4グリッドに位置し、北を遺構に切られる。長軸残存長235cm短軸110cm深度18cmを測る不整な隅丸方形土坑。主軸はN13°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は2層る。

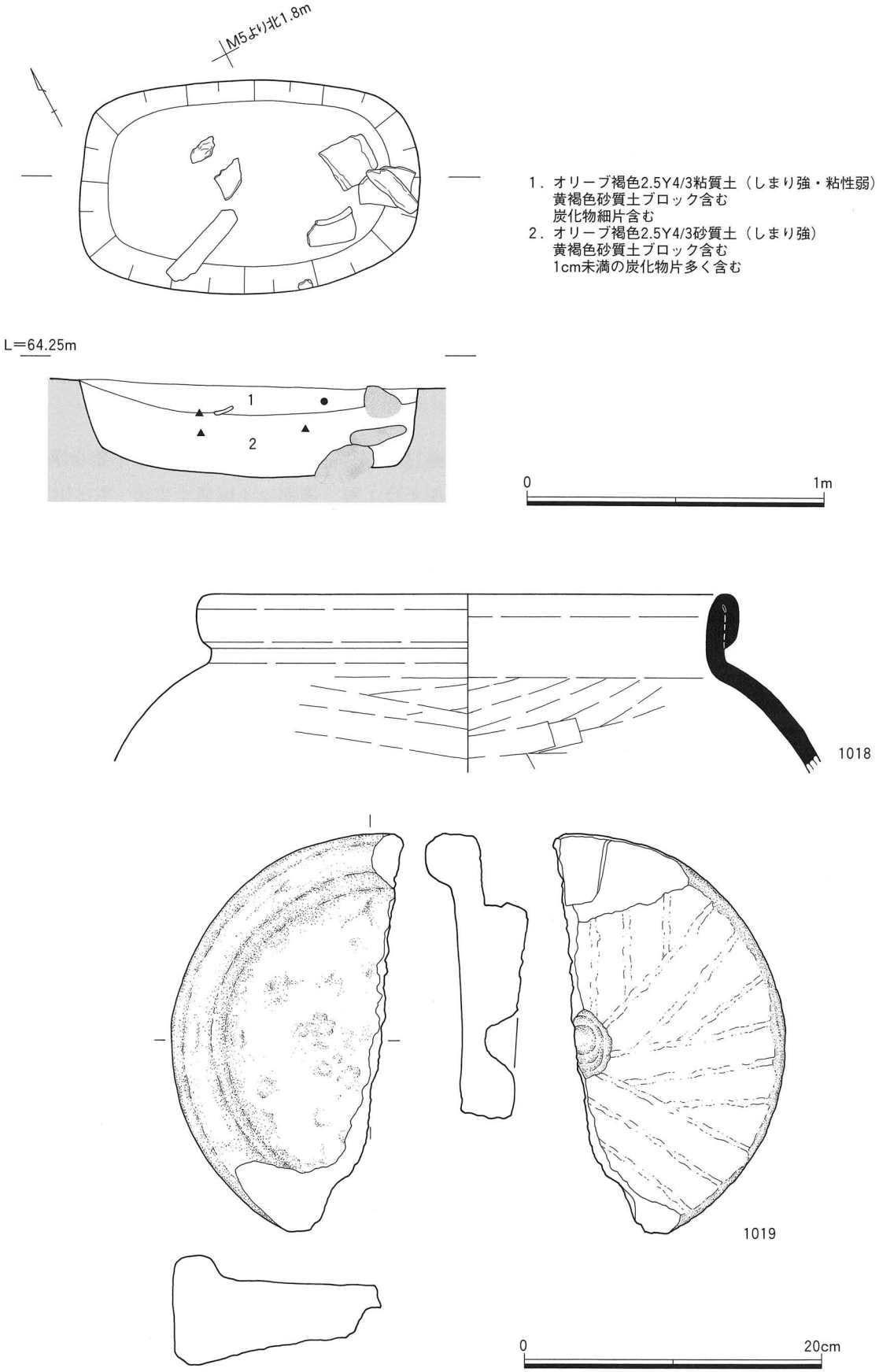
遺物は土師質土器煮炊具（格子タタキ）・皿が出土。1017は土師質土器皿。底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩とみられる粒子を含む。概ね16世紀代と考えられる。

土坑99号（Ⅳ地区　SK1099）（第588図）

Ⅳ－2区西部北側、M4・5グリッドに位置する、長軸110cm短軸75cm深度32cmを測る隅丸方形土坑。主軸はN70°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は2層に分層。

遺物は土師質土器擂鉢、備前陶器甕、角礫凝灰岩製石臼(上臼)が出土。1018は備前焼陶器甕の上部。口縁を玉縁に作り、上下に拡張。重根編年ⅣB期前後、15世紀代とみられる。1019は角礫凝灰岩製の石臼（上臼)。天霧産の石材を使用。下面は凹面状で、中央に芯棒受け孔を有する。側面に横打ち込み孔が1ヶ所あるが、下面の摩耗により露出。溝目は8分画副溝3条を施す。

遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。



第588図　Ⅳ地区SK1099遺構・遺物実測図

土坑118号（Ⅳ地区　SK1118）（第589図）

Ⅳ－２区西部北寄り、J・K５グリッドに位置する、長軸110cm短軸70cm深度20cmを測る隅丸方形の土坑。主軸はN54°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。出土遺物は１点のみで、1020は備前焼陶器擂鉢の上半部。口縁は幅広く発達し、稜線が顕著である。口縁外面に擂目を施した櫛状工具の擦痕がみられる。重根編年ⅤA期、16世紀前半とみられる。

土坑122号（Ⅳ地区　SK1122）（第590図）

Ⅳ－２区西部南寄り、J４グリッドに位置する、長軸70cm短軸50cm深度29cmを測る隅丸方形の土坑。主軸はN35°Eを向く。断面は方形で、埋土は２層。底部で10～20cm大の礫が４点出土するほか、遺物は皆無。

土坑126号（Ⅳ地区　SK1126）（第591図）

Ⅳ－２区東部北側、H２グリッドに位置する、長軸110cm短軸100cm深度23cmを測る不整な隅丸方形の土坑。主軸はN75°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。遺物は土師質土器片・杯が出土。1021は土師質土器杯の底部。底部外面に回転糸切り痕を残す。中世前半期か。

土坑128号（Ⅳ地区　SK1128）（第592図）

Ⅳ－２区西部南側、H・I４グリッドに位置する、長軸90cm短軸45cm深度28cmを測る隅丸方形の土坑。主軸はN５°Eを向く。断面は方形で、北側に上からの掘り込みによるピット状の落ち込みがある。底部に根石状の礫を伴う。埋土は４層に分層。出土遺物は皆無。

土坑133号（Ⅳ地区　SK1133）（第593図）

Ⅳ－２区中央部南寄り、I６グリッドに位置する、長軸140cm短軸100cm深度42cmを測る楕円形の土坑。主軸はN28°Eを向く。断面は不整な逆台形状で、底面は北に向けて下がる。埋土は３層に分層。

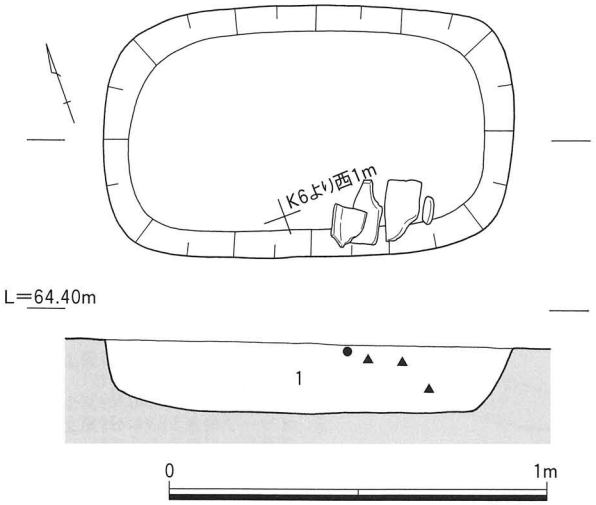
遺物は土師質土器煮炊具・鍋・羽釜、凝灰岩製砥石が出土。1022は土師質土器羽釜の上半部。鍔部は短い凸帯状で、折り曲げ技法で作る。内面に横位の板ナデを施す。1023・1024は土師質土器鍋。外面にユビオサエのち板ナデを施し、1023は内面に密なヨコハケ、1024は横位の板ナデを施す。1024は破面の一部に煤が付着しており、二次被熱の可能性あり。遺構の年代は、概ね15世紀代とみられる。

土坑135号（Ⅳ地区　SK1135）（第594図）

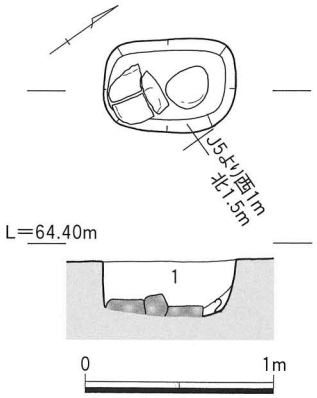
Ⅳ－２区中央部南端、G・H６グリッドに位置する、長軸120cm短軸75cm深度21cmを測る楕円形土坑。主軸はN20°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。遺物は土師質土器煮炊具、青磁稜花皿、結晶片岩製砥石が出土。1025は結晶片岩製砥石で、２面を使用し、自然面を多く残す。部分的に筋状の沈線を残す。遺構の年代は、出土遺物から15世紀前後と考えられる。

土坑154号（Ⅳ地区　SK1154）（第595図）

Ⅳ－２区中央部北側、J９グリッドに位置する、長軸80cm短軸63cm深度14cmを測る隅丸長方形土坑。主軸はN18°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。10～35cm大の礫が出土するが、配置に規則性

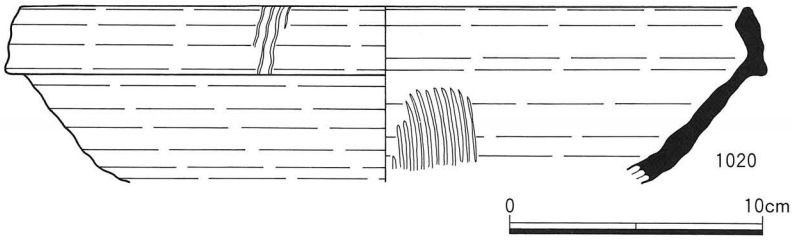


1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）

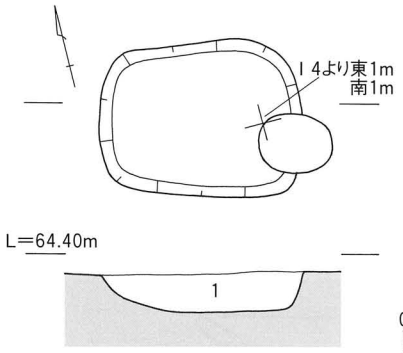


1．黄褐色2.5Y5/3砂質土（しまり強）
灰オリーブ色砂質土ブロック含む
砂性強い
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり弱）

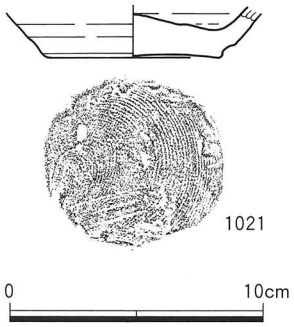
第590図　Ⅳ地区
SK1122遺構実測図



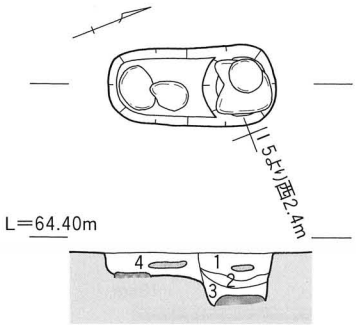
第589図　Ⅳ地区SK1118遺構・遺物実測図



1．黄褐色2.5Y5/4砂質土（しまり強）

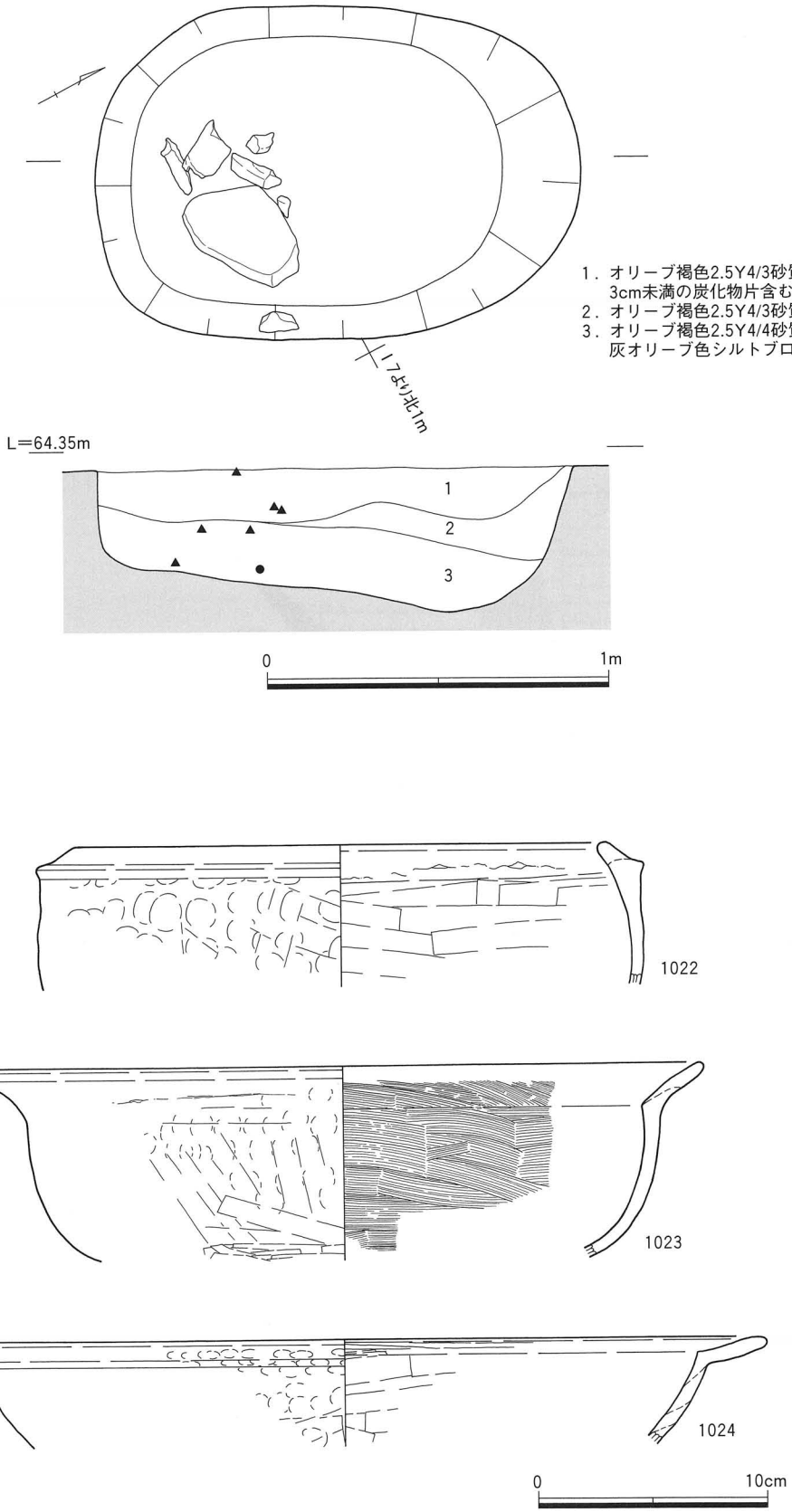


第591図　Ⅳ地区SK1126遺構・遺物実測図

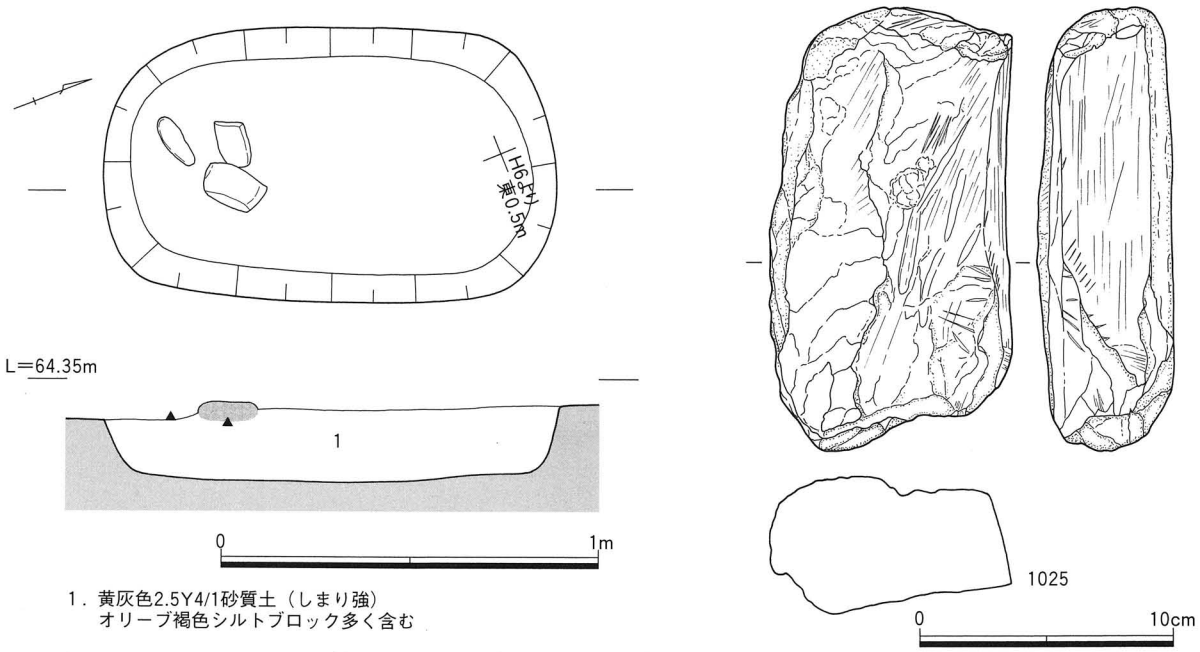


1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
砂性強い
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
黄褐色砂質土ブロック含む、砂性強い
3．黄褐色2.5Y5/3シルト（しまり強）
オリーブ褐色砂質土ブロック含む
4．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
黄褐色シルトブロック含む、砂性強い

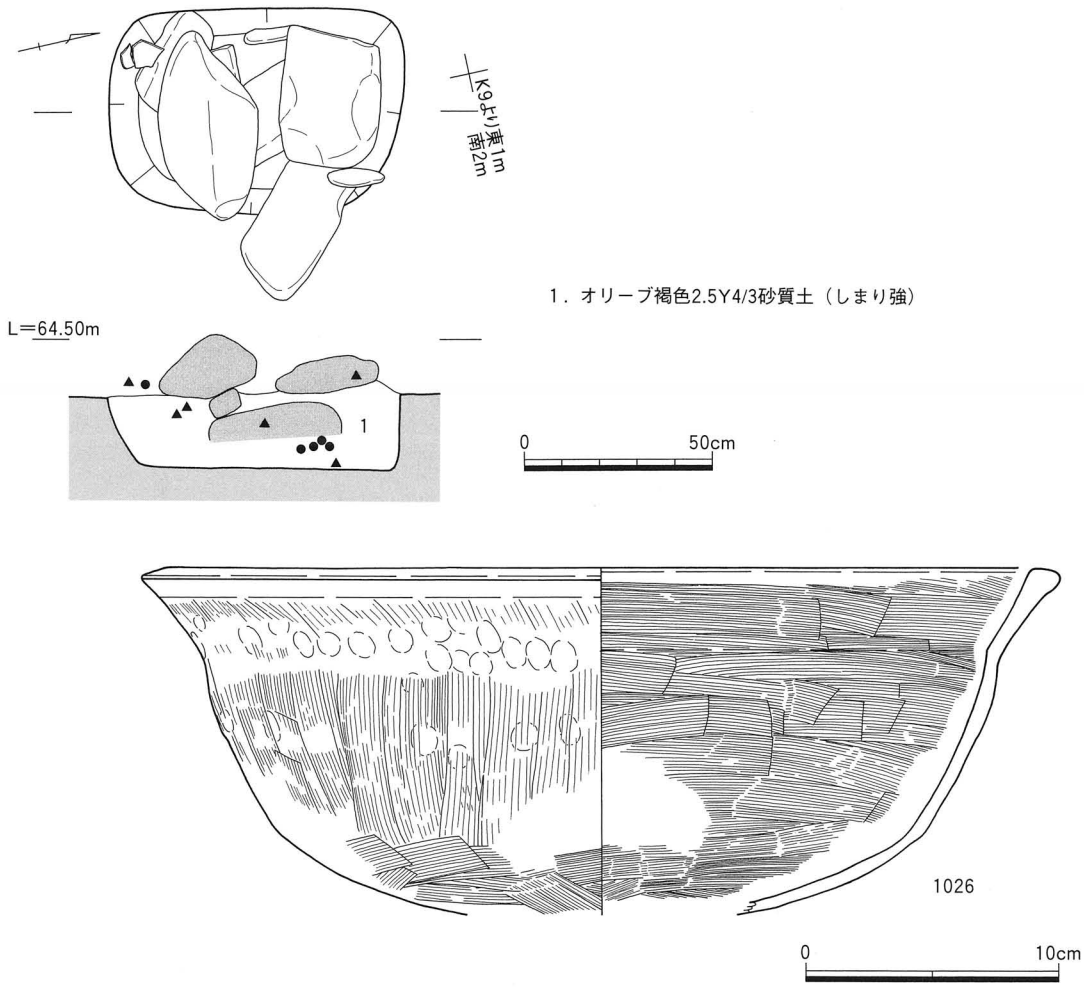
第592図　Ⅳ地区SK1128遺構実測図



第593図　Ⅳ地区SK1133遺構・遺物実測図



第594図　Ⅳ地区SK1135遺構・遺物実測図



第595図　Ⅳ地区SK1154遺構・遺物実測図

は見いだせない。

出土遺物は１点のみで、1026は土師質土器鍋。口縁端部は肥厚。頸部外面に指頭圧痕を残し、体部外面に目の粗いタテハケ、底部外面と内面は目の細かいヨコハケを施す。淡色を呈する。吉備系の鍋で、搬入品とみられる。概ね13世紀代と考えられる。

土坑155号（Ⅳ地区　SK1155）（第596図）

Ⅳ－２区中央部北寄り、J９グリッドに位置し、西の一部は遺構に切られる。長軸175cm短軸80cm深度22cmを測る不整な楕円形土坑。主軸はN20°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。北半に10～50cm大の礫が集中するが、配置に規則性は見いだせない。

遺物は土師質土器片・煮炊具、鉄釘が出土。1027は鉄釘。両端部を欠く。

土坑160号（Ⅳ地区　SK1160）（第597図）

Ⅳ－２区中央部北側、J10グリッドに位置する、長軸125cm短軸90cm深度36cmを測る隅丸方形の土坑。主軸はN15°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は３層。

遺物は土師質土器皿・擂鉢・煮炊具（格子タタキほか）が出土。1028は土師質土器皿の上半部。回転台成形で器壁は薄い。胎土に結晶片岩を含む。1029は土師質土器擂鉢。口縁端部を内上方に拡張する。体部外面にユビオサエのち板ナデ、内面にヨコハケのち擂目を施す。体部外面下位に煤が付着し、内面下位に炭素が付着することから、煮炊具として使用されたとみられる。

遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

土坑161号（Ⅳ地区　SK1161）（第598図）

Ⅳ－２区中央部北寄り、J９・10グリッドに位置する、長軸105cm短軸75cm深度30cmを測る隅丸長方形土坑。主軸はN80°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。底部付近に10cm前後の礫が散在。

遺物は土師質土器片・杯・擂鉢・羽釜が出土。1030は土師質土器皿の底部。底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。1031は土師質土器擂鉢。口縁は拡張しない。

遺構の年代は、出土遺物から概ね16世紀代と考えられる。

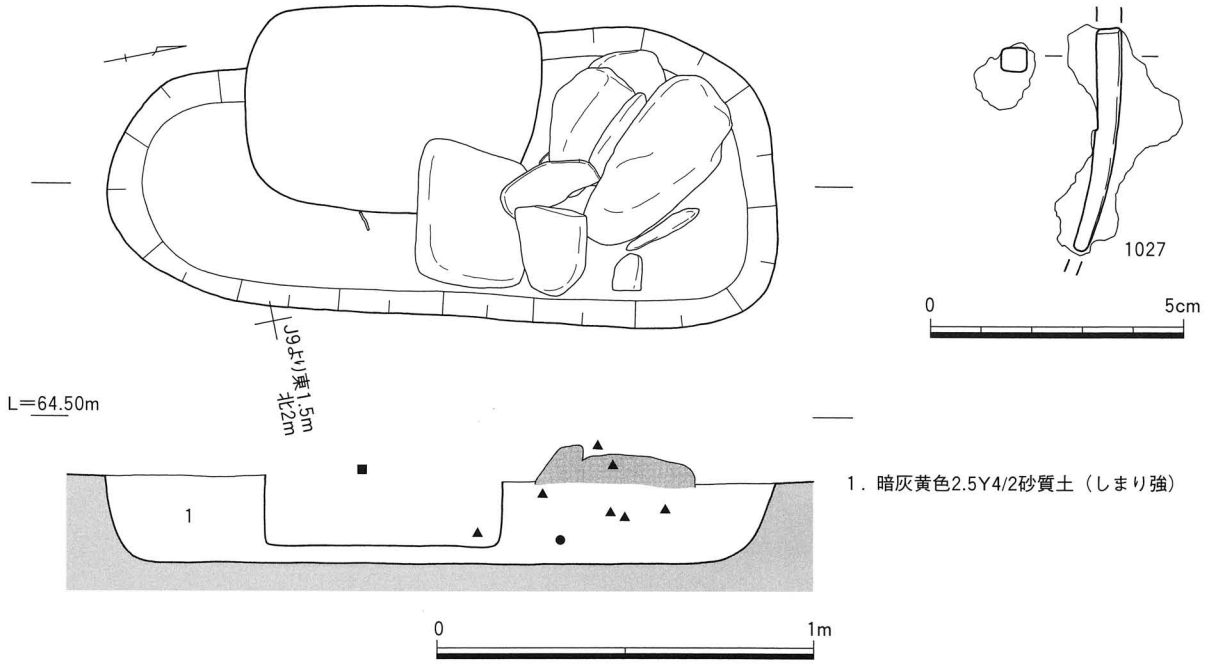
土坑164号（Ⅳ地区　SK1164）（第599図）

Ⅳ－２区中央部南側、H８グリッドに位置する、長軸80cm短軸70cm深度20cmを測る隅丸長方形の土坑。主軸はN90°WEを向く。断面は逆台形状で、埋土は２層。遺物は土師質土器片・杯が出土。1032は土師質土器杯の下半部。底部外面に静止糸切り痕を残す。16世紀代とみられる。

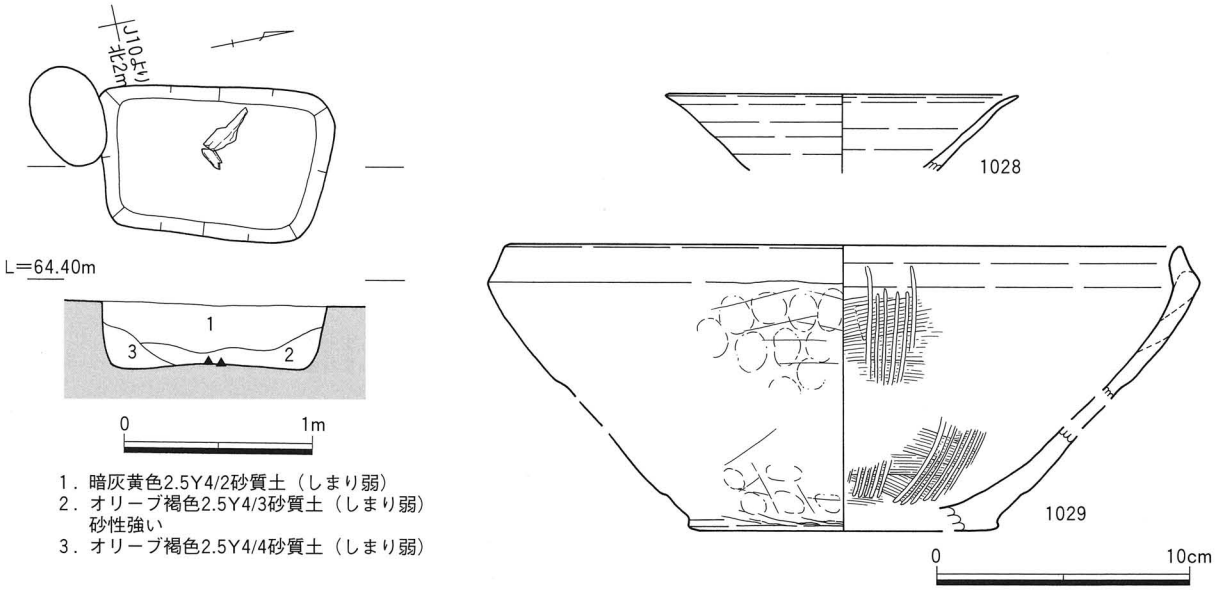
土坑175号（Ⅳ地区　SK1175）（第600図）

Ⅳ－２区中央部南寄り、H10・11グリッドに位置し、東端は遺構に切られる。長軸655cm短軸130cm深度21cmを測る長楕円形土坑。主軸はN74°Wを向く。断面は皿状で、埋土は２層。焼土や炭化物片はみられない。西と東に10～50cm大の礫が集中する部分がある。

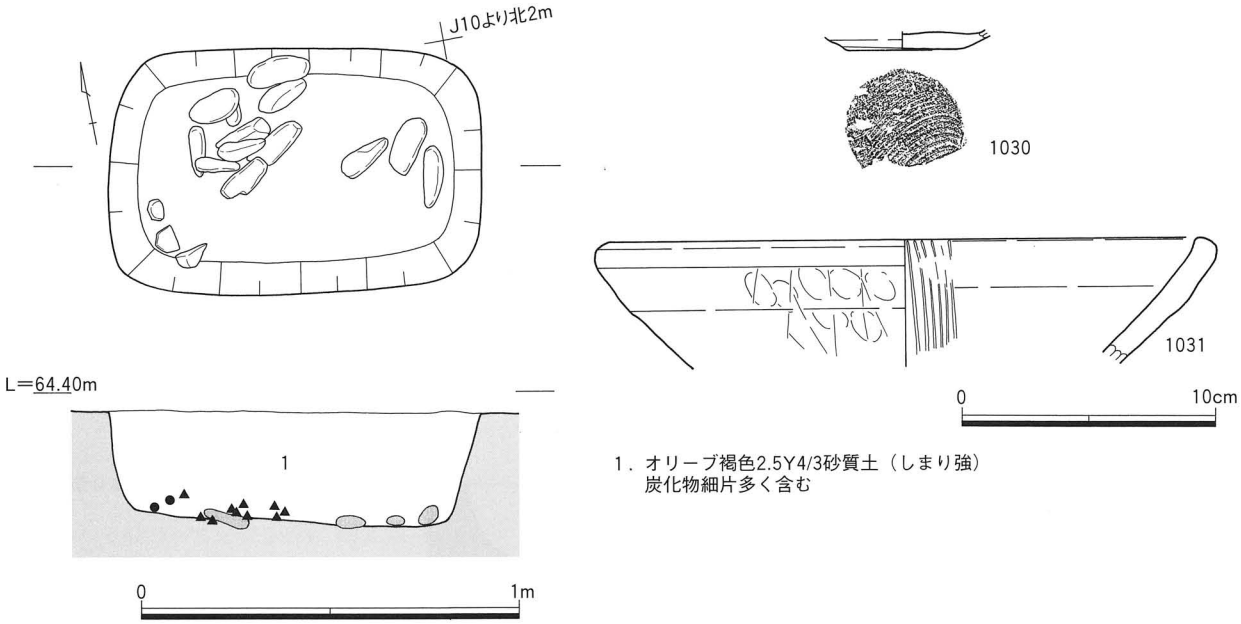
遺物は土師質土器杯・捏鉢・羽釜、鉄滓が出土。1033は土師質土器捏鉢の上部。口縁は拡張せず、残存部に擂目は確認できない。外面に煤が付着し、内面は剥離著しく炭素付着。煮炊具として使用したも



第596図　Ⅳ地区SK1155遺構・遺物実測図

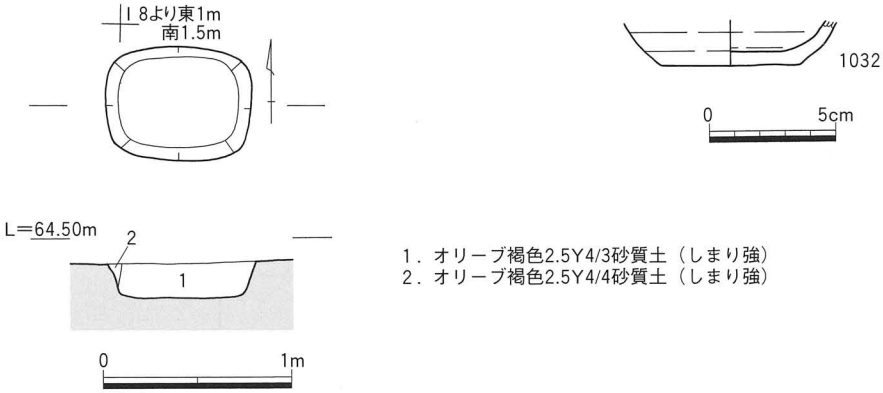


第597図　Ⅳ地区SK1160遺構・遺物実測図



1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
炭化物細片多く含む

第598図　Ⅳ地区SK1161遺構・遺物実測図



1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
2．オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）

第599図　Ⅳ地区SK1164遺構・遺物実測図

のと考えられる。中世後半期とみられる。

土坑176号（Ⅳ地区　SK1176）（第601図）

Ⅳ－２区中央部、H10・11グリッドに位置し、南は遺構に切られる。東西240cm南北残存長125cm深度48cmを測る隅丸方形土坑。主軸はN66°Wを向く。断面は逆台形状で、底面中央部が落ち込む。埋土は４層。遺物は土師質土器杯・擂鉢・煮炊具・羽釜、備前焼陶器片が出土。概ね15～16世紀代とみられる。

土坑177号（Ⅳ地区　SK1177）（第602図）

Ⅳ－２区中央部南寄り、H９グリッドに位置する、東西225cm南北95cm深度56cmを測る不整な隅丸長方形土坑。主軸はN68°Wを向く。断面は不整な逆台形状で東側が落ち込む。埋土は４層。西側埋土上位に10～50cm大の礫が集中し、東側埋土中位に20cm前後の礫が少量出土。配置に規則性は見いだせない。

遺物は土師質土器擂鉢・煮炊具が出土。1034は土師質土器擂鉢の下半部。外面に斜位の板ナデ、内面にヨコハケのち擂目を施す。底部内面使用により摩耗し、煤付着。

遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

土坑188号（Ⅳ地区　SK1188）（第603図）

Ⅳ－２区中央部南端、E９グリッドに位置し、南は調査区外に延びる。長軸残存長120cm短軸90cm深度18cmを測る隅丸方形土坑。主軸はN８°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。北側検出面で10～50cm大の礫が出土。出土遺物は皆無。

土坑208号（Ⅳ地区　SK1208）（第604図）

Ⅳ－２区東部南側、F13グリッドに位置する、長軸120cm短軸50cm深度16cmを測る楕円形土坑。主軸はN18°Eを向く。断面は皿状で、埋土は１層。出土遺物は鉄釘のみで、1035は頭部をＬ字に屈曲させ、平頭に作る。

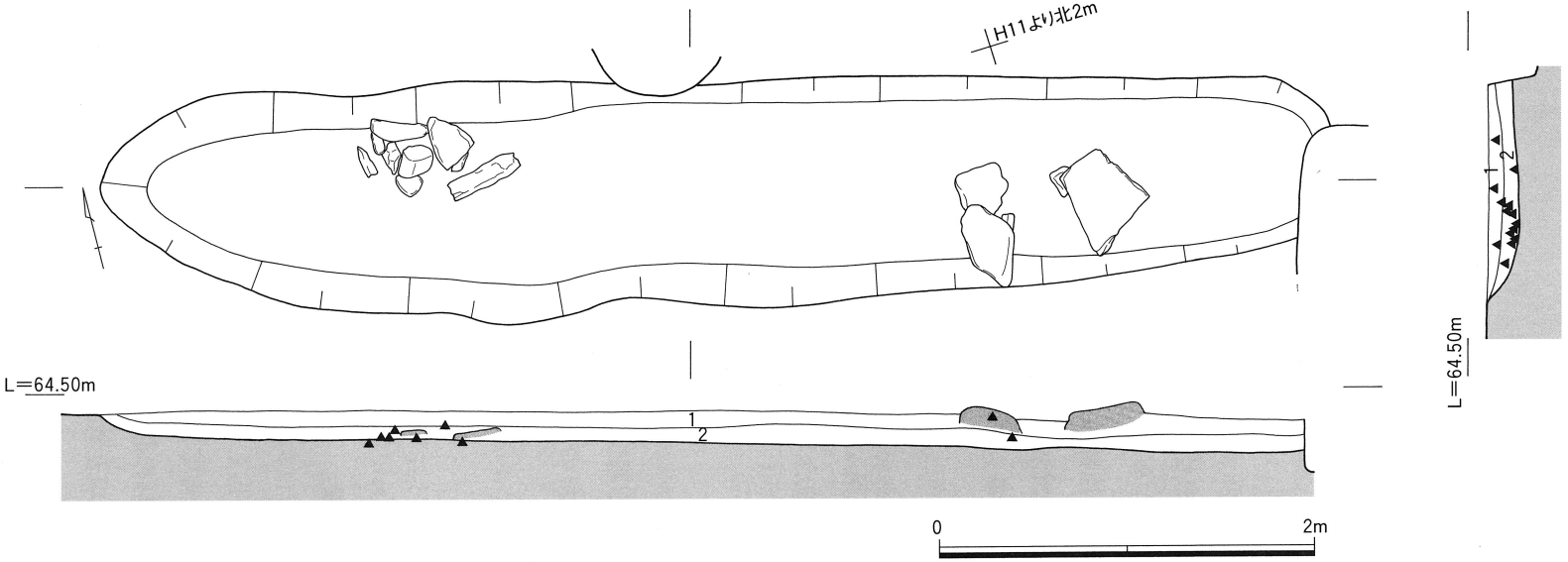
土坑222号（Ⅳ地区　SK1222）（第605図）

Ⅳ－２区東部北側、I15・16グリッドに位置する、長軸125cm短軸75cm深度24cmを測る不整な隅丸方形土坑。主軸はN64°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。

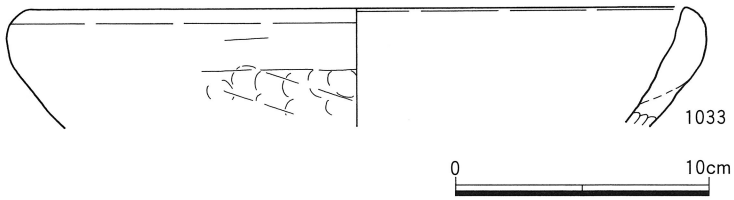
遺物は角礫凝灰岩製石臼、砂岩製茶臼が出土。1036・1037は角礫凝灰岩製石臼（上臼）。1036は天霧産の石材を使用。下面中央に芯棒受け孔、側面に横打ち込み孔１ヶ所、下面は凹面状で摩耗著しく溝目は確認できない。1037は天霧産石材の可能性が高いものの断言できない。下面はわずかに凹面を呈し、溝目は確認できない。1038は砂岩製茶臼（下臼）。中央に方形の芯棒受け孔が貫通。上面の溝目は８分画副溝８条を施す。遺構の年代は、出土遺物から概ね16世紀頃と考えられる。

土坑224号（Ⅳ地区　SK1224）（第606図）

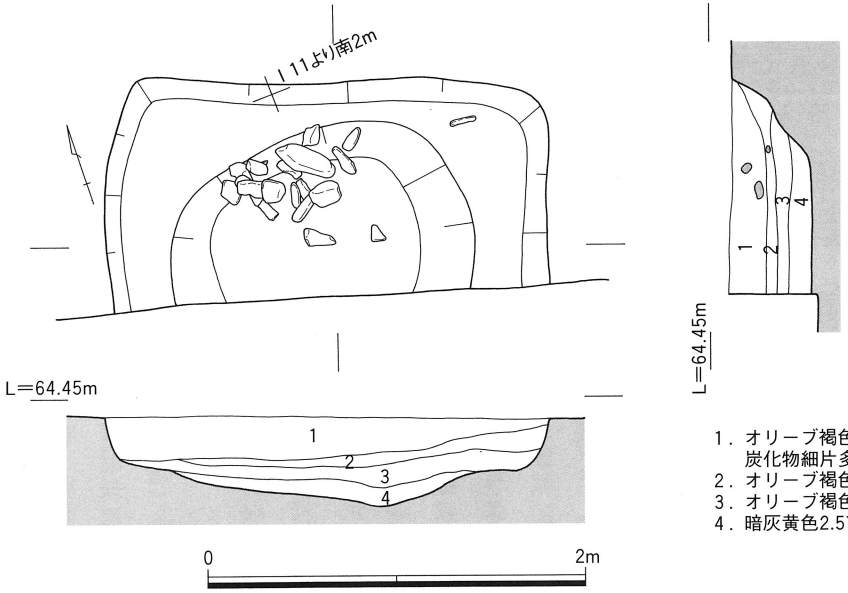
Ⅳ－２区東部北寄り、H15グリッドに位置する、長軸85cm短軸75cm深度23cmを測る円形の土坑。断面は逆台形状で、埋土は２層。10～30cm大の礫を下敷きにし、長軸70cm短軸48cm厚み14cmの扁平な大型礫を上にのせた状態で出土している。下層の礫に組んだ形跡は認められない。



1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり弱）
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり弱）
灰白色シルトブロック含む

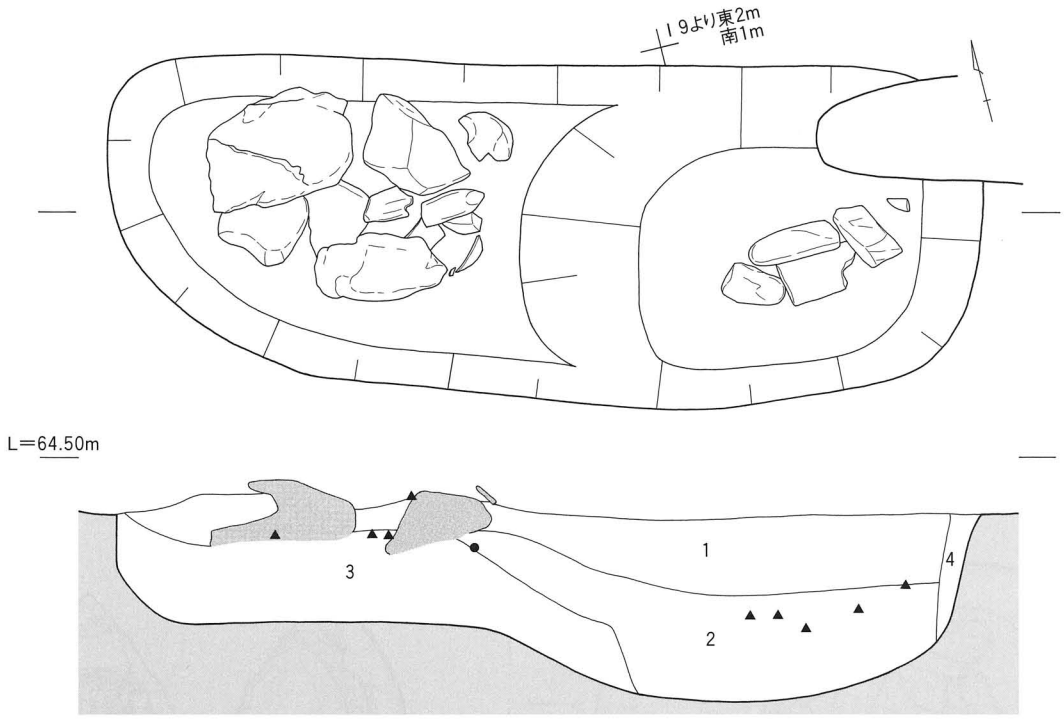


第600図　Ⅳ地区SK1175遺構・遺物実測図



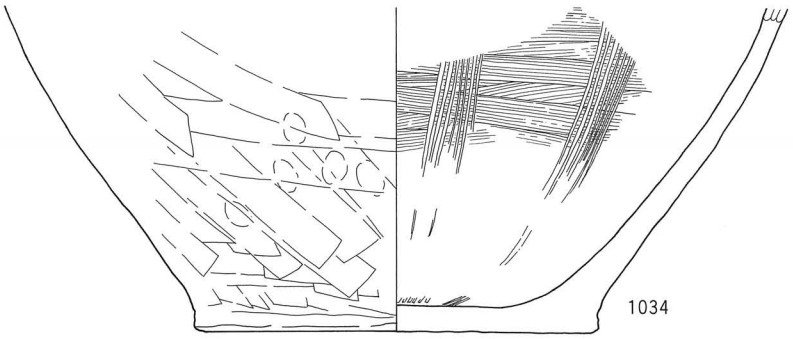
1．オリーブ褐色2.5Y4/6砂質土（しまり強）
炭化物細片多く含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
3．オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）
4．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）

第601図　Ⅳ地区SK1176遺構実測図



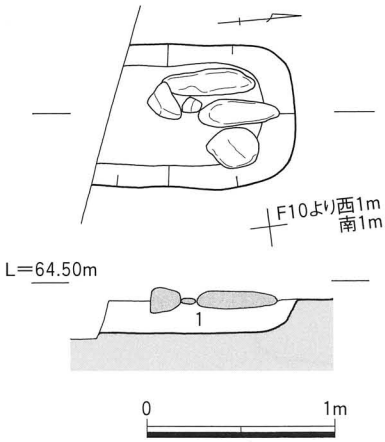
1．黄褐色2.5Y5/3砂質土（しまり強）
　炭化物細片多く含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）
3．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
4．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　砂性強い

0　1m



0　10cm

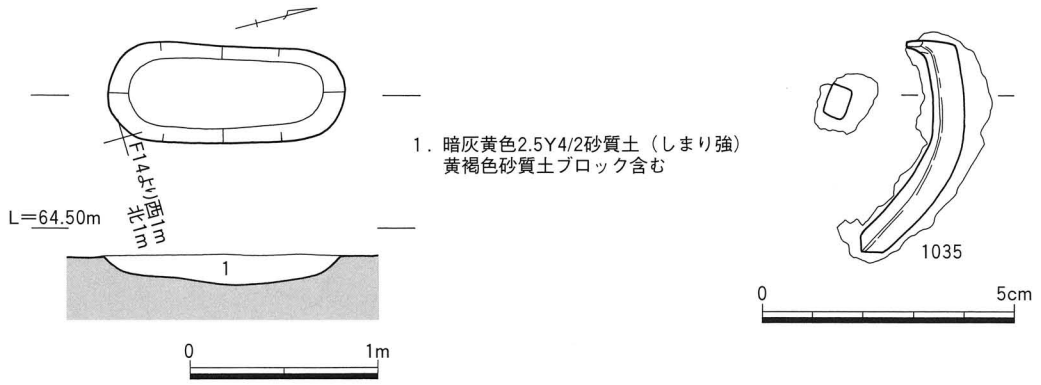
第602図　Ⅳ地区SK1177遺構・遺物実測図



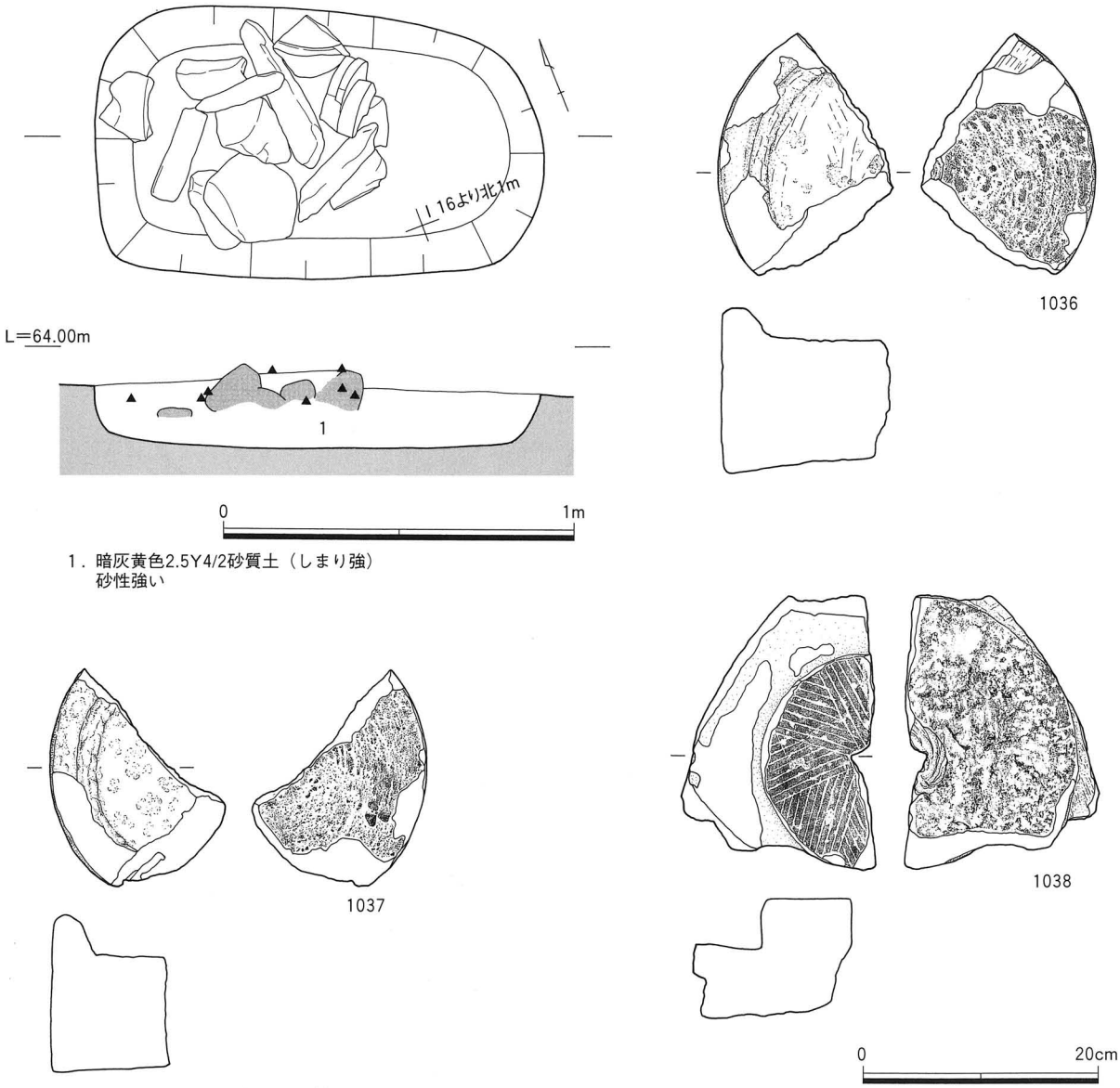
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）

0　1m

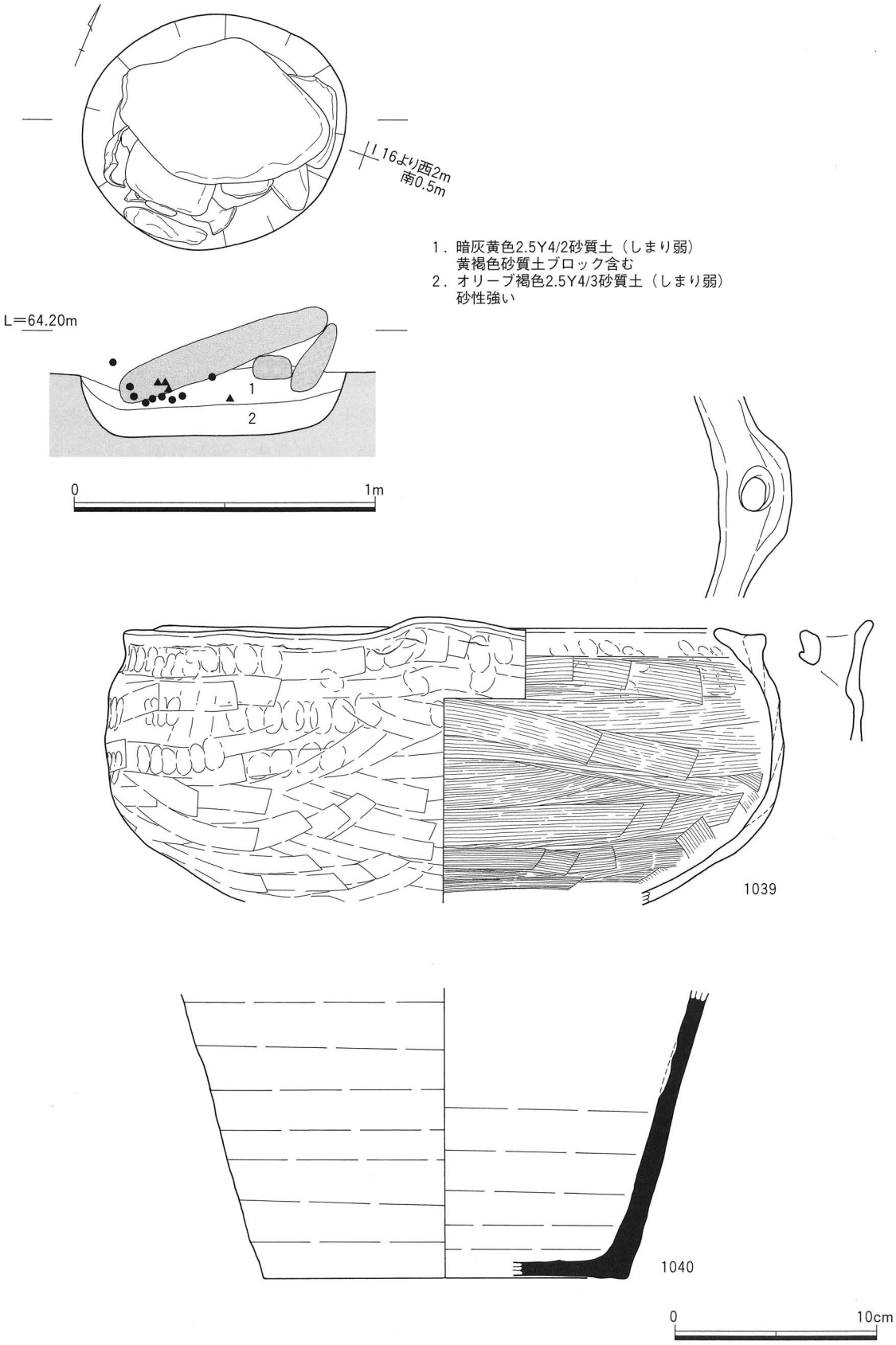
第603図　Ⅳ地区SK1188遺構実測図



第604図　Ⅳ地区SK1208遺構・遺物実測図



第605図　Ⅳ地区SK1222遺構・遺物実測図



第606図　Ⅳ地区SK1224遺構・遺物実測図

遺物は土師質土器羽釜、備前陶器甕が出土。1039は土師質土器羽釜。鍔部は短く、折り曲げ技法で作る。口縁と鍔部の間に焼成前穿孔を施し、外側の鍔部を外上方に拡張して把手部を作る。体部外面に横位に連続して指頭圧痕を残し、のち底部も含めて横位の板ナデを施す。内面はヨコハケを施す。概ね15～16世紀代と考えられる。1040は備前焼陶器甕の下半部。内面は部分的に剥離あり。

土坑226号（Ⅳ地区　SK1226）（第607図）

Ⅳ－２区東部北側、I16グリッドに位置する、長軸195cm短軸80cm深度14cmを測る不整形土坑。主軸はN83°Wを向く。断面は皿状で、埋土は２層。第１層から長さ80cm幅16cmの板状炭化材と薄い板状炭化物片が出土。遺構の底面・壁面に明瞭な被熱痕は確認できない。出土遺物は皆無。

土坑235号（Ⅳ地区　SK1235）（第608図）

Ⅳ－２区東部南寄り、F17グリッドに位置する、長軸155cm短軸150cm深度32cmを測る隅丸方形土坑。主軸はN13°Eを向く。断面逆台形状で、埋土は３層。西側に上からの掘り込みによる落ち込みがある。

遺物は弥生土器片・鉢・甕が出土。1041～1043は弥生土器。1041は甕。体部外面平行タタキのちタテハケ、体部内面上位斜位のヘラケズリを施す。1042・1043は弥生土器鉢。外面の調整は、1042は平行タタキ、1043は平行タタキのちハケ、内面はともにハケを施す。３点とも胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。

遺構の年代は、出土遺物から弥生時代後期と考えられる。

土坑240号（Ⅳ地区　SK1240）（第609図）

Ⅳ－２区東端部北側、G・H20グリッドに位置する、長軸155cm短軸100cm深度42cmを測る楕円形土坑。主軸はN62°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は２層に分層。第２層上面に10～30cm大の扁平な円礫を敷き詰める。土壙墓の一種であろうか。出土遺物は皆無。

焼土坑１号（Ⅳ地区　SH1001）（第610図）

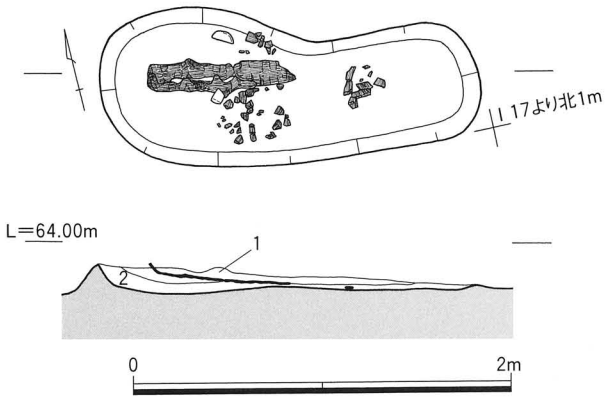
Ⅳ－２区東部中央、G17グリッドに位置する、長軸70cm短軸65cm深度20cmを測る不整形の焼土坑。断面は不整な逆台形状で、埋土は３層、すべての層で焼土ブロックや炭化物片を多く検出した。

遺物は土師質土器皿・擂鉢・瓦質土器片が出土。1044は土師質土器皿。底部外面に回転ヘラ切り痕のち板目痕を残す。1045は土師質土器擂鉢。口縁端部を内側に拡張。体部外面に連続した指頭圧痕を残し、内面横位の板ナデのち擂目を施す。遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

土壙墓８号（Ⅳ地区　ST1008）（第611図）

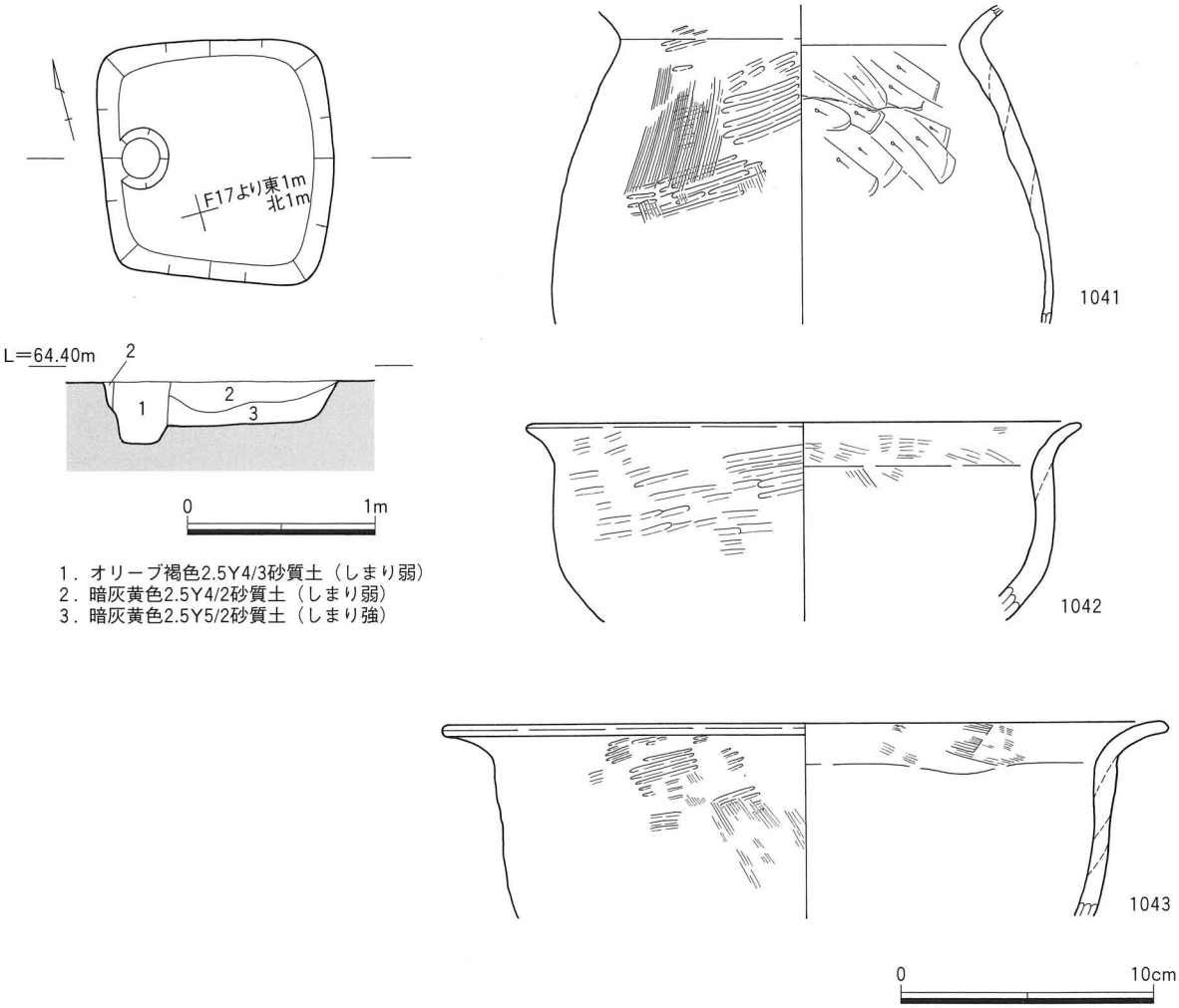
Ⅳ－１区西部南寄り、O10・11グリッドに位置する、長軸200cm短軸105cm深度27cmを測る隅丸長方形の土壙墓。主軸はN80°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は３層に分層できる。最下層は有機物を多く含むとみられる暗色土層である。

出土遺物は１点のみで、1046は土師質土器不明品。口縁の一部と考えられ、器壁は厚い。口縁端部はヨコナデ、内外面は板ナデを施し、粘土の接合面はヨコハケを施す。浅鉢型の火鉢とも考えられるが、被熱痕や煤の付着は確認できない。



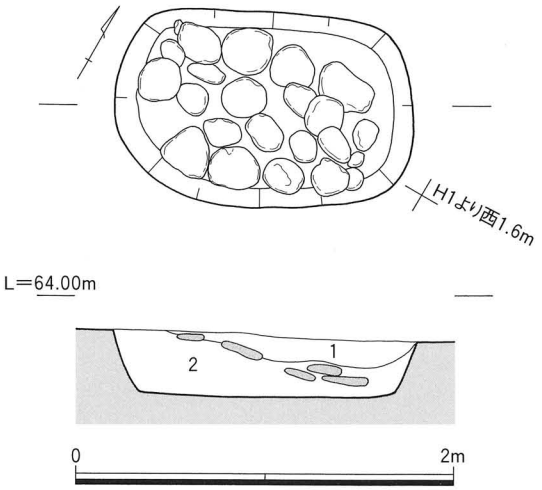
1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
　5cm未満の炭化物片多く含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり弱）

第607図　Ⅳ地区SK1226遺構実測図



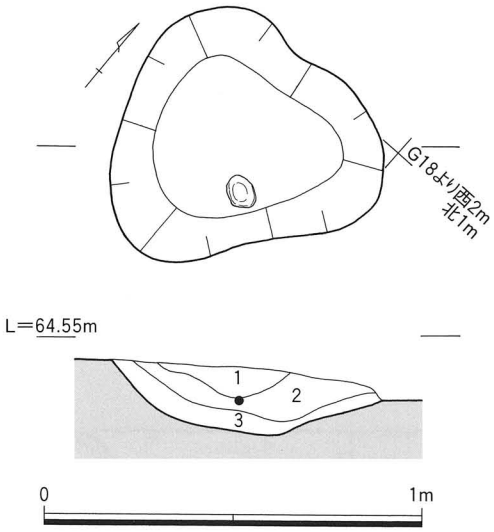
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり弱）
2．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり弱）
3．暗灰黄色2.5Y5/2砂質土（しまり強）

第608図　Ⅳ地区SK1235遺構・遺物実測図

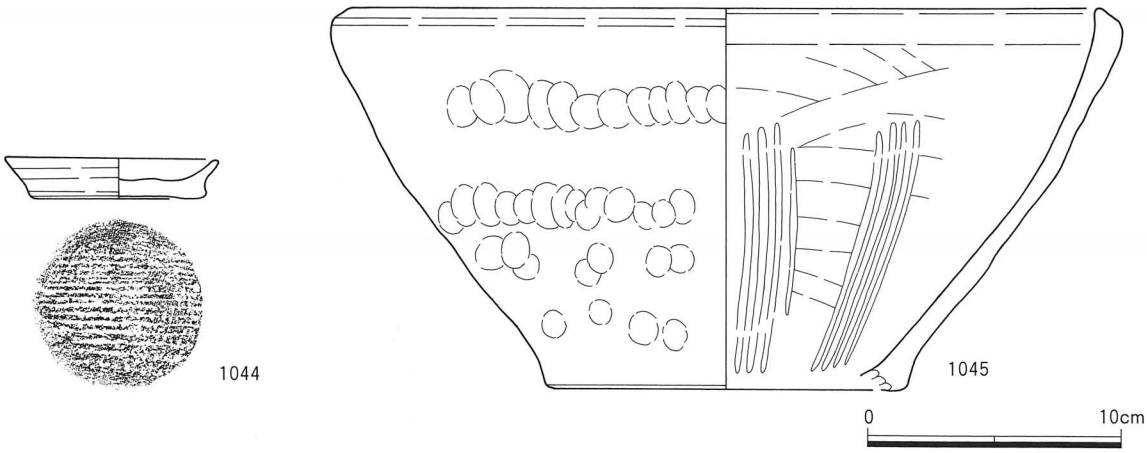


1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
　黄褐色砂質土ブロック含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）

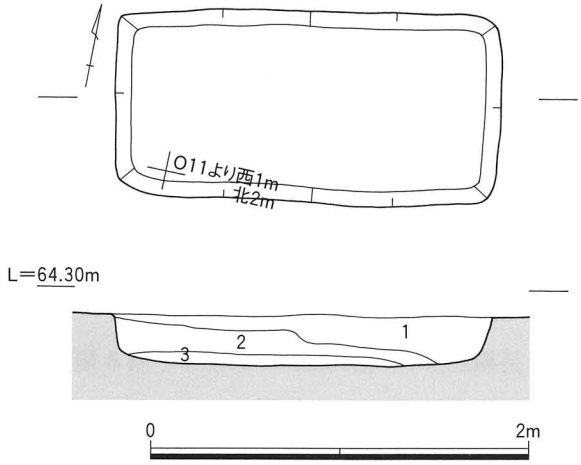
第609図　Ⅳ地区SK1240遺構実測図



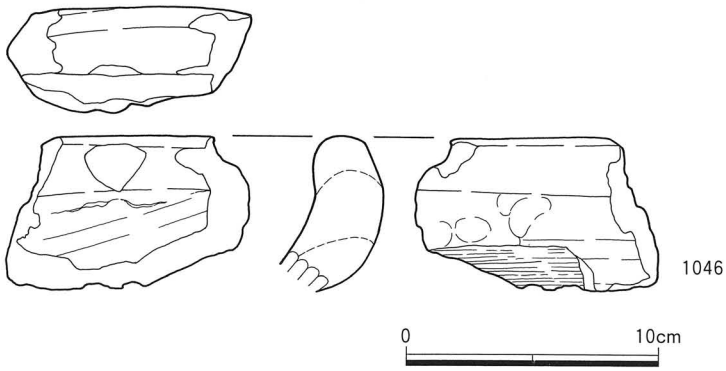
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　焼土ブロック・3cm未満の炭化物片多く含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）
　焼土ブロック・5cm未満の炭化物片多く含む
3．黄褐色2.5Y5/3砂質土（しまり強）
　炭化物細片多く含む



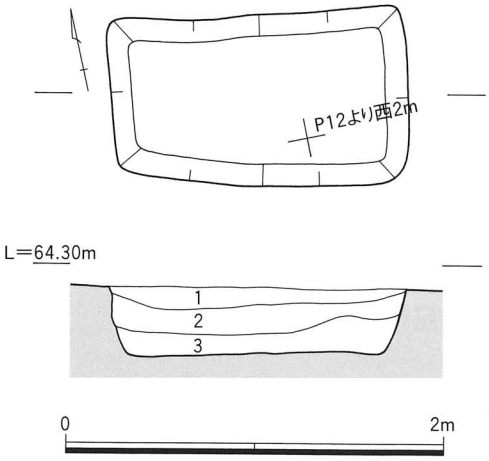
第610図　Ⅳ地区SH1001遺構・遺物実測図



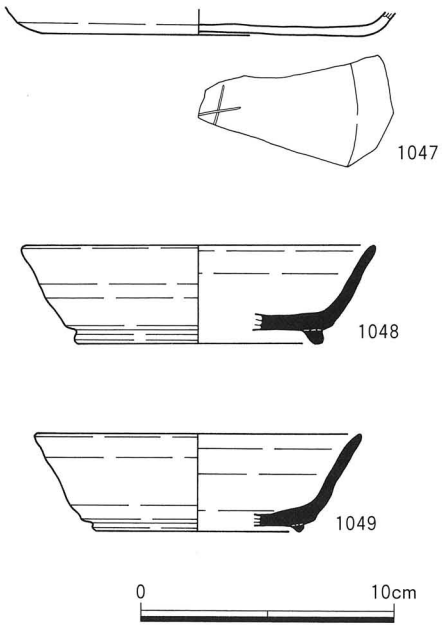
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　黄褐色砂質土ブロック多く含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　黄褐色砂質土ブロック含む
3．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
　灰オリーブ色砂質土ブロック含む



第611図　Ⅳ地区ST1008遺構・遺物実測図



1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　黄褐色・灰オリーブ色砂質土ブロック含む
2．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
　焼土ブロックわずかに含む
3．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
　にぶい黄色砂質土ブロック含む



第612図　Ⅳ地区ST1009遺構・遺物実測図

土壙墓９号（Ⅳ地区　ST1009）（第612図）

Ⅳ－１区西部中央、O・P11グリッドに位置する、長軸157cm短軸95cm深度38cmを測る隅丸長方形の土壙墓。主軸はN78°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は３層に分層できる。最下層は有機物を多く含むとみられる暗色土層。

遺物は土師器皿・煮炊具、須恵器杯・蓋・甕・壺が出土。1047は土師器皿の底部。内外面に赤彩を施す。底部外面に「×」字の刻書を描く。胎土に結晶片岩・絹雲母を含む。1048・1049は高台付の須恵器杯。1049は焼成不良で、軟質。部分的に炭素付着。遺構の年代は、８世紀中葉前後と考えられる。

土壙墓33号（Ⅳ地区　ST1033）（第613図）

Ⅳ－１区中央部南側、L・M15グリッドに位置する、長軸235cm短軸105cm深度31cmを測る隅丸長方形の土壙墓。主軸はN15°Eを向く。断面逆台形状で、埋土は２層。遺物は土師器片・蓋・皿（赤彩ほか）・煮炊具、須恵器片・杯が出土。1050は須恵器杯の上半部。概ね８世紀代とみられる。

土壙墓68号（Ⅳ地区　ST1068）（第614図）

Ⅳ－２区中央部南寄り、H・I９・10グリッドに位置する、長軸140cm短軸85cm深度52cmを測る楕円形の土壙墓。主軸はN70°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は４層に分層。出土遺物は１点のみで、1051は鉄釘。頭部をＬ字に屈曲させ平頭に作る。

土壙墓112号（Ⅳ地区　ST1112）（第615図）

Ⅳ－２区東端部中央、E・F18・19グリッドに位置する、長軸220cm短軸128cm深度44cmを測る隅丸長方形の土壙墓。主軸はN12°Eを向く。断面は逆台形状で、部分的に袋状を呈する。埋土は３層。最下層は有機物を多く含むとみられる暗色土層。出土遺物は１点のみで、1052は土師器甕の上半部。口縁端部をわずかに上下に拡張。体部外面にタテハケ、内面に横位の板ナデを施す。

集石遺構１号（Ⅳ地区　SU1001）（第616図）

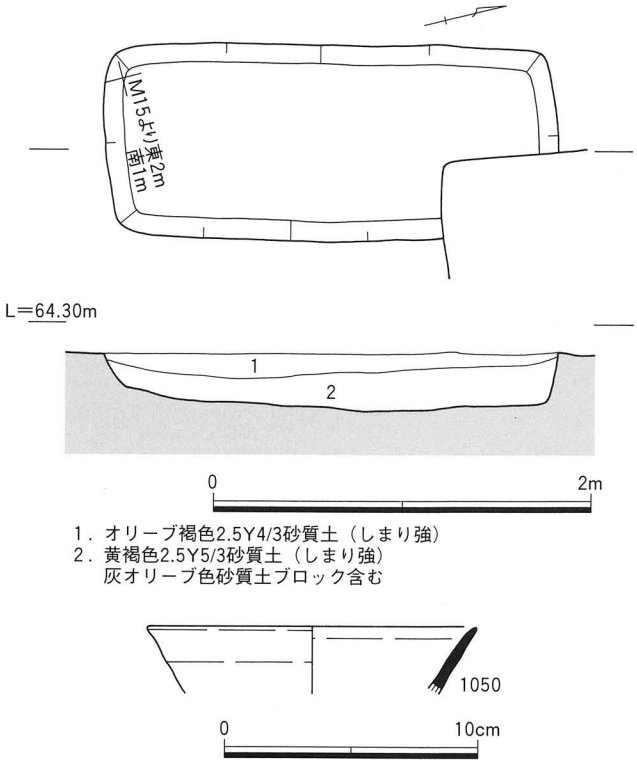
Ⅳ－１区中央部北側、P16グリッドに位置する集石遺構。SD1001の西側、長軸340cm短軸92cmの範囲にみられ、10～30cm大の礫で構成される。SD1001肩部で検出した礫群は、粗雑ながら護岸状の石組みが認められる。北西に拡がる礫群は、Ⅲ地区から続く落ち込み肩部のラインに沿うものの、配置に規則性は見いだせない。

遺物は土師質土器擂鉢・煮炊具脚部が出土。1053は土師質土器擂鉢の上部。口縁端部を継ぎ足して内上方に拡張する。内面ヨコハケのち擂目を施す。概ね15～16世紀代とみられる。

集石遺構２号（Ⅳ地区　SU1002）（第617・618図）

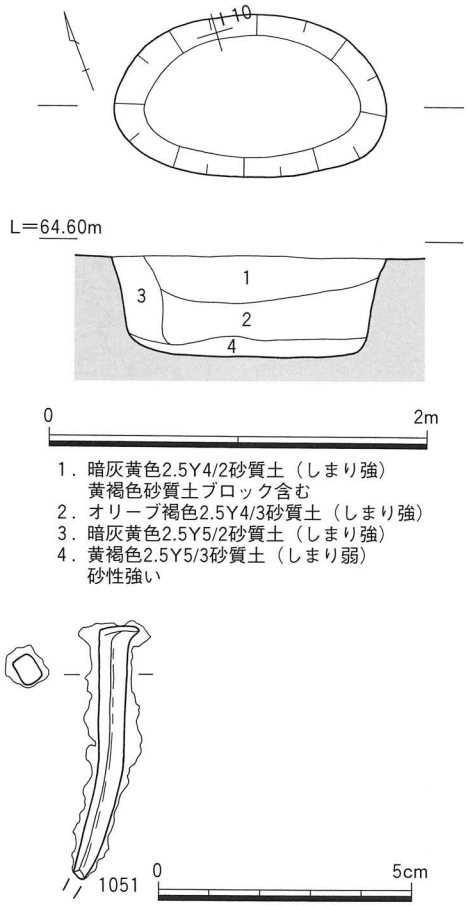
Ⅳ－１区東部北側、N・O20グリッドに位置する。屋敷地区画溝SD1032北端部西側に位置する集石遺構。長軸610cm短軸108cmの範囲にみられ、10～60cm大の礫で構成される。SD1032の西側斜面に沿って南北に拡がっており、明瞭な積石や石組みは確認できないものの、護岸的な性格を持つものと考えられる。

遺物は土師質土器片・杯・煮炊具・煮炊具脚部・羽釜・甕、備前陶器擂鉢・甕、鉄滓、凝灰岩製砥石が出土。1054は土師質土器羽釜の鍔部。折り曲げ技法で作り、端部は強いヨコナデ、内面はヨコハケを



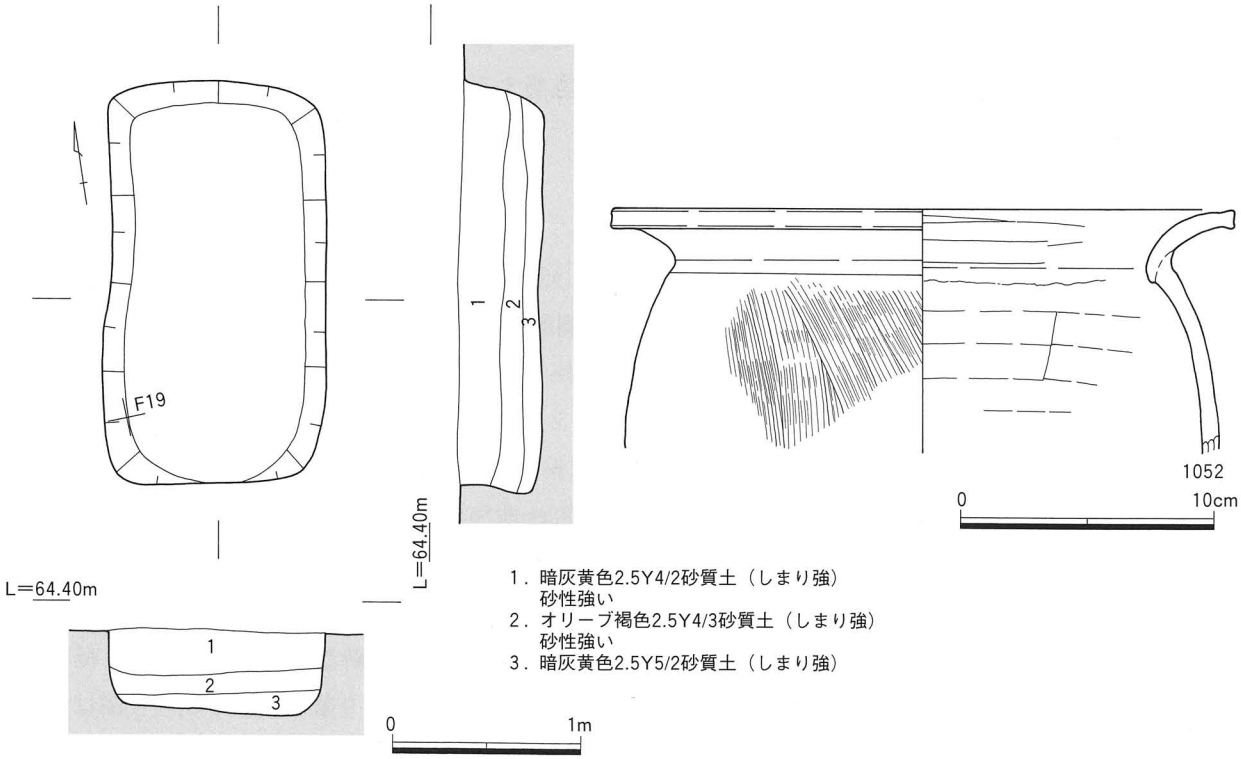
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
2．黄褐色2.5Y5/3砂質土（しまり強）
灰オリーブ色砂質土ブロック含む

第613図　Ⅳ地区ST1033遺構・遺物実測図



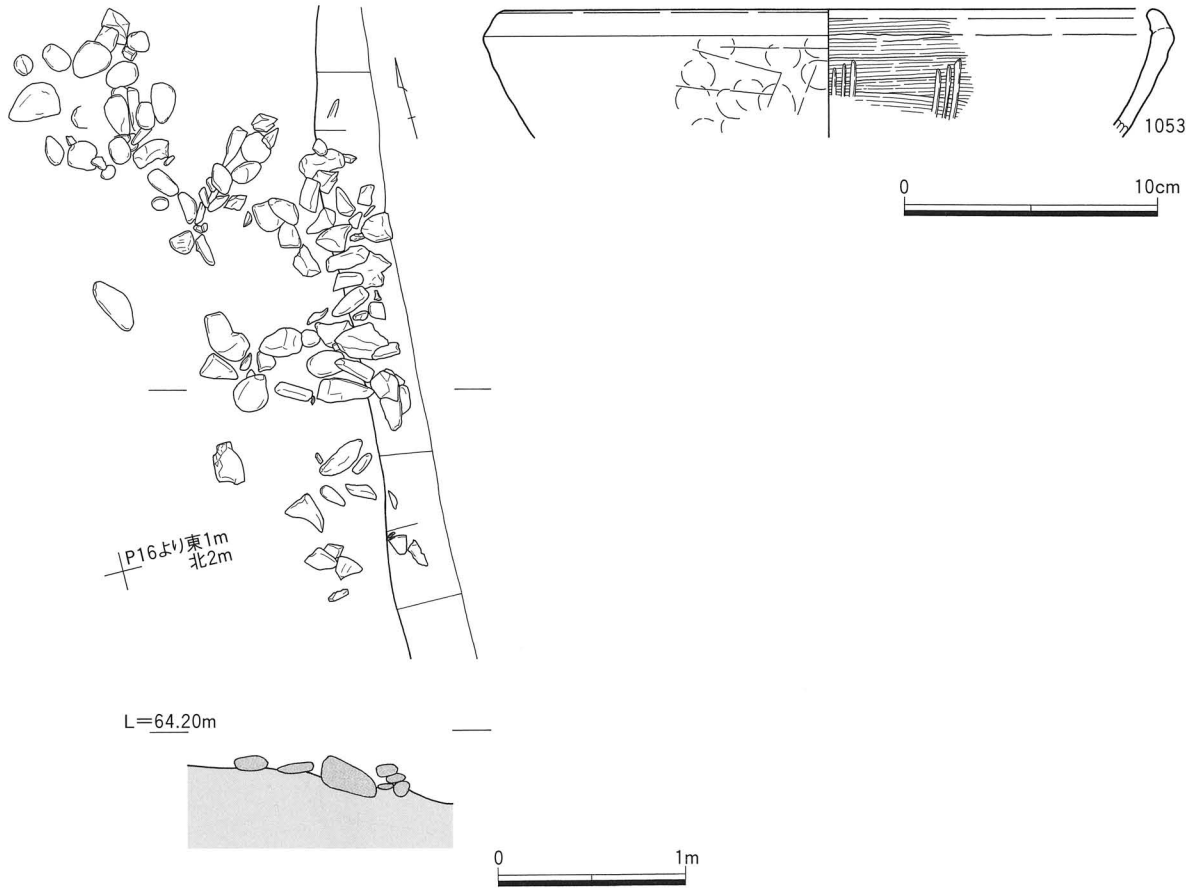
1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
黄褐色砂質土ブロック含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
3．暗灰黄色2.5Y5/2砂質土（しまり強）
4．黄褐色2.5Y5/3砂質土（しまり弱）
砂性強い

第614図　Ⅳ地区ST1068遺構・遺物実測図



1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
砂性強い
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
砂性強い
3．暗灰黄色2.5Y5/2砂質土（しまり強）

第615図　Ⅳ地区ST1112遺構・遺物実測図



第616図　Ⅳ地区SU1001遺構・遺物実測図

施す。1055は土師質土器甕。口縁は短く、端部を肥厚させる。体部外面に格子タタキを施す。楠井産の甕AⅡ類に形状・技法が酷似するが、口縁端部を上方に拡張する点が異なる。14世紀後葉～15世紀初頭か。1056は凝灰岩製砥石。１面を部分的に使用する。

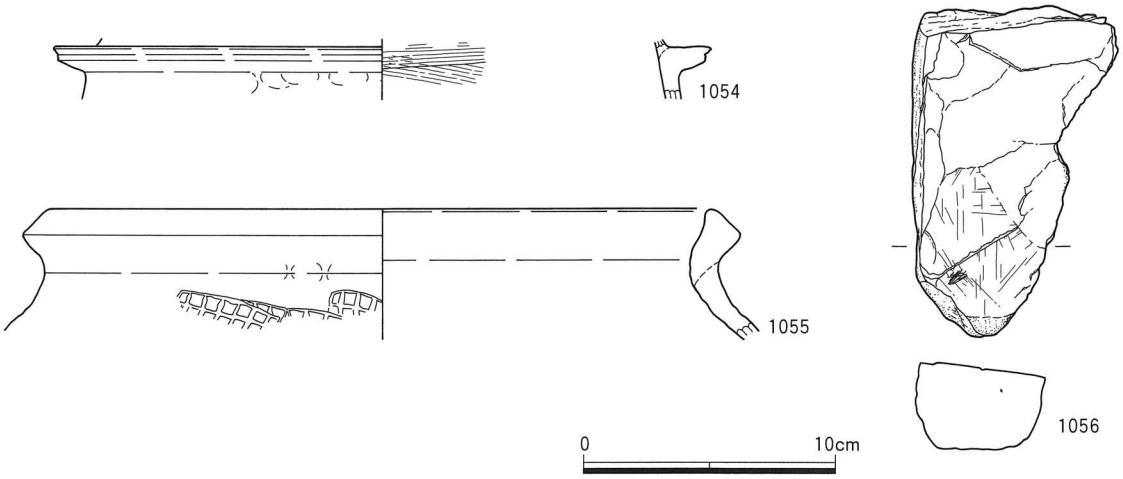
集石遺構３号（Ⅳ地区　SU1003）（第617・619図）

Ⅳ－１区東部北側、N・O20～２グリッドに位置する。屋敷地区画溝SD1032北端部東側から、屋敷地北側にかけてＬ字状に配置される集石遺構。SD1032東側部分は南北長軸636cm短軸182cmを測る。10～60cm大の礫で構成され、溝の斜面を覆うような状況で検出している。積石や石組みは確認できないものの、護岸的な性格を持つものと考えられる。

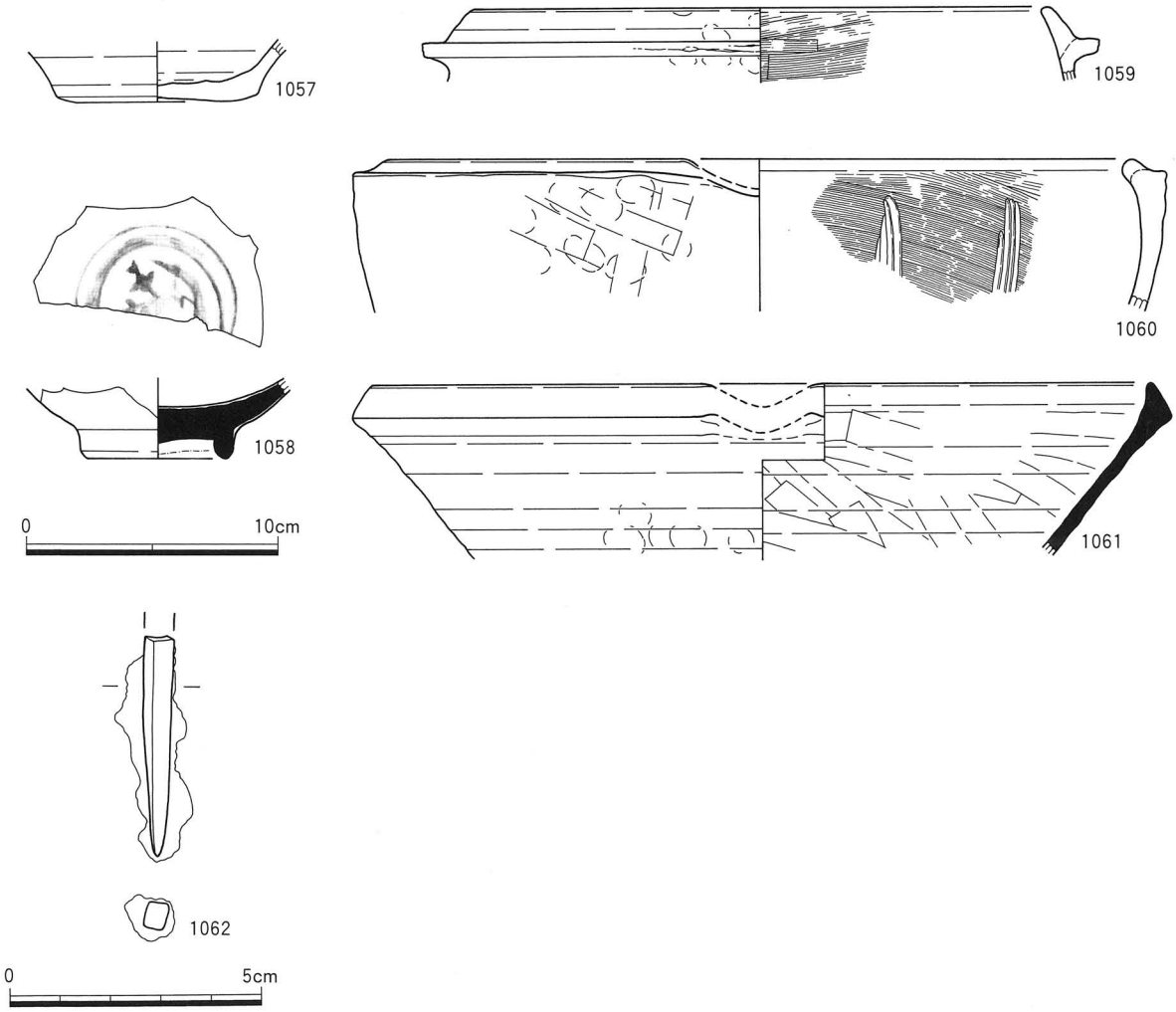
屋敷地北側は、東西長軸572cm短軸116cmを測り、東はⅣ－２区SU1004に向けて延びる。北側に向けて落ち込む斜面肩部を保護・区画するための石積みで、30cm前後の礫を用い、小口を外側に向けて１～３段積む。内側には10cm前後の小礫が検出されたが、部分的に地山との隙間を充填する程度である。

遺物は土師器片（赤彩ほか）、須恵器片・杯・壺、土師質土器杯・皿（静止糸切りほか）・擂鉢・煮炊具（格子タタキほか）・鍋・羽釜、須恵質土器擂鉢・捏鉢、青磁碗、土製鋳型、鉄製品片・釘、軽石が出土。1057は土師質土器杯。回転台成形で、底部外面に板目痕を残す。切り離し技法不明。1058は青磁碗の下半部。体部外面に幅広の蓮弁文とみられるヘラ片彫文、底部内面に印花文を施す。上田分類のC－Ⅱ－a類に相当し、14世紀後葉～15世紀前葉の年代が与えられる。1059は土師質土器羽釜の上部。鍔部

第617図　Ⅳ地区SU1002・SU1003遺構実測図



第618図　Ⅳ地区SU1002遺物実測図



第619図　Ⅳ地区SU1003遺物実測図

は折り曲げ技法で作り、両端部は方形に仕上げる。内面はヨコハケを施す。楠井産羽釜か。1060は土師質土器擂鉢の上半部。口縁端部を内上方に継ぎ足す。片口を設ける。内面ヨコハケのち擂目を施す。1061は東播系須恵質土器捏鉢の上半部。口縁端部を拡張。森田編年第Ⅲ期第１段階に相当し、13世紀前半～後半の年代が与えられる。1062は鉄釘で、頭部を欠く。

集石遺構４号（Ⅳ地区　SU1004）（第620～622図）

Ⅳ－２区西部北端、M・N４～７グリッドに位置する。屋敷地北辺を区画する石積みであり、東はSD1040まで、西はⅣ－１区SU1003へ続く。長軸1444cm80cm深度95cmを測る。30～60cm大の礫で構成され、小口を外側に向けて面を揃え、３段前後に積む。小型の礫は大型礫の間詰めに用いられ、明瞭な裏込めは確認できない。２ヶ所の断ち割り調査によって、落ち込みの肩部から２～３m北に石積みを構築し、この間に土を入れて平坦面を作り、屋敷地を北に拡張した事がわかった。

遺物は石積みの内外から、土師質土器杯（静止糸切り）・皿・擂鉢・煮炊具脚部・鍋・羽釜、亀山系瓦質土器甕、備前陶器擂鉢・甕、鉄製品片、鉄滓、銅製笄、角礫凝灰岩製石臼か、が出土。

1063～1070は土師質土器皿。いずれも回転台成形で、底部が残存する個体は外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩を含む。1071～1074は土師質土器羽釜。

1071・1072は東予型の羽釜で、低い凸帯状の鍔を有する。鍔部折り曲げ技法とみられるが明瞭でなく、貼付けの可能性も残す。1073・1074は鍔部を折り曲げ技法で作り、端部を尖らせる。内面に横位の板ナデを施す。1075は土師質土器鍋で、底部を欠く。頸部外面に指頭圧痕を残し、体部外面は板ナデ、内面は横位の板ナデを施す。1076は土師質土器擂鉢の上半部。口縁端部をわずかに肥厚させる。体部外面ユビオサエのち横位の板ナデ、内面横位の板ナデのち擂目を施す。内面は剥離が多い。

1077は天霧産角礫凝灰岩製の石製品。搗き臼形を呈する。底部に上下から穿孔を施すため、臼か手水鉢の転用品か。内面に縦位の鑿痕、外面に横位の鑿痕を残す。石積みの外側から出土。1078は銅製笄の下半。装飾・文様等はない。石積み外側から出土。

遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

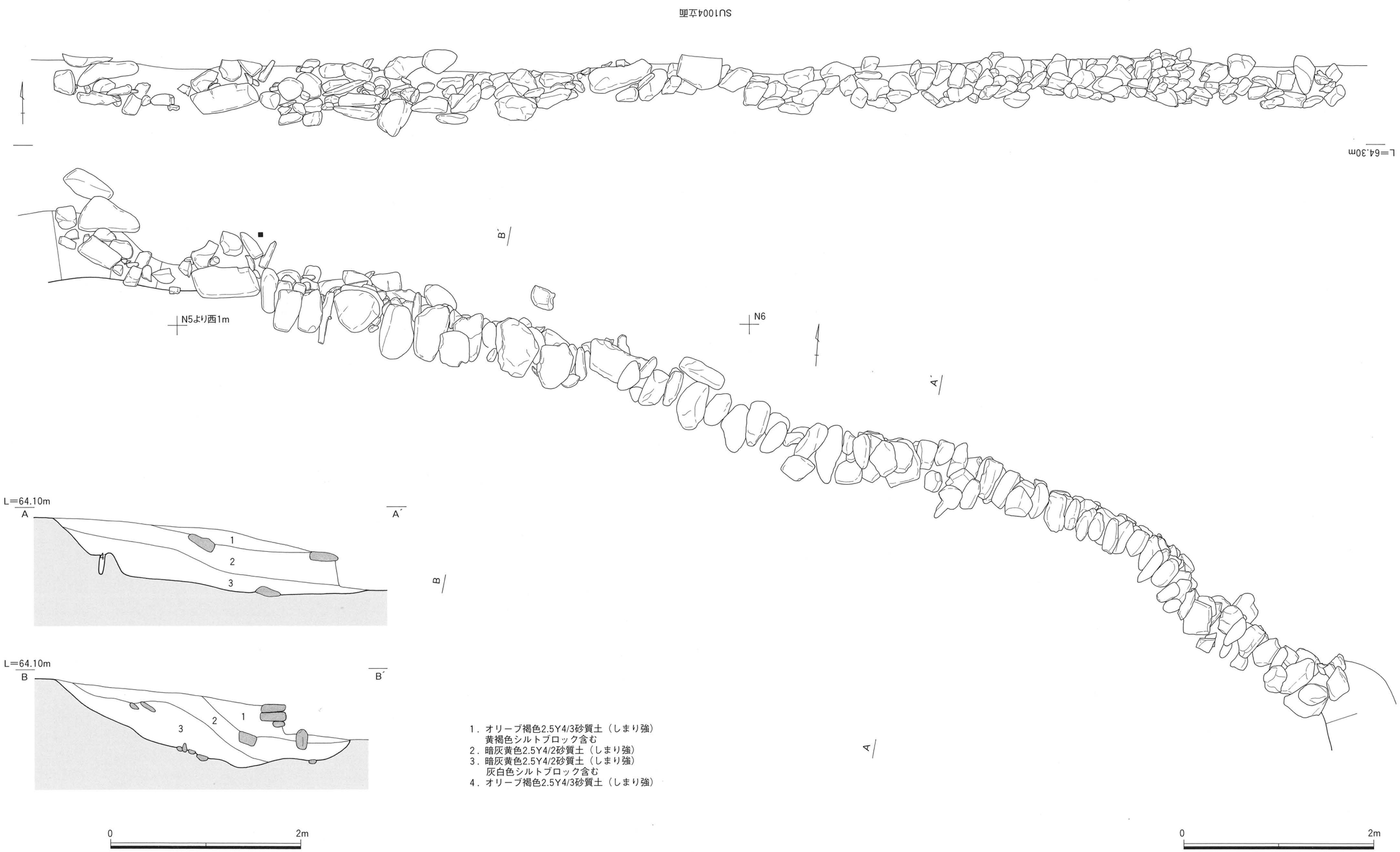
集石遺構５号（Ⅳ地区　SU1005）（第623図）

Ⅳ－２区西部北端、L８・９グリッドに位置する。SU1004の東側延長線上に位置するが、東西346cmのみ検出している。20～30cm前後の礫を東西に列べるが、SU1004と比較して礫は小型で、面を小口で揃えない。部分的に２段の石積みが遺る。断ち割り調査によって、落ち込み肩部から北1.5mの地点に石積みを構築しており、SU1004と同様に平坦面の拡張を企図している。

遺物は土師質土器片・擂鉢・茶釜、鉄製品片が出土。1079は土師質土器茶釜の上半部。肩部に焼成前穿孔を施し、外側に外上方に延びる把手部を貼り付ける。体部外面にハケを施し、内面に指頭圧痕を残す。15～16世紀代とみられる。

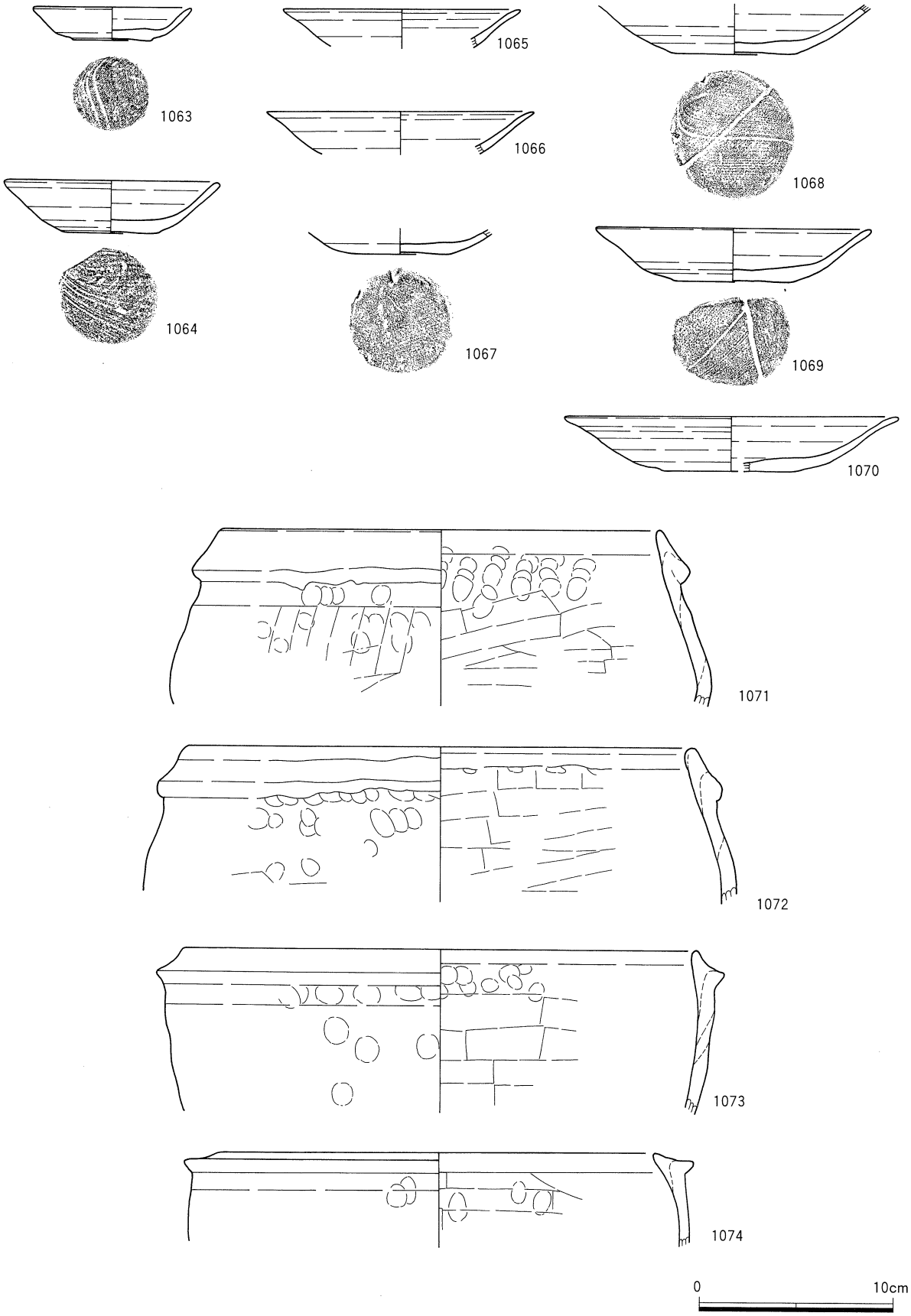
集石遺構６号（Ⅳ地区　SU1006）（第624図）

Ⅳ－２区中央部北端、L９・10グリッドに位置する、長さ388cm幅252cm深度34cmを測る不整形の集石土坑。断面は皿状で、底面は起伏がみられる。埋土は２層に分層できる。礫は10～50cm大で、遺構中央部に集中する。配置に規則性は見いだせない。

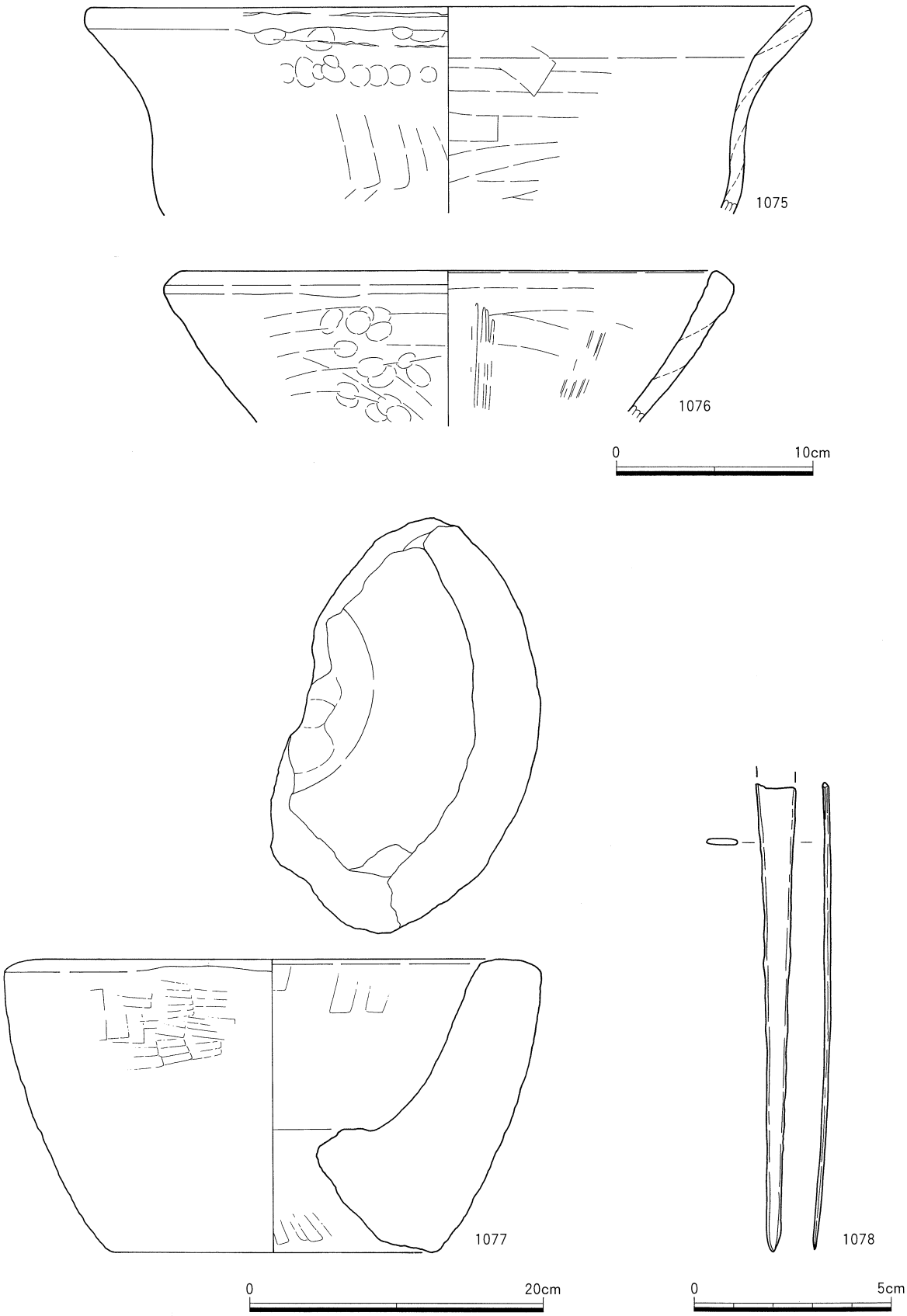


1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　黄褐色シルトブロック含む
2．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
3．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
　灰白色シルトブロック含む
4．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）

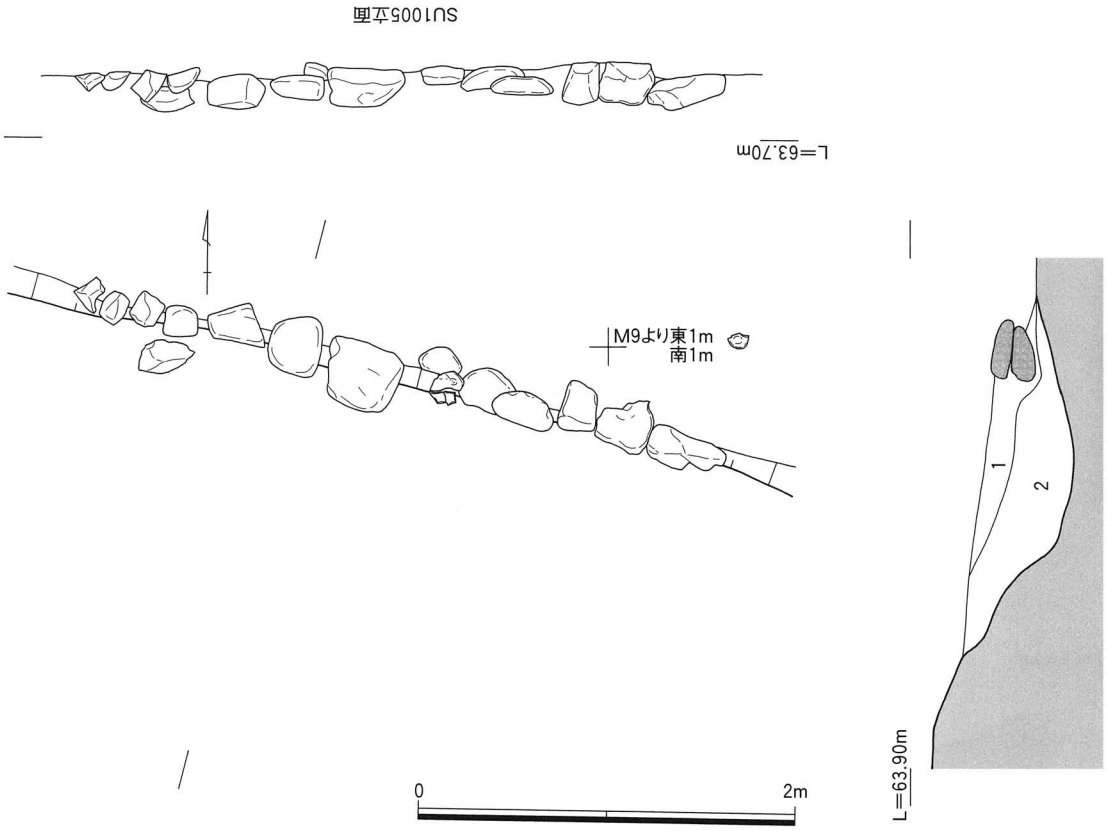
第620図　Ⅳ地区SU1004遺構実測図



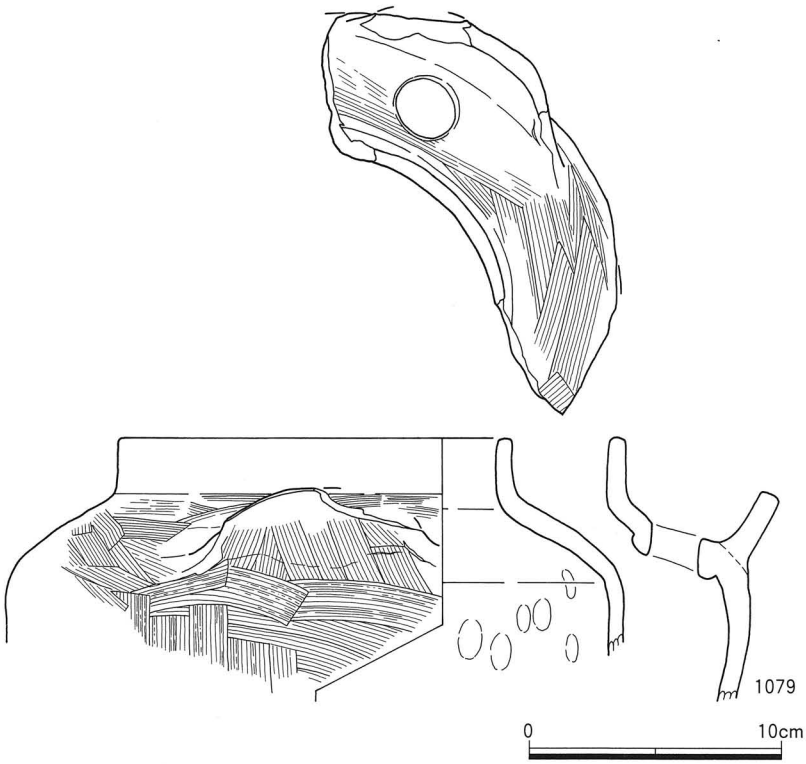
第621図　Ⅳ地区SU1004遺物実測図(1)



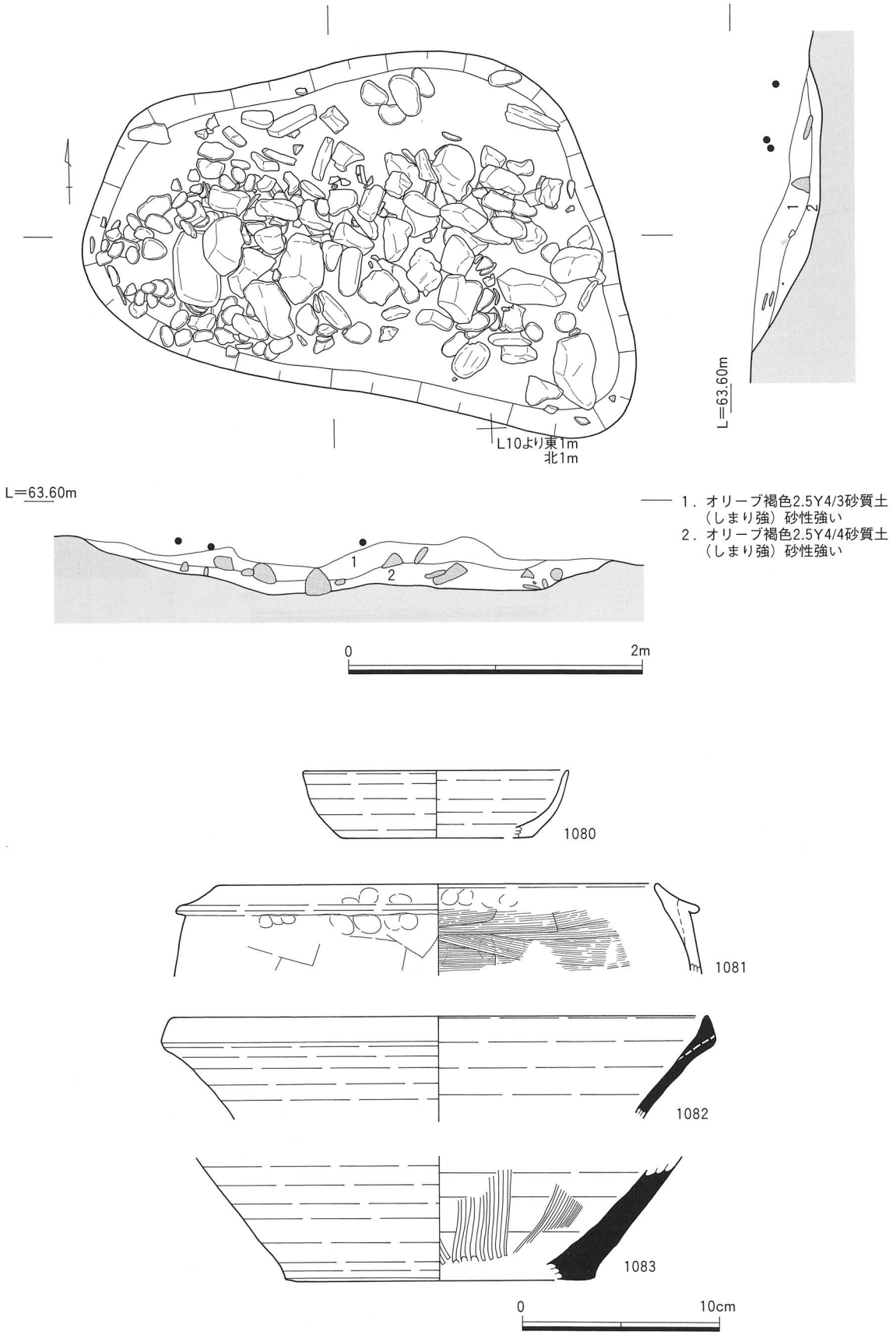
第622図　Ⅳ地区SU1004遺物実測図(2)



1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　灰白色シルトブロック含む
2．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
　灰白色シルトブロック多く含む



第623図　Ⅳ地区SU1005遺構・遺物実測図



第624図　Ⅳ地区SU1006遺構・遺物実測図

遺物は土師質土器片・杯（回転糸切り・回転ヘラ切り）・擂鉢・煮炊具・羽釜（内耳ほか）、須恵質土器捏鉢、備前陶器擂鉢、鉄滓、骨片が出土。1080は土師質土器杯。底部外面は回転ヘラ切りか。胎土は粗く、結晶片岩を多く含む。1081は土師質土器羽釜の上半部。鍔部は折り曲げ技法で作り、両端部は尖らせ気味に仕上げる。内面ヨコハケを施す。1082は東播系須恵質土器捏鉢の上半部。口縁端部を上方に拡張させる。森田編年第Ⅲ期第１段階とみられ、13世紀前半～後半の年代が与えられる。1083は備前焼陶器擂鉢の体部下半。擂目の状況から16世紀代と考えられる。

集石遺構７号（Ⅳ地区　SU1007）（第625・626図）

Ⅳ－２区中央部北側、J９グリッドに位置する、長さ143cm幅125cm深度23cmを測る不整形の集石土坑。断面は逆台形状で、埋土は１層である。10～80cmの礫で構成され、大型礫が主体を占める。配置に規則性は見いだせない。

遺物は土師質土器片・皿・擂鉢・羽釜（内耳ほか）が出土。1084は土師質土器皿。底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩・絹雲母を含む。1085は土師質土器擂鉢の上半部。口縁端部を内側に拡張する。内面ヨコハケのち擂目を施す。1086～1090は土師質土器羽釜。1086は、鍔部を折り曲げ技法で作る。体部外面下半に脚部を貼付。体部外面ユビオサエのち板ナデ、底部外面に格子タタキ、内面横位の板ナデを施す。胎土は粗く、砂岩を含む。14～15世紀頃か。1087は鍔部を折り曲げ技法で作る。体部内面に目の粗いヨコハケを施す。1088は鍔部成形技法不明。内外面は板ナデで作り、タタキは確認できない。1089・1090は把手が付くいわゆる内耳鍋。鍔部は折り曲げ技法で作り、内面はヨコハケを施す。

遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

集石遺構20号（Ⅳ地区　SU1020）（第627図）

Ⅳ－２区中央部南側、G・H８・９グリッドに位置する、長軸91cm短軸40cmを測る不整な長楕円形を呈する集石遺構。10～40cm大の礫で構成。検出面より19～37cm上で検出し、掘り込みは確認できない。

遺物は土師質土器片・擂鉢、角礫凝灰岩製石臼が出土。1091は土師質土器擂鉢の上半部。口縁端部を内上方に拡張する。口縁外面にヨコハケ、体部外面にユビオサエのち板ナデ、内面ヨコハケのち擂目を施す。胎土に結晶片岩を含むとみられる。1092は天霧産とみられる角礫凝灰岩製の石臼（上臼）。側面に横打ち込み孔１ヵ所あり。下面は磨耗し、溝目は確認できない。

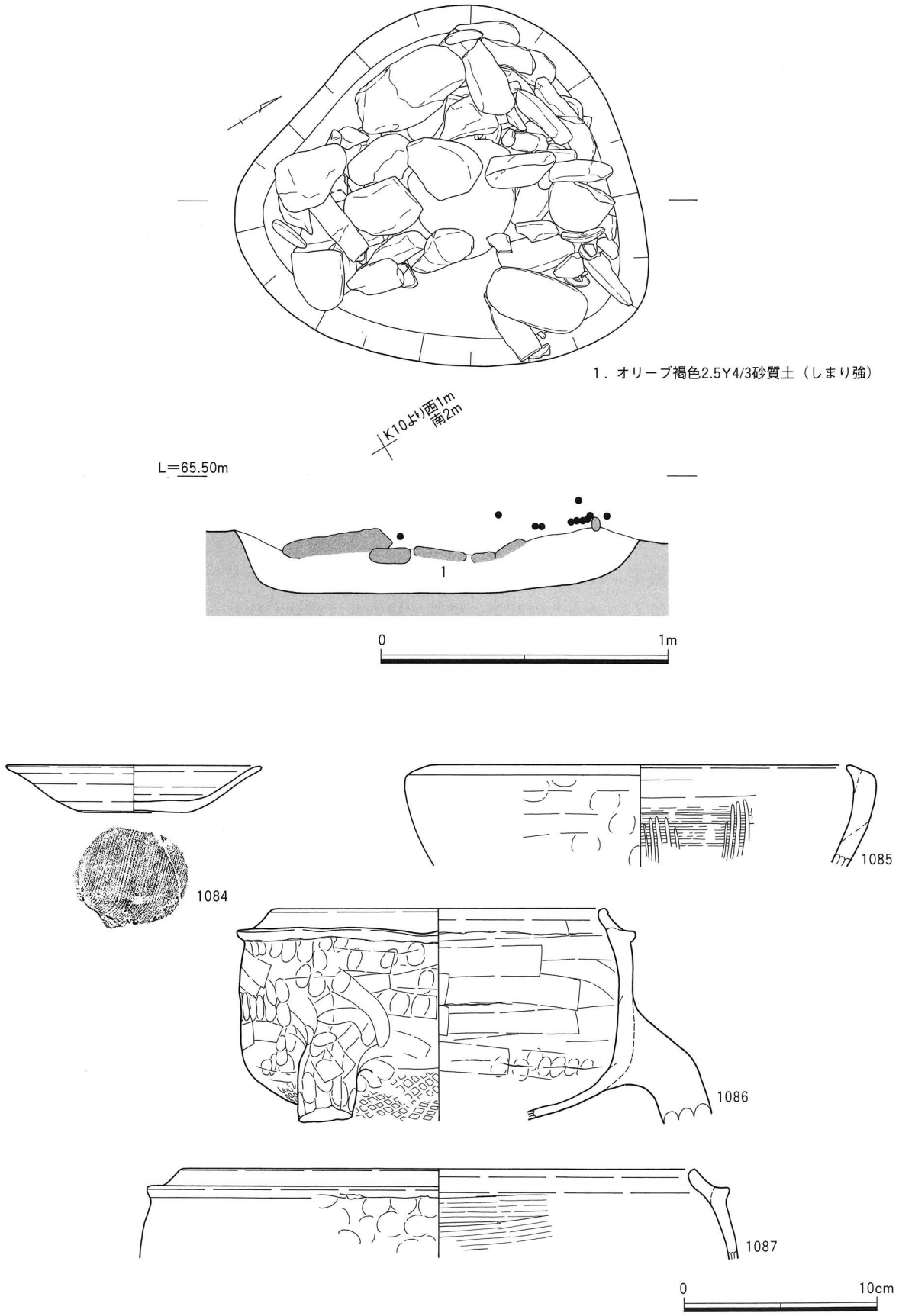
遺構の年代は、出土遺物から概ね16世紀頃とみられる。

溝４～31号（Ⅳ地区　SD1004～1031）（第550図・付図11）

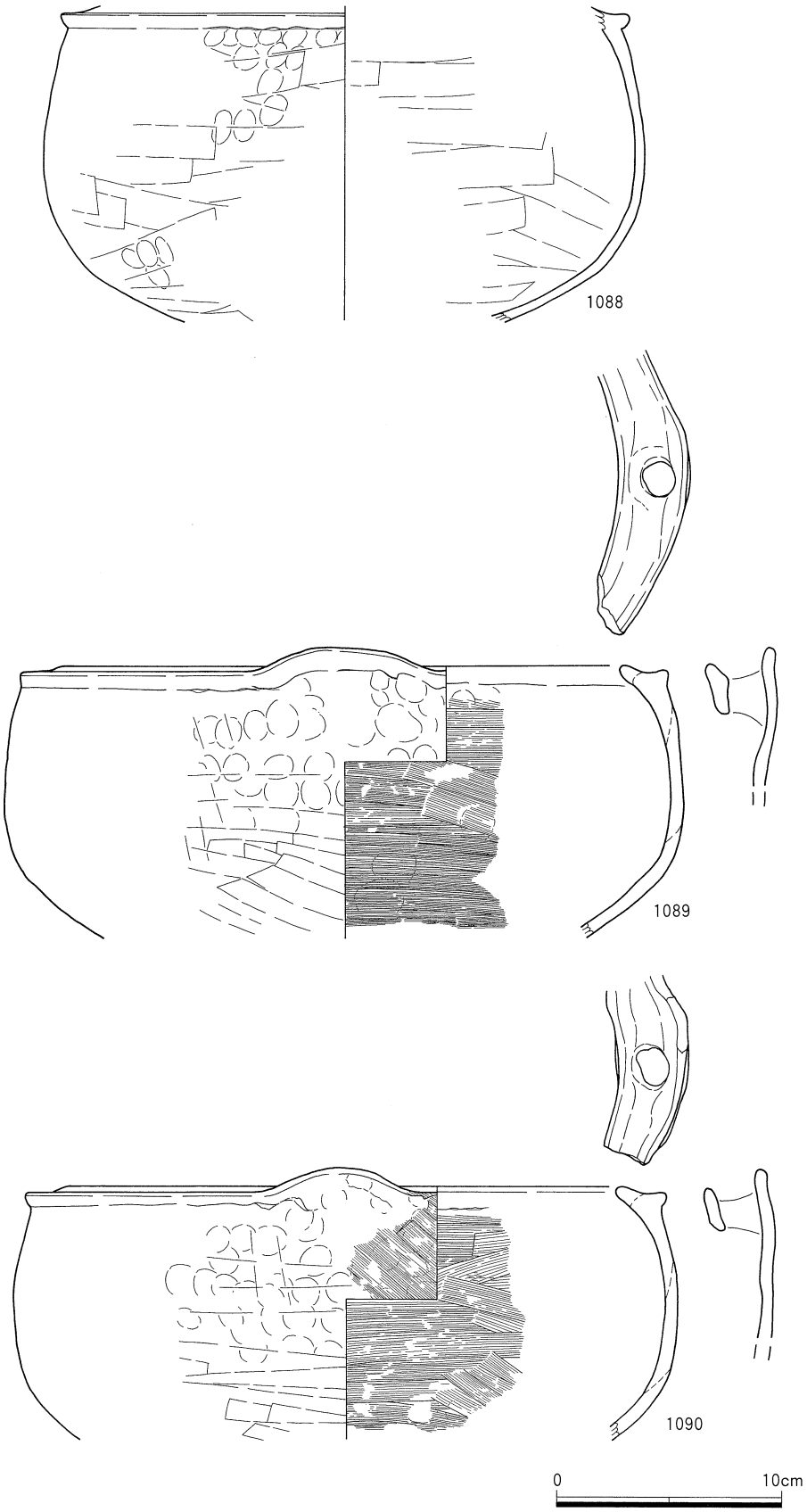
Ⅳ－１区北端部、O～S13～20グリッドに位置する。Ⅲ地区から続く落ち込みの緩斜面に掘削された幅30～80cm深さ10cm前後の南北方向に走る浅い溝で、１ｍ前後の間隔をおいて規則的に並ぶ。耕作に伴うものと考えられる。

溝32号（Ⅳ地区　SD1032）（第628図）

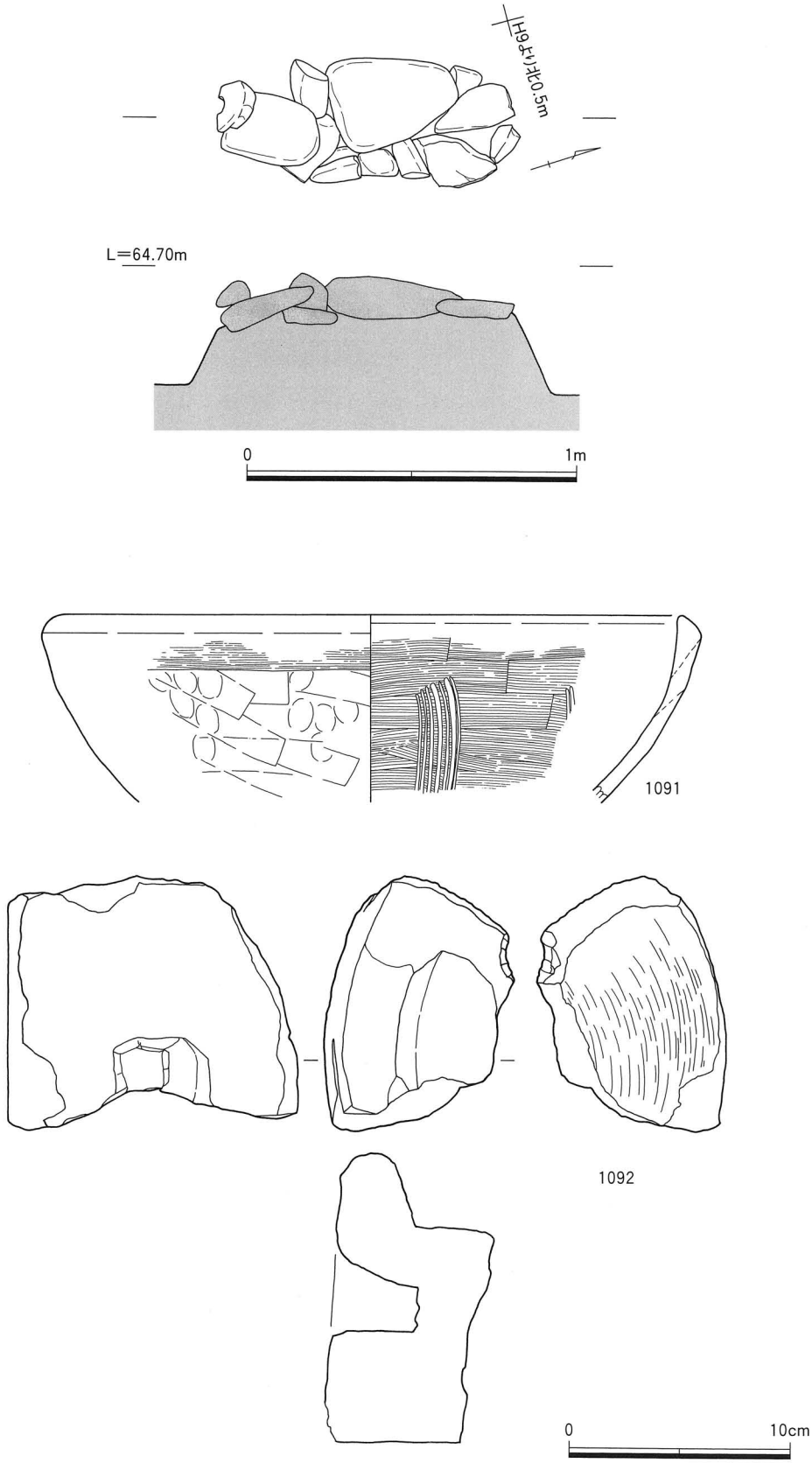
Ⅳ－１区東部、I～O19～１グリッドに位置し、南は調査区外に延びる。検出長31.5ｍ幅225cm深度49cmを測る。主軸はN10°Eを向く。断面はレンズ状で、底面は北に向けて下がる。埋土は３層に分層でき、第１層はしまりが弱い細砂層である。本遺構は方形区画屋敷地西側の区画溝である。北はⅢ地区か



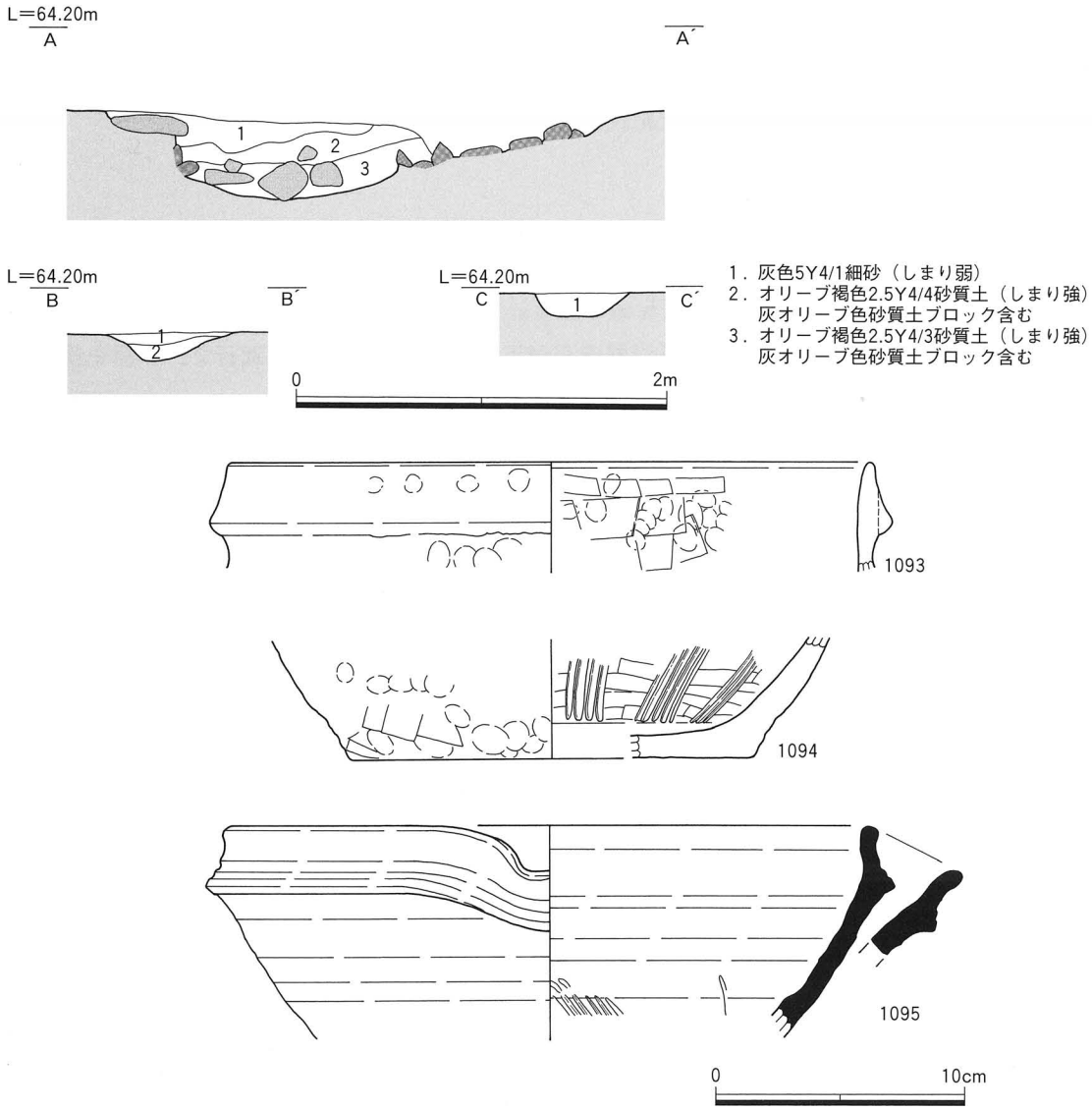
第625図　Ⅳ地区SU1007遺構・遺物実測図(1)



第626図　Ⅳ地区SU1007遺物実測図(2)



第627図　Ⅳ地区SU1020遺構・遺物実測図



第628図　Ⅳ地区SD1032遺構・遺物実測図

ら続く落ち込みに合流し、北端部で護岸とみられる集石遺構SU1002・1003を伴う。

遺物は須恵器片・壺、土師質土器片・杯・擂鉢・羽釜・煮炊具脚部、須恵質土器片、備前陶器甕・擂鉢、瀬戸美濃系天目茶碗が出土。1093は東予型の土師質土器羽釜の上部。鍔部は貼付とみられる。1094は土師質土器擂鉢の下部。内面横位の板ナデのち擂目を施す。1095は備前焼陶器擂鉢の上半部。口縁端部は上方に大きく拡張させ、片口を設ける。重根編年ⅤA期で、16世紀前半の年代が与えられる。

遺構の年代は、出土遺物から概ね16世紀代と考えられる。

溝33号（Ⅳ地区　SD1033）（第629図）

Ⅳ－1区東端部、J～N20～2グリッドに位置する。L字に屈曲する溝で、方形区画屋敷地の北および西端から3～4m内側を通る。東はⅣ－2区に延び、SD1038に繋がる可能性がある。南北長21.5m東西検出長2.7m幅85cm深度10cm。南北主軸はN17°Eを向く。断面はレンズ状で、埋土は1層。

遺物は土師質土器杯・羽釜が出土。1096は東予型の土師質土器羽釜。鍔部は貼付とみられる。外面斜位の板ナデ、内面横位の板ナデを施す。1097は土師質土器羽釜。鍔部は短く退化し、口縁と近接する。折り曲げ技法で作る。体部外面ユビオサエのち板ナデ、内面横位の板ナデを施す。

遺構の年代は、出土遺物から概ね16世紀代と考えられる。

溝39号（Ⅳ地区　SD1039）（第630図）

Ⅳ－２区西端部南側、I・J２・３グリッドに位置し、西は調査区外に延びるが隣接するⅣ－１区では検出されない。検出長5.2m幅50cm深度６cmを測る。主軸はN77°Wを向く。断面は浅いレンズ状で、埋土は１層。遺物は土師質土器皿、凝灰岩製砥石が出土。1098は凝灰岩製砥石で、３面を使用。

溝40号（Ⅳ地区　SD1040）（第631・633図）

Ⅳ－２区西部、G～L５～７グリッドに位置し、南は調査区外に延びる。検出長29.0m幅120cm深度62cmを測る。主軸はN16°Eを向く。断面はU字状で、底面は北に向けて下がる。埋土は４層に分層。方形区画屋敷地の東側を画する溝で、北端は落ち込み部に合流し、西に向けてSU1004が延びる。約50cmの間隔をおいてSD1041と並行。

遺物は須恵器片、土師質土器皿・擂鉢・煮炊具・羽釜、瓦質土器火鉢、備前陶器擂鉢・甕が出土。

1099・1100は土師質土器皿。底部外面に静止糸切り痕を残す。1100は胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。

1101は土師器質土器羽釜の上半。鍔部は短く、折り曲げ技法で作る。体部内外面は板ナデを施す。1102は土師質土器擂鉢の上半部。口縁端部を内側に拡張する。体部外面に連続した指頭圧痕を残し、内面は横位の板ナデのち擂目を施す。1103・1104は備前焼陶器擂鉢の上部。1103は重根編年ⅣB－１期で15世紀前葉、1104はⅣB－３期とみられ15世紀後葉の年代が与えられる。

1105は瓦質土器火鉢の上部。内傾しており、窓をもたないことから浅鉢形の火鉢と考える。外面に２条の凸帯を貼り付け、その間にヘラ描きの文様と菊花文スタンプを施す。炭素吸着良好。包含層出土遺物1407と同一個体ではないが、同型である。

遺構の年代は、出土遺物から15～16世紀代と考えられる。

溝41号（Ⅳ地区　SD1041）（第632・634・635図）

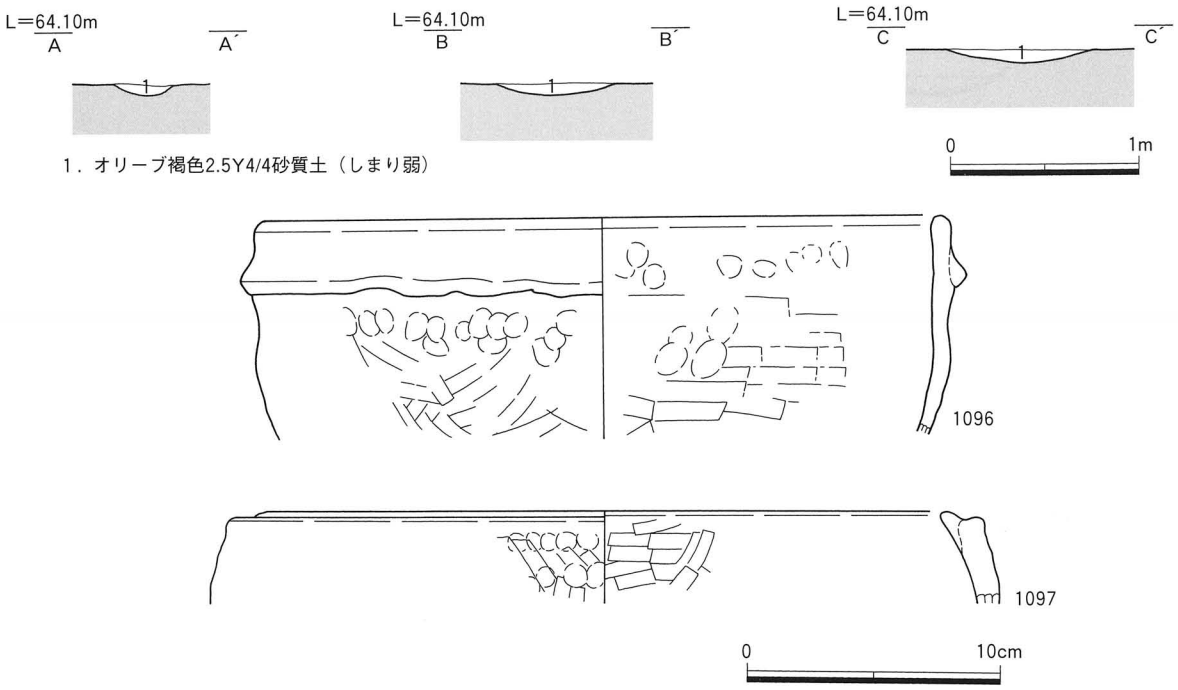
Ⅳ－２区西部、G～L５～７グリッドに位置し、南は調査区外に延びる。検出長28.7m幅130cm深度24cmを測る。主軸はN17°Eを向き、SD1040と並行する。断面はレンズ状で、底面は北に向けて下がる。埋土は３層に分層。

遺物は土師質土器皿・擂鉢・鍋・羽釜・火鉢、備前陶器擂鉢・甕、鉄製品片・刀子が出土。

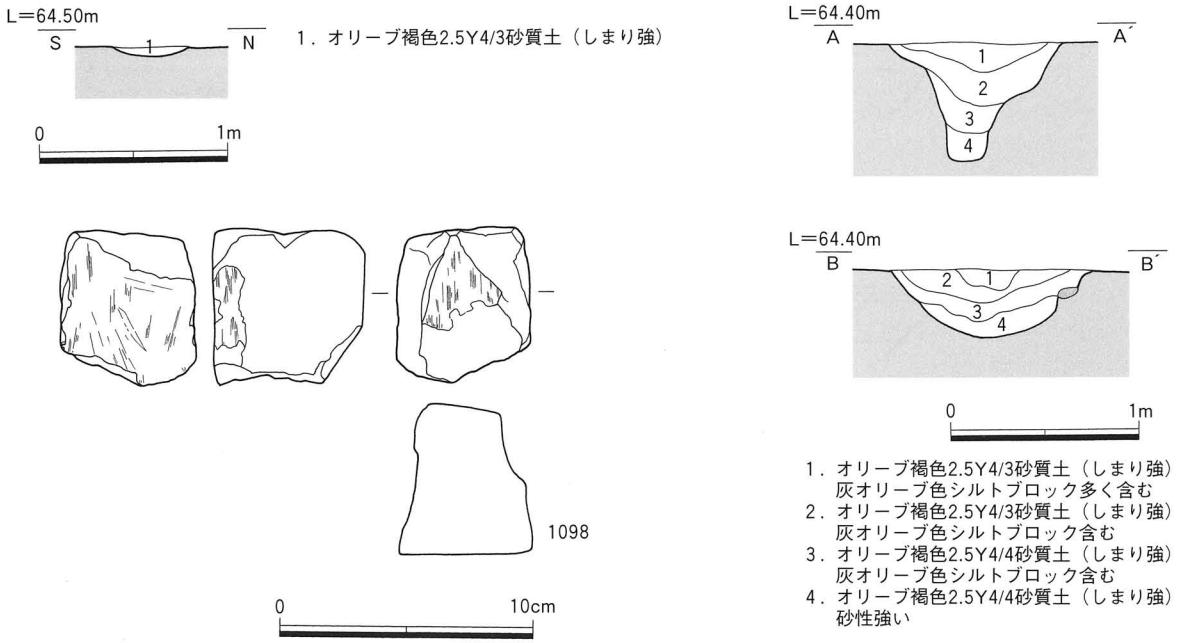
1106は土師質土器皿。底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。

1107～1109は土師質土器羽釜。1107は東予型羽釜の上部片で、低い凸帯状の鍔部を折り曲げ技法で作る。内面横位の板ナデを施す。1108・1109は鍔部を折り曲げ技法で作る。体部外面ユビオサエのち板ナデ、内面横位の板ナデを施す。タタキの痕跡は確認できない。1109は胎土に砂岩を含む。1110は土師質土器鍋の口縁部片。内面板ナデを施す。

1111は土師質土器擂鉢の口縁部片で、片口部付近にあたる。外面指頭圧痕が顕著で、内面板ナデのち擂目を施す。1112は備前焼陶器擂鉢の下部。擂目の状況から15～16世紀代とみられる。1113は土師質土

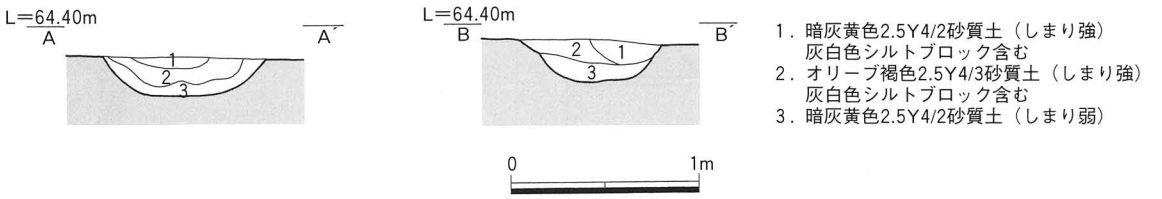


第629図　Ⅳ地区SD1033遺構・遺物実測図

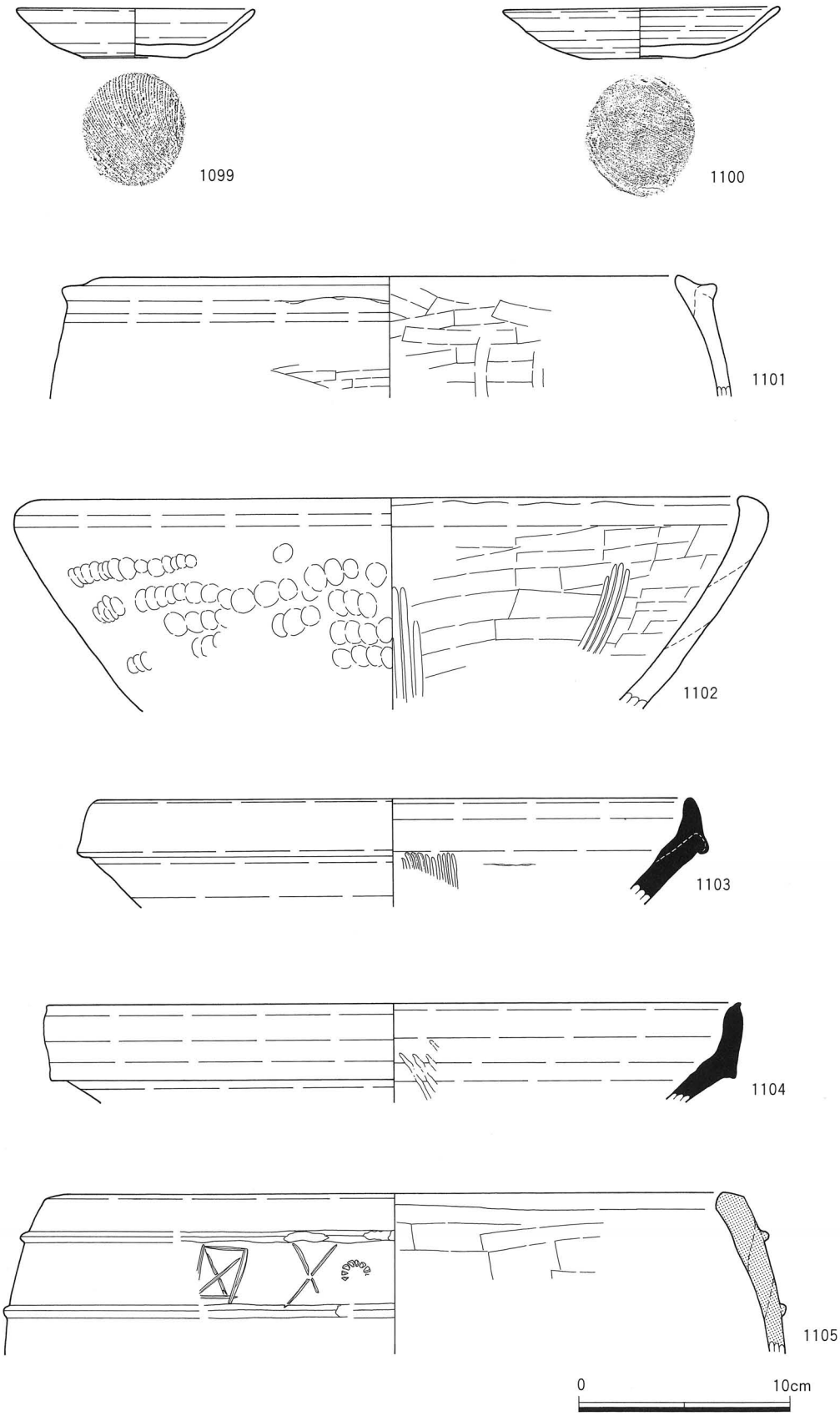


第630図　Ⅳ地区SD1039遺構・遺物実測図

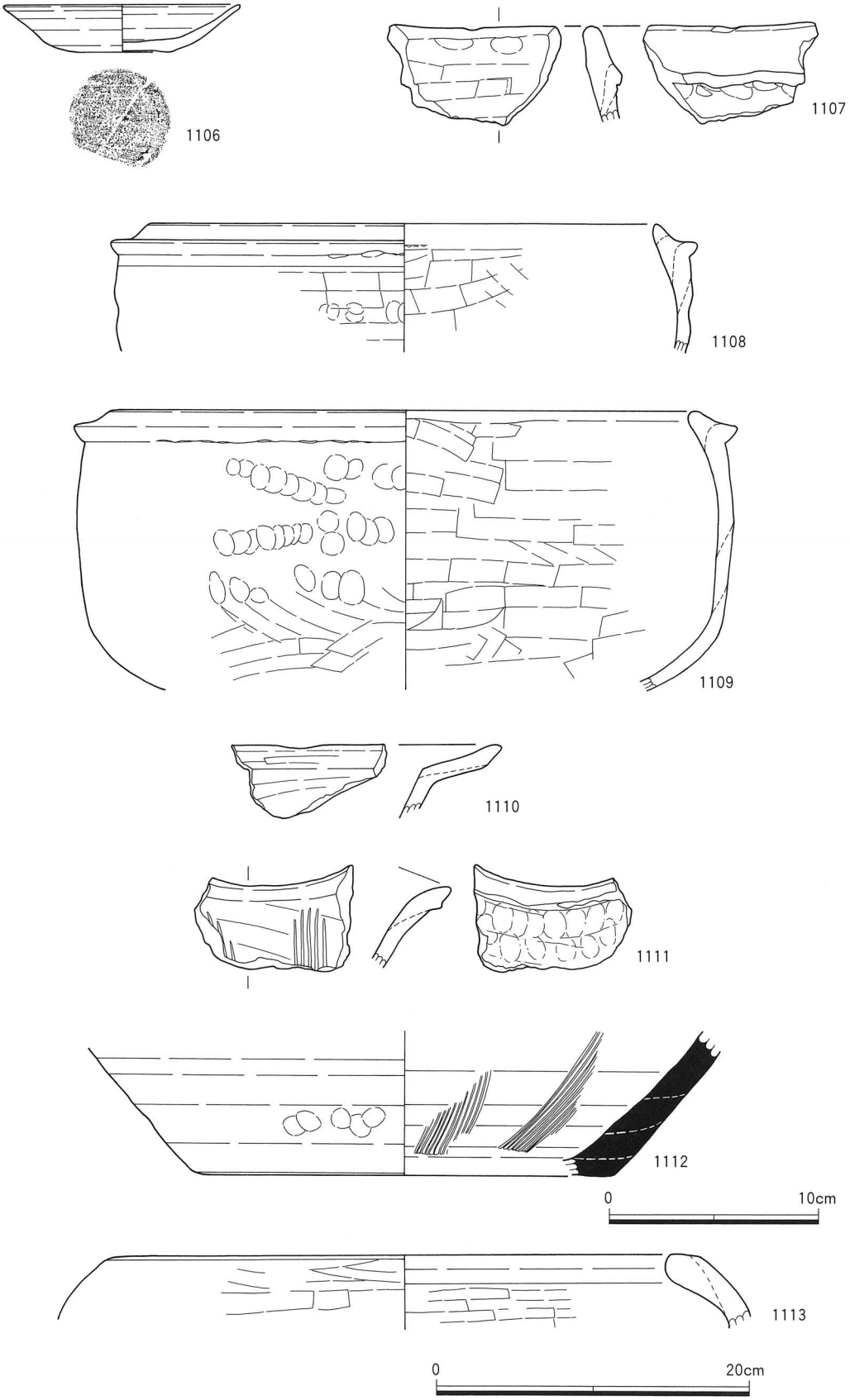
第631図　Ⅳ地区SD1040遺構断面図



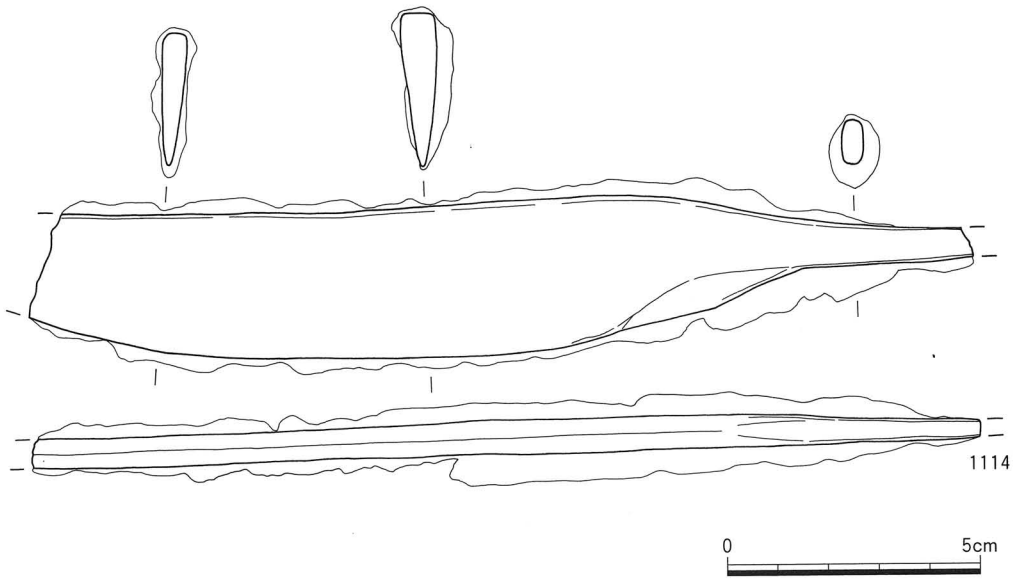
第632図　Ⅳ地区SD1041遺構断面図



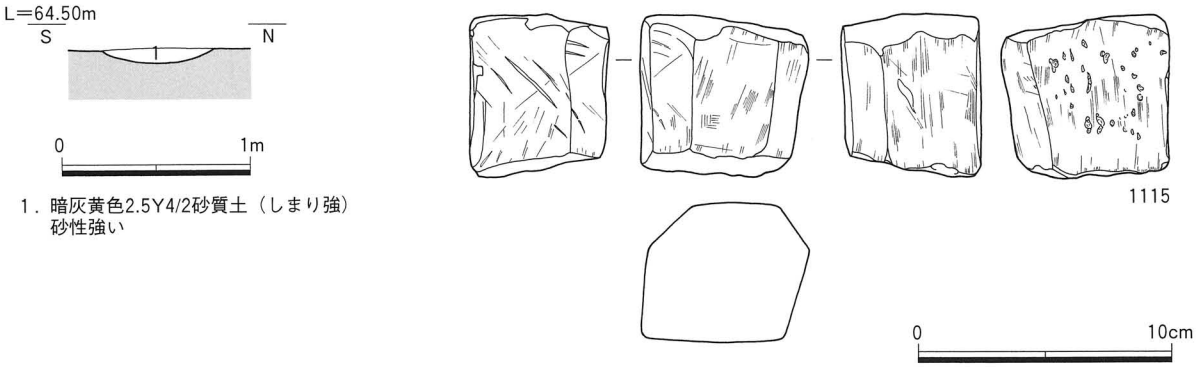
第633図　Ⅳ地区SD1040遺物実測図



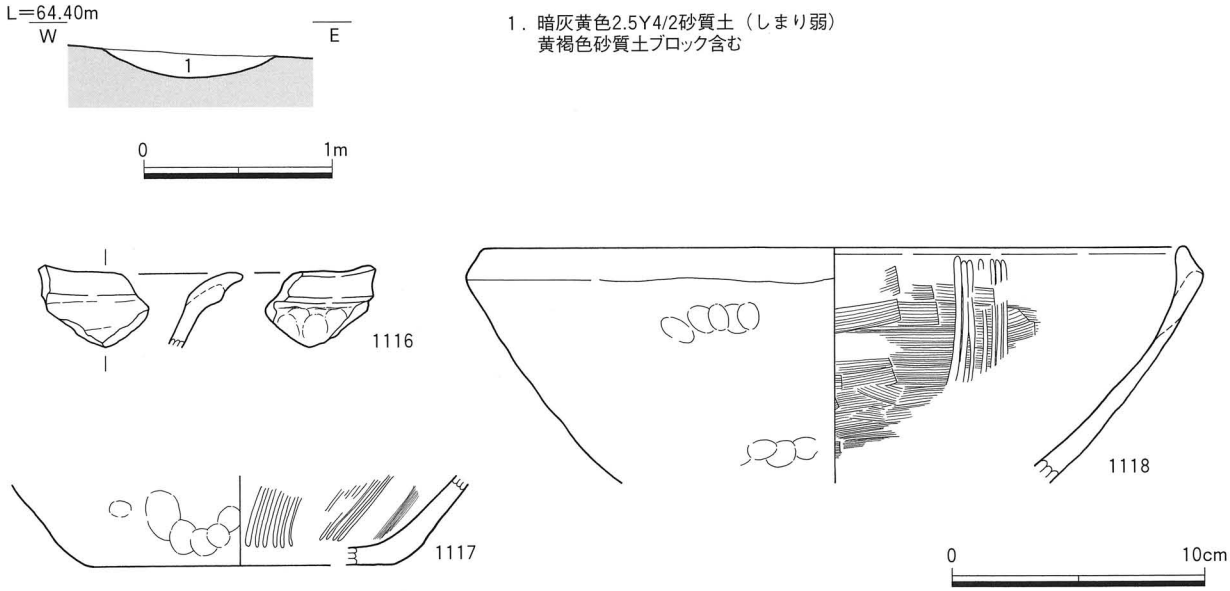
第634図　Ⅳ地区SD1041遺物実測図(1)



第635図　Ⅳ地区SD1041遺物実測図(2)



第636図　　Ⅳ地区SD1043遺構・遺物実測図



第637図　Ⅳ地区SD1045遺構・遺物実測図

器の口縁部で、大きく内彎する。火鉢または釜とみられる。

1114は鉄製の刀子とみられるが、残存長18.7cmを測り刀子にしては大きい。

遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

溝43号（Ⅳ地区　SD1043）（第636図）

Ⅳ－２区中央部、H・I８～10グリッドに位置する、全長10.0m幅70cm深度10cm。主軸はN72°Wを向く。断面はレンズ状で、埋土は１層。遺物は土師質土器片、凝灰岩製砥石が出土。1115は凝灰岩製砥石。６面を使用。

溝45号（Ⅳ地区　SD1045）（第637図）

Ⅳ－２区中央部、H～K10・11グリッドに位置し、南端は遺構に切られ以南には延びない。検出長15.6m幅100cm深度14cm。主軸はN８°Wを向く。断面はレンズ状で、埋土は１層。

遺物は土師質土器片・擂鉢・煮炊具が出土。1116は土師質土器擂鉢の上部片で、片口付近。1117は土師質土器擂鉢の下部。内面は使用により磨耗。1118は土師質土器擂鉢の上半部。口縁端部を上方に拡張。外面に指頭圧痕を残し、内面ヨコハケのち擂目を施す。ともに15～16世紀代とみられる。

溝47号（Ⅳ地区　SD1047）（第638図）

Ⅳ－２区中央部北側、H～K11・12グリッドに位置する、全長15.1m幅120cm深度14cm。主軸はN14°Eを向く。断面はレンズ状で、埋土は１層である。北端部に10～50cm大の礫が集中する。直線状に列ぶが、組んだような形跡はない。南端部では小型の礫に混じって1119の羽釜が出土。

遺物は土師質土器杯・擂鉢・煮炊具（格子タタキ）・羽釜（内耳）、備前陶器片・甕、鉄刀子・鏨が出土。1119は土師質土器羽釜。鍔部は折り曲げ技法で作る。口縁と鍔の間に焼成前穿孔を施し、外側の鍔部を拡張して把手部を作る。体部外面に連続した指頭圧痕を残し、底部外面に板ナデ、内面に横位の板ナデを施す。タタキの痕跡は確認できない。1120は鉄製の鏨とみられる。頭部を欠く。

遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

小穴４号（Ⅳ地区　SP1004）（第639図）

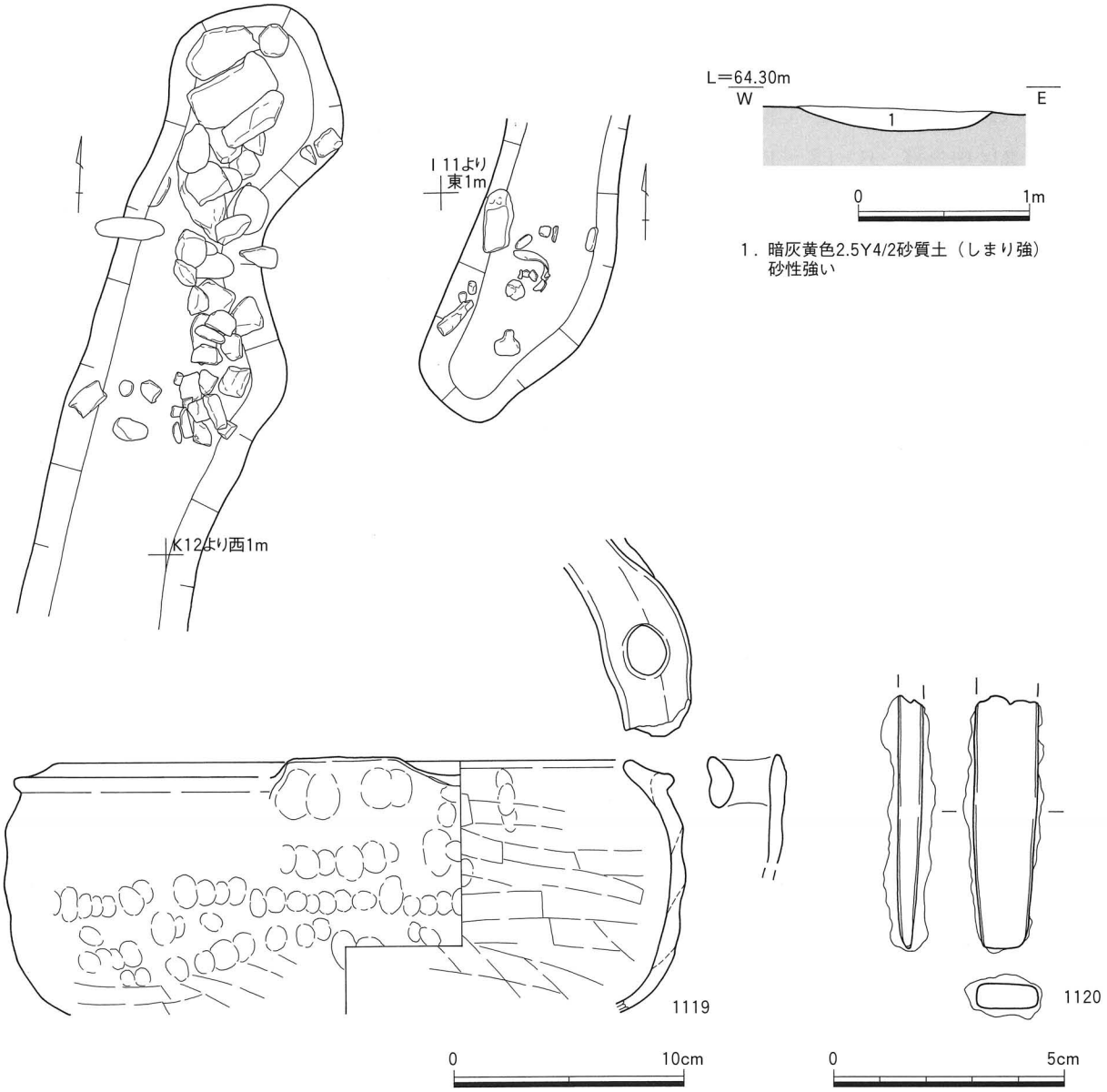
Ⅳ－１区西部L・M11グリッドに位置する、一辺57cm深度26cmを測る隅丸方形の小穴。出土遺物は１点のみで、1121は須恵器杯の下半部。８世紀中葉頃か。

小穴６号（Ⅳ地区　SP1006）（第640図）

Ⅳ－１区中央部北寄り、N16・17グリッドに位置する、径40cm深度17cmを測る円形の小穴。出土遺物は１点のみで、1122は土師質土器羽釜。鍔部は短く、折り曲げ技法で作る。体部外面ユビオサエのち板ナデまたはハケを施す。内面は指頭圧痕が顕著で、のち横位の板ナデを施す。15世紀頃とみられる。

小穴80号（Ⅳ地区　SP1080）（第641図）

Ⅳ－２区南西端、H・I２グリッドに位置する、長径110cm深度44cmを測る楕円形の小穴。遺物は土師質土器片・杯・羽釜が出土。1123は土師質土器杯の下半部。底部外面に回転糸切り痕を残す。胎土に結



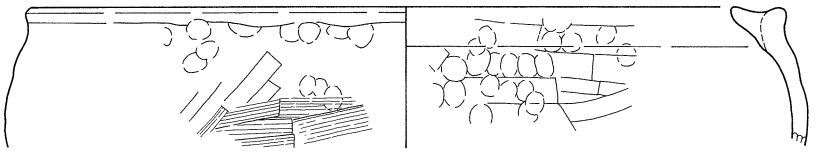
第638図　Ⅳ地区SD1047遺構・遺物実測図

晶片岩・絹雲母を含む。13世紀前後か。

小穴88号（Ⅳ地区　SP1088）（第642図）

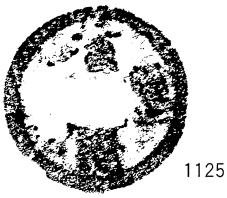
Ⅳ－２区西端部北寄り、Ｌ３グリッドに位置する、長径35cm深度34cmを測る楕円形の小穴。遺物は土師質土器片・杯（回転糸切りほか）、凝灰岩製砥石が出土。1124は凝灰岩製砥石。２面を使用し、図の上面に鑿痕、下面に溝状の擦痕が確認できる。

第639図　Ⅳ地区
SP1004遺物実測図

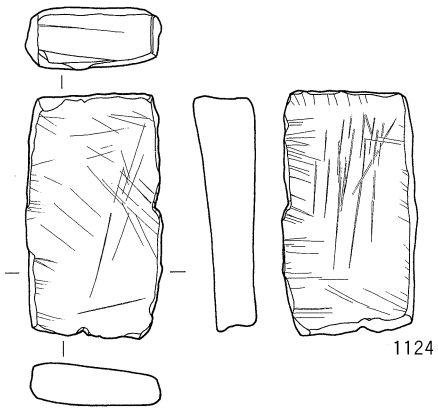


第640図　Ⅳ地区SP1006遺物実測図

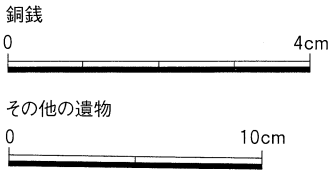
第641図　Ⅳ地区
SP1080遺物実測図



第643図　Ⅳ地区
SP1112遺物実測図



第642図　Ⅳ地区SP1088遺物実測図



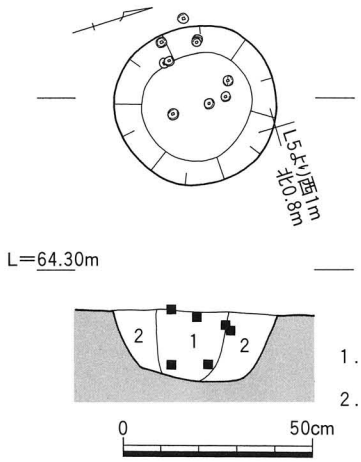
小穴112号（Ⅳ地区　SP1112）（第643図）

Ⅳ－２区西部南側、I３グリッドに位置する、径30cm深度14cmを測る円形の小穴。出土遺物は１点のみで、1125は銅銭で、元豊通寶の篆書体。北宋銭で、1078年初鋳。劣化著しく、細かく割れる。

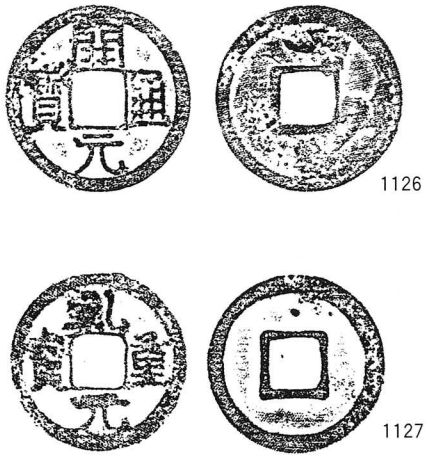
小穴149号（Ⅳ地区　SP1149）（第644図）

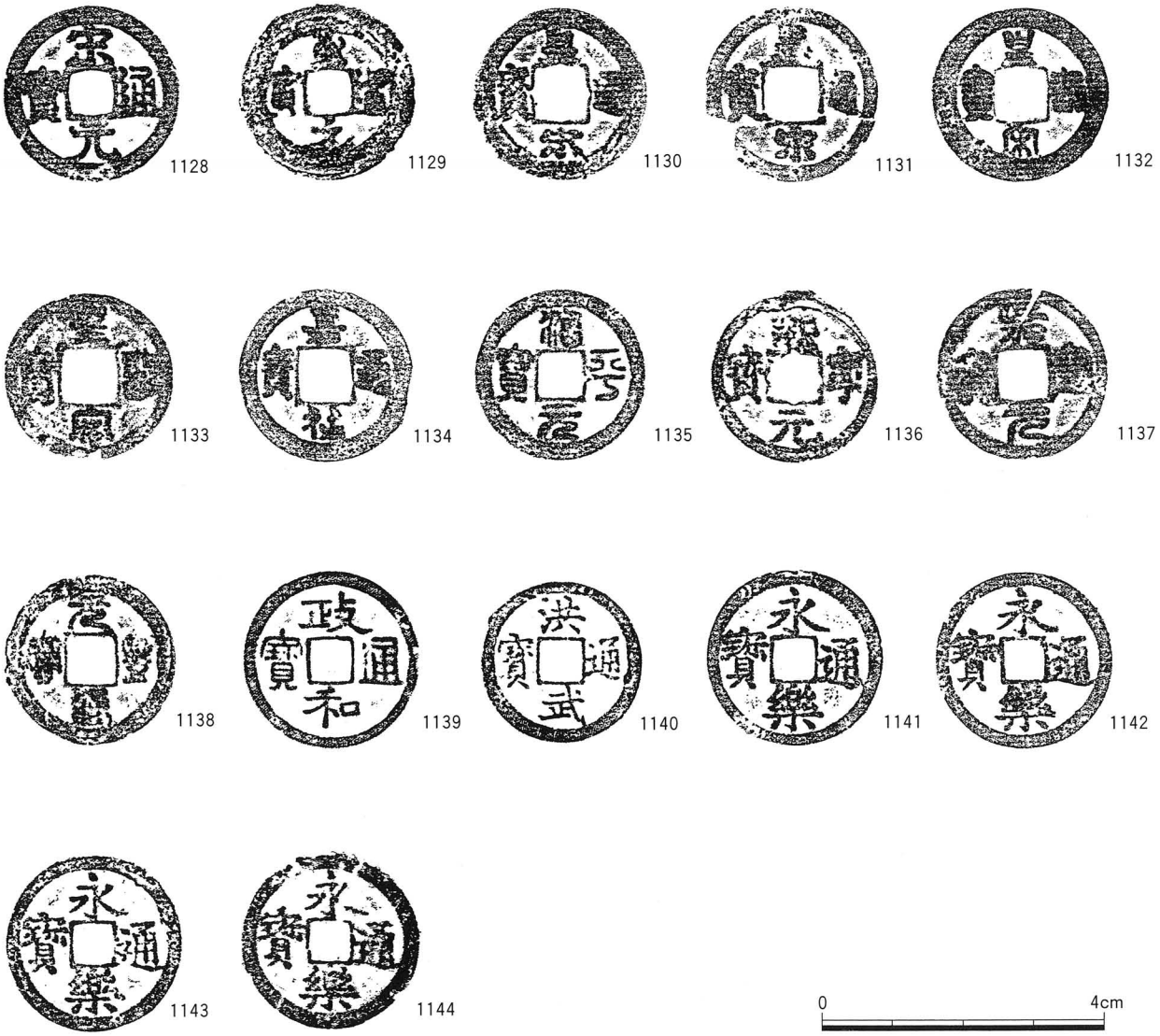
Ⅳ－２区西部北側、L４グリッドに位置する、径40cm深度18cmを測る円形の小穴。断面は逆台形状で、埋土は２層に分層できる。柱痕とみられる土層を確認。

遺物は銭貨のみで、1126～1144まで19点が出土。すべて青銅製である。1126は開元通寶。唐銭で、621年初鋳。背月。1127は乾元重寶。唐銭で、759年初鋳。背星。1128は宋通元寶。北宋銭で、960年初鋳。1129は至道元寶。北宋銭で、995年初鋳。面に密着痕あり。1130・1131は皇宋通寶の真書体。北宋銭で、1039年初鋳。1132・1133は皇宋通寶の篆書体。北宋銭で、1039年初鋳。1132は背に密着痕あり。1134は嘉祐通寶の真書体。北宋銭で、1056年初鋳。1135は治平元寶の篆書体。北宋銭で、1064年初鋳。背鋳ズレ。1136は熙寧元寶の真書体。北宋銭で、1068年初鋳。背に穴ズレ、上部に枝痕を残す。1137は熙寧元寶の篆書体。北宋銭で、1068年初鋳。背に密着痕あり。1138は元豊通寶の篆書体。北宋銭で、1078年初鋳。面に密着痕あり。1139は政和通寶の真書体。北宋銭で、1111年初鋳。1140は洪武通寶。明朝銭で1368年初鋳。小様であるが、肉厚で彫り深い。面に密着痕あり。1141～1144は永楽通寶。明朝銭で、1408年初鋳。遺構の年代は、出土遺物から15世紀前葉～16世紀代と考えられる。

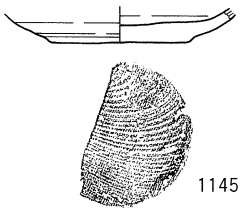


1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり弱）
灰白色シルトブロック含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
砂性強い

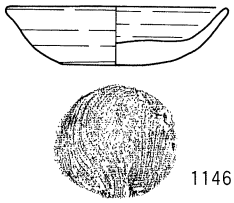




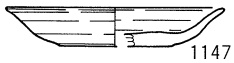
第644図　Ⅳ地区SP1149遺構・遺物実測図



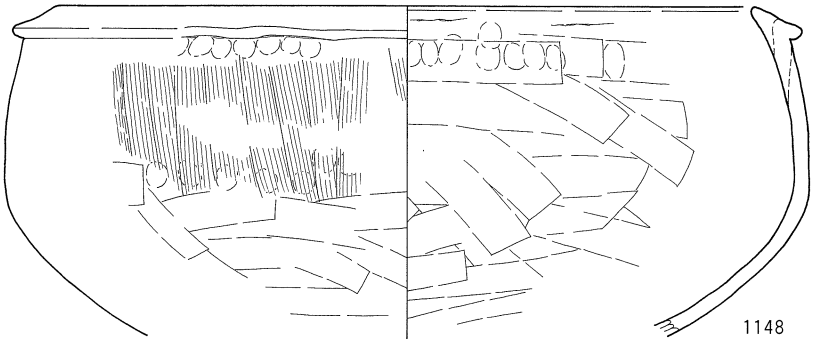
第645図　Ⅳ地区
SP1225遺物実測図



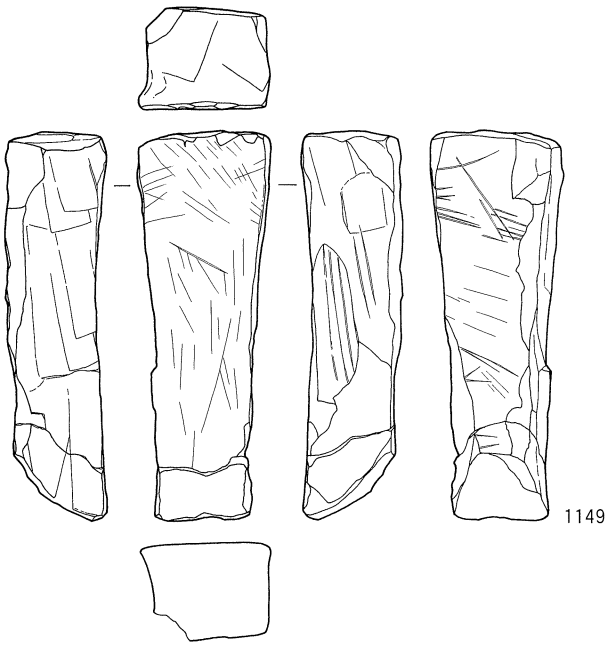
第646図　Ⅳ地区
SP1236遺物実測図



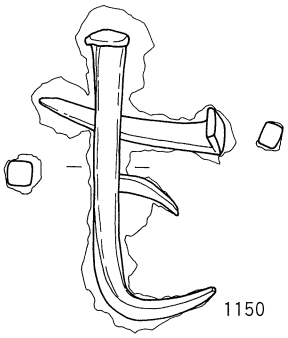
第647図　Ⅳ地区
SP1256遺物実測図

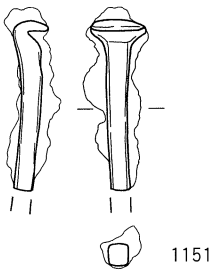


第648図　Ⅳ地区SP1304遺物実測図



第649図　Ⅳ地区SP1309遺物実測図





第650図　Ⅳ地区
SP1344遺物実測図

金属製品
0　5cm

その他の遺物
0　10cm

小穴225号（Ⅳ地区　SP1225）（第645図）

Ⅳ－２区西部南側、I５グリッドに位置する、長径50cm深度46cmを測る楕円形の小穴。出土遺物は１点のみで、1145は土師質土器皿。底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。16世紀代とみられる。

小穴236号（Ⅳ地区　SP1236）（第646図）

Ⅳ－２区西部南側、I５グリッドに位置する、長径55cm深度52cmを測る不整な楕円形の小穴。遺物は土師質土器片・皿が出土。1146は土師質土器皿。回転台成形で、底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。16世紀代とみられる。

小穴256号（Ⅳ地区　SP1256）（第647図）

Ⅳ－２区西部中央、K６グリッドに位置する、径35cm深度36cmを測る円形の小穴。出土遺物は１点のみで、1147は土師質土器皿。回転台成形で、底部外面は回転糸切りとみられるが静止糸切りの可能性もある。のち板目痕を残す。胎土に砂岩を含むとみられる。

小穴304号（Ⅳ地区　SP1304）（第648図）

Ⅳ－２区中央部北側、K９グリッドに位置する、一辺55cm深度16cmを測る隅丸方形の小穴。出土遺物は１点のみで、1148は土師質土器羽釜。鍔部は折り曲げ技法で作る。鍔部直下に連続した指頭圧痕を残し、体部外面タテハケ、底部外面板ナデ、内面板ナデを施す。15世紀頃とみられる。

小穴309号（Ⅳ地区　SP1309）（第649図）

Ⅳ－２区中央部、I９グリッドに位置する、一辺65cm深度30cmを測る隅丸方形の小穴。遺物は土師質土器杯、凝灰岩製砥石が出土。1149は凝灰岩製砥石。３面を使用し、側面の１面と上端面に鑿痕あり。

小穴344号（Ⅳ地区　SP1344）（第650図）

Ⅳ－２区中央部北側、I14グリッドに位置する、径25cm深度12cmを測る円形小穴。出土遺物は２点のみで1150・1151は鉄釘。1150は３点の釘が錆で癒着。２点は頭部をＬ字に屈曲させ、平頭に作る。

Ⅳ－３区（第651図）

Ⅳ－３区は、Ⅳ地区東部に位置する調査区である。全体的に北へ向けて傾斜する。遺構は南半部に集中し、北は畑作地としての利用を示す溝群が検出されるのみで、居住域から外れた集落縁辺部の様相を示す。中央部南側を中心に、鋳型や溶解炉壁などが出土することから、ごく近い場所に鋳造工房が存在すると考えられる。Ⅳ－３区ではSA11棟、SG２基、SK143基、ST16基、SU12基、SD40条、SX１基、SP358基を検出。

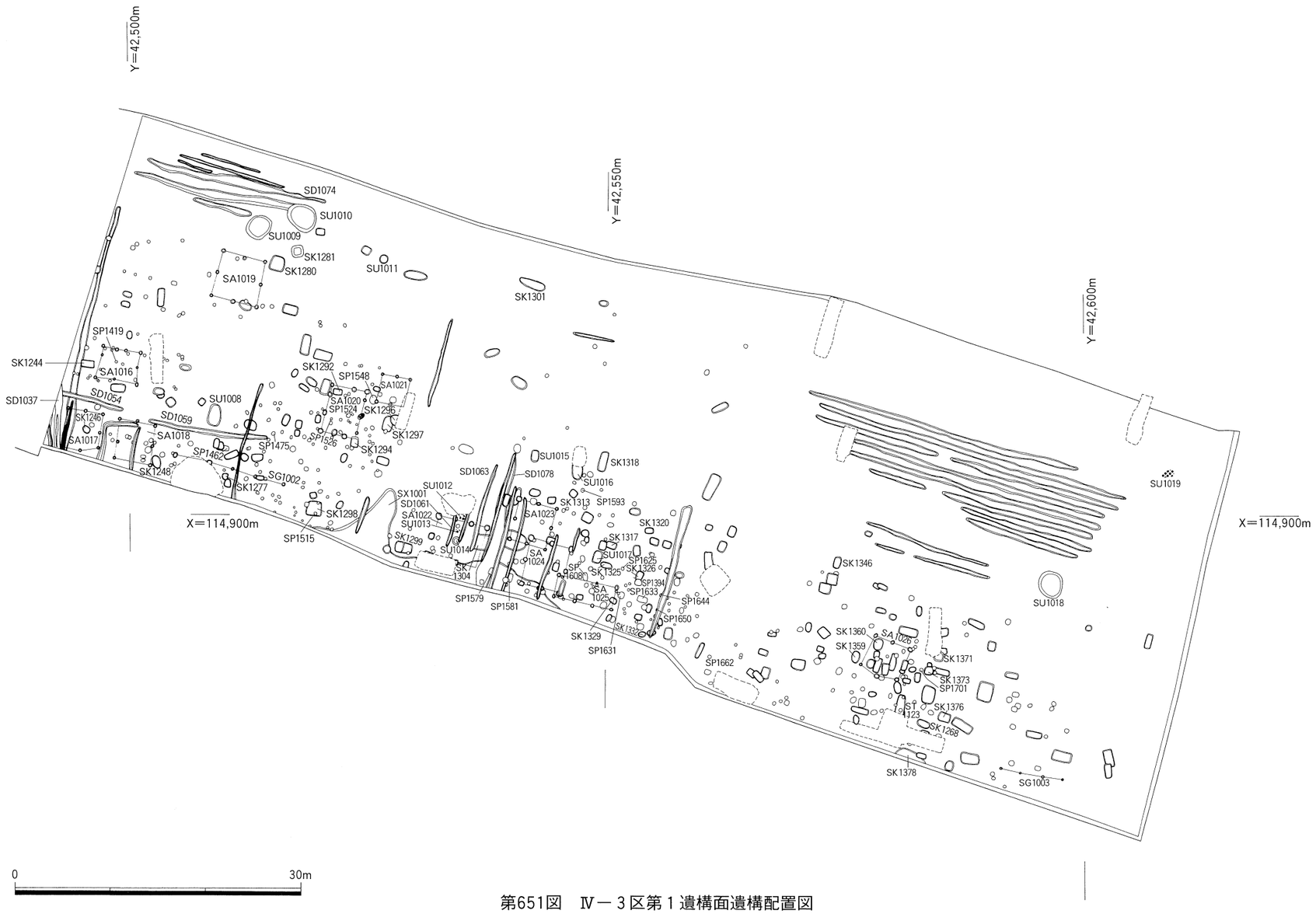
掘立柱建物16号（Ⅳ地区　SA1016）（第652図）

Ⅳ－３区西部南側、C・D20・１グリッドに位置する。東西３間（4.4m）南北２間（3.3m）床面積14.6m²、９基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N81°Wを向く。柱穴の平面形は円形または楕円形で、径23～43cm深度９～31cmを測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・５・７で柱痕とみられる土層を確認。出土遺物は皆無。

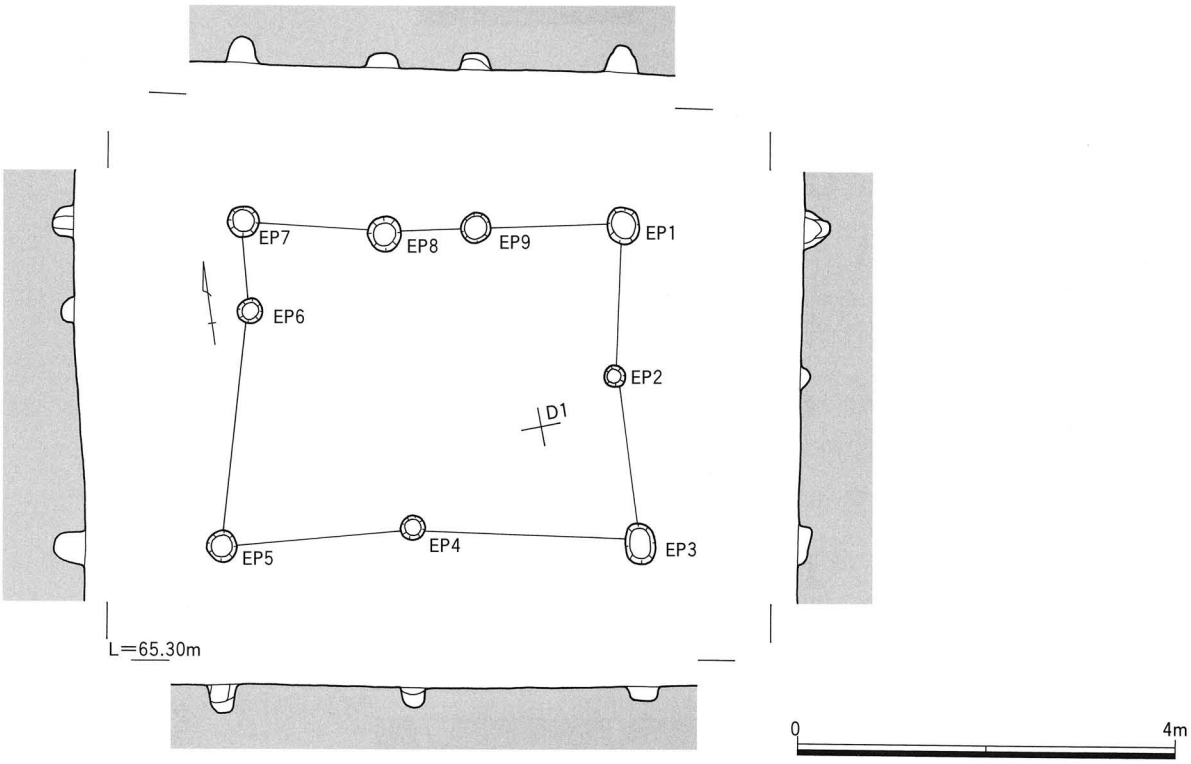
掘立柱建物17号（Ⅳ地区　SA1017）（第653図）

Ⅳ－３区西部南端、B・C19・20グリッドに位置する。東西２間（3.7m）南北２間（4.2m）床面積15.5m²、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N10°Eを向く。柱穴の平面形は円形で、径30～38cm深度18～42cmを測る。断面はU字状で、すべての柱穴で柱痕とみられる土層を確認。

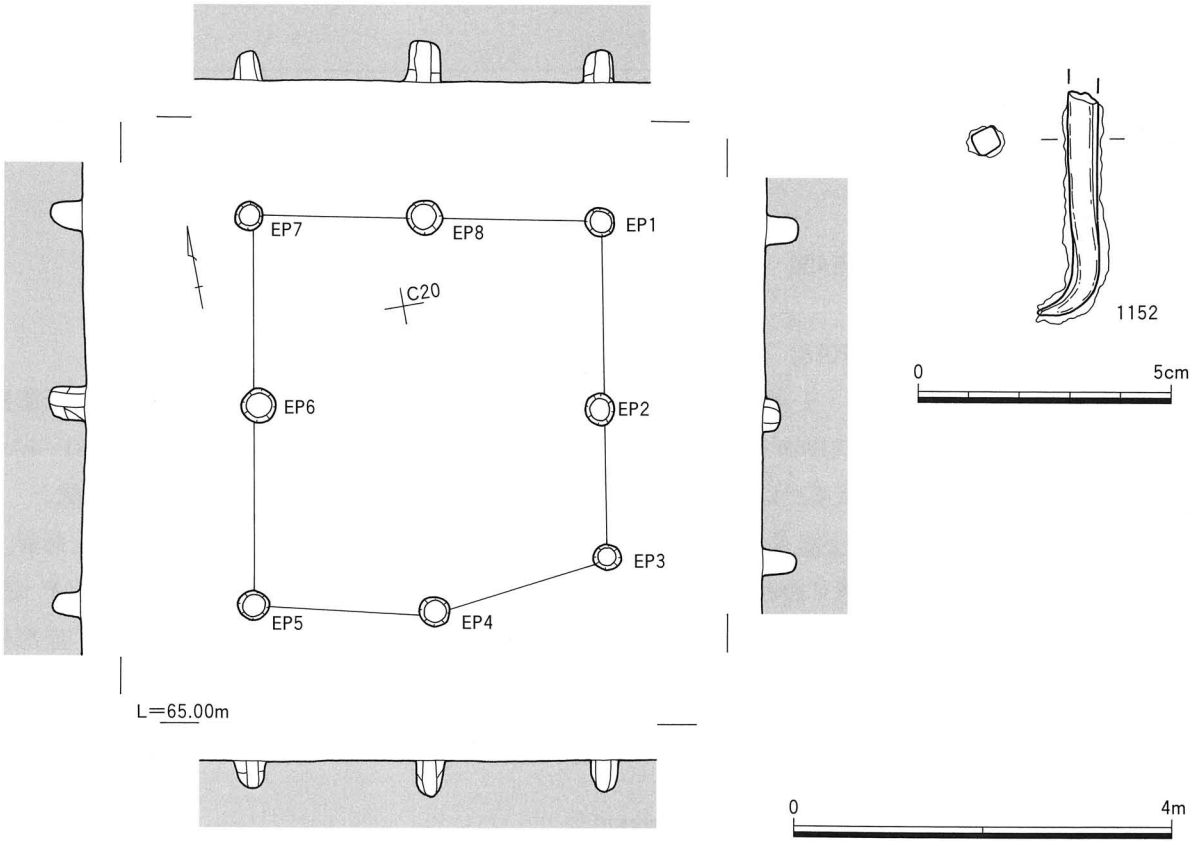
遺物はEP１・４・６から、土師質土器片、近世陶器（肥前系）、鉄釘が出土。1152はEP１出土の鉄釘。頭部を欠く。遺構の年代は、出土遺物から17世紀代と考えられる。



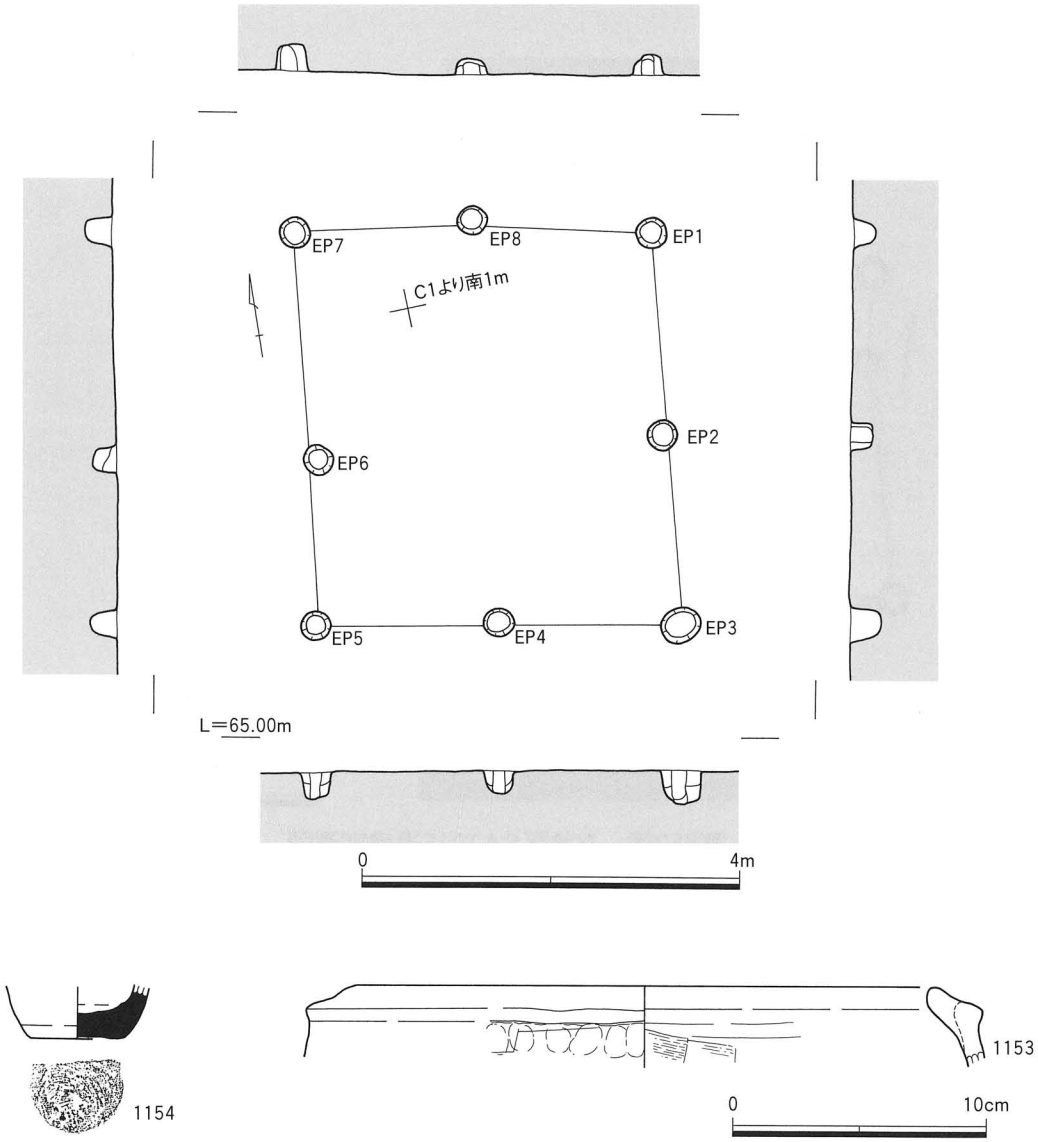
第651図　Ⅳ－３区第１遺構面遺構配置図



第652図　Ⅳ地区SA1016遺構実測図



第653図　Ⅳ地区SA1017遺構・遺物実測図



第654図　Ⅳ地区SA1018遺構・遺物実測図

掘立柱建物18号（Ⅳ地区　SA1018）（第654図）

Ⅳ－３区西部南端、A～C20・１グリッドに位置する。東西２間（3.8m）南北２間（4.3m）床面積16.3m²、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N８°Eを向く。柱穴の平面形は円形で、径30～40cm深度17～36cm。断面は逆台形状またはU字状で、EP６を除いた柱穴で柱痕とみられる土層を確認。

遺物はEP１～４から土師質土器煮炊具・鍋・羽釜、備前陶器壺が出土。1153はEP２出土の土師質土器羽釜。鍔部は低く退化し、折り曲げ技法で作る。鍔部直下に指頭圧痕を残し、内面横位の板ナデ（部分的にハケ）を施す。胎土に金雲母を多く含む。1154はEP３出土の備前焼陶器小壺の下半部。底部外面に回転糸切り痕を残す。茶入れまたは雀口か。内面に鉄分は付着しない。遺構の年代は、出土遺物から概ね16世紀代と考えられる。

掘立柱建物19号（Ⅳ地区　SA1019）（第655・656図）

Ⅳ－３区西部北寄り、E・F２・３グリッドに位置する。東西２間（5.0m）南北２間（5.0m）床面

積25.0㎡、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N16°Eを向く。柱穴の平面形は円形または隅丸方形で、径35～50㎝深度21～65㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・４・６で柱痕とみられる土層が確認でき、EP６では根石を伴う。

遺物はEP４・５・８から、土師器または土師質土器片、備前陶器甕が出土。1155はEP５出土の備前焼陶器甕の体部片。外面に１条の凸帯を貼り付けており、水屋甕とみられる。北野編年Ⅰ～Ⅱ期に相当し、15世紀中葉～末の年代が与えられる。

掘立柱建物20号（Ⅳ地区　SA1020）（第657図）

Ⅳ－３区西部南寄り、B・C４～６グリッドに位置し、南東隅は遺構に切られる。東西２間（3.8m）南北推定４間（5.1m）床面積19.4㎡、10基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N15°Eを向く。柱穴の平面形は円形または楕円形で、径30～75㎝深度22～60㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・３・６・10で柱痕とみられる土層を確認。遺物はEP４・７から土師器片、土師質土器羽釜が出土。

掘立柱建物21号（Ⅳ地区　SA1021）（第658図）

Ⅳ－３区西部中央、C６グリッドに位置し、南東隅は撹乱に切られる。東西２間（3.0m）南北１間（3.0m）床面積9.0㎡、５基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N13°Eを向く。柱穴の平面形は円形で、径30～40㎝深度16～54㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・２・４で柱痕とみられる土層を確認。出土遺物は皆無。

掘立柱建物22号（Ⅳ地区　SA1022）（第659図）

Ⅳ－３区中央部南端、S・T７・８グリッドに位置する。東西３間（5.3m）南北２間（4.3m）床面積22.8㎡、７基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N75°Wを向く。南東隅の柱穴を欠く。柱穴の平面形は円形または隅丸方形で、径55～80㎝深度20～53㎝を測る。断面は逆台形状で、EP５～７で柱痕とみられる土層を確認。

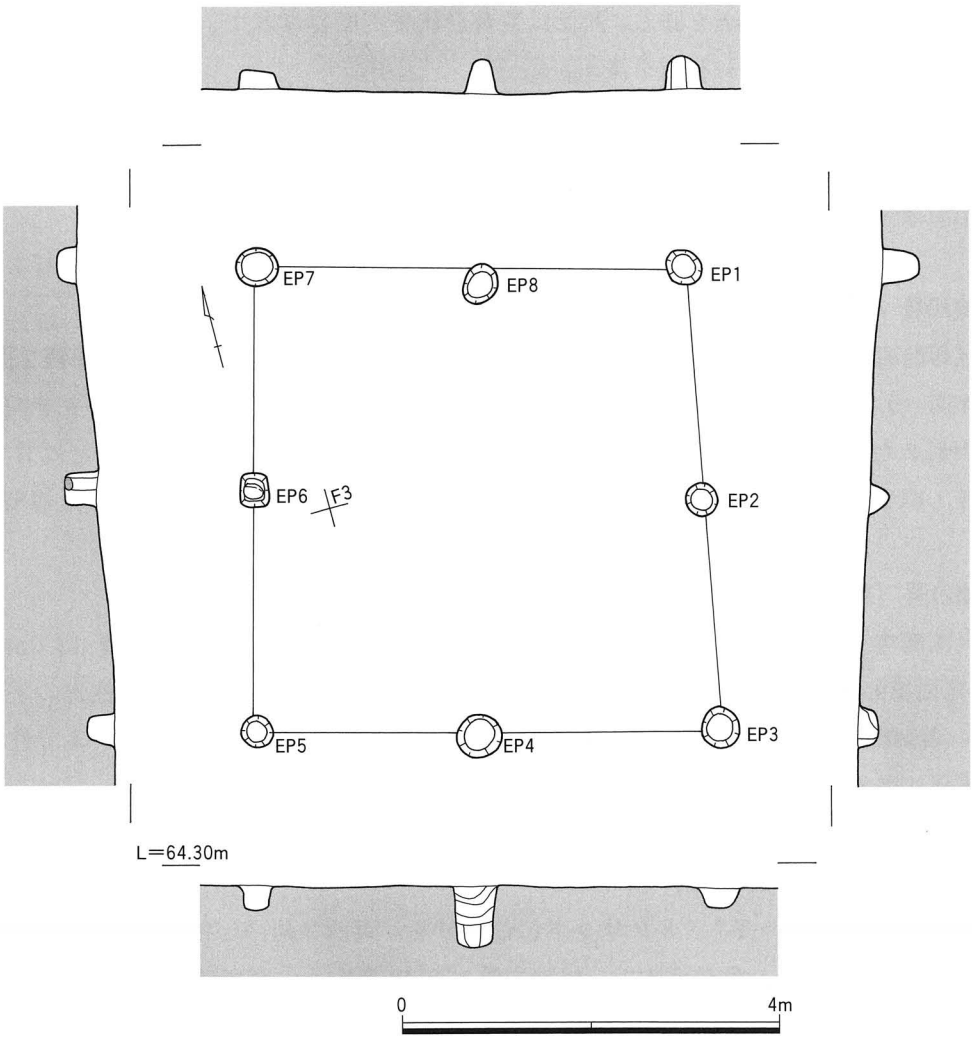
遺物はすべての柱穴でみられ、弥生土器片、土師器片（赤彩ほか）・杯（赤彩ほか）・煮炊具、製塩土器、須恵器片・杯・蓋、土師質土器片、緑釉陶器碗、溶解炉が出土。

1156はEP１出土の高台付土師器杯または椀の下半部。全面に赤彩を施す。胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。1157はEP７出土、1158はEP５出土の須恵器蓋。ともに天井部中央部を欠く。1159はEP６出土で、無高台の須恵器杯。８世紀頃とみられる。1160はEP５出土の緑釉陶器碗の底部。低い蛇ノ目高台をもつ。軟質焼成で、釉の剥離が著しい。京都産とみられ、高橋編年のⅠ期、９世紀前葉の年代が与えられる。1161はEP２出土の製塩土器の上半部。外面に指頭圧痕、内面に布目圧痕を残す。胎土は粗い。

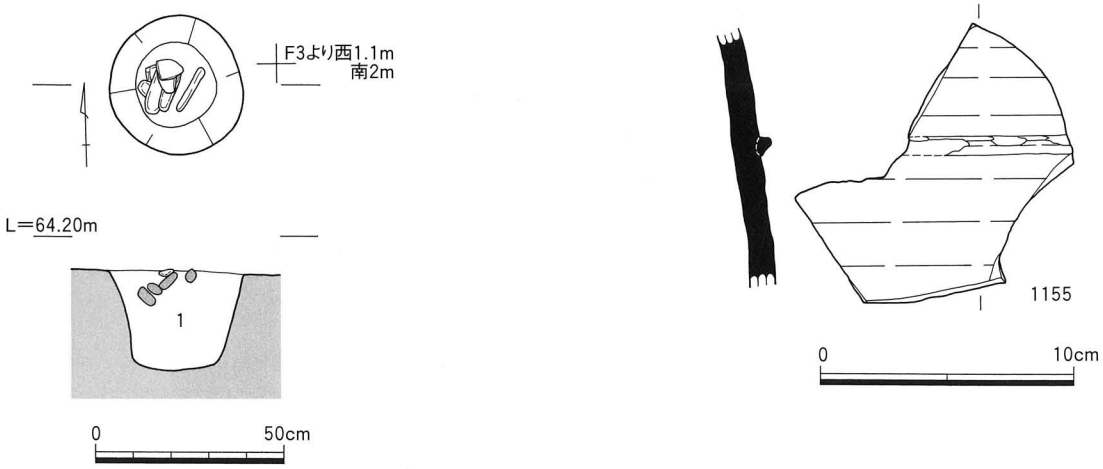
遺構の年代は、出土遺物から９世紀前半頃と考えられる。

掘立柱建物23号（Ⅳ地区　SA1023）（第660～662図）

Ⅳ－３区中央部南側、T・A８・９グリッドに位置する。東西２間（4.4m）南北２間（4.0m）床面積17.6㎡、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N15°Eを向く。柱穴の平面形は隅丸方形または不整円形で、一辺35～65㎝深度27～44㎝を測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP５を除く柱穴で柱

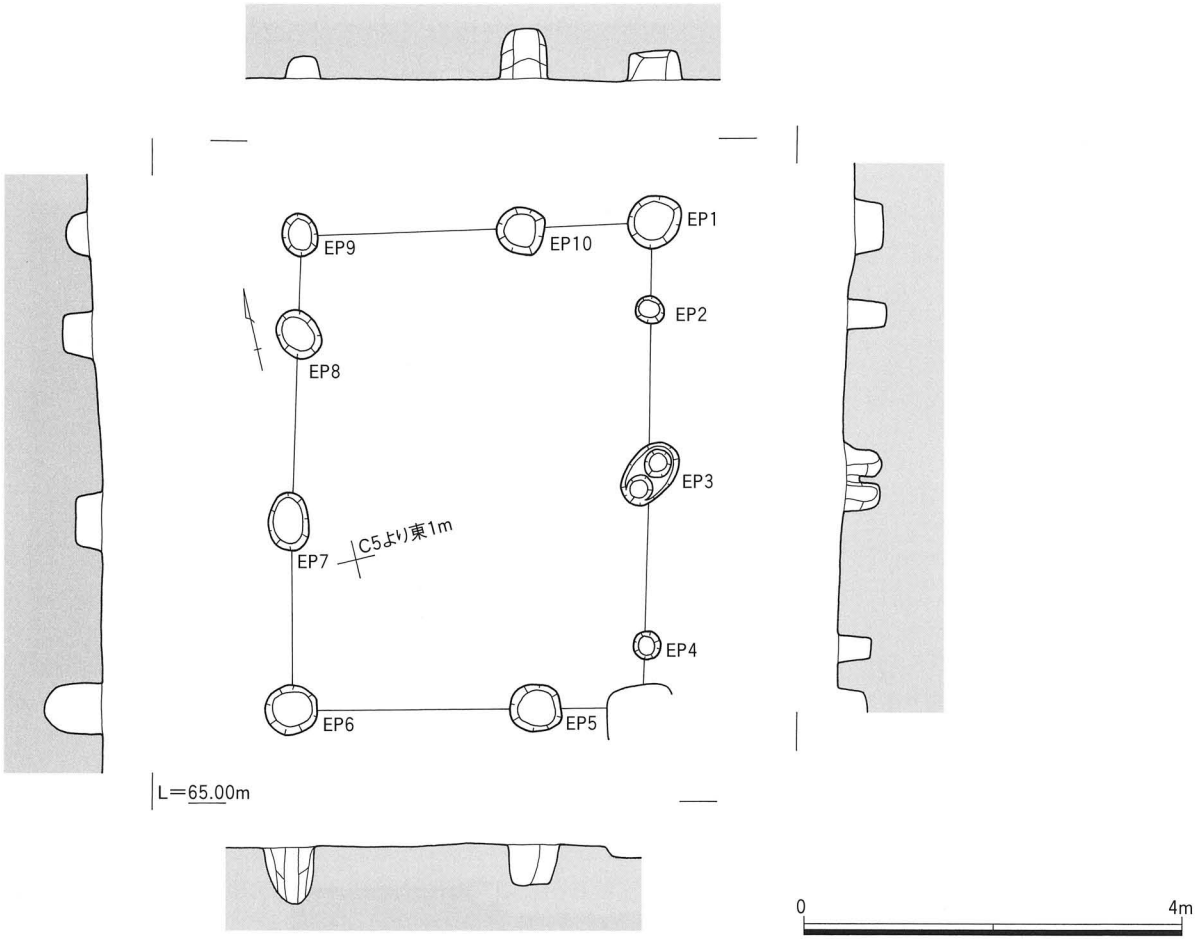


第655図　Ⅳ地区SA1019遺構実測図

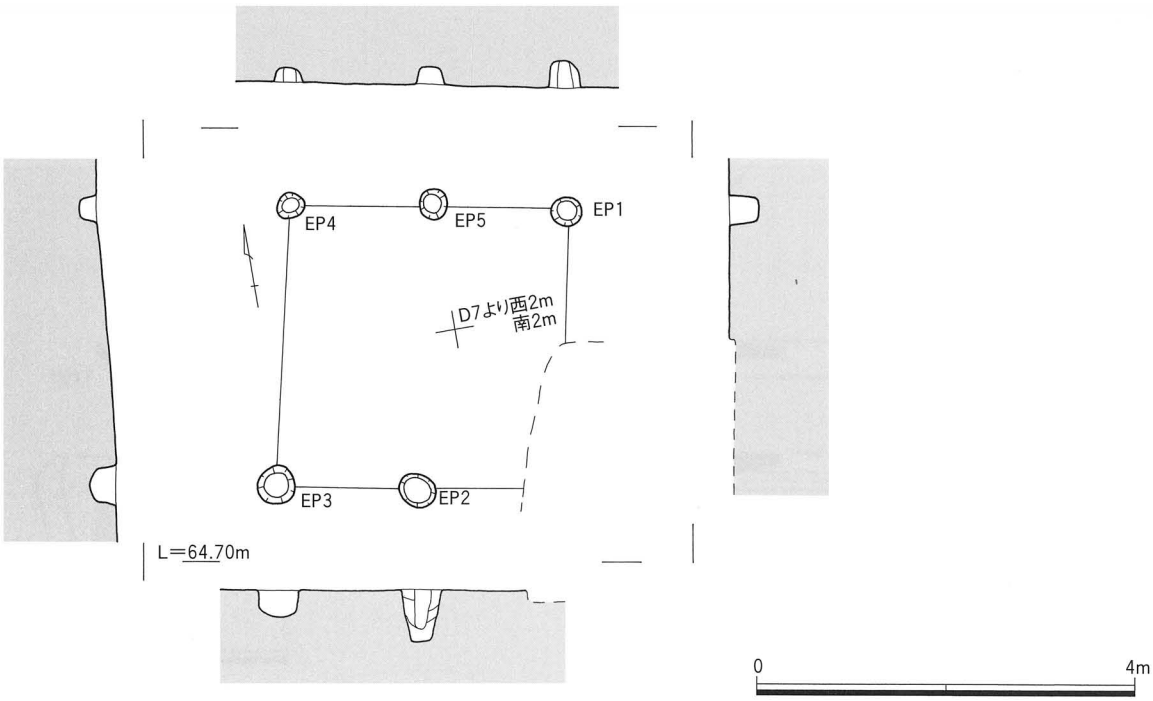


1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
炭化物細片多く含む

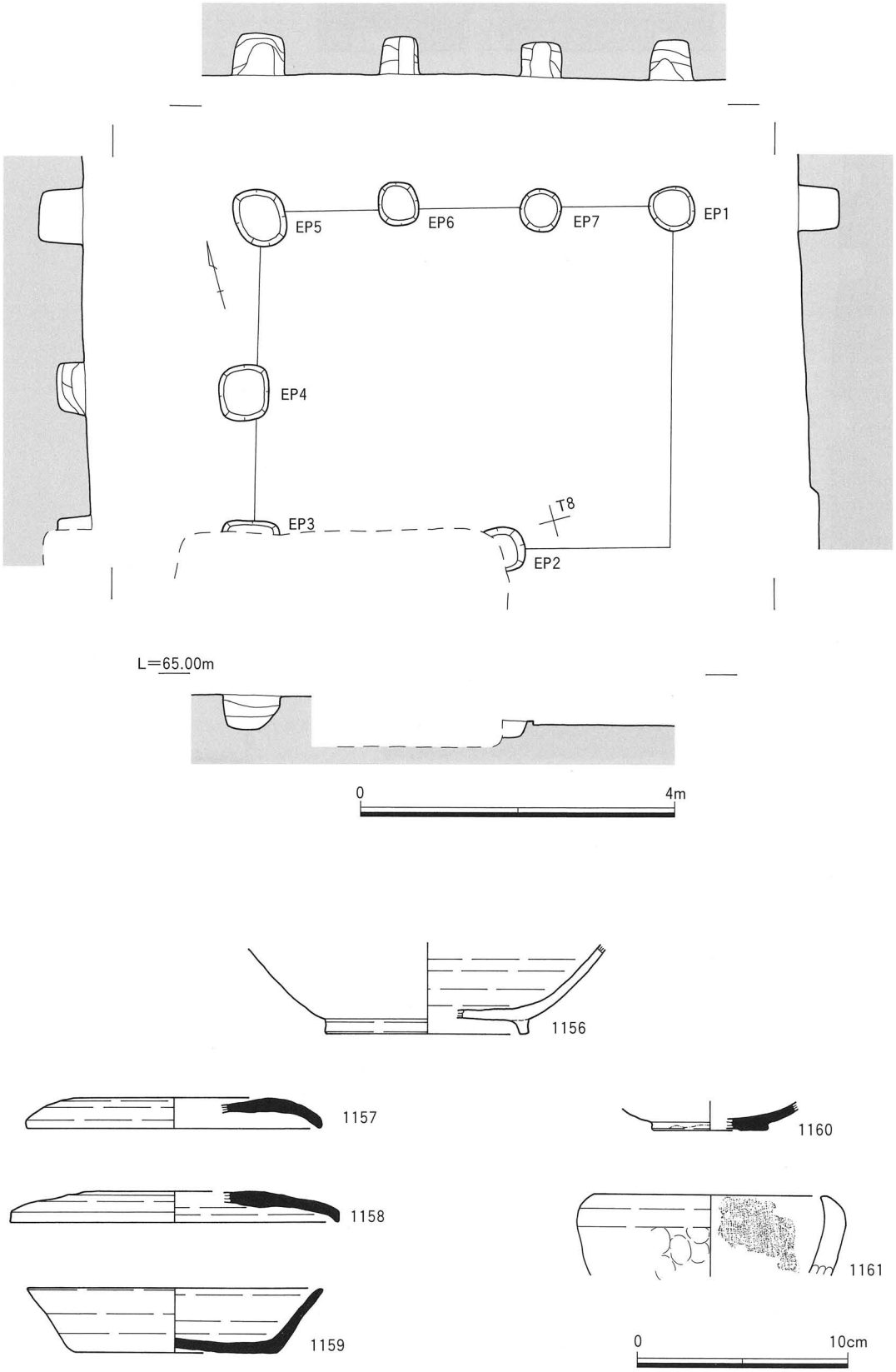
第656図　Ⅳ地区SA1019 EP5遺構・遺物実測図



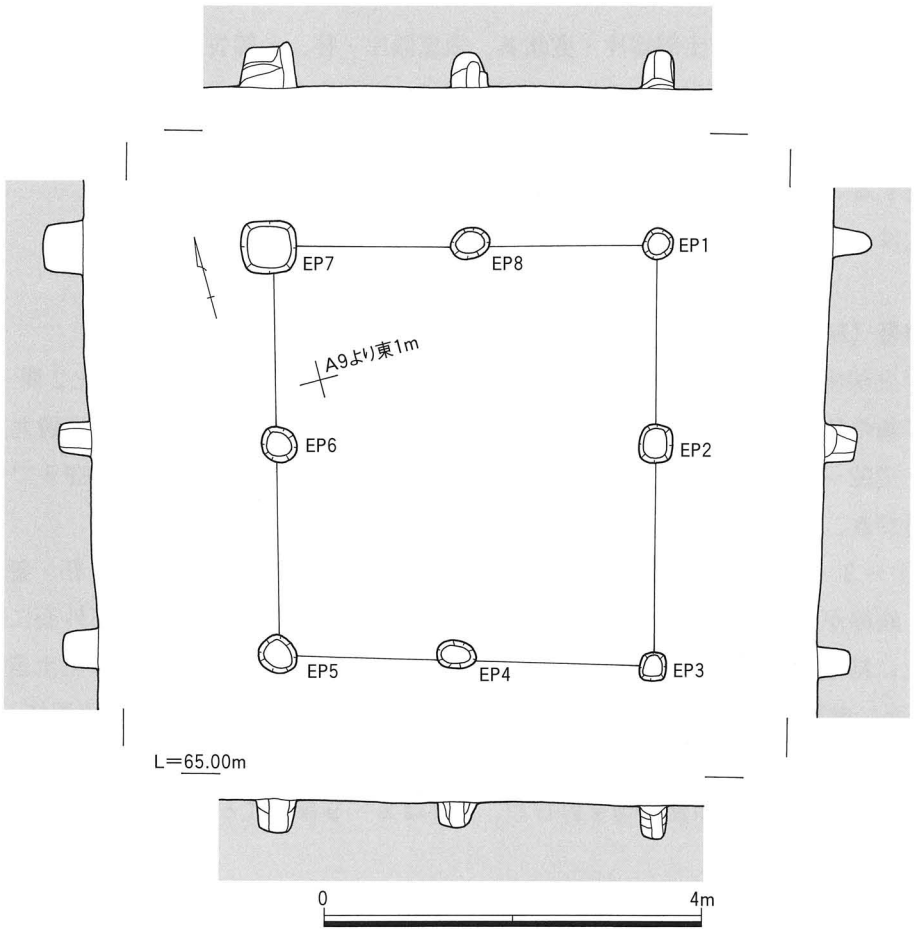
第657図　Ⅳ地区SA1020遺構実測図



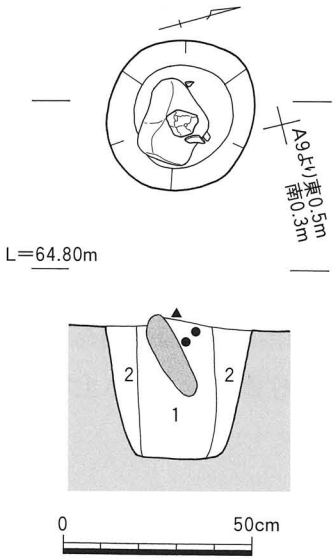
第658図　Ⅳ地区SA1021遺構実測図



第659図　Ⅳ地区SA1022遺構・遺物実測図

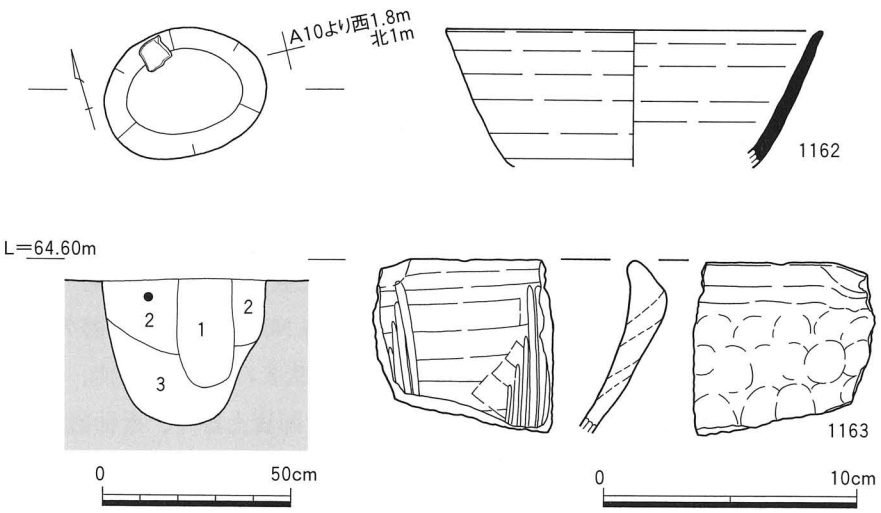


第660図　Ⅳ地区SA1023遺構実測図



1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　灰オリーブ色シルトブロック含む
2．オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）
　炭化物細片わずかに含む

第661図　Ⅳ地区
SA1023 EP6遺構実測図



1．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
2．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　炭化物細片多く含む
3．オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）

第662図　Ⅳ地区SA1023 EP8遺構・遺物実測図

痕とみられる土層を確認。

遺物はEP２・４～８から、土師器片・煮炊具、須恵器片・杯、土師質土器片・杯（静止糸切り）・擂鉢、須恵質土器椀が出土。1162はEP６出土の須恵器杯。底部を欠く。混入とみられる。1163はEP８出土の土師質土器擂鉢の口縁部片。端部を内上方に拡張する。内面横位の板ナデのち擂目を施す。外面に煤が厚く付着することから、煮炊具として用いられたと考えられる。

遺構の年代は、出土遺物に古代の遺物を含むが、概ね16世紀代と考えられる。

掘立柱建物24号（Ⅳ地区　SA1024）（第663図）

Ⅳ－３区中央部南端、S・T９・10グリッドに位置する。東西２間（4.3m）南北２間（4.9m）床面積21.3m²、８基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N14°Eを向く。柱穴の平面形は隅丸方形または不整円形で、一辺50～80cm深度20～58cmを測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP４で柱痕とみられる土層が確認でき、EP４では根石とみられる小礫を伴う。

遺物はEP１～３・５～８から、土師器片・皿・煮炊具・製塩土器、須恵器片・杯・蓋・甕、土師質土器片・杯、鉄滓が出土。1164はEP３出土の土師質土器杯。回転台成形で、底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。混入とみられる。1165～1167はEP８の出土遺物。1165は土師器皿。内外面に赤彩を施す。胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。1166は無高台の須恵器杯。胎土は粗く、焼成はやや不良。1167は製塩土器の口縁部片。外面指頭圧痕を残し、内面の布目圧痕は不明瞭。

遺構の年代は、出土遺物に中世遺物を含むが、主体は８～９世紀代と考えられる。

掘立柱建物25号（Ⅳ地区　SA1025）（第664図）

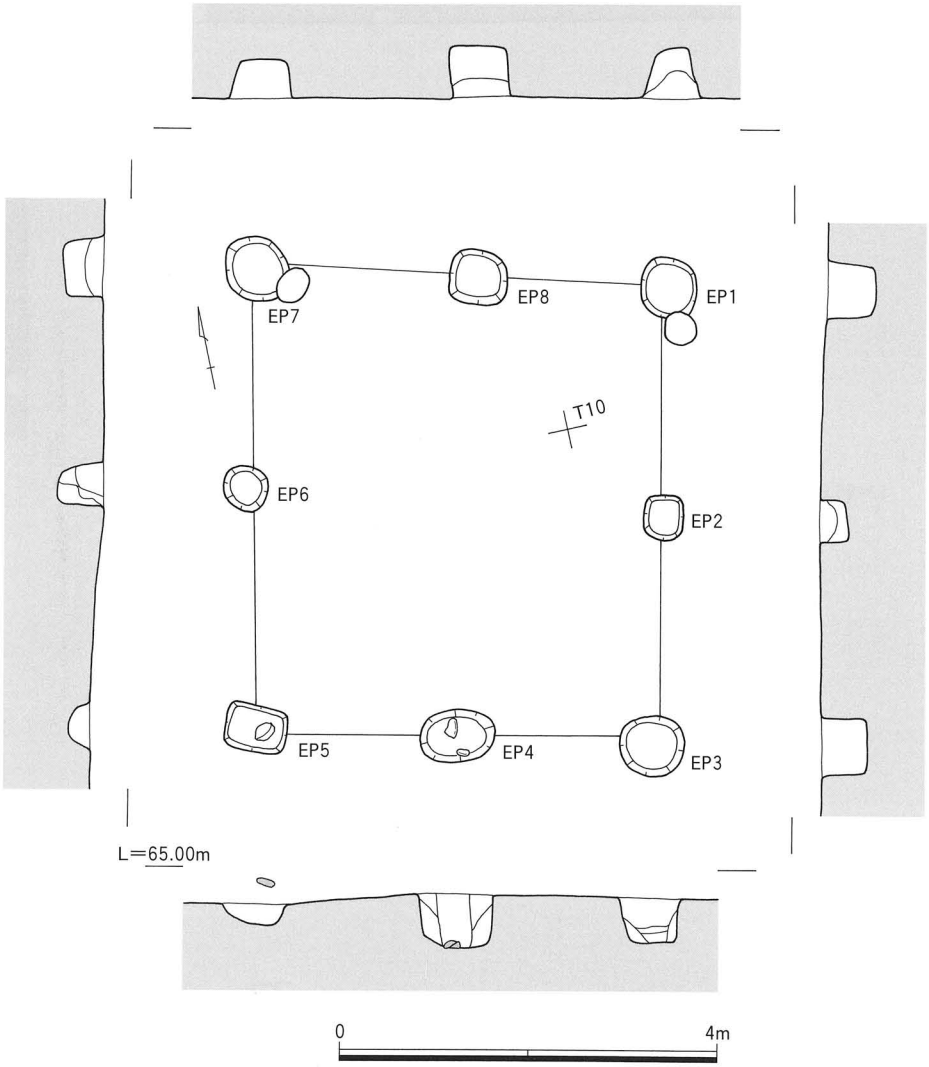
Ⅳ－３区中央部南端、R・S９～11グリッドに位置する。東西３間（6.2m）南北１間（2.4m）床面積14.9m²、７基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N77°Wを向く。柱穴の平面形は隅丸方形または円形で、一辺28～53cm深度12～56cm。断面は逆台形状またはU字状で、EP１・２・４・５で柱痕とみられる土層を確認。遺物はEP４・５・７から、土師器片、土師質土器皿（静止糸切り）、溶解炉、鉄滓が出土。

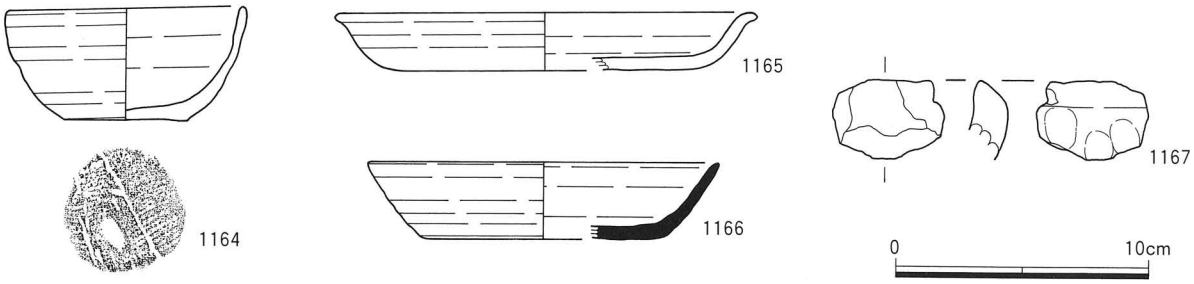
掘立柱建物26号（Ⅳ地区　SA1026）（第665図）

Ⅳ－３区東部南側、Q・R16・17グリッドに位置する。東西２間（4.1m）南北２間（3.9m）床面積16.0m²、７基の柱穴をもつ側柱建物で、建物主軸N69°Wを向く。柱穴の平面形は円形または楕円形で、径35～60cm深度11～32cmを測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP４・６で柱痕とみられる土層を確認。遺物はEP３・４から、土師器煮炊具、土師質土器片、近世磁器片が出土。

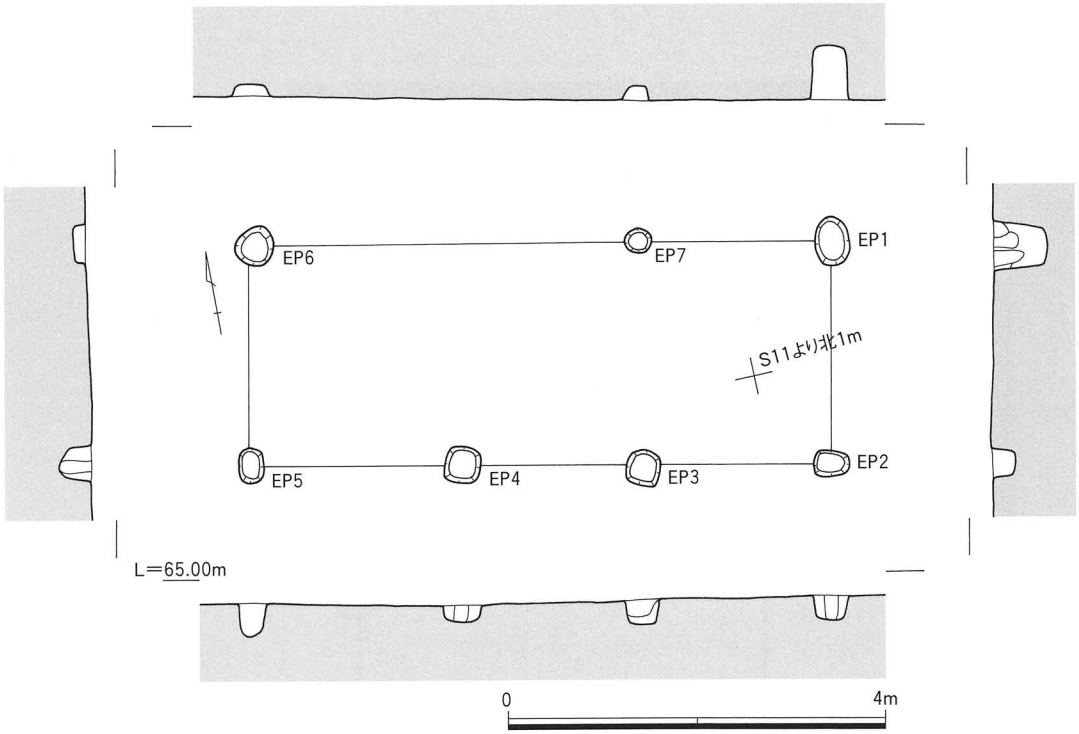
柵列２号（Ⅳ地区　SG1002）（第666図）

Ⅳ－３区西部南端、A・B１～４グリッドに位置する。東西４間（12.0m）５基の柱穴が一の字形に列ぶ柵列で、主軸はN74°Wを向く。柱穴の平面形は円形または隅丸方形で、径33～60cm深度22～47cmを測る。断面は逆台形状またはU字状で、EP３・５で柱痕とみられる土層を確認。遺物はEP１・２・５から、土師器片・煮炊具、鉄滓が出土。

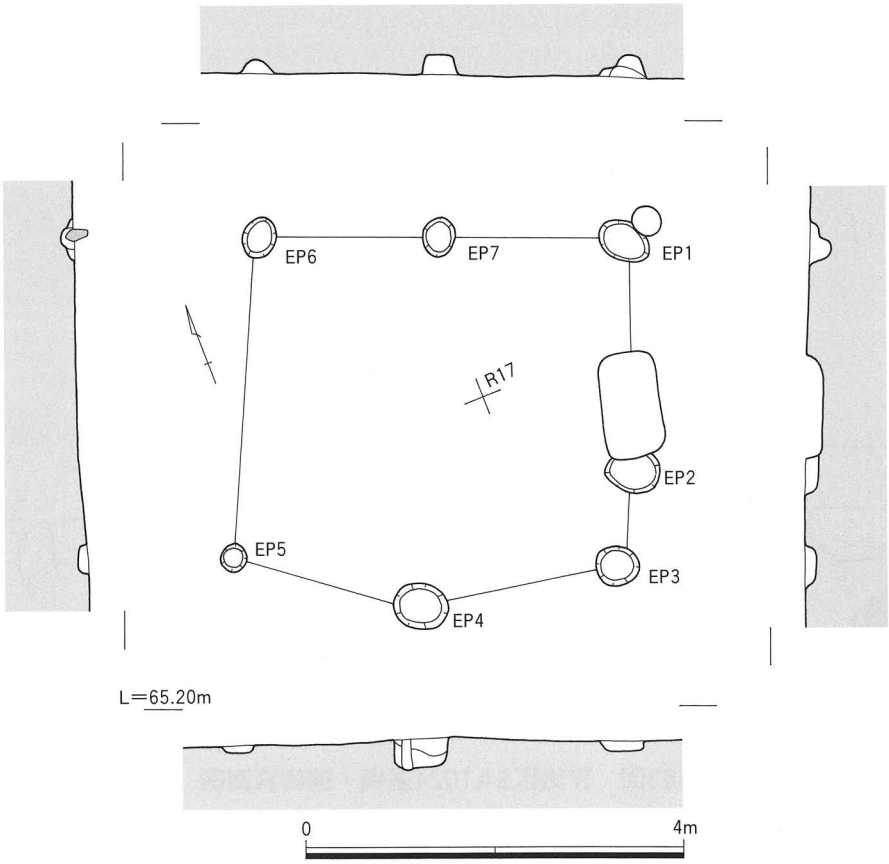




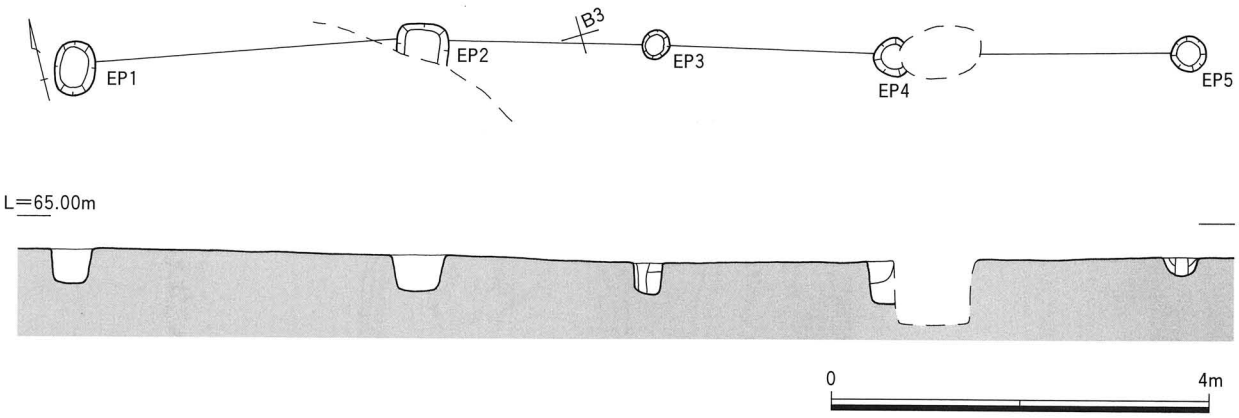
第663図　Ⅳ地区SA1024遺構・遺物実測図



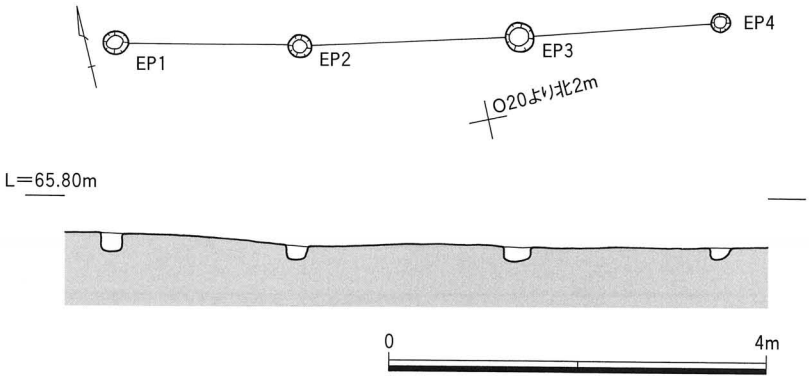
第664図　Ⅳ地区SA1025遺構実測図



第665図　Ⅳ地区SA1026遺構実測図



第666図　Ⅳ地区SG1002遺構実測図



第667図　Ⅳ地区SG1003遺構実測図

柵列３号（Ⅳ地区　SG1003）（第667図）

Ⅳ－３区東部南端、O19・20グリッドに位置する。東西３間（6.4m）４基の柱穴が一の字形に列ぶ柵列で、主軸はN80°Wを向く。柱穴の平面形は円形で、径20～30cm、深度13～20cmを測る。断面はU字状で、柱痕は確認できない。出土遺物は皆無。

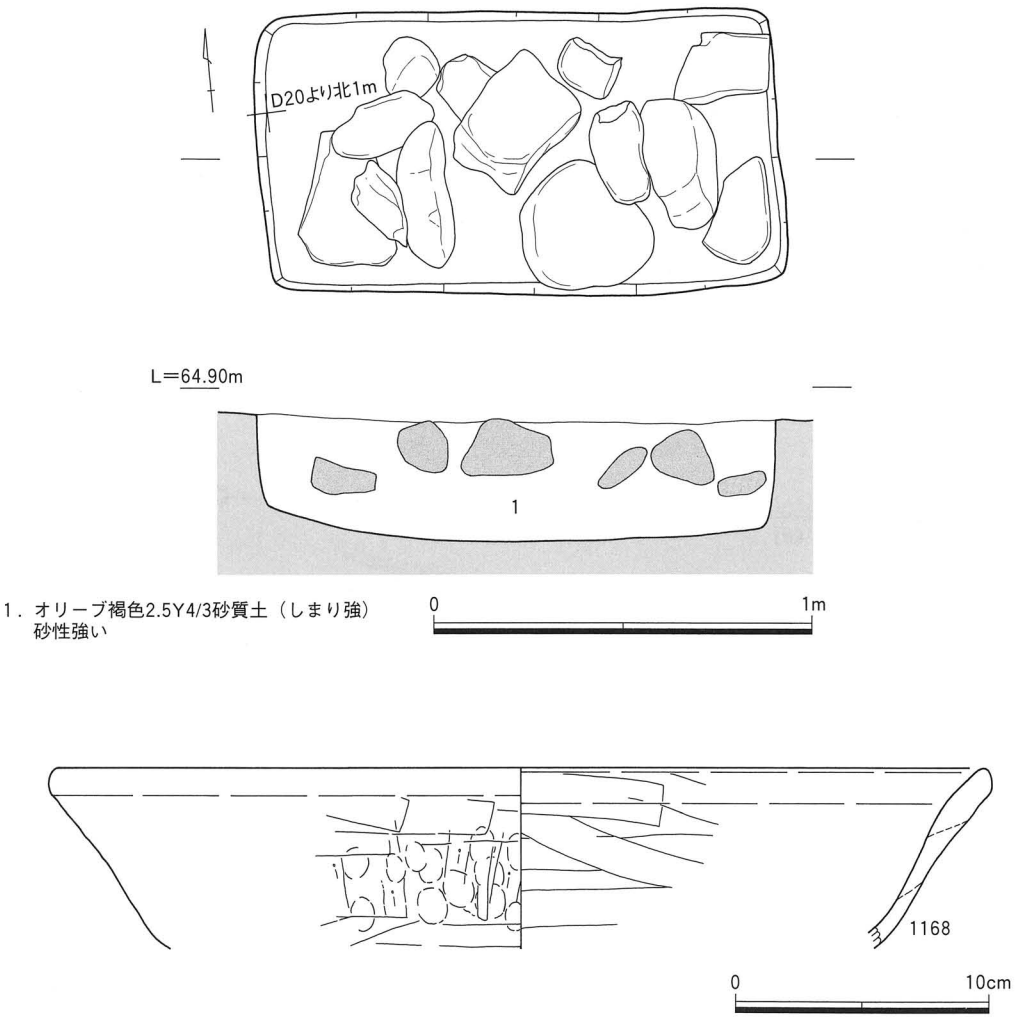
土坑244号（Ⅳ地区　SK1244）（第668図）

Ⅳ－３区西端部南側、D20グリッドに位置する、長軸150cm短軸86cm深度37cmを測る長方形の土坑。主軸はN85°Wを測る。断面は方形で、埋土は１層。

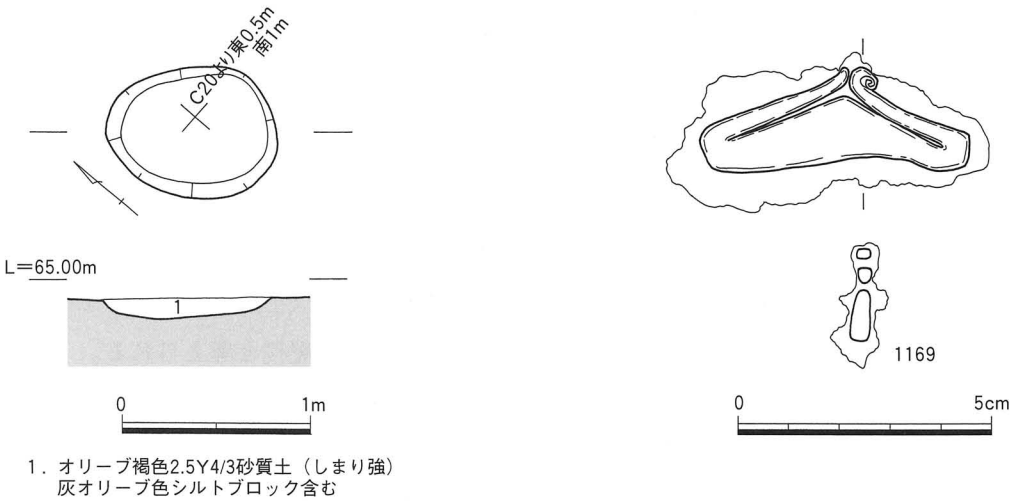
遺物は土師質土器片・杯（静止糸切り）・擂鉢・鍋、青磁片、近世陶器皿（肥前系）が出土。1168は土師質土器鍋。器高が浅く、焙烙状の器形。頸部内面に不明瞭な稜が付く。外面ユビオサエのち板ナデ、内面横位の板ナデを施す。遺構の年代は、出土遺物から16世紀～17世紀代と考えられる。

土坑246号（Ⅳ地区　SK1246）（第669図）

Ⅳ－３区西端部南端、B20グリッドに位置する、長軸90cm短軸70cm深度11cmを測る不整な楕円形の土坑。主軸はN41°Wを向く。断面は皿状で、埋土は１層。出土遺物は１点のみで、1169は鉄製の火打ち



第668図　Ⅳ地区SK1244遺構・遺物実測図



第669図　Ⅳ地区SK1246遺構・遺物実測図

金。下辺に緩やかな凹みがあり、使用による磨耗と考えられる。

土坑248号（Ⅳ地区　SK1248）（第670図）

Ⅳ－３区西部南端、A・B１グリッドに位置する、長軸140cm短軸86cm深度16cmを測る楕円形の土坑。主軸はN12°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。

遺物は土師質土器煮炊具・鉢、青磁碗、鉄釘が出土。1170は青磁碗の底部。高台外面途中まで施釉し、以下高台内側にかけて露胎。釉は透明度高く貫入を伴う。上田分類D－Ⅰ類に相当し、14世紀代の年代が与えられる。1171は土師質土器鉢の底部。内面は磨耗によって擂目が確認できない。外面に煤が付着しており、煮炊きに使用されたとみられる。遺構の年代は、出土遺物から概ね15世紀頃と考えられる。

土坑268号（Ⅳ地区　SK1268）（第671図）

Ⅳ－３区東部南端、P17グリッドに位置する、長軸140cm短軸74cm深度22cmを測る不整な楕円形の土坑。主軸はN55°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層である。埋土下位に10～40cm大の礫が多量に出土する。配置の規則性は見いだせない。遺物は土師器片・煮炊具、須恵器片が出土。

土坑277号（Ⅳ地区　SK1277）（第672図）

Ⅳ－３区西部南端、A２・３グリッドに位置する、長軸75cm短軸68cm深度31cmを測る不整形の土坑。断面は不整な逆台形状で、埋土は３層に分層。遺物は土師質土器片・煮炊具、青磁碗が出土。1172は青磁碗の底部。内面に「太」字を陰刻。畳付部以内は露胎。釉に貫入を伴う。上田分類B－Ⅱ－a類（14世紀後葉～15世紀前葉）か。

土坑280号（Ⅳ地区　SK1280）（第673図）

Ⅳ－３区西部北側、F３・４グリッドに位置する、長軸190cm短軸180cm深度13cmを測る不整な隅丸方形の土坑。主軸はN14°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。遺構中央部の検出面で40cm前後の礫が３点出土。出土遺物は１点のみで、1173は土師質土器皿。底部外面に回転ヘラ切り痕を残す。口縁は体部との境でくの字に屈曲し、外反する。胎土は粗く、絹雲母と多量の結晶片岩を含む。

土坑281号（Ⅳ地区　SK1281）（第674図）

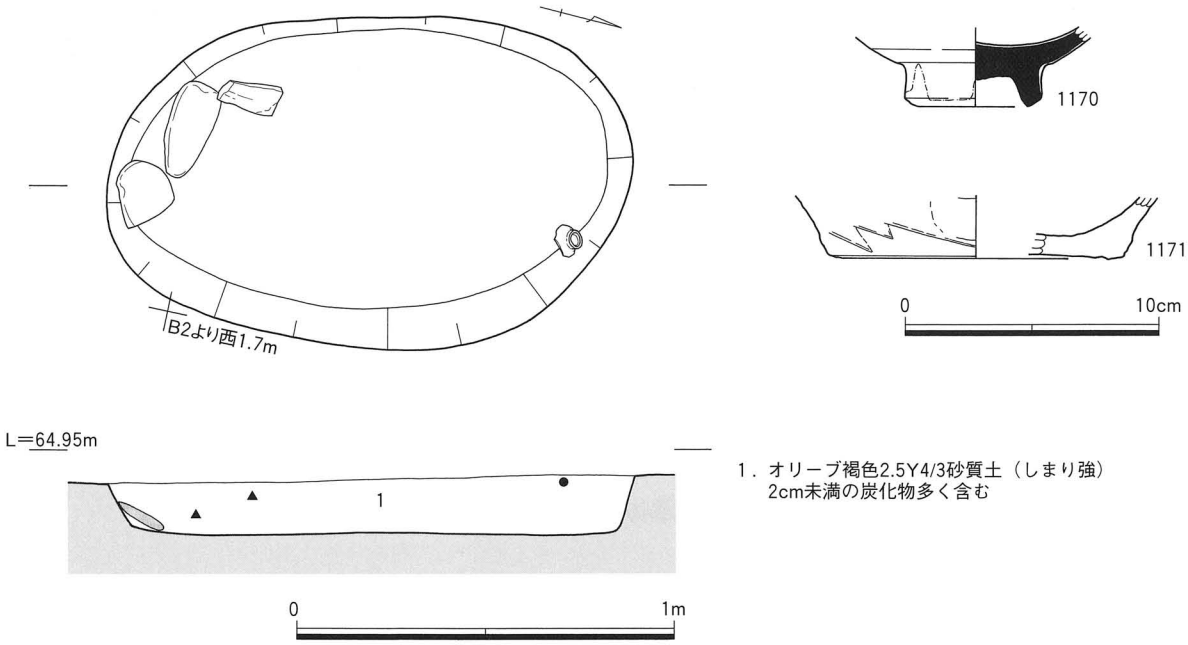
Ⅳ－３区西部北側、F４グリッドに位置する、長軸150cm短軸145cm深度28cmを測る隅丸方形土坑。断面は逆台形状で、埋土は１層である。10～40cm大の礫が疎らに出土し、配置に規則性は見いだせない。

遺物は土師器片・煮炊具、土師質土器杯・皿が出土。1174・1175は土師質土器皿。底部外面は1174が回転ヘラ切り、1175が回転糸切り痕を残す。1174は胎土に結晶片岩を含む。1176は土師質土器杯。回転台成形で、底部外面に回転ヘラ切り痕を残す。胎土は粗く、結晶片岩と絹雲母を含む。

遺構の年代は、出土遺物から概ね13世紀頃とみられる。

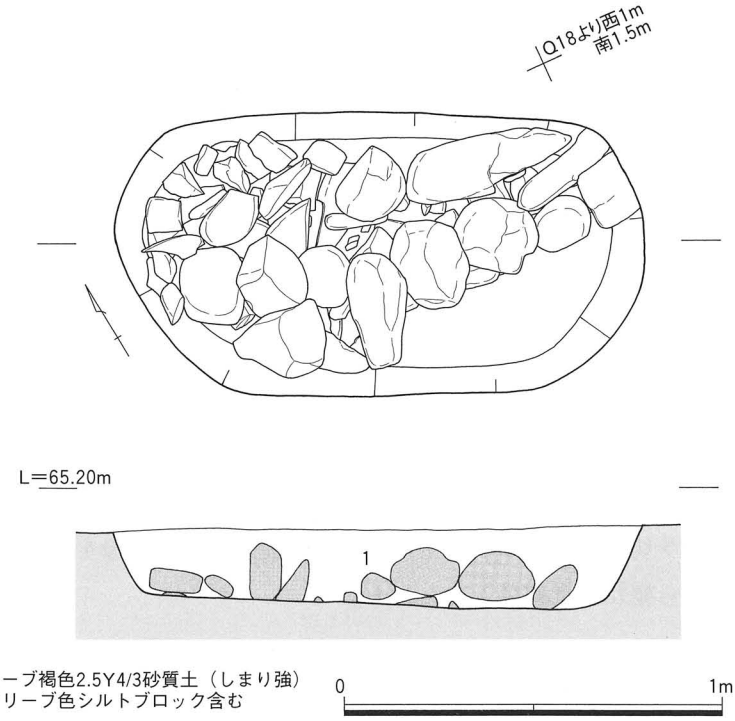
土坑292号（Ⅳ地区　SK1292）（第675図）

Ⅳ－３区西部中央、C５グリッドに位置する、長軸108cm短軸75cm深度44cmを測る隅丸長方形土坑。主軸はN79°Wを向く。断面は袋状で、埋土は２層に分層。



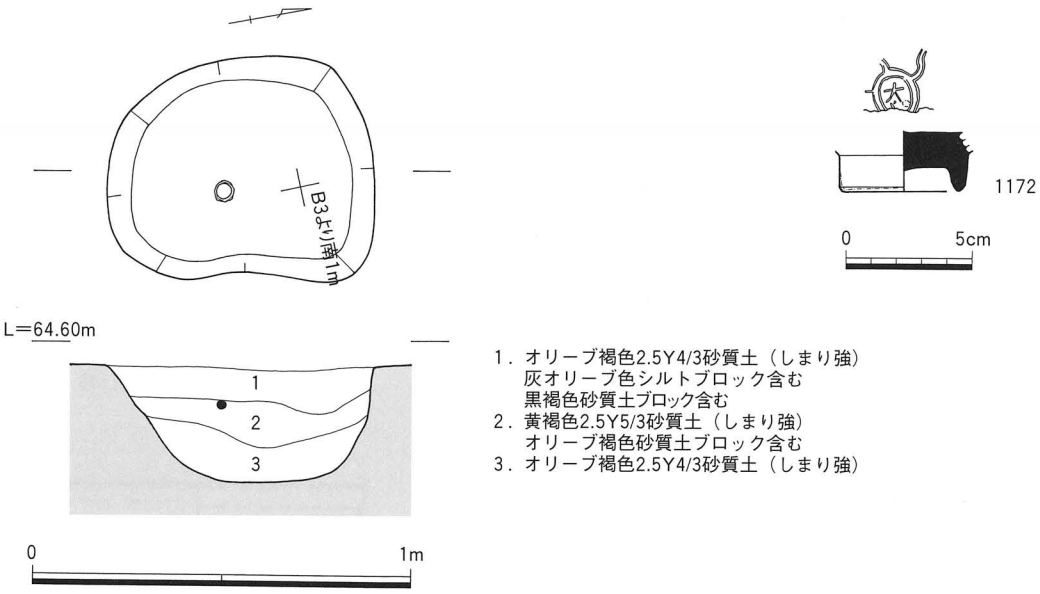
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
2cm未満の炭化物多く含む

第670図　Ⅳ地区SK1248遺構・遺物実測図



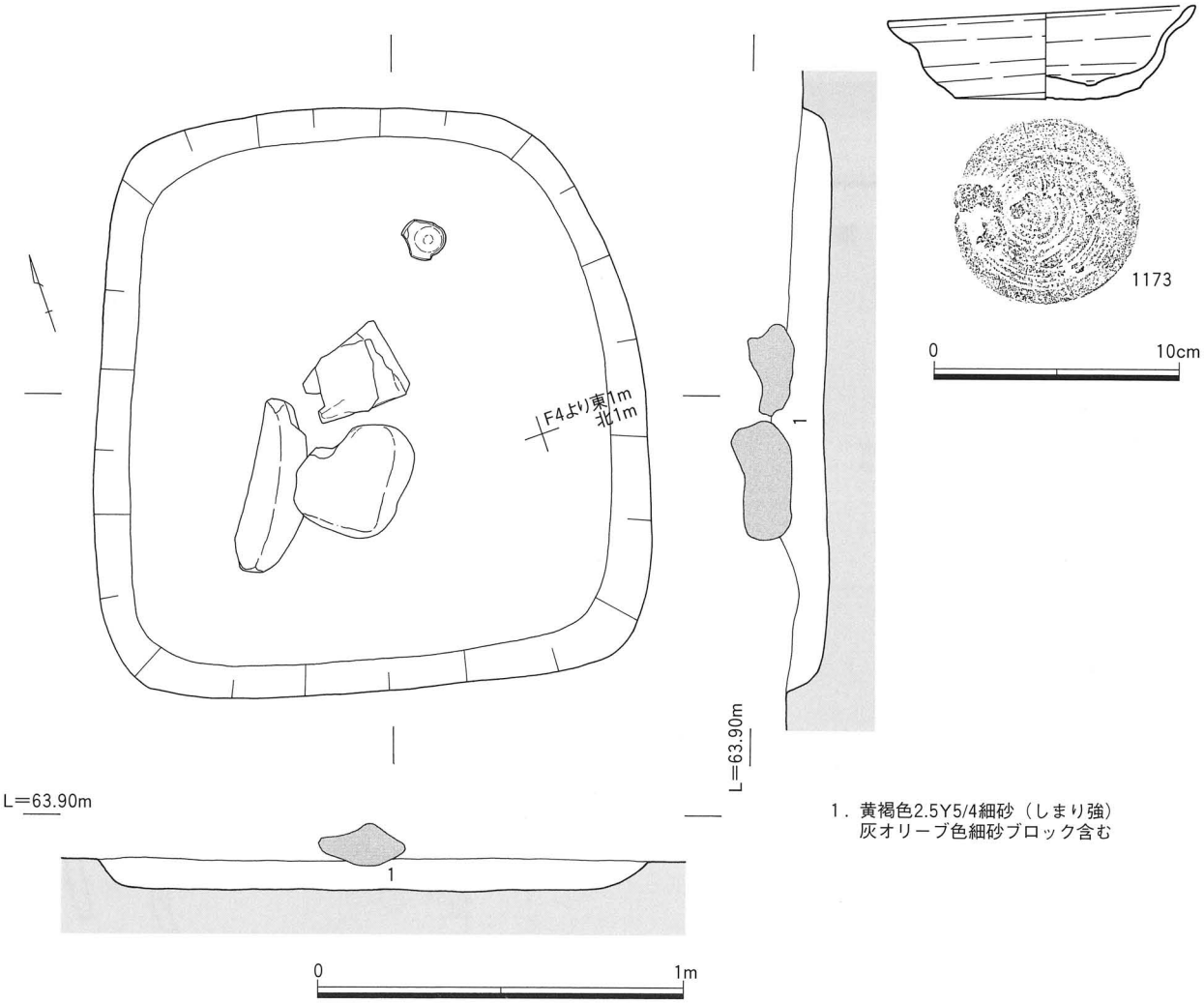
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
灰オリーブ色シルトブロック含む

第671図　Ⅳ地区SK1268遺構実測図



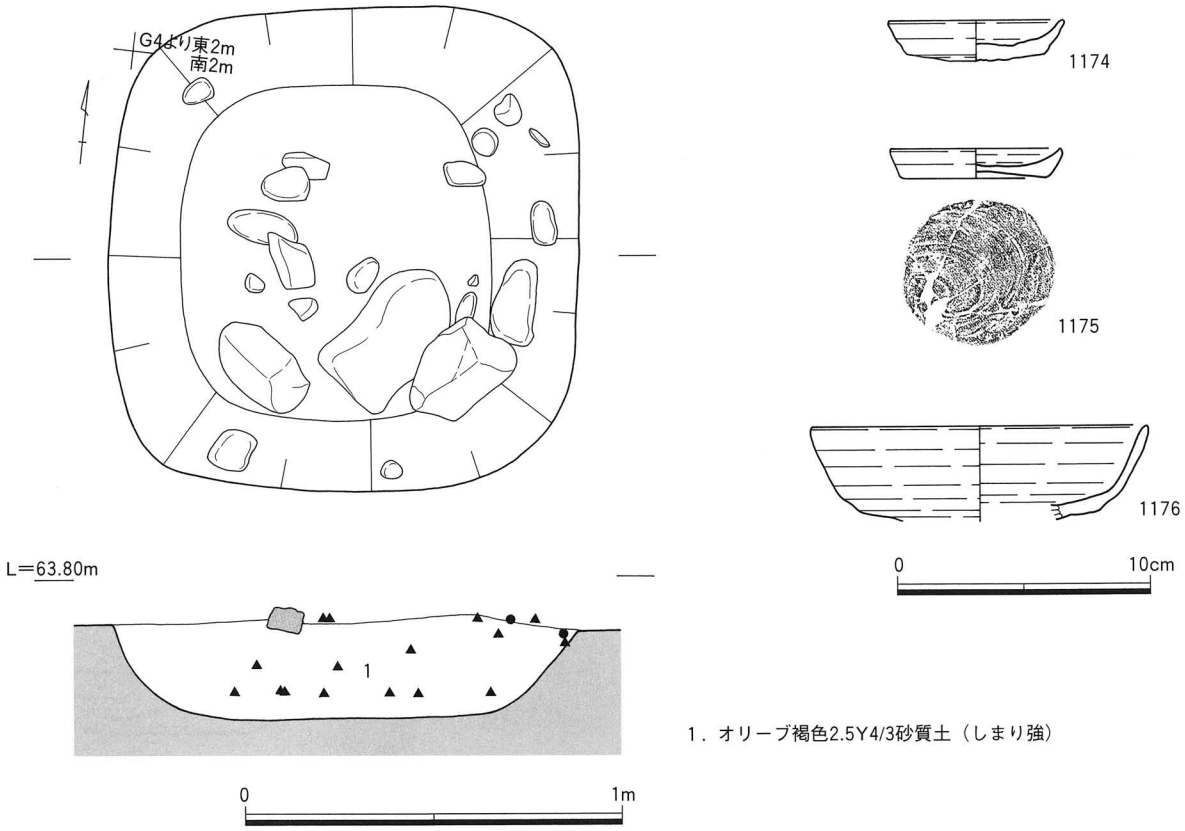
1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　灰オリーブ色シルトブロック含む
　黒褐色砂質土ブロック含む
2．黄褐色2.5Y5/3砂質土（しまり強）
　オリーブ褐色砂質土ブロック含む
3．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）

第672図　Ⅳ地区SK1277遺構・遺物実測図

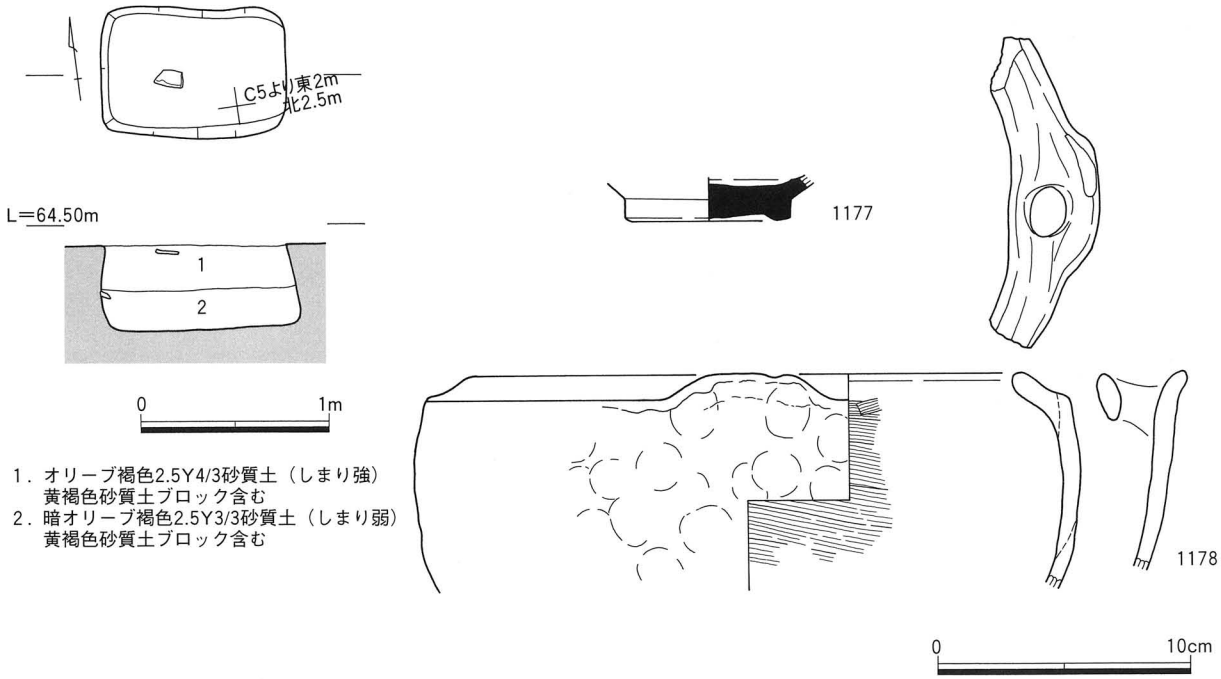


1．黄褐色2.5Y5/4細砂（しまり強）
　灰オリーブ色細砂ブロック含む

第673図　Ⅳ地区SK1280遺構・遺物実測図



第674図　Ⅳ地区SK1281遺構・遺物実測図



第675図　Ⅳ地区SK1292遺構・遺物実測図

遺物は土師質土器羽釜（内耳）、陶器碗、鉄滓が出土。1177は瀬戸美濃系陶器碗の底部。内面にヘラケズリの削り残しとみられる隆線が圏線状にめぐる。内面に灰釉を施し、外面露胎。古瀬戸編年後Ⅱ期頃、14世紀後葉～15世紀前葉とみられる。1178は土師質土器羽釜。鍔部の退化著しい。口縁は大きく内傾する。口縁・鍔間に焼成前穿孔し、外側の鍔部を外上方に拡張して把手部を作る。内面にヨコハケを施す。16世紀代と考えられる。

土坑294号（Ⅳ地区　SK1294）（第676図）

Ⅳ－３区西部南寄り、Ｂ５グリッドに位置する、長軸125cm短軸90cm深度34cmを測る隅丸方形の土坑。主軸はN13°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は３層に分層。遺物は土師器杯、製塩土器が出土。1179は土師器杯。口縁端部をわずかに内側に折り返し、１条の凹線を引く。内面の体底部境に横位のヘラミガキを施す。全面に赤彩を施す。８世紀代とみられる。

土坑296号（Ⅳ地区　SK1296）（第677図）

Ⅳ－３区西部中央、Ｂ・Ｃ６グリッドに位置し、東側を撹乱に切られる。長軸115cm短軸75cm深度24cmを測る円形の土坑。断面は方形で、埋土は３層に分層。

出土遺物は１点のみで、1180は染付碗。底部内面草花文、口縁外面に渦文、体部外面下端に唐草文を廻らす。高台に繊維状の離れ砂付着。釉に貫入を伴う。器形は小野分類の染付碗Ｃ群に近似するが、文様は異なる。漳州窯系とみられる。15世紀後葉～16世紀前半の年代が与えられる。

土坑297号（Ⅳ地区　SK1297）（第678図）

Ⅳ－３区西部中央、Ｂ・Ｃ６グリッドに位置する、長軸170cm短軸115cm深度24cmを測る不整な隅丸方形の土坑。主軸はN13°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層である。遺構中央北寄りの検出面で30～50cm大の礫３点が出土する。遺物は溶解炉壁が出土している。

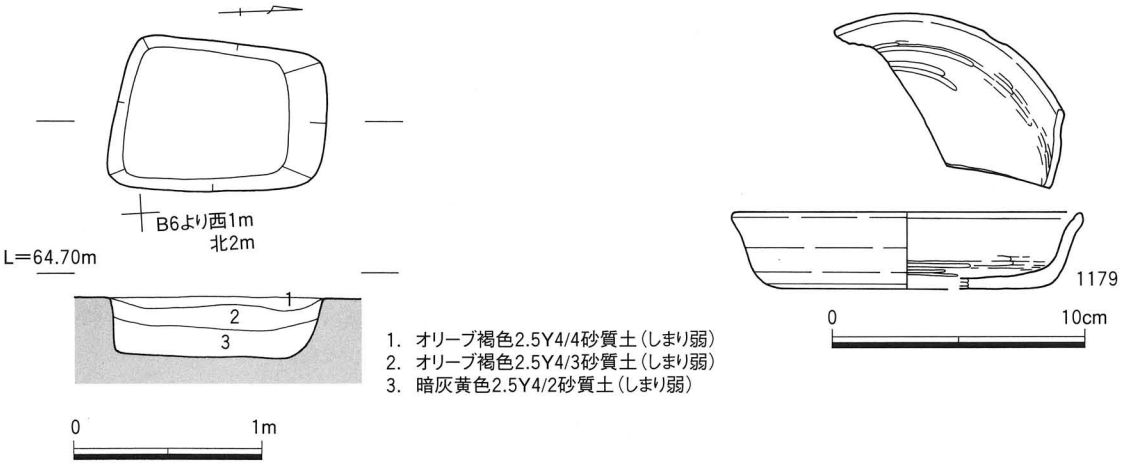
土坑298号（Ⅳ地区　SK1298）（第679・680図）

Ⅳ－３区西部南端、Ｔ・Ａ４・５グリッドに位置する、長軸195cm短軸190cm深度８cmを測る不整な隅丸方形の土坑。主軸はN15°Eを向く。断面は皿状で、埋土は１層である。埋土上位で10～25cm大の礫が散在する。細長い棒状の礫が多い。

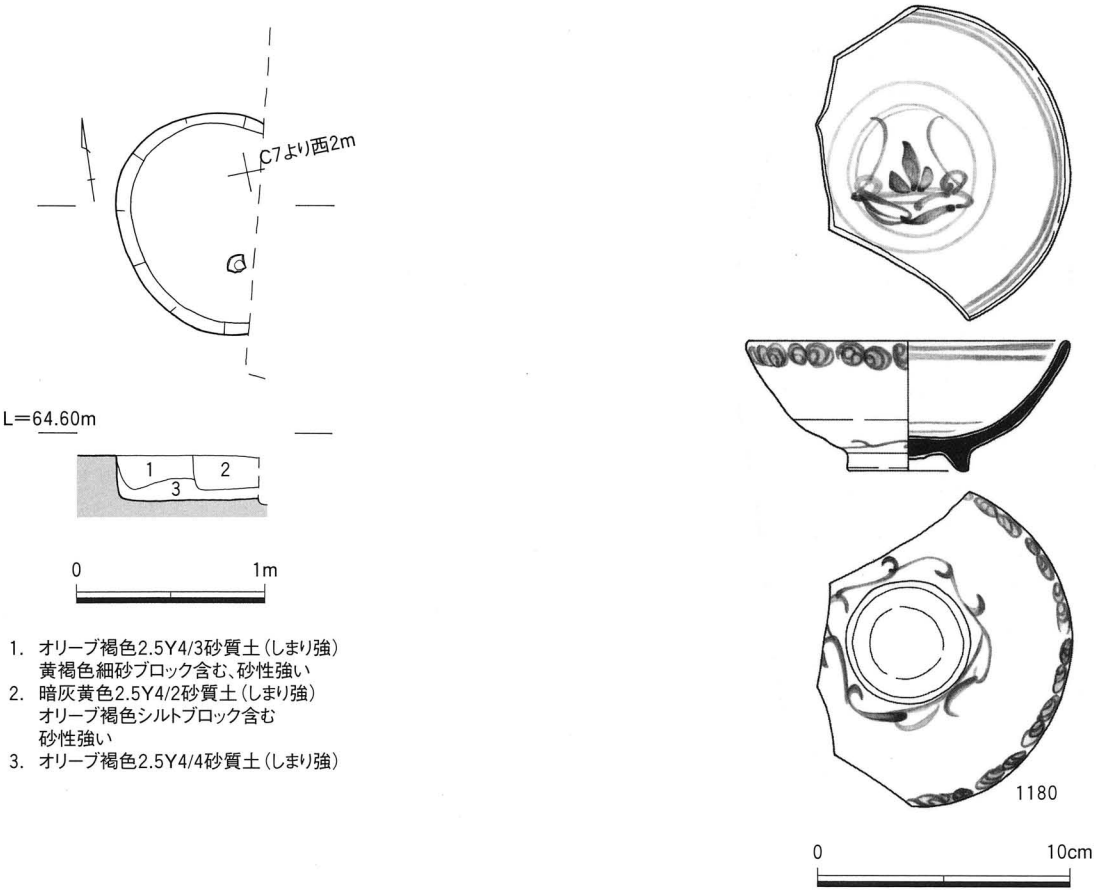
遺物は土師器煮炊具・甕、製塩土器、土師質土器片・杯・羽釜が出土。1181は土師質土器杯の下半部。底部外面に回転ヘラ切り痕のち板目痕を残す。胎土に結晶片岩と絹雲母を含む。13～14世紀代とみられる。1182は土師器甕の上半部。外面タテハケ、口縁内面ヨコハケ、体部内面板ナデを施す。1183・1184は土師質土器羽釜。ともに鍔部は折り曲げ技法で作る。1183は鍔部直下に連続した指頭圧痕を残し、体部外面に脚部の剥離痕がある。1184は体部外面下位に脚部を貼り付け、底部外面に格子タタキを残す。ともに14世紀代と考えられる。

土坑299号（Ⅳ地区　SK1299）（第681図）

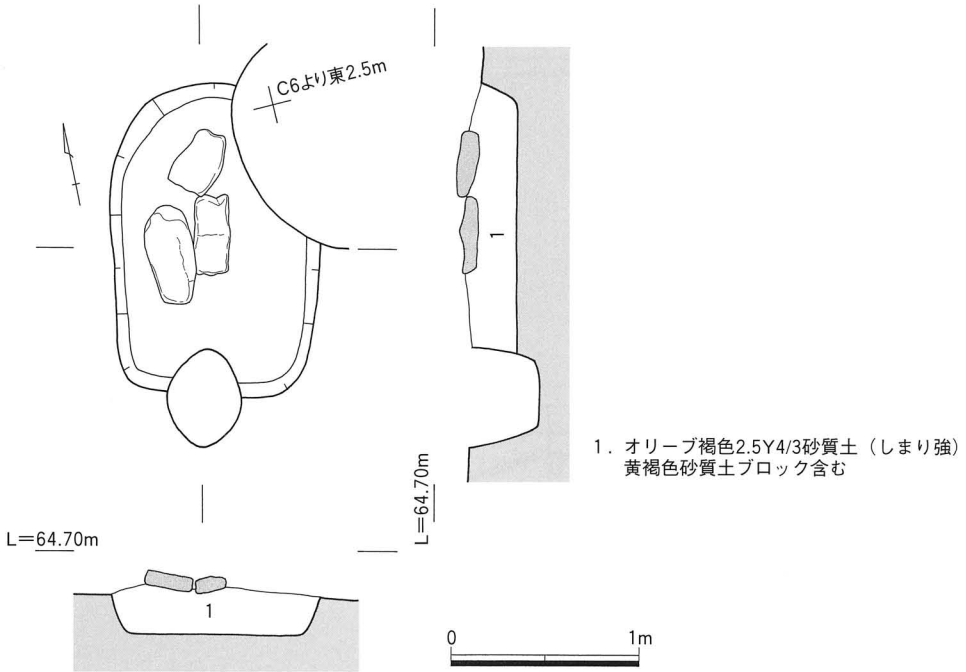
Ⅳ－３区中央部南端、Ｔ６グリッドに位置する、長軸195cm短軸120cm深度44cmを測る隅丸方形土坑。主軸はN75°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は４層。西半部は上からの掘削により落ち込む。



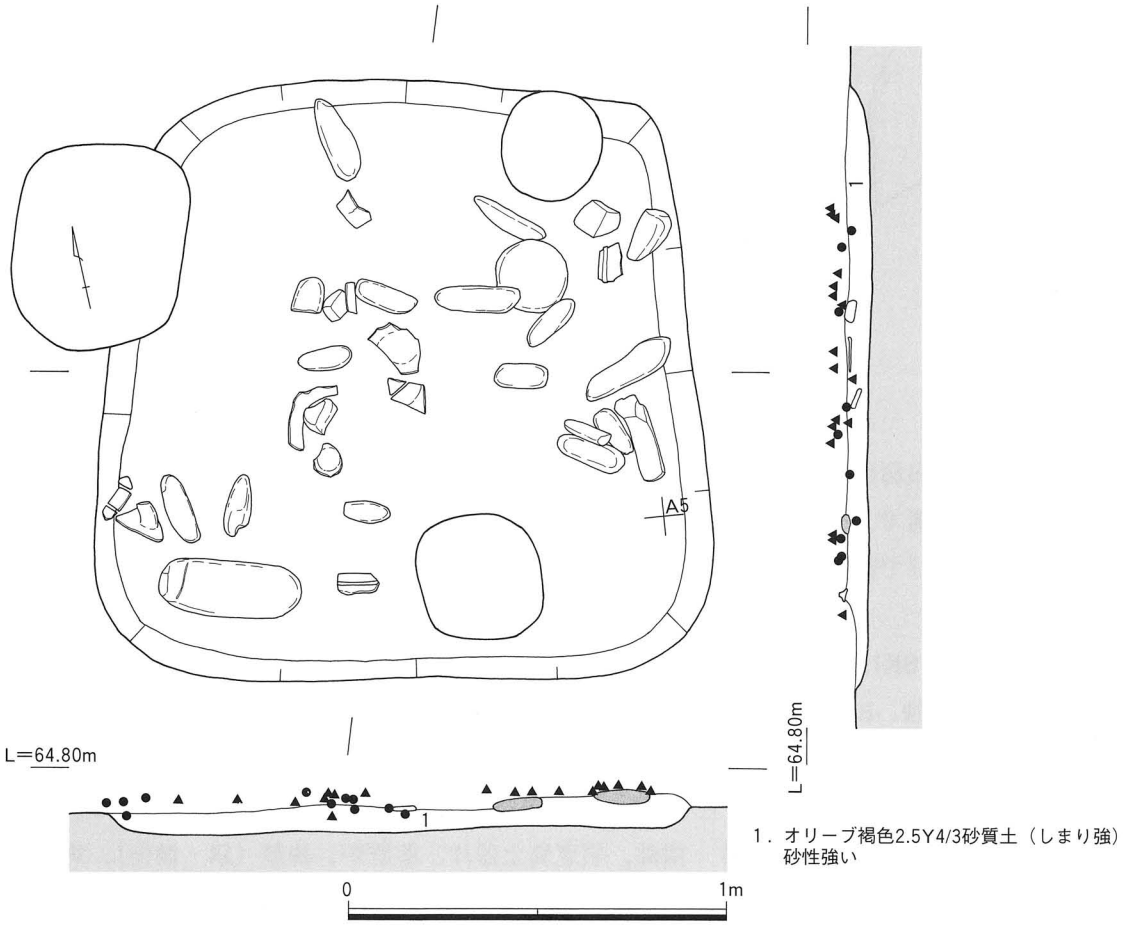
第676図　Ⅳ地区SK1294遺構・遺物実測図



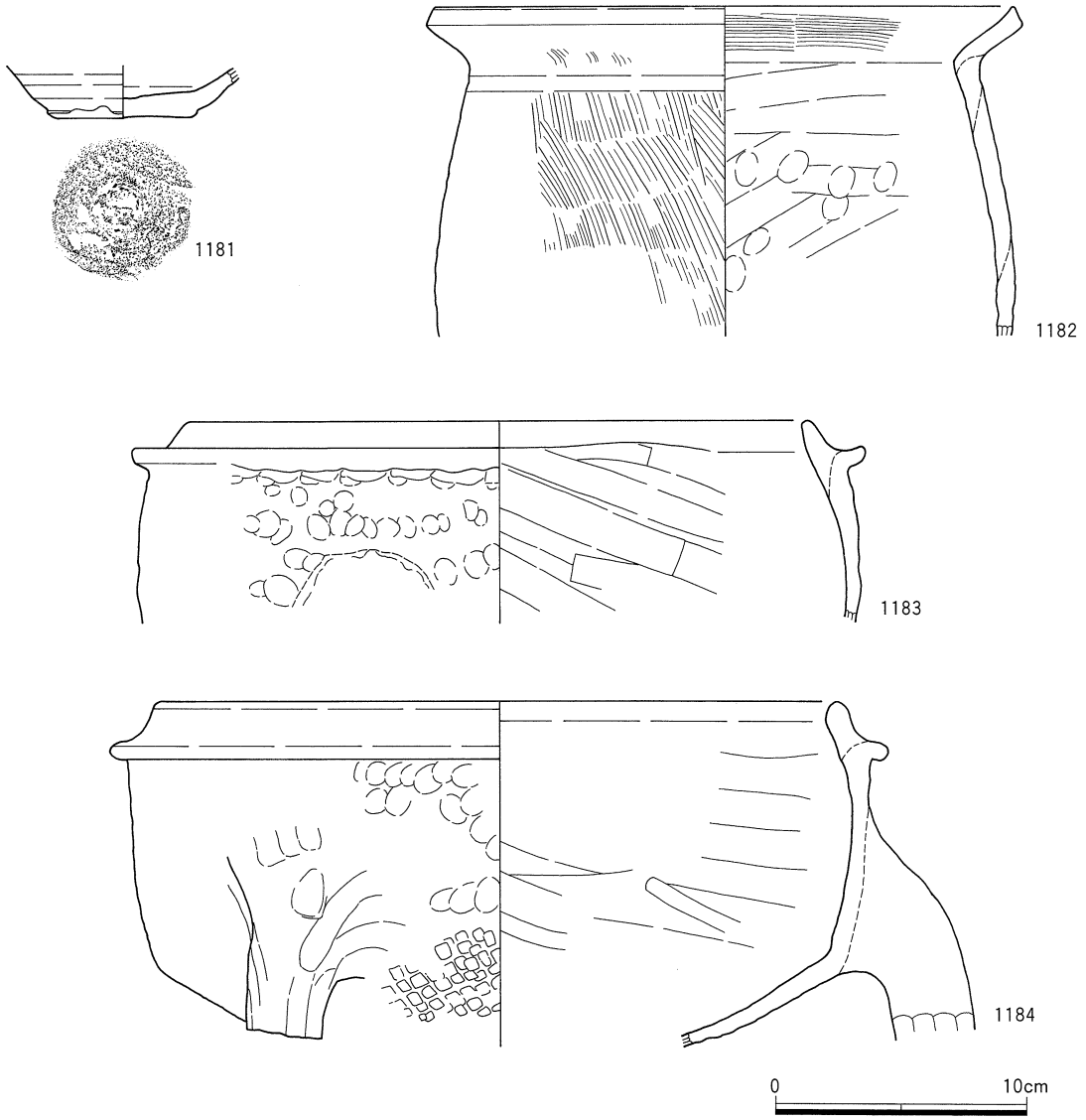
第677図　Ⅳ地区SK1296遺構・遺物実測図



第678図　Ⅳ地区SK1297遺構実測図



第679図　Ⅳ地区SK1298遺構実測図



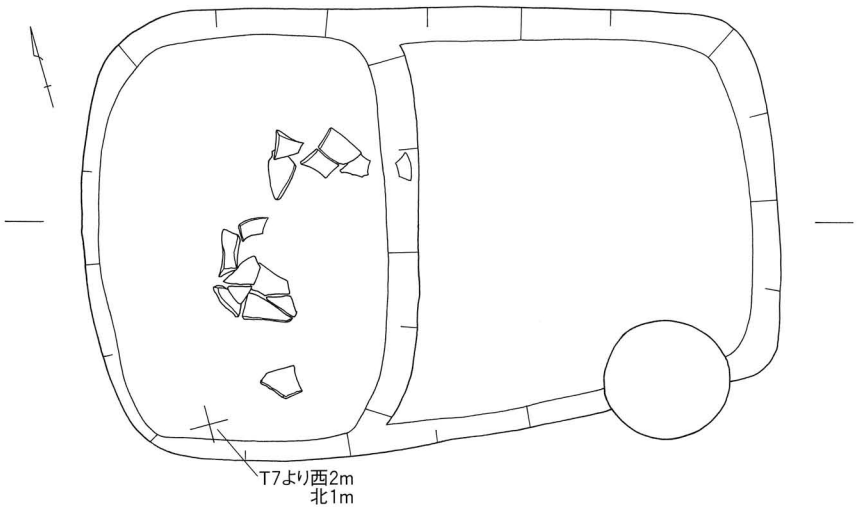
第680図　Ⅳ地区SK1298遺物実測図

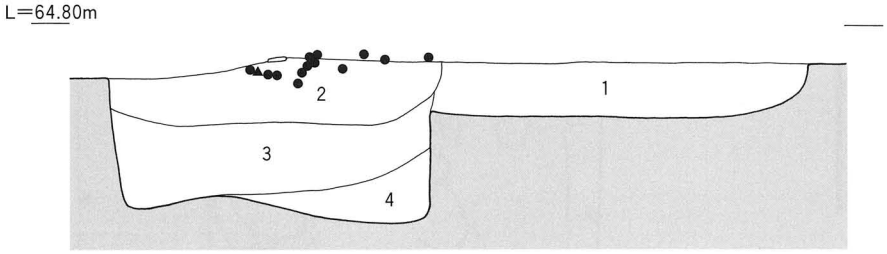
遺物は西半部の検出面付近に集中し、土師器片・煮炊具・竈、製塩土器、須恵器片・杯蓋・甕が出土。1185・1186は土師器竈で、1185は口縁部～体部上位、1186は体部下半。ともに外面はタテハケを施し、下端部のみヘラケズリで調整。内面上部は斜位板ナデを施し、下部は指頭圧痕を残す。胎土は粗い。

土坑301号（Ⅳ地区　SK1301）（第682～689図）

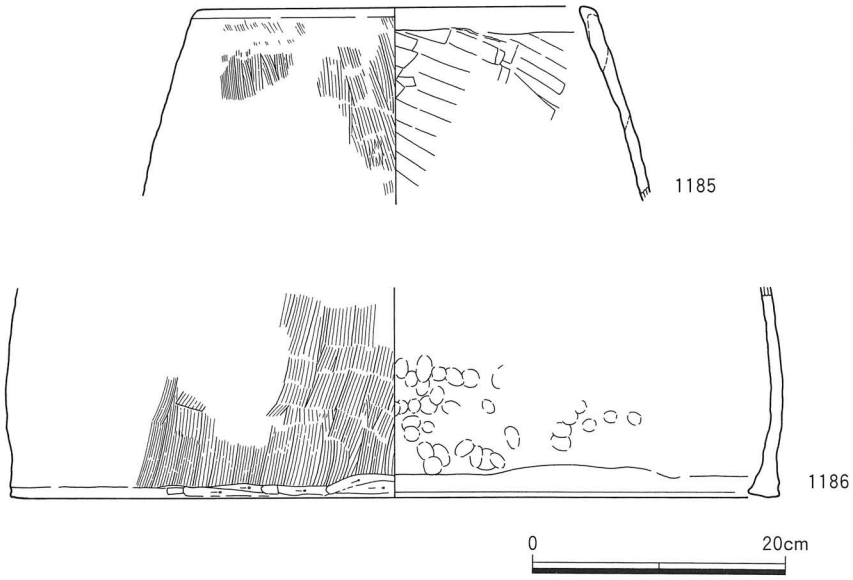
Ⅳ－３区中央部北端、Ｅ９グリッドに位置する、長軸285cm短軸95cm深度26cmを測る楕円形の土坑。主軸はN67°Wを向く。断面は逆台形状で、埋土は１層。埋土上半を中心に５～50cm大の礫が多量に出土する。長さ30cmを超える礫は多くが柱状を呈するもので、遺構長軸と直交する南北方位を向く。

遺物は礫に混じって、土師質土器片・擂鉢、須恵質土器片、溶解炉、鋳型（鍋・鋤先）、角礫凝灰岩製石臼（上臼）が出土。なかでも鋳型や溶解炉壁の出土量が多く、これら鋳造遺物の廃棄土坑であったと考えられる。遺構の年代は、出土遺物から概ね15～16世紀代と考えられる。

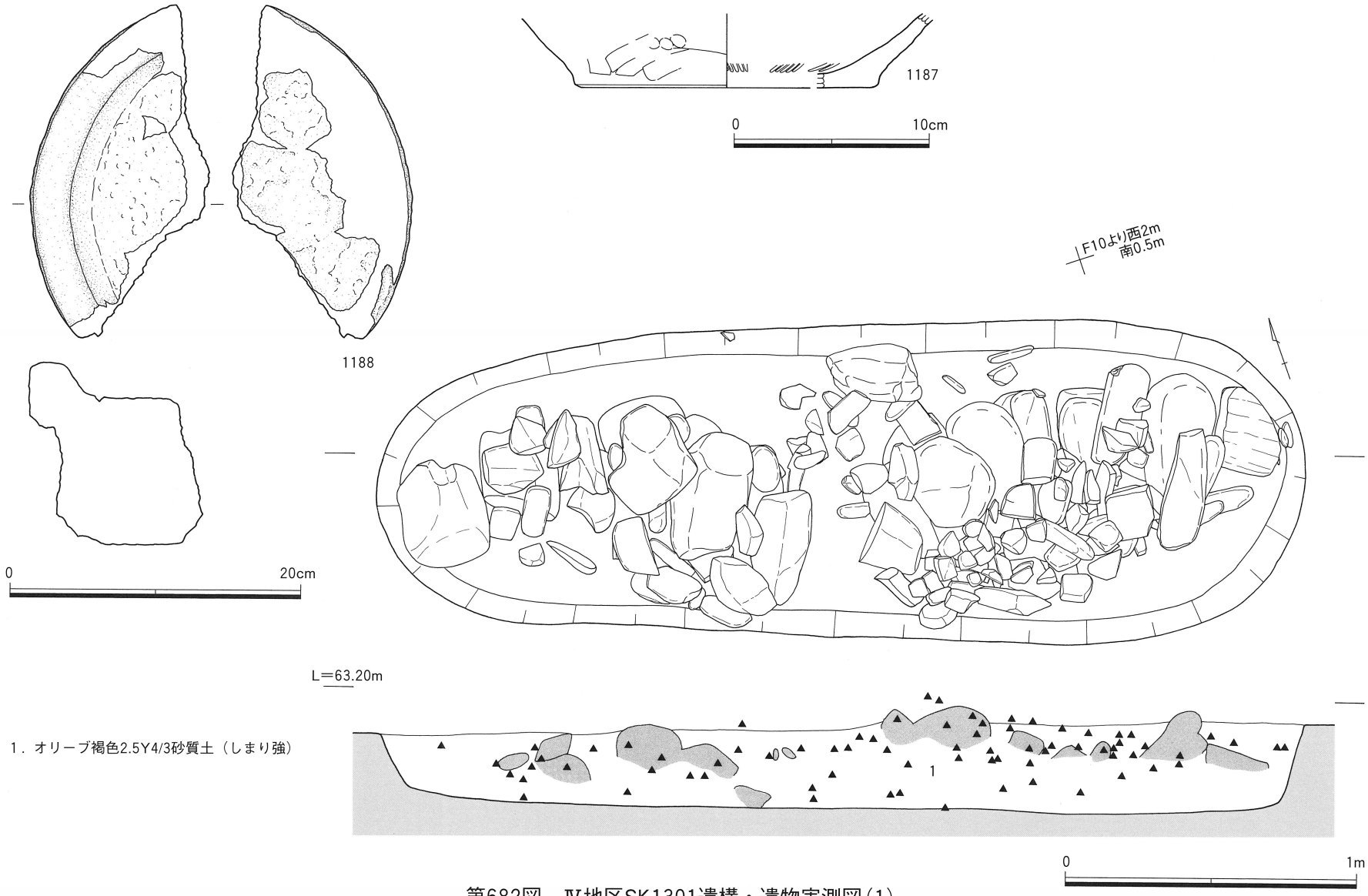




1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
　灰オリーブ色シルトブロック含む
2．暗灰黄色2.5Y4/2砂質土（しまり強）
　灰オリーブ色シルトブロック含む
3．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）
4．黄褐色2.5Y5/3砂質土（しまり強）

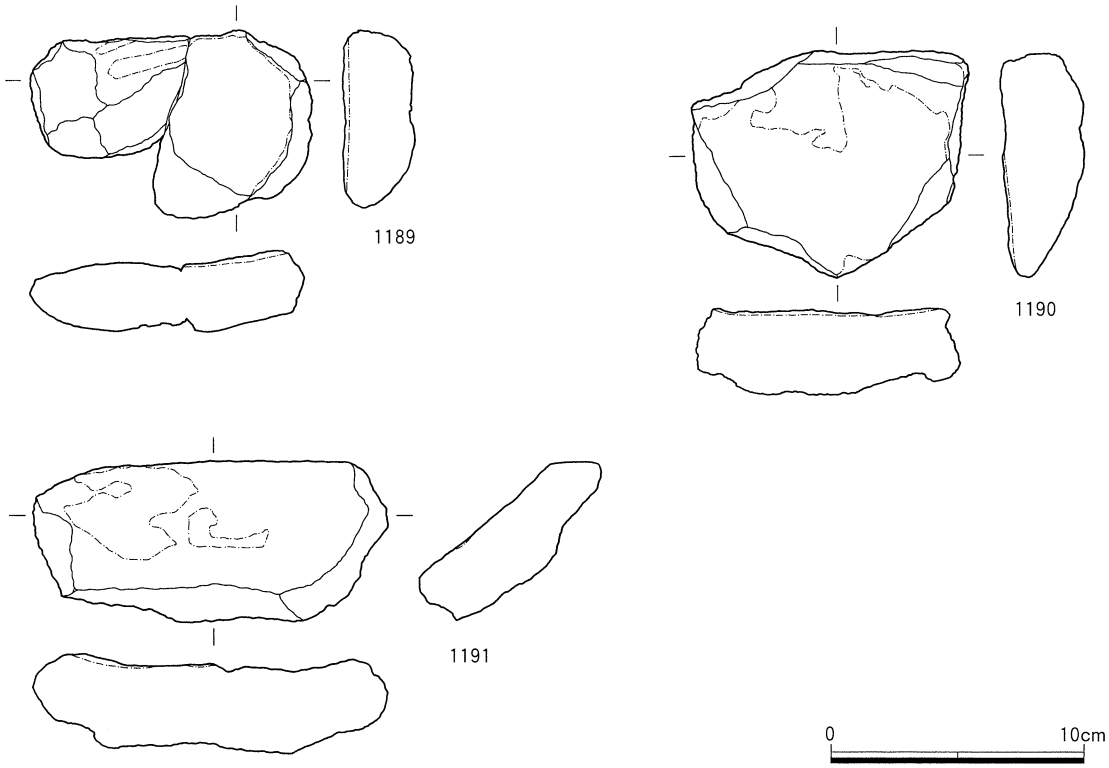


第681図　Ⅳ地区SK1299遺構・遺物実測図



1．オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり強）

第682図　Ⅳ地区SK1301遺構・遺物実測図(1)



第683図　Ⅳ地区SK1301遺物実測図(2)

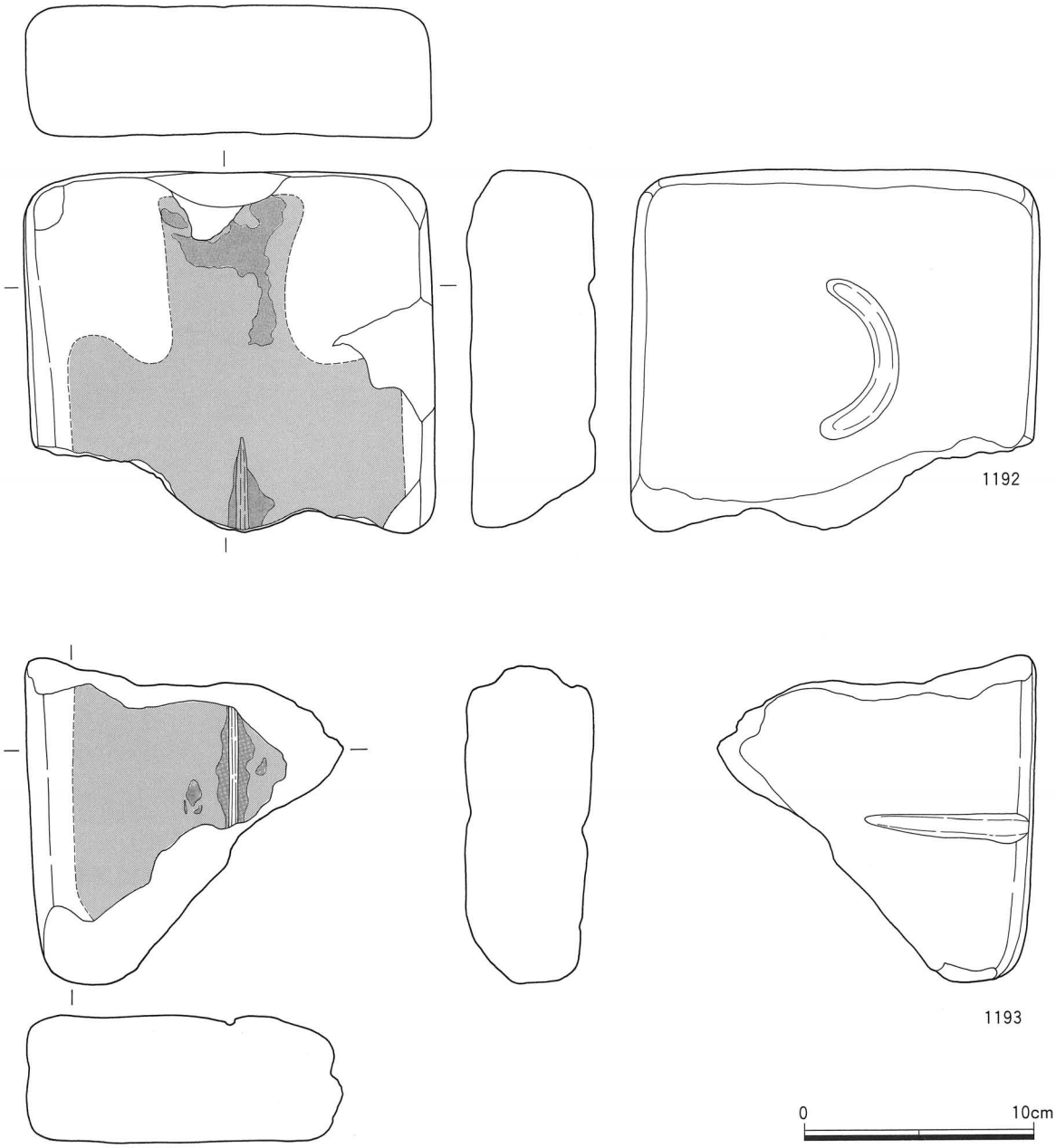
1187は土師質土器擂鉢の底部。内外面の一部に煤付着。15～16世紀代と考えられる。

1188は角礫凝灰岩製石臼（上臼)。三豊平野北側の七宝山産石材の可能性が高い。下面は磨耗し、溝目は確認できない。

1189～1204は土製の鋳型。1189～1191は鍋の鋳型とみられるが磨耗著しい。1189・1190は体部、1191は口縁か底部上位とみられる。一点破線内は上真土の残存範囲。上真土は灰白色または浅黄色を呈し精良で、粗真土は赤褐色で含有物を多量に含む粗い土である。ともに結晶片岩と絹雲母を含む。

1192～1204は鋤先の鋳型。長さ約30cm幅約18cm厚み6.0cm前後の直方体のブロック状を呈し、内面平坦な上型と凹面状の下型を合わせて使用。図の網掛け部で、薄い部分は被熱変色部、濃い部分はクロミの残存部。以下、鋳型については同じ凡例を使用する。真土は粗真土・上真土の区別はなく、金属が接触する面にはクロミを塗布する。真土は１～３㎜の砂を多く含む粗い土で、結晶片岩や絹雲母を含む。クロミはきめ細かい泥土で、民俗例では木炭の粉末を加えて作る。以下、鋤先鋳型の胎土に関しては、特に記述ない限り同じものである。

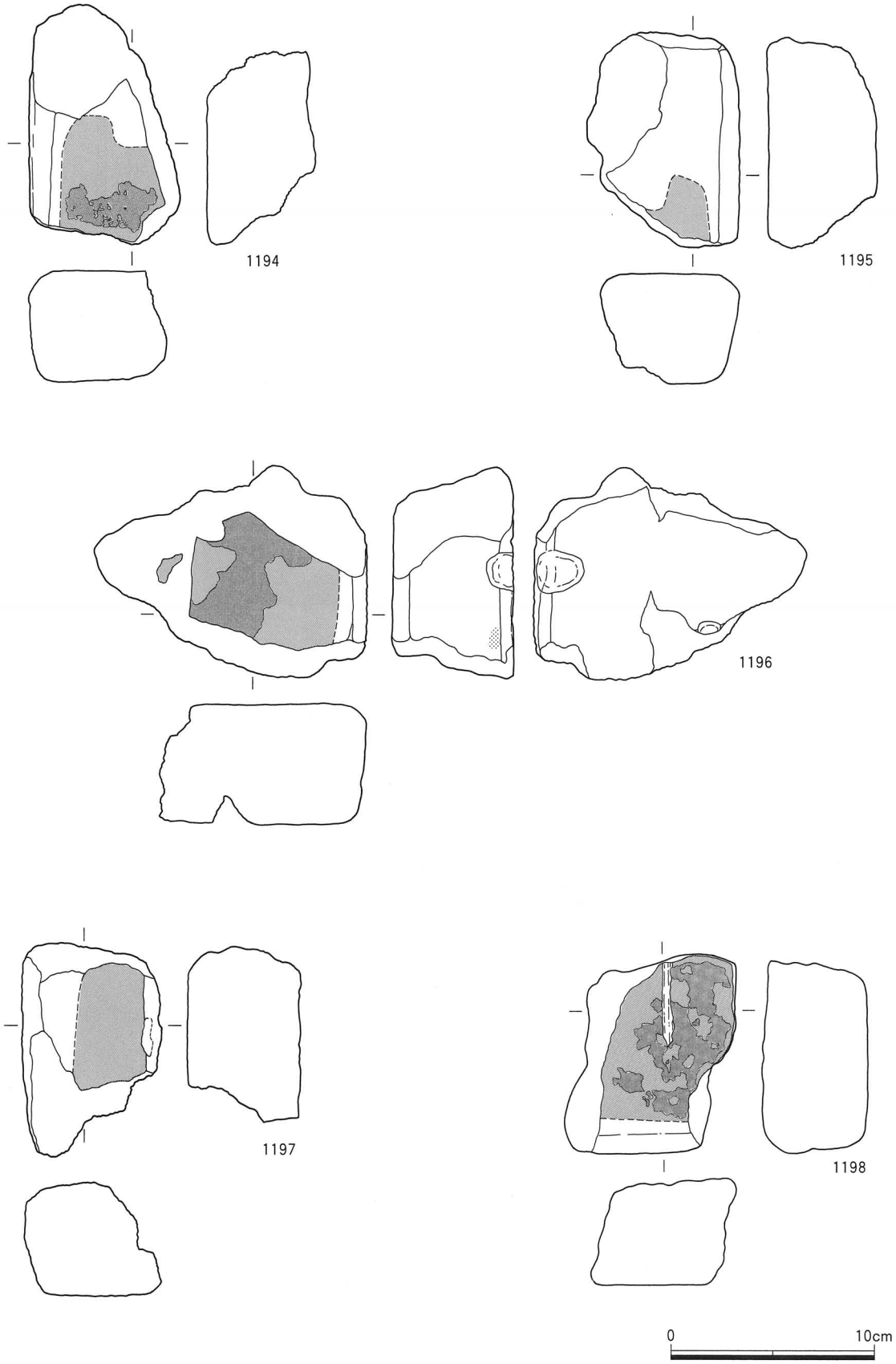
1192～1200は上型。1192はもっとも残存率がよい個体で、上半部にあたる。上端に湯口を設ける。被熱痕から、左右肩部に返り状の突出部が付くとみられる。中央に断面Ｖ字の溝を設けることから、製品の外側に稜が付く。外面にＣ字形の溝が掘り込まれるが、これは記号とみられる。1193は下半部で、1192と同一個体の可能性がある。中央に溝の続きが確認できる。外面に横方向の溝があり、縄掛け部とみられる。1194は左上位、1195は右上位、1197は左側中～下位とみられる。1196は右中位とみられ、外面に縄掛け部の凹みを有する。1198は中央下端部とみられ、内面中央に溝を設ける。1199・1200は上部が山形を呈するとみられる。肩部は返りを設けない。1199は被熱部左側に浅い溝を有する。1200は外面



第684図　Ⅳ地区SK1301遺物実測図(3)

に縄掛け部の凹みを有する。1201・1202は内面の縁部が高く盛り上がる下型とみられる。1201が左側中位、1202が右側中位である。1203・1204は内面の遺りが悪い。1204は外面にT字状の記号を有する。

1205～1216は溶解炉壁。甑炉と呼ばれる樽形の炉とみられる。甑炉は上部から木炭と鉄材を投入し、体部に設けた羽口から送風、下部から溶解した鉄を流す。分割成形され、各部の継目にはクライ（ねなわ）と呼ばれる比較的精良な土で接着する。炉壁は内面に滓が付着しており、図では網掛けで表す。滓は比較的鉄分を多く含む部分（鉄分滓）と、炉壁が溶融したガラス質を多く含む部分（ガラス質滓）がみられる。滓には燃料炭の木炭片が絡むことがある。炉壁の外側は土質部分で、外面は遺存状態が悪く調整痕を残すものはない。図上では断面の破線より内側が被熱による変色部で、内外で胎土の違いはな



第685図　Ⅳ地区SK1301遺物実測図(4)